

書誌第1003號A

簡易水路誌

北海道本島沿岸

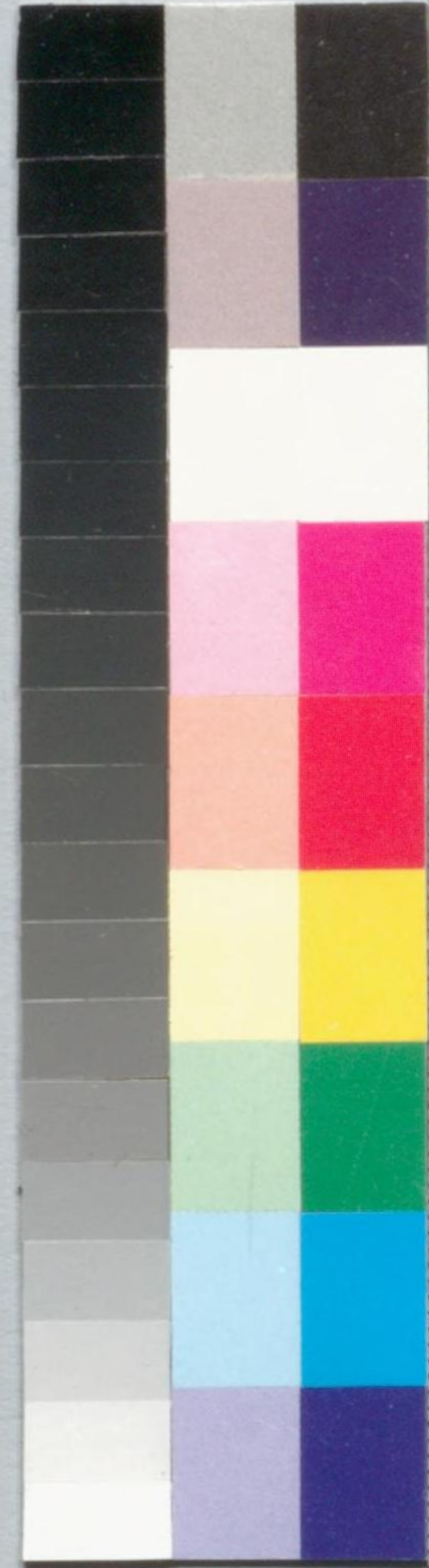
津輕海峽

根室海峽 宗谷海峽

北海道本島全岸

昭和22年3月刊行

水路部





書誌第1003號A



簡易水路誌

北海道本島沿岸

津輕海峽

根室海峽 宗谷海峽

北海道本島全岸

昭和22年3月刊行



水路部

發行者寄贈本

水
107

序

本誌ハ昭和11年3月刊行ノ北海道本島沿岸水路誌ノ記事ヲ抄記セルモノナリ、但シ戦災地等ニ在リテハ本誌記事ト相異セル箇所アルベキヲ以テ注意ヲ要ス。

本誌ノ誤謬又ハ改補資料ハ速ニ當部へ通報アランコトヲ希望ス。

昭和22年3月

水路部長 須田 皖次

凡 例

1. 方位ハ主トシテ眞方位ヲ用ヒ眞北ヲ0度トシ右廻リニ360度ニ至ル、又磁針方位ヲ用フル場合ニハ點若ハ度ニ依ル。
2. 風、「ウネリ」ハ其ノ進ミ來ル方位ヲ、海流及潮流ハ其ノ流レ去ル方位ヲ示ス。
3. 燈光ノ方位ハ海方ヨリ燈光ニ向ヒテ取ル。
4. 四方點及四隅點ノ方位ニ「偏」ノ字ヲ冠シ、其ノ方位ノ左右2點内外ニ方ルモノヲ汎稱ス。
5. 繁文ヲ省ク爲ニ何方位(何々)ヨリ何方位(何々)ニ至ルヲ何方位(何々)至何方位(何々)ト記シ又磁針方位中微ト書スベキヲイト記セリ。
6. 河川又ハ海峽ニ於テ左舷側、右舷側ト稱スルハ河口、海口ヨリ水源ニ向ヒ溯ル船ヨリ見タル左右ヲ稱ス、又河川ノ左岸、右岸ト謂フハ水源ヨリ河口ニ向ヒ左右ヲ稱スルモノトス。
7. 水深ハ基本水準面下ノモノヲ「メートル」(米)ニテ示ス。
8. 高サハ平均水面上ノモノヲ「メートル」(米)ニテ示ス。
9. 氣壓及降水量ハ耗、積雪量ハ糶、濕度ハ百分比、溫度ハ攝氏ノ度ニテ示ス。
10. 風力ハ0ヨリ12ニ至ル「ビューフォート」式ニ依リ、風速ハ每秒米ニテ示ス。
11. 地名ト併記セル經緯度ハ通例概位ヲ示ス。
12. 地名ニ()ヲ附セルハ舊名稱又ハ讀ミ方ヲ、〔 〕ヲ附セルハ別名稱ヲ、{ }ヲ附セルハ説明ニ用ヒタルモノナルコトヲ示ス。

目 次

第1編 總記	頁 1	檢 疫	頁 18
主要港灣	1	第2編 津輕海峽及北海道南岸	19
氣 象	2	潮 汐	19
風候及天候	2	潮 流	19
氣 溫	3	津輕海峽	20
降 水	4	ヤマセ	20
濕 度	6	潮 汐	22
雲 量	6	海流及潮流	22
霧	7	針路法	24
低氣壓	8	津輕海峽北濱	27
天氣ノ特性	9	木古内灣	30
潮汐及潮流	11	函館灣	31
海 流	11	函館港	32
對馬海流	11	惠山岬至襟裳岬	38
親 潮	12	惠山岬至砂崎	38
海 氷	12	内浦灣〔膽振灣〕	40
結 氷	12	虻田錨地	43
流 氷	12	有珠灣	44
無線方位信號所	16	室蘭港	47
無線電信電話局所	16	チキウ岬至襟裳岬	53
無線電信局	17	浦河港	56
放送局	17	幌泉港	57
標準時	17	襟裳岬至瑠璃瑁水道	59

海水	59	知床岬至宗谷岬 {北海道北岸}	92
襟裳岬至釧路港	59	潮汐	93
廣尾港	60	潮流及海流	93
釧路港	61	海水	93
釧路港至納沙布崎	66	網走灣	93
厚岸灣	67	網走港	94
濱中灣	71	能取岬至宗谷岬	96
花咲港	75	紋別港	99
瑠瑤瑁水道	77	枝幸港	103
霧	78	第4編 宗谷海峽及北海道西岸	109
潮流及海流	78	霧	109
流水	79	潮汐	109
目標	79	潮流	110
針路法	79	宗谷海峽	110
第3編 根室海峽及北海道北岸	81	吹雪	110
根室海峽	81	霧	111
氣象	81	海流及潮流	111
霧	81	海水	112
潮汐	82	針路法	112
潮流及海流	82	宗谷海峽南濱 {宗谷灣}	114
海水	82	稚內港	115
目標	82	野寒岬至積丹岬	118
野付水道	82	禮文島	118
根室海峽西濱 {北海道東岸}	83	船泊灣	120
根室港	84	利尻島	122

鷺泊灣	123	壽都灣	155
杳形港	124	奧尻海峽	157
武藏堆	125	奧尻島	157
野寒岬至苫前崎	126	帆越岬至白神岬	160
氣象	126	江差港	162
天鹽川	127	松前灣	166
羽幌泊地	129	小島	166
燒尻島	130	大島	167
武藏水道	131		
天賣島	132	附表	
苫前崎至雄冬岬	133	第1. 函館氣象表	
氣象	134	第2. 室蘭氣象表	
留萌港	135	第3. 浦河氣象表	
增毛港	137	第4. 釧路氣象表	
石狩灣	140	第5. 根室氣象表	
石狩川	141	第6. 網走氣象表	
小樽港	142	第7. 羽幌氣象表	
余市灣	147	第8. 札幌氣象表	
積丹岬至白神岬	150	第9. 壽都氣象表	
積丹岬至帆越岬	150	尋米、米尋、呎米換算表	
岩內港	153		

北海道本島沿岸

第 I 編 總記

本誌ハ千島列島ヲ除ク北海道本島沿岸並ニ附屬諸島ニ關シテ記述ス、又本洲トノ境界タル津輕海峽、千島列島トノ境界タル瑤瑤瑁水道及根室海峽並ニ樺太島トノ境界タル宗谷海峽ノ各一般記事ハ之ヲ本誌ニ包含ス。

沿岸記事ハ北海道本島南端白神岬ヲ起點トシ時計ノ針ト反對ノ方向ニ南岸、東岸、北岸及西岸ノ順序ニ記載ス。

主要港灣

本誌記載ノ區域内ニ於ケル開港、内務省ニ於テ選定シタル重要港灣及指定港灣ハ下ノ如シ。

開港 函館、室蘭、釧路、根室、留萌、小樽。

重要港灣 函館、室蘭、小樽。

指定港灣 浦河、廣尾、釧路、厚岸、根室、網走、紋別、稚内、杵形、天賣、留萌、増毛、余市、岩内、壽都、江差。

備考 (1) 開港ニ關シテハ水路誌附録第 1 卷ヲ見ルベシ、但シ本誌區域内ノ開港ハ開港港則ヲ施行セララルモノハ函館ノミニシテ其ノ他ハ總テ北海道港内取締規則(水路誌附録第 2 卷)ニ據ルモノトス。

(2) 重要港灣及指定港灣トハ内務省ノ所管ニ屬スル港灣修築上ノ分類法ニ依リ定メラレタルモノナリ。

氣象 (日本近海ノ氣象海流圖及卷末氣象表參照)

風候及天候 内地ノ如キ四季ノ區別困難ナリ、毎年10月下旬乃至

11月初旬=至レバ降雪始リ翌年4月下旬乃至5月初旬=終ルヲ例トス、5月=至リ北西ノ寒風終熄スルヤ陸上=テハ梅桃櫻殆ド一齊=開キ6月=至レバ早クモ夏ノ暑熱ヲ感ズ。

寒季ノ信風ハ9月末又ハ10月初=始リ翌年3月末=終リ其ノ平均方向ハ概ネ北西ヨリ西ノ間=在リ。

風力ハ一般=強ク強風ヲ見ルコト稀ナラズ、寒季=於ケル月平均風速ハ函館=於テ4.0—4.5米/秒、根室=於テ4.6—5.4米/秒、壽都=於テ6.7—7.0米/秒ナリ、寒季中颶風ハ屢北海道ヲ襲ヒ其ノ通過後本島及其ノ近海=於テ氣壓傾度急峻ト爲リ爲=猛烈ナル暴風吹雪ヲ伴ヒ屢航海ヲ困難ナラシムルコトアリ、今3代表地=於ケル暴風日數(風速10米/秒以上)ヲ示セバ次表ノ如シ。

月	10	11	12	1	2	3	統計期間
函館	9	12	14	13	10	12	1896—1929
根室	9	12	13	12	7	8	1889—1940
札幌	1	4	3	4	3	5	〃

本島各地=於ケル最大風速ハ月平均風速ノ割合=大ナラズ、次=主要地=於ケル最大風速ヲ示ス。

觀測所	最大風速	年	月	日
函館	27.9 米/秒	1928	2	7
帶廣	22.0 〃	1908	12	19
釧路	24.9 〃	1912	3	18
根室	30.7 〃	1910	2	11
網走	26.4 〃	1916	12	29
札幌	28.8 〃	1912	3	19

暖季即チ4月ヨリ9月迄ノ間ハ時々中絶スルコトアルモ概ネ偏南東ノ和風流行ス。

暖季=於ケル月平均風速ハ小=シテ函館、根室及札幌=於テ3—5米/秒ナリ、暖季=於ケル強風ハ主=颶風襲來時=起ルノミ=シテ寒季=於ケルガ如ク屢ナラズ、夏季月平均暴風日數(風速10米/秒以上)ハ函館=於テ5日、根室=於テ3日、札幌=於テ1—2日ヲ示ス=過ギズ。

氣溫 日本海沿岸及襟裳岬以西ノ太平洋沿岸ハ其ノ他ノ沿岸=比シ1年ヲ通ジ氣溫一般=高キヲ例トス、又内陸ハ沿岸地方=比シ寒暑共=甚シ、是西岸沖合=ハ對馬海流ノ北流スルアリ襟裳岬以東ノ南岸ハ親潮=洗ハレ又内陸ハ其ノ氣候稍大陸性ヲ帶ブル爲ナルベシ、日々ノ最低氣溫ハ11月中=各地トモ零度以下ニ下降シ始ムルモ日々ノ最高氣溫ハ尙零度以上=在リ、1月2月頃ハ場所=依リ日々ノ最高氣溫零度以下ナルモ3月=至レバ日々ノ最高氣溫ハ各地トモ零度以上=昇リ4月=至レバ日々ノ最低氣溫モ亦殆ド各地トモ零度以上ト爲ル、然レドモ釧路、網走、根室附近ハ尙零度以下=シテ5月=至リテ漸ク零度以上ト爲ル、而シテ又1月=ハ氣溫豫期以上=降下スルコトアリ即チ旭川=於テ明治35年(1902年)1月25日零下41.0度、帶廣=於テ同年1月26日零下38.2度、札幌=於テ昭和4年(1929年)2月1日零下28.5度=下リタルコトアリ。寒季各地ノ月平均氣溫ヲ見ル=多クハ零度以下=在リ、次表=之ヲ示ス

月	10	11	12	1	2	3	統計期間
函館	11.8	5.5	-0.3	-2.7	-2.0	0.6	1897—1926
釧路	9.8	3.6	-3.2	-6.9	-6.5	-2.3	1910—1940
根室	10.7	4.6	-1.4	-5.0	-5.5	-2.4	1889—1940

観測所	月	10	11	12	1	2	3	統計期間
網走		9.8	3.0	-3.2	-6.9	-7.2	-3.3	1890—1940
羽幌		10.8	4.0	-2.0	-5.9	-5.4	-1.6	1921—1940
札幌		9.8	3.2	-3.1	-6.3	-5.3	-1.6	1889—1940
壽都		11.8	5.1	-0.9	-3.4	-2.6	0.1	1891—1940
旭川		7.8	1.1	-5.9	-9.9	-8.8	-4.0	1889—1940
帯広		8.4	1.6	-5.9	-10.5	-9.2	-3.8	1894—1940

夏季ハ本島ニ於ケル最好ノ季節ニシテ 8 月ノ平均気温ハ函館 21.6 度、根室 17.3 度、網走 19.3 度、羽幌 20.5 度、札幌 21.0 度、旭川 20.5 度ナリ、即チ 8 月ノ気温ノミヲ以テスレバ西部ノ気温ハ略東京ノ 6 月ニ相当シ、東部ノ気温ハ東京ノ 5 月ニ相当ス、平均最高気温ハ西部約 26 度、東部 20—25 度ノ間ニ在リ。

降水 本島ニ於ケル降水量ハ年量約 1,000 耗程度ニシテ東部ハ西部ニ比シ稍少ク約 900 耗ヲ示ス、次ニ主要地ノ降水量ヲ示ス。

観測所	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年	統計期間
函館		66	61	68	71	84	91	137	133	173	117	106	80	1187	1901—1940
浦河		45	35	46	78	118	89	175	138	134	107	104	53	1122	1927—1940
根室		38	28	61	78	94	94	102	105	145	103	86	57	989	1889—1940
網走		63	38	57	51	60	61	87	97	115	74	66	56	825	1890—1940
札幌		86	70	62	57	62	65	92	109	134	112	108	97	1052	1889—1940

降雪 本島ニ於ケル冬季ノ降水ハ主ニ雪又ハ霰ニシテ降雪ノ平均初日ハ 10 月下旬又ハ 11 月初旬、其ノ平均最終日ハ 5 月初旬又ハ 4 月下旬ナリ、次ニ各地累年（昭和 15 年（1940 年）迄）降雪ノ初終期日ヲ示ス。

観測所	初日		終日	
	平均	最モ早キモノ	平均	最モ遅キモノ
函館	月 11 日 5	年 昭和 14 (1939) 月 10 日 21	月 4 日 15	年 明治 31 (1898) 月 5 日 22
室蘭	11 4	昭和 14 (1939) 10 21	4 22	大正 14 (1925) 5 8
浦河	11 10	昭和 14 (1939) 10 21	4 19	昭和 4 (1929) 5 6 " 5 (1930)
帯広	11 4	大正 12 (1923) 10 11	5 1	昭和 6 (1931) 5 25
釧路	11 11	大正 12 (1923) 10 11	4 29	明治 45 (1912) 5 21
根室	11 7	明治 32 (1899) 10 19	5 4	明治 21 (1888) 6 9
網走	11 3	大正 15 (1926) 10 14	5 13	大正 6 (1917) 6 3
旭川	10 24	明治 31 (1898) 10 2	5 4	明治 33 (1900) 5 27
羽幌	10 9	大正 15 (1926) 10 7	4 8	大正 15 (1926) 5 13
札幌	10 1	昭和 13 (1938) 10 17	4 1	大正 2 (1913) 5 14
壽都	11 1	大正 15 (1926) 10 3	4 7	明治 31 (1898) 5 22

降雪日數ハ西岸ニ於テ多ク其ノ他ノ沿岸ニ於テ少シ、降雪モ亦西岸ニ於テ烈シク從ツテ積雪ノ深サモ西岸地方ニ於テ大ナリ、毎年 11 月ニ至レバ積雪ヲ見、翌年 2 月末又ハ 3 月積雪最モ深ク 4 月初ニ至レバ漸ク解消スルヲ例トス、積雪ノ深サハ普通 30—50 糎ニシテ太平洋側ニ近ヅクニ從ヒ其ノ深サヲ減少ス。

吹雪(風雪) 冬季本島沿岸特ニ日本海側ニ於ケル吹雪ハ航海者ヲ悩マシモノニシテ展望ヲ妨グルコト霧ニ劣ラザルノミナラス概ネ荒天ト嚴寒トヲ伴フヲ以テ益航海ヲ困難ナラシム。

降雪ト低氣壓 本島ニ於ケル降水ハ主ニ低氣壓ニ伴フモノナルガ雨ハ低氣壓ノ前面ニ降ルコト多キニ反シ雪ハ其ノ後面殊ニ氣壓傾度ノ急峻ナル處ニ多ク特ニ日本海側ニ於テ此ノ傾向著シ、而シテ降雪ハ斷續シツツ 2—3 日

＝互ルコトアリ、冬季日本海側＝於テ出港＝際シ滿洲「シベリア」方面ノ高氣壓衰へ又ハ同方面＝低氣壓ノ出現スルヲ待クハ沖合風波收マリ降雪＝會スルコト亦尠シ。

沖合ニ於ケル降雪 沿岸附近＝於テ降雪アル際ノ沖合降雪ノ狀況ハ資料少ク之ヲ知ル＝由ナキモ一般＝沿岸 10 哩以上ヲ離ルレバ降雪ハ著シク減ズルガ如シ、某艦ハ冬季小樽港樺太北部西海岸間ノ往復航海＝於テ常＝利尻島ノ西方ヲ通航スルヲ例トシタリト謂フ。

降雪中航海上ノ注意 降雪＝際シテハ同時＝背面ノ陸標地物ヲ全ク同色＝化スルガ故ニ目標ノ發見＝困難ヲ感ズルヲ以テ大ニ注意ヲ要ス。

濕度 濕度ハ東岸及南岸＝大ニシテ其ノ他ノ海岸殊＝西岸＝於テ小ナリ、夏季浦河、根室＝於テハ 90 % 以上ヲ示シ其ノ他ノ各地＝於テハ 80 % 以上＝シテ濕度ノ大ナルハ各地概ネ夏季＝起ルト雖モ其ノ小ナルハ 11 月ヨリ翌年 5 月迄ノ間＝起ルモ各地季節一様ナラズ、次表參照。

		濕 度 (1889—1940年)												
月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
觀測所														
根 室		71	75	77	80	84	90	92	91	86	78	71	68	80
札 幌		79	79	76	71	74	81	84	83	83	80	77	78	79
旭 川		89	86	79	74	71	76	80	82	84	83	84	87	81

雲量 昭和 15 年 (1940 年) 迄ノ統計＝依ル全年雲量ノ最多ハ羽幌ノ 7.8 ＝シテ最少ハ帶廣ノ 6.1 ナリ、一般＝西部ハ冬季＝多ク東部ハ夏季＝多キモ根室、釧路及帶廣ハ冬季＝少ク其ノ他ハ概ネ秋季＝少シ、獨リ旭川ノ春季＝少ナリトス、次＝各地＝於ケル平均雲量ヲ示ス。

月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年	統計期間
觀測所															
函 館		7.3	7.1	6.7	6.1	6.5	7.1	7.8	7.0	6.5	5.5	6.7	7.4	6.8	1897—1926
根 室		5.5	5.7	5.8	6.6	7.3	8.0	8.4	8.2	7.2	5.7	5.3	5.1	6.6	1889—1940
網 走		7.1	7.0	6.5	6.5	7.2	7.2	7.5	6.8	6.6	5.8	6.4	6.6	6.8	1897—1926
羽 幌		8.7	8.5	8.1	7.3	7.5	7.3	7.7	7.1	7.0	7.1	8.6	9.3	7.8	1921—1940
札 幌		7.2	7.3	7.0	6.4	6.6	7.2	7.4	6.6	6.6	5.9	7.1	7.2	6.9	1889—1940
壽 都		9.2	8.8	8.2	6.7	7.1	7.5	7.7	7.0	6.9	6.5	8.2	9.1	7.7	1891—1940

霧 一般＝ 5 月初旬至 8 月下旬＝多ク發生シ就中 7 月＝最モ多シ而シテ本島南東岸殊＝襟裳岬以東及東岸＝最モ多ク西岸＝ハ少シ、明治 27 年 (1894 年) 及同 29 年 (1896 年) ノ 7 月ノ如キ襟裳岬＝於テ 29 日間霧連続セリト謂フ、然レドモ 11 月ヨリ翌年 2 月迄ハ各地共霧ヲ見ルコト甚ダ稀ナリ。

一般＝霧ハ陸岸附近＝於テハ夜間殊＝日出前＝發生ヲ見ルコト多ク日出ト共＝稍減少スル傾向アリ、霧ノ濃密ナルモノハ 7—8 米ヲ隔テテ人影ヲ見ル能ハザルモノアリ、一般＝水道海峡ヲ埋ムルモノハ濃密ナルモノ多シ。霧ハ一般＝北太平洋高氣壓ノ北西縁邊又ハ低氣壓ノ南東側＝發生スルコト多シ、尙霧ノ詳細＝就テハ各地ノ記事＝讓リ次＝主要地ノ霧日數ヲ示ス。

月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年	統計期間
觀測所															
函 館		0.2	0.4	0.7	1.0	2.4	4.1	4.0	1.3	0.2	0.1	0.3	0.3	15.0	1889—1930
室 蘭		—	—	0.5	1.9	4.0	7.5	4.7	4.0	0.3	—	—	—	22.9	1923—1933
浦 河		0.2	0.5	1.0	5.2	6.5	12.5	14.1	7.6	0.7	—	—	0.1	48.4	1927—1933
帶 廣		1.0	1.1	1.1	2.3	3.0	3.3	4.2	5.5	5.3	4.2	1.5	0.9	33.8	1897—1926

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年	統計期間
観測所														
釧路	2.4	3.5	4.4	7.9	11.0	13.9	16.8	16.1	12.0	6.8	2.8	2.2	99.8	1910—1930
根室	1.0	2.4	4.4	9.1	13.0	18.3	20.5	19.2	8.2	3.0	1.9	1.5	102.5	1889—1930
網走	0.1	0.2	0.7	2.2	3.2	6.0	7.1	4.1	1.2	0.3	0.2	0.2	22.5	1890—1930
羽幌	—	—	0.4	1.4	3.0	2.6	4.9	0.4	0.5	0.3	0.1	0.1	13.7	1921—1933
札幌	1.1	0.7	0.5	1.0	2.3	4.0	5.0	3.6	1.4	0.9	0.5	0.8	21.8	1889—1930
壽都	0.4	0.4	0.0	0.3	1.1	1.9	1.7	0.4	0.0	0.1	0.0	0.3	6.6	〃

低氣壓

颶風 「アジア」大陸ヨリ出デ日本海ヲ通過シ本島近海ニ來襲ス、颶風中特ニ警戒ヲ要スルハ冬季ノモノニシテ其ノ中心ハ千島南部附近ニ達シ著シク發達ス、爲ニ本島沿岸特ニ西岸及南岸ニ於テ暴風猛威ヲ逞クスルコトアリ。

昭和9年3月21—22日本島南方ヲ通過セシ颶風ハ近年稀有ノモノニシテ壽都ニテハ21日午後9時氣壓720 耗ニ低下シ、羽幌ニテ最大風速北西28.2米/秒ヲ示セリ。

颶風襲來ニ當リテハ概ネ其ノ前面ニ於テハ後面ニ比シ風弱ク降雨ヲ伴フ、後面ハ風強ク寒冷ニシテ且地形ニ依リ雨雪ヲ見ルコト多シ、殊ニ冬季ニ於テハ颶風ノ中心過ギタル後大陸ノ高氣壓發達シテ之ニ迫ルヲ以テ風力著シク強ク航海者トシテ警戒スベキハ此ノ後面ノ強風及吹雪ナリ。

颶風 本島ニ來襲スル颶風ハ8—9月ニ多ク8月ニハ朝鮮ヲ越エ日本海ニ出デ又ハ對馬海峽方面ヨリ來ルモノ多ク9月ニハ本洲西部ヲ横斷シ日本海ニ出デ來ルモノ多シ、其ノ襲來回数ハ颶風ノ如ク多カラズ又多ク老衰期ニ屬シ其ノ猛威ヲ振フモノ少シ、只其ノ進行速度ハ比較的大ナルモノアル

ヲ以テ豫メ此ノ點ニ留意警戒スルヲ要ス。

天氣ノ特性

最近中央氣象臺ニ於テ調査セル當地方ノ天氣ノ特性ヲ列擧スレバ次ノ如シ。

北海道東側

1. 風向南東ナルトキハ天氣悪ク雨及霧ト爲リ易シ、西風ノ際ハ天氣良好ナリ。
2. 冬ノ季節風ハ天氣良キモ所ニ依リ曇リ驟雪アリ。
3. 早朝ヨリ降ル雨ハ長ク、日中降り出ス雨ハ間モナク止ム。
4. 冬及春ノ風ハ概ネ日中ノミ吹ク。
5. 夏季ノ海陸風ハ陸風ノ方強シ。
6. 襟裳岬ノ西側ガ無風又ハ弱キ西風ナルトキニ於テモ其ノ東側ハ北東風著シク強キコトアリ。
7. 低氣壓日本海ニ入レバ風向南寄リト爲リ降雨始ル。
8. 銚子沖ヨリ北東ニ進ム低氣壓ハ殆ド影響ナシ。
9. 強キ低氣壓銚子沖ヨリ北北東ニ進ムトキハ北東風強烈ト爲リ海上時化ルコトアリ。
10. 低氣壓北方ヲ通過スルトキハ初メ風向南寄りニシテ降水ヲ見、後西寄りノ風ニ變ジ天氣良好ト爲リ氣溫降下ス、又風向ノ變リ目ニ驟雨又ハ驟雪アリ。
11. 低氣壓南方ヲ通過スルトキハ比較的弱キ東乃至東北東ノ風吹き雨上リ惡シ。
12. 本洲ノ兩側ヲ2箇ノ低氣壓竝ビテ進ムトキハ雨量多シ。
13. 低氣壓「オホツク」海ニ入り發達スレバ西風強シ。
14. 間宮海峽附近ニ颶風來レバ南風ト爲リ沿岸ハ霧濃クナル。

15. 南方洋上=強キ低氣壓アレバ南東岸=「ウネリ」來襲シ其ノ週期ハ十五、六秒ナリ。
16. 梅雨季=於ケル「オホツク」海ノ高氣壓ハ低溫陰曇ナル天氣ヲ招來ス。
17. 5月至8月頃北海道南東沖=高氣壓アルトキハ南東沿岸ハ海霧繼續ス。
18. 不連續線附近=ハ霧多シ。
19. 夏季早朝ノ霧ハ日中霽ル。
20. 冬季ハ輻射霧多シ。

北海道西側

1. 樺太方面天氣惡キトキハ北海道西側モ亦惡化ス。
2. 風向西寄りナルトキハ天氣惡化ス、北乃至北東ノ風ハ曇ルモ容易=降雨ヲ見ズ。
3. 夏季風向北寄りナルトキハ驟雨殆ドナシ。
4. 冬季季節風時=於ケル雨ハ驟雨性=シテ所=依リ時々時間ヲ生ズ。
5. 季節風=依ル雪ハ吹き初ハ山=多ク稍弱マレバ海岸地方=多クナル。
6. 冬季季節風時西岸ノ氣溫高キトキハ降雪量多シ。
7. 低氣壓南方ヲ通過スルトキハ概ネ天氣良好=シテ降雨アリテモ降水量少シ。
8. 朝鮮ヨリ日本海東部ヲ北上シ北海道ヲ襲フ低氣壓ハ降水量多シ。
9. 強キ低氣壓通過後北西風強カラズ海上「ウネリ」アルモ天氣比較的的良好ナルコトアリ、之西方沖合=副低氣壓發生ノ爲=シテ廳テ風雪ト爲ル。
10. 春季北樺太ヲ低氣壓通過スルトキハ南風吹き易ク日中ハ強キモ夜間ハ弱シ。
12. 高氣壓「オホツク」海ト小笠原ト=在ルトキ北海道ガ其ノ間ノ谷=當

レバ天氣惡ク氣溫下ル。

12. 高氣壓「オホツク」海又ハ三陸沖=在レバ南風吹き易ク、天氣晴レタリ曇ツタリスルモ風ハ夜間弱マル。
13. 「オホツク」海ノ高氣壓ガ日本海迄張出シタルトキハ北東風ト爲リ氣溫低下スルモ天氣概ネ良好ナリ。
14. 夏季高氣壓本洲ヲ蔽フトキハ氣溫上昇シ、冬季北海道ヲ蔽フトキハ寒氣嚴シ。
15. 西海岸ハ海陸風顯著ナリ。

氣象通報規程

氣象通報=關スル諸規程ハ水路誌附録第7卷=記載シアリ。

潮汐及潮流

北海道南岸ハ第22頁、同東岸ハ第82頁、同北岸ハ第93頁、同西岸ハ第109頁及第110頁=就テ各之ヲ見ルベシ、津輕海峽、根室海峽及宗谷海峽=於ケルモノハ各其ノ一般記中=掲ゲアリ。

海流 (日本近海ノ氣象海流圖參照)

對馬海流

夏季日本海ノ南東側本洲沿岸沖合ヲ北上シタル對馬海流ハ津輕海峽ノ西方=達シ一枝ヲ津輕海峽=出シ他ハ本島西岸=沿ヒ神威岬=達シ尙北上シテ宗谷海峽西方=至ル、此處=テ2枝=岐レーハ樺太西岸沖合ヲ北上シ他ハ宗谷海峽=入ル、流速ハ概ネ0.5節以下ナルモ處=依リ1節以上ノ海流ヲ見ルコトアリ。

津輕海峽ヲ出デタル海流ハ海峽東方海區=暖水ヲ湛ヘ其ノ一部ハ本洲東岸=沿ヒテ南流ト爲リ一部ハ襟裳岬南西方=達シ親潮=合シテ室蘭沖合=向ヒ還流ス、宗谷海峽ヲ出デタル海流ハ宗谷海流ト名ケラレ本島北岸ヲ沿流

シ知床岬=至リ一部ハ「オホツク」海=轉向シ他ノ一部ハ根室海峽及國後水道=入ル。

冬季暖流ハ夏季=比シ著シク微弱ナルモ尙宗谷海峽=達スルモノノ如シ。

親潮 夏季千島列島東側ヲ南下シ來ル親潮ハ本島南岸沖合ヲ西流シ襟裳岬=達シ津輕海峽ヨリ出デ來ル暖水=會シ南方=轉向ス、其ノ流速概ネ 1 節以下ナルモ沿岸至近ニテハ 1 節以上ノ處アリ。

冬季親潮ハ夏季=比シ其ノ流域ヲ擴大シ流速モ亦稍大ナルガ如シ。

海 氷

本誌=於テ海水ト稱スルモノハ沿岸=於ケル結氷竝=其ノ破碎シテ漂流スル流氷ノ 2 者ナリ。

結氷 北海道ノ北岸及東岸ハ冬季概ネ結氷ス、特=根室海峽ハ 12 月=至レバ沿濱ヨリ遠距離間結氷ス、南岸=於テハ納沙布埼ヨリ釧路、十勝兩國沿岸附近迄結氷アルモ襟裳岬以西ノ沿岸ニテハ僅=港灣内濱ノ淺處=薄氷ヲ見ル程度=過ギズ但シ室蘭港=於テハ昭和 2 年 1 月下旬舊高架棧橋附近ヨリ祝津町附近迄港内約 1/3 強=互リ一面=凍結シ交通荷役共=不可能ト爲リシコトアリシモ斯克ノ如キハ 20 年來曾テ見ザリシ現象ナリト謂フ、西岸=於テハ稚内港ノ結氷スルコトアリ、利尻島附近ヨリ南方ノ沿岸=於テハ結氷ト稱スル程ノモノアラザルヲ例トス。

流氷 此ノ方面=襲來スル流氷ハ北氷洋上ノ氷山トハ全ク趣ヲ異ニシ形概ネ扁平ニシテ沼池上面ノ凍結セルモノト異ルコトナシ、稀ニ凹凸丈餘ノ高サヲ有スルモノアリト雖モ此等ハ氷塊ノ漂流中海水ト降雪トノ附著凍結セルモノガ重疊相集マリテ漸次容積ヲ増セルモノノ連續セルモノナリ、殊=氷塊中ニハ往々沙泥ヲ附著セルモノアルヲ以テ見ルモ初メ北見、根室釧路諸國海岸ノ凍結スルガ如ク「オホツク」海ノ北西沿岸=於テ生ジタル

氷塊ガ溫度ノ變化=因リ龜裂分離シ海流ト風ト=依リ襲來スルモノナルヤ明ナリ。

流氷ノ經路ヲ案ズル=最初樺太北部ノ東岸=起リ海流ト風ト=依リ漸次南下シテ宗谷海峽=至リ 2 派=分レ一ハ南西方=流レテ利尻島附近=至リ消滅スルモノノ如ク、他ハ同海峽ヨリ北見國海岸=沿ヒテ南東方=流レ知床岬ヲ回リテ直=根室近海=至ルモノト國後島北西岸=沿ヒ擇捉島方面=至リ附近ノ水道ヲ通過シテ太平洋=流出スルモノトノ 2 ト爲ル、後者ノ一部ハ親潮=依リテ來レル流氷ト合シテ再ビ國後、擇捉兩島ノ南東岸=沿ヒテ西流シ根室近海=入リテ前者ト合シ更=納沙布埼ヲ迂回シテ直=太平洋=去ルモ尙其ノ一部ハ親潮=依リテ釧路、十勝兩國ノ海岸=沿ヒ遙=襟裳岬附近=至リテ消滅スルモノノ如シ。

流氷襲來ノ原因タル海流ト風トノ内ニテ風ハ其ノ漂來ヲ速ナラシムルコト殊=著シキヲ見ル、蓋シ冬季ノ氣壓配置ハ其ノ高壓部ヲ「アジア」大陸=、低壓部ヲ北海道東岸沖合=生ジ氣壓傾度ハ四季中最モ急峻ニシテ風勢頗ル強ク殊=北至西方ノ風流行スルヲ例トス、北海道東岸ヲ侵ス流氷ハ乃チ此ノ風=乘ジテ疾來スルモノニシテ其ノ海流=依ルモノニ至リテハ概ネ徐々トシテ去來シ前者ノ如ク甚ダ急遽ナラズ。

流氷去來ノ風向 各地=於ケル流氷去來ノ風向ヲ掲グレバ次ノ如シ。

地 名	流 氷 ノ 來 ル 風 向			流 氷 ノ 去 ル 風 向		
宗 谷 岬	N	至	E	S		
枝 幸	N	至	SE	S	又ハ	SW
紋 別	NE			W	又ハ	SW
網 走	N	NW	W	S	SW	

地 名	流 氷 ノ 來 ル 風 向			流 氷 ノ 去 ル 風 向		
斜 里	N	NW	W	S	SW	
野 付	SE	N	NE	NW	S	W
根 室	N	又ハ	NW	S	又ハ	SW
濱 中	E	SE		NW		
厚 岸	E	SE	E	NW		

即チ宗谷岬ヨリ枝幸、紋別地方ニ至ル間ハ多ク北至東ノ風ヲ以テ流來シ南至西ノ風ニ依リ流レ去リ、網走ヨリ根室ニ至ル地方ハ主トシテ北至西ノ風ニテ來リ南至南西ノ風ニテ去ルヲ例トスルモ濱中、厚岸等太平洋岸地方ニ於テハ前二者ト全ク相反シ東至南ノ風ニテ來リ北西至南西ノ風ニテ去ル。

流氷去來ノ始終期 宗谷岬ヨリ紋別港迄ノ間ニ於ケル海氷襲來季節ハ年ニ依リ遲速アリ、殊ニ12月ニ於ケル氣温ノ高低ハ流氷襲來ノ遲速ニ關係スルコト大ナリト雖モ概ネ1月上旬ニ始リ4月下旬若ハ5月上旬ニ終ル、流氷ノ形體ハ一樣ナラズ最初ニ來ルモノハ概ネ薄氷ノ小塊ナレドモ3月下旬頃ニ至レバ著シク巨大ト爲リ往々水面上ニ露出スル部分ハ高サ1.5米ニ達スルモノアリト謂フ。

網走沿岸ニ於ケル21年間ノ統計ヲ見ルニ流氷ノ始期ハ平均1月15日(最モ早キハ1月3日)ニシテ終期ハ4月13日(最モ晚キハ5月8日)ナリ。某艦ハ昭和2年2月14日北見國沖合ニ於テ氷原膠著ヨリ脱スル爲氷錨鉤置ノ穴ヲ掘穿セシニ厚サ0.6米餘ノ氷層3段ニ相重ナリ而モ層々凍結凝著シテ全ク一體ト爲リ其ノ厚サ約1.8米ニ達セルヲ驗セリ。

軍艦武藏ハ大正3年4月28日大泊ヲ發シ根室ニ向フ途中枝幸港ヨリ知床岬ニ互ル一面ノ大流氷原ニ會シ氷塊巨大ナルモノハ厚サ6米ヲ超ユルモノ

ヲ見タリ、4月下旬此ノ沿岸ニ流氷ヲ見ルハ稀有ノコトニ屬スト雖モ當時ノ經驗ニ依レバ同季節頃知床岬ヨリ「オホツク」海南西部ヲ横斷スルハ不可能ニシテ沖合ハ一帶ニ流氷ノ漂蕩スルモノアルヲ推知シ得ベシ。

然レドモ同時期以後ニ於テモ現ニ燈臺視察船羅州丸ノ如キ大正15年5月24日北見國沖合神威岬ノ89度14湮ニ於テ廣袤數湮、其ノ氷塊ノ大ナルモノハ高サ約3米餘、15米平方内外ニモ及ブ一大氷原ニ出會セル異例アリ。

根室海峽ニ於テ流氷ノ顧慮ナキ航海期ハ通例5月上旬ヨリ10月下旬迄トス、根室港附近ノ流氷ハ概ネ北方ヨリ漂來シ結氷ト共ニ連續スルヲ常トス、其ノ流氷ノ始期ハ2月上旬ニシテ終期ハ3月下旬ヲ普通トスレドモ時トシテ4月中旬迄及ブコトアリ。

納沙布崎以南襟裳岬ニ至ル間ハ大體根室港附近ト同様ノ期間沖合一帶ニ流氷散在シ就中瑤瑤水道ハ流氷ノ去來最モ頻繁ニシテ屢凍結シテ水道ヲ封鎖スルコトアリ。

釧路、十勝兩國沿岸ハ1月中旬ヨリ2月上旬ニ於テ既ニ流氷來襲シ且廣大ナル區域ニ互ルヲ以テ船舶ハ屢航路ヲ阻碍セラル、其ノ氷塊ノ巨大ナルモノニ在リテハ面積約2平方湮ニ達シ水面上ノ高サ約7.3米ニ及ビ常ニ東方ヨリ徐々ニ浮流シ來リ漸次風潮ノ爲陸岸ニ接近ス、茲ニ於テ沿岸ハ所々薄氷ヲ結ビ際涯ナキ氷原ト化スルコトアリ、其ノ流去期ハ概シテ3月下旬頃ニシテ暖氣ノ爲漸次小塊ト爲リ東方又ハ南方ニ消滅ス。

氷原航行中ノ注意 氷原航行中ノ諸注意ヲ列舉スレバ次ノ如シ。

- (1) 檣上見張ハ唯一ノ「パイロット」ナリ、之ニ頼リ氷原中ノ比較的脆弱部ヲ求メ又裂目ヲ辿リテ縫航スルヲ最モ賢明安易ナリトス、檣上見張員少シク慣ルレバ氷狀氷色ヲ識別シテ適當ナル航路ヲ指示シ得

ベキモ橋上ハ特ニ暖房装置ヲ設ケザレバ如何ニ防寒具ヲ用フルモ風雪膚ヲ刺シ五寒骨ニ徹シ多大ノ勞苦ヲ免レズ。

- (2) 碎氷船等ニ於テ堅氷航行中氷上ニ海豹ノ散在シ又ハ群集スルヲ認メ之ニ向ヘバ水中ニ逃入スルヲ常トス、故ニ海豹ノアル所必ズ薄氷部ニ非ザレバ無氷罅裂部ノ存スルモノナルヲ知り得ベシ。
- (3) 一般船舶ノ氷原航行ハ必要ニ際シ全ク不可能ニ非ザルベキモ屢之ガ航過ヲ敢テスルトキハ必ズ船體ニ多少ノ損傷ヲ蒙ルヲ免レズ、其ノ最モ損傷シ易キハ推進器翼ニシテ前進ノ際之ニ障害ナキ氷塊モ後進ニハ渦ヲ生ズル爲撞觸シ易シ又大氷塊ハ進行惰力ニ依リ破碎セラルルコトアリト雖モ船體構造上特別ノ装置ナキ限り必ズ外板ヲ毀傷シ或ハ鉸釘ヲ弛緩スルニ至ル。

無線方位信號所

北海道本島ニ在ル無線方位信號所次ノ如シ(水路誌附録第8卷參照)。

無線羅針局

惠山岬、襟裳岬、宗谷岬、福山。

無線識標局

久根別(運輸省)、函館(運輸省)、函館、惠山岬、襟裳岬、落石、鬼志別(運輸省)、宗谷岬、稚内(運輸省)、福山。

無線電信電話局所

無線電信局、放送用私設無線電話局、無線電信及放送無線電話ニ依ル氣象通報、無線電信ニ依ル航行警報竝ニ緊急水路告示放送、放送無線電話ニ依ル緊急水路告示竝ニ航路標識ニ關スル放送等ニ關シテハ水路誌附録第6卷及第8卷參照ヲ要ス。

無線電信局

北海道本島ニ於ケル無線電信海岸局名次ノ如シ。

函館、落石、稚内。

放送局

北海道本島ニ於ケル放送用私設無線電話局次ノ如シ。

函館放送局、旭川放送局、帶廣放送局、釧路放送局、札幌中央放送局。

航行警報竝ニ水路告示放送

東京中央電信局及逓信省所管無線電信海

岸局ハ水路告示中緊急ヲ要スル事項アルトキハ邦文又ハ英文ニテ又船舶航行上ノ危險警戒ニ必要ナル事項ノ通報ヲ受ケ或ハ自局之ヲ認識シタルトキハ之ヲ自局通信圏内ニ在ル各船舶ヘ無線電信ヲ以テ放送ス。

東京中央放送局ニ於テハ放送無線電話ニ依リ定刻緊急水路告示中必要アル事項ヲ運輸省發表水路部公示事項トシテ放送シ内地各放送局ニ於テ之ヲ中繼放送ス。

航路標識ニ關スル放送

運輸省燈臺局所管ノ航路標識新設、改廢、異

變等一般船舶ノ航行保安上注意ヲ要スベキ緊急事項ハ前記水路告示中緊急ヲ要スル事項ト同様東京中央電信局等ヨリ無線電信ニ依リ放送セララルモ其ノ中ノ必要ナルモノハ運輸省公示事項トシテ定刻水路部公示事項ト共ニ東京中央放送局ヨリ放送無線電話ニ依リ放送シ内地各放送局ニ於テ之ヲ中繼放送ス。

氣象通報

東京中央放送局ニ於テハ放送無線電話ニ依リ毎日數回定刻

氣象通報ヲ放送シ、内地各放送局ニ於テ之ヲ(地方天氣豫報ノ外)中繼放送ス。

標準時

標準時ハ中央標準時(東經135度ノ子午線ニ於ケル平時即チ綠威平時ヨリ

早キコト9時0分0秒)ヲ使用ス。

檢 疫

本区域内ニ於ケル港灣ハ何レモ檢疫所常設海港ニハ非ザルモ内務省告示ヲ以テ函館港ニハ臨時海港檢疫所ヲ又小樽港ニハ同所出張所ヲ設ケ檢疫ノ施行ヲ指定ス、尙詳細ニ關シテハ水路誌附録第1卷所載ノ海港檢疫法、同施行規則等ヲ參照スベシ。

第 2 編

津輕海峽及北海道南岸

本編ニハ津輕海峽ノ一般記事ト北海道南岸即チ渡島國白神岬ヨリ根室國納沙布埼ニ至ル間ノ沿岸記事トヲ収録ス。

北海道南岸ハ概ネ大彎曲ヲ成シテ大部分太平洋ニ面シ内浦灣〔膽振灣〕ト稱スル大灣アル外彎入ニ乏シク其ノ略中央ニ於テ襟裳岬斗出ス。

潮汐

津輕海峽ノ潮汐ニ就テハ第22頁ヲ見ルベシ。

津輕海峽ニ臨メル區域以外ノ北海道南岸ニ於テハ日潮不等稍著シク春秋ノ小潮期ニハ1日1回潮ト爲ルコトアリ。一般ニ潮時ノ不等ハ高潮ニ稍大ニ、潮高ノ不等ハ低潮ニ著シク大ナリ、而シテ高キ高潮ノ次ニ低キ低潮ト爲リ此ノ低キ低潮ハ春季ニハ午後ニ、夏季ニハ晝間ニ、秋季ニハ午前ニ、冬季ニハ夜間ニ起ルヲ常トス。

平均高潮間隙ハ3.5—4時、大潮升ハ一般ニ1.2—1.4米ナルモ内浦灣ニ於テハ稍大ニシテ1.6米ニ達スル所アリ。

平均水面ハ4月最低、12月最高ト爲ルモ其ノ差ハ小ニシテ東部ニ於テハ0.2米ニ達セズ。

潮流

津輕海峽ノ海潮流ニ就テハ第22頁ヲ見ルベシ。

津輕海峽ニ臨メル區域以外ノ北海道南岸ニ於ケル漲潮流ハ一般ニ所ニ依リテ海岸ニ沿ヒテ西方ニ流ルルカ又ハ陸岸ニ向ツテ流レ落潮流ハ之ニ反シ略高低潮時ニ轉流スルモ流速微弱ニシテ海流ノ影響ヲ受クルコト大ナリ。

津輕海峽

津輕海峽ハ本洲ト北海道トヲ分隔シ日本海ト太平洋トノ間ノ通路ヲ成ス、青森縣尻矢崎ト渡島國惠山岬トヲ連結スル線ヲ東口トシ同ジク青森縣龍飛崎ト渡島國白神岬トヲ連結スル線ヲ西口トシ、略東西ノ方向ニ互リ長サ約50 哩、其ノ幅西口及青森縣大間崎ト渡島國汐首岬トノ間ニ於テ最モ狭ク各10 哩ナレドモ中間ハ廣ク約30 哩ニ達ス。

ヤマセ 津輕海峽附近ニ於テ「ヤマセ」ト通稱スル偏東風アリ、主ニ日本海ヲ北東ニ通過スル低氣壓ニ基因シ往々突如トシテ起リ其ノ力激シク雨雪ヲ伴ヒ航海者ヲシテ困難ヲ感ゼシム、小船ニ在リテハ殊ニ然リトス、今函館測候所及古老ノ漁夫船員等ニ就キ調査シタル結果ヲ擧グレバ下ノ如シ。

「ヤマセ」即チ偏東風ハ之ヲ細別スレバ東南東風(東ヤマセ)、南東風(ヤマセ)、南南東風(南ヤマセ)ニシテ春夏ハ其ノ力猛烈ナラズ、秋冬ハ最モ猛烈且急激ナリ、10年間ニ互ル觀測ノ結果ニ依レバ「ヤマセ」ハ12月ニ於テ最モ強クシテ風速15米/秒ニ至ルコトアレドモ3—7米/秒ノモノ最モ多ク其ノ回数ハ次表ニ於テ見ルガ如ク最モ多キハ夏季ニシテ10回ニ及ビ最少ハ冬季ニシテ1—2回ニ過ギズ。

月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均回数	1	5	6	7	7	9	9	10	7	8	3	2

其ノ1日中ノ吹續時間ハ冬春ニ短ク夏秋ニ長シ、今函館測候所5箇年間觀測ノ結果ニ依レバ春約19時間、夏約22時間、秋約25時間、冬約14時間ナリ、又其ノ連吹スル日數等ニ就キ古老ノ謂フ處ニ從ヘバ次ノ如シ。

「ヤマセ」ノ吹ク時間ハ春夏ノ交ハ1週間位連吹スルコトアレドモ其ノ力至ツテ弱ク又5月至7月頃ハ微弱ナル「ヤマセ」ノ最モ多ク吹ク時期ナリトス、冬季間ノモノハ1晝夜内外、秋季間ノモノハ2晝夜内外吹クヲ常トス。

「ヤマセ」ハ常ニ多少ノ雨雪ヲ伴フモノノ如シ、是蓋シ海上ヨリ來ル溫濕風ナルガ爲ナルベシ、冬季ト雖モ「ヤマセ」ノ吹クトキハ溫暖ヲ感ジ又濕氣ヲ覺ユ、從ツテ「ヤマセ」ニ伴フ所ノ雪片ハ大ニシテ水氣ヲ含有スルヲ以テ數分時ニシテ數糶ノ深サニ達スルコトアリ、爲ニ航海者ヲシテ困難ヲ感ゼシム、雨最モ少キ冬季ニ於テモ「ヤマセ」吹カバ之ニ伴ヒテ降雨ト爲ルコトアリ。

「ヤマセ」ノ前兆トシテ認ムベキモノハ吹ノ如シ。

1. 海水ノ透明ナルトキ。
2. 風ニシテ波音ノ高ク聞ユルトキ。
3. 日及月ニ暈アルトキ。
4. 日出ノ際太陽赤ク其ノ下ニ雲ナキトキ。
5. 東方ニ「ボタ」雲(ボタリボタリト散在スル暗黑色ノ雲)ノ集積スルトキ。
6. 海上ニ鯨多ク浮ブトキ。
7. 各岬端ノ比較的鮮明ニ近ク見ユルトキ。
8. 海峽ニ於ケル潮流ノ強大ナルトキ(流速平常ヨリ2—3節ヲ増加スト謂フ)。

「ヤマセ」ハ通例北ヨリ次第ニ東方ニ移リ漸次南方ニ變ズルモノニシテ其ノ風向ノ變化速ナルモノハ概シテ猛烈ナリ、陰雲漸次滿天ヲ蔽フモノハ餘リ強カラズ、斷雲多ク急ニ南東方ニ暗黒ノ密雲現ハルルモノハ最モ猛烈ナル

「ヤマセ」ト知ルベシ。

古老漁夫ノ經驗ニ依レバ月齡ノ0日、14日、19日、27日ハ概ネ「ヤマセ」吹クモノト心得警戒スベキ日ナリ、冬季ノ「ヤマセ」ハ風力强キ割合ニ波少シ、秋季ノモノハ風力强ク波浪モ亦強烈ナリ、「ヤマセ」ノ吹き荒ム區域ハ東方ハ襟裳岬沖數十哩ノ處ヨリ始リ、西方ハ白神岬ニ至ル間最モ強ク殊ニ海峽ハ之ガ中心ナリ、夜間「ヤマセ」ノ來襲スル時期ハ殆ド概ネ月出時ナリ故ニ月出時前後1—2時間中ニ強風起ラザレバ翌朝日出時迄平穩ト心得テ可ナリト謂フ。

潮汐

津輕海峽ニ於テ日潮不等ハ他ノ北海道南岸ニ於ケルヨリモ稍小ナルモ稀ニ1日1回潮ト爲ルコトアリ、海峽北濱ニ於テハ高低潮共ニ略相等シキ潮時及潮高ノ不等アリ、高キ高潮ノ次ニ低キ低潮ト爲ル、而シテ此ノ高キ高潮ハ一般ニ春夏ニハ午前ニ、秋季ニハ午後ニ起ルヲ常トス。平均高潮間隙ハ4—4.5時 大潮升ハ西部ノ約0.6米ヨリ東部ノ約1.3米迄増加ス。

平均水面ハ3月最低、8月最高ニシテ其ノ差0.3米ニ達ス。

海流及潮流

津輕海峽ノ兩端即チ日本海側及太平洋側ニ於ケル潮汐ハ著シク異リ同海峽ニ相當顯著ナル潮流ヲ生ジ又日本海ノ東側ヲ北東流スル對馬海流ハ津輕海峽西口外側附近ニテ分岐シ其ノ支流ハ同海峽ヲ東流シテ太平洋ニ出ヅルヲ以テ津輕海峽ノ流ハ潮流ト海流トノ合成セルモノナリ、然レドモ大勢ハ殆ド海流ニ支配セラレ潮時ニ依リテ流速ニ強弱アルノミニシテ本流ハ海峽ノ中央線ニ沿ヒテ流レ沿岸附近ニハ反流ヲ生ズ。

本流 本流區域ノ幅ハ流ノ強弱ニ依リテ多少伸縮ス、而シテ白神岬ト龍飛崎トノ一線及汐首岬ト大間崎トノ一線ハ流ノ最強所ニシテ最強流速6節ヲ超ユルコトアリ、日潮不等アル場合ノ潮流ハ規則正シキ1日2回潮ノ

場合ヨリモ流速大ニシテ附流ハ1日ニ1回轉流スルニ過ギザルコト多ク只太陰ガ赤道附近ニ在ル頃(毎月2回)數日間ハ1日ニ4回流向ヲ轉ズ、但シ實際ニハ海峽ヲ通ジテ西ヨリ東ニ流ルル海流ハ一般ニ潮流ヨリモ流速大ニシテ海水ハ殆ド常ニ東流シ流速ハ1日ニ1回ノ最強ト1回ノ最弱トアリ、太陰ガ赤道附近ニ在ル頃ニノミ1日ニ2回ノ最強ト2回ノ最弱トヲ見ル、又稀ニ短時間西流ヲ見ルコトアリ、海流及潮流ノ合成流ノ毎日ノ最強及最弱ノ概略時刻及毎日ノ概略流速ハ潮汐表潮信ノ部ニ依リテ求メ得ベシ。

尙本流ハ日本海或ハ太平洋北部海面ノ氣象ノ間接ノ影響及海峽内ノ氣象ノ直接影響ニ左右セララルルコト甚シク偏東風連吹スルトキハ流勢減退シ偏西風連吹スルトキハ流速増加スルモ其ノ影響1節ニ達スルコト稀ナリ、又季節ニ依ル海流ノ消長ニ依リテモ流速ニ變化ヲ來シ流勢ハ一般ニ冬季ニ弱ク夏季ニ強キ傾向アリ。

環流 本流ト環流トノ境界ハ劃然タルモノニ非ズシテ本流流勢ノ強弱及潮時ニ依リテ其ノ範圍及流向流速ノ變化大ナリ、尙各區域毎ニ分明セル狀況ヲ記述スレバ次ノ如シ。

1. 白神岬矢越岬間ニ在ル環流ハ本流流勢ノ微弱ナルトキハ顯著ナラザルモ本流強勢時ニハ沿岸ニ相當ノ西流ヲ生ズ。
2. 矢越岬ト氣無山トノ一線以北ノ環流區域ハ本流弱勢時ニハ範圍擴大シ矢越岬沖合ニ南流ヲ起シ他ノ大區域ニ互リテ向岸流ヲ生ズ、本流強勢時ニハ範圍縮小シ微弱ナル環流ヲ起ス、又冬季ニハ沿岸ニ顯著ナル西流ヲ生ズ。
3. 汐首岬惠山岬間ノ沖合ニハ汐目アリ、環流區域ノ境界分明ニシテ沿岸ノ西流ハ寒流分派ノ影響ニ依リ消長ス。
4. 龍飛崎ト大間崎トノ一線以南ノ環流區域ハ本流弱勢時ニ範圍縮小シ龍

飛崎鷹野崎間ノ沿岸ニ西流ヲ生ジ流勢微弱ナル大環流ヲ起ス、本流強勢時ニハ範圍擴大シ鷹野崎沖ヲ界トシテ大體2箇ノ環流ヲ形成シ大間崎福浦崎間ノ沿岸ニ南流ヲ生ジ又龍飛崎鷹野崎間沿岸ノ西流ハ殊ニ強大ト爲リ時ニ3節ニ達スルコトアリ、環流中央部ハ大區域ニ亙リテ流向不定ナリ。

5. 平館海峽ニ於ケル流ハ潮流ニシテ流速概シテ強カラズ、最強流時ニ明神崎ト大崎トノ一線ニ於テ0.5節ニシテ陸奥海灣ニ入ルニ從ヒ減少シ0.3節ト爲ル、同海峽中央部以東大崎ニ至ル間ハ漲落兩流ヲ生ズルモ平館海峽ハ常ニ向岸流或ハ北流ヲ見ル。
6. 大間崎ト尻矢崎トノ一線以南ノ區域ニ於ケル流向流速ハ著シク不定ニシテ大畑沖合本流迄ニハ3段位ノ汐目ヲ見ルヲ普通トシ其ノ汐目ヲ界トシテ流向ヲ異ニスルコト多シ、大間崎燒山崎間ニハ普通小環流ヲ形成ス。
7. 尻矢崎附近ハ流狀ノ變化大ニシテ之ヲ詳ニスルヲ得ズ、同崎ヨリ惠山岬ヲ連ナル線以西ハ反流區域ヲ成シ西流スルモ以東ハ常ニ東流スルモノノ如シ。

針路法

本海峽ハ船舶通航路附近ニハ危險物ナク且諸處ニ燈臺ノ設備アルヲ以テ視界良好ナルニ於テハ晝夜共通峽容易ナリ、然レドモ一旦夏季ノ濃霧冬季ノ風雪ニ會スルトキハ無線羅針局及無線標識局ノ實現ヲ見タル今日ニ在リテハ昔日ノ比ニ非ズト雖モ海流及潮流ノ複雑ナル合成流ニ基ク船位ノ不確實ニ對スル不安ト他船トノ衝突回避ニ對スル焦慮ト相俟テ航行者ヲ惱マスコト大ナリ。

採ルベキ航路ハ東航ニハ本流區域ヲ又視界良好ナルトキノ西航ニハ環流區域ヲ航行スルヲ以テ主眼トスベシ、視界不良ナルトキノ通峽ニ際シ第1ノ

注意ハ東口又ハ西口ニ於テ船位不確實ナル起點ヨリ發動進入セザルコトナリトス、而シテ海峽水深ノ變化、特ニ200米等深線ノ形狀錘測航行ニ適スルヲ利用シ測深ヲ勵行シ船位ノ推測ヲ怠ルベカラズ、海峽北濱ハ本邦近海中海難事故ノ最モ多キ地方ニシテ其ノ原因ノ大部分ハ濃霧又ハ風雪ノ際測深ヲ行ハザリシガ爲ナルヲ見ルハ大ニ戒心ヲ要スル所ナリ。

尙各航路ニ就キ參考ト爲ルベキ記事ヲ擧グレバ次ノ如シ。

1. 西口南部、函館港（陸奥海灣）間ノ航路 近海航路誌第209及第157参照。
2. 西口北部、函館港（陸奥海灣）間ノ航路 近海航路誌第201参照。
3. 東口北部、函館港（陸奥海灣）間ノ航路 近海航路誌第205参照。
4. 東口南部ヨリ陸奥海灣ニ至ル航路 近海航路誌第2参照。
5. 東口南部ヨリ函館港ニ至ル航路 近海航路誌第1参照。
6. 函館港（陸奥海灣）ヨリ東口南部ニ至ル航路 近海航路誌第207参照。
7. 西口南部、東口南部間ノ航路 近海航路誌第9参照。
8. 西口南部ヨリ東口北部ニ至ル航路 近海航路誌第252参照。
9. 西口北部、東口南部間ノ航路 近海航路誌第6参照。
10. 西口北部ヨリ東口北部ニ至ル航路 白神岬ヲ3哩以上離シ汐首岬ニ正向スレバ略海峽中央部ヲ本流ニ乗ジテ航行スルコトヲ得ベク大間崎通過後適宜惠山岬沖ニ向フベシ、航路選定上特ニ留意スベキハ左右ノ偏倚ヲ成ルベク減少スルニ在リ、本航路ハ西口ニ於テ起點ヲ測定スレバ其ノ後ハ錘測法ヲ利用シテ船位ヲ驗シ霧中ニ於テモ略豫期ノ線上ヲ航行スルコトヲ得ベシ。
11. 東口北部ヨリ西口北部ニ至ル航路 惠山岬至汐首岬間ハ距岸3哩

内外ヲ航行シ成ルベク本流ヲ避ケ反流ニ乗ジテ汐首岬南東方ニ達シ爾後努メテ本流區域北縁以北ヲ航行シテ矢越岬ニ達シ同岬及白神岬ヲ距岸3哩以内トシ白神岬ヨリ充分西方ニ出デタル後辨天島ト小島トノ中央ニ向フベシ。

密濛ナル天氣ニハ海峽中央部200米等深線内ヲ航行シ流壓ヲ首尾線上ニ受クルコトニ注意シ努メテ左右ノ偏倚ヲ少カラシムルヲ要スルト共ニ測深ヲ勵行シ船位ヲ驗スルコトヲ怠ルベカラズ。

12. 東口南部ヨリ西口南部ニ至ル航路 上記11ノ如クニシテ汐首岬南東方ニ達シ之ヨリ流壓ヲ考慮シ本流ヲ斜斷シツツ大間崎北西方約3哩ニ到リ爾後龍飛埼燈臺ヲ230度ニ正向シ同燈臺ノ手前5—6哩ノ點ニテ正西ニ變針シテ西口ヲ出ヅベシ、密濛ナル天氣ノ場合ハ上記11ニ同ジ。

13. 函館港ヨリ陸奥海灣ニ至ル航路 海峽ニ於ケル海流及潮流ノ合成流複雑ナルヲ以テ風候、潮時、天候等ヲ考慮シ適當ナル航路ヲ選定スルヲ可トス、次ニ參考ノ爲嘗テ鐵道省無線標識局未設置時代總噸數約3,500噸速力15節ノ同省青森函館間連絡船ガ執リシ常用航路及其ノ經驗セル處ヲ記ス、但シ本航路ハ無風若ハ偏西微風ノ場合ニ於ケルモノヲ示スモノトス。

函館港防波堤燈臺ヲ約400米離シテ之ヲ繞航シ218度ニ定針シ矢越岬ヲ正首目標トス、穴瀨岬ニ竝行スル地點ヨリ當時ノ風壓及流程ヲ考慮シ平館燈臺ノ東方約2哩ノ處ヲ通過スル如ク針路ヲ定ム、通例速力15節ノ場合此ノ間ニ於ケル東壓ヲ1.5哩ト見レバ大過ナキガ如シ、而シテ白神岬ト矢越岬トノ一線以北及龍飛埼ト大間崎トノ一線以南ニ於テハ大ナル偏位ナキガ如ク前記2線間ナル海峽中央部ニ於ケル10—15

哩ノ航路上ニテハ偏東方ノ流壓ヲ受クルヲ常トス。下記14ノ復航時ニ存スル葛登支岬燈臺南方ノ偏西流ハ南航ノ場合ニハ函館半島ニ接近スルヲ以テ殆ド之ヲ見ルコトナシ。

平館燈臺ヲ距岸1哩内外ニテ通過シタルトキ同燈臺以北5—10哩間ニ於テ相當強キ偏西流ヲ驗シタルコトアリ、又同燈臺ヨリ北方5哩以内ニ於テハ潮流ヲ感ズル場合アリ、平館燈臺ヲ2哩以上ノ距離ヲ以テ通過スルトキハ同燈臺以北ニ於テ偏南流ヲ見ルコトアルモ偏西流ヲ感ズルコトナキモノノ如シ。

14. 陸奥海灣ヨリ函館港ニ至ル航路 次記ノ航路ハ前掲連絡船ガ常用セシモノナリ。

平館燈臺ヲ約1哩ノ距離ニ通過シタル後葛登支岬燈臺ヲ正首ニ見ル如ク流壓ヲ考慮シ針路ヲ定ムルヲ常トス、是往復ノ兩航路ヲ東西ニ離シ霧中衝突ノ危懼ヲ少カラシメンガ爲ナリ、而シテ青森港口ヨリ45哩ノ地點ニ於テ1點右方ニ變針シ函館ニ向フ、濃霧中ニ於テハ下記偏西流ニ注意シ36米等深線ニ達スルモ尙地物ヲ認メ得ザル場合ニハ一旦投錨假泊シテ霧ノ消散ヲ待ツヲ例トス。

葛登支岬燈臺ノ南方約5—10哩間ニ於テ時々偏西流ヲ驗スルコトアリ、此ノ偏西流ハ一般ニ燈臺ノ南方附近ニ於テ濃霧又ハ降雪中減速、停止測深ノ際屢實驗スル所ニシテ流速相當ニ強キモノノ如シ。

津輕海峽北濱

北海道南岸中其ノ西端部タル白神岬至惠山岬間ノミハ太平洋ニ面セス津輕北海ノ北濱ヲ成シテ本洲北岸ト相對ス。

津輕海峽北濱中白神岬ヨリ葛登支岬ニ至ル間ノ沿岸ハ其ノ中央部ニ於テ弓形開灣ヲ成セル木古内灣アル外著シキ屈曲ナキモ吉岡、福島、涌元、木古

内等ノ諸錨地アリ、何レモ小形船舶ノ錨泊ニ適ス。葛登支岬ヨリ函館半島南端ニ至ル間ノ彎入ハ即チ函館灣ニシテ其ノ東側ニ函館港アリ、函館半島ヨリ汐首岬ニ至ル間ノ沿岸ハ殆ド沙濱ニシテ其ノ外方ニハ干出石岩若ハ暗岩アリ、小舟ト雖モ近寄ルコト困難ナリ、其ノ内湯川以東ノ海岸ハ高サ60米以下ノ臺形地ヲ成ス。汐首岬ヨリ惠山岬ニ至ル間ハ帆船避泊地ノ外泊地ト稱スベキ程ノモノナシ。

白神岬 北海道ノ最南端ニシテ松前灣ノ東端ヲ成シ兼テ津輕海峽西口ノ北端ヲ成セル高キ險崖岬ナリ、岬上小丘突起シ高サ179米アリ。岬ノ内方2.3 軒ニ白神岳アリ、高サ352米、陸地測量部1等三角點設標アリテ顯著ナリ。

岬ノ兩側約1 哩ノ海岸ハ距岸約3 鏈間數多ノ岩石散布シ且岬ノ附近ハ潮流強キガ故ニ距岬4 鏈以上ノ處ヲ航行スルヲ可トス。西風強吹スルトキハ岬附近ニ高浪起ルモ小距離ニ止マルヲ例トス。

白神岬燈臺 白神岬上ニ在リ、高サ19 米ノ黑白横線塗六角形鐵造ニシテ燈高37 米。

本燈臺ニ於テ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ、但シ夜間ハ之ヲ取扱ハズ。

霧信號 白神岬燈臺ニ霧笛アリ、毎65 秒ニ1 回吹鳴ス（吹鳴5 秒、休止60 秒）

吉岡港（海圖32 分圖） 白神岬ノ北東方約3.5 哩ニ於テ石陂ノ間ニ在リ、狹隘ニシテ水深5 米内外、底質細沙、南ヨリ西ヲ經テ北ニ至ル間ノ風ヲ防ギ、尙南方石陂間ニハ水深2 米ノ船入澗ヲ有スルヲ以テ小形船舶ノ錨地ニ適ス。船入澗及荷揚場使用料徵收條例ニ就テハ水路誌附録第2 卷ヲ見ルベシ。

福島錨地（海圖32 分圖） 吉岡港ノ北東方約1.5 哩ノ海岸ヨリ擴延スル最小水深2.7 米ノ暗礁辨慶磯ヲ南西隅トシテ之ヨリ北東方ニ連亘スルー

帶ノ泊地ヲ福島錨地ト稱ス、偏南風時ニハ風潮相鬪フヲ以テ濱岸ニ近ク投錨セザルヲ要ス、定置セル漁網ニ會スルコトアルヲ以テ夜間ノ入泊ハ成ルベク避クルヲ可トス、此ノ錨地ハ津輕海峽西口ヨリ入り來ル南西方ノ「ウネリ」相當高キコトアリ、最好錨地ハ福島村落北西端ノ妙蓮寺堂宇ヲ300 度ニ又該寺ノ北東方約2.6 軒ニ在ル丸山（高サ307 米）頂ヲ30 度ニ望ミ距濱4.5 鏈、水深12 米内外、底質沙ノ處トス。

辨慶磯西方陸岸突角附近ニ地方暴風標アリ。

福島村落ノ北北東方3.8 軒ニモ山〔丸山〕ト稱スル高サ530 米ノ圓錐形峰アリ、山頂樹木疎生シ遠望顯著ニシテ沖合數哩ノ處ヨリ福島錨地ヲ識別スル好目標ナリ。

福島村ハ村役場ノ所在地ニシテ人口6,103（昭和10 年國勢調査）、其ノ前面即チ福島錨地内奥ニ福島港アリ、水深2 米ノ船入澗ヲ有ス。

福島港船澗防波堤燈臺 福島錨地日方泊船澗防波堤外端ニ在リ、白塗四角形櫓形鐵造ニシテ燈高9.6 米。

矢越岬 福島錨地東方約7 米哩ノ矢越岬ハ高キ岩石ノ險崖岬ニシテ岬頭2 小丘ヨリ成リ各樹木繁茂ス、其ノ内頂ハ尖形ヲ呈シ高サ134 米アリ、岬附近ハ水深ク危險ナシ。

岬ノ北東方1.4 哩ニ在ル鷹巢岬ヨリ2 鏈間擴延セル3 岩アルヲ以テ容易ニ矢越岬ヲ識別シ得ベシ、3 岩中最外方ノモノハ之ヲイカリカイ島ト稱シ高サ15 米、圓錐形ニシテ顯著ナリ。

小谷石港（コタニシ） 鷹巢岬ノ西隣小谷石ニ在ル小漁港ニシテ、防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗ヲ有ス。

狐越埼（海圖23 分圖） 矢越岬ノ北東方2.5 哩ニ位スル高サ26 米ノ岩角ニシテ之ヨリ漸次隆起シ内方700 米ニシテ高サ214 米ノ晝飯山（チュウハン）ト爲ル。

木古内灣

狐越崎ト其ノ北北東方 9.5 哩ニ在ル更木岬トノ間ニ成レル弓形開灣ナリ、灣岸概ネ沙濱ニシテ其ノ内陸**七ツ嶽**(高サ 961 米)、**袴腰岳**(高サ 708 米)等ノ著峰アリ。

涌元錨地(海圖 23 分圖) 木古内灣ノ南端ニ在リ、水深適度、底質沙ニシテ錨搔キ良シ、小形船舶ハ涌元村落ノ直前ニ錨地ヲ求メ得ベシ、此處ハ南方ニ高角ヲ控フルヲ以テ優ニ南南西以西ノ風ヲ防ギ得ベク西風時ニハ津輕海峽内最良ノ假泊地トス、現ニ西風強吹中ニハ沿岸航行汽船及帆船ノ此ノ地ニ假泊スルヲ見ルコト屢ナリ。

涌元村落ノ南隅ニ近ク岸ニ接シテ細長キ暗岩アリ、岩上最淺部ノ水深 2 米以内ニシテ其ノ東端ハ距岸約 50 米ニ位シ外方ハ水深 4.8 米アリ。毎年春季ヨリ夏季ニ亘リ涌元村落ノ略中央部ヨリ沖合ニ向ヒテ漁網ヲ張り且漁期間丸太ヲ結束シテ魚見櫓ヲ建テ漁期間ヲ過グレバ海底ヲ掃除シ漁網ノ位置ヲ示ス爲丸太ヲ以テ浮標ト爲シ置クト謂フ。

木古内錨地 木古内灣ノ北部ニ於テ木古内村落ノ東方ニ當リ札刈村落ノ南方ナル水深 12.8—16 米、底質沙ノ處ハ北風及西風ニ對シ錨地ト爲シ得、札刈村落ハ其ノ背後ニ黑色ヲ呈スル松林アルヲ以テ識別シ易シ。鐵道用枕木積取船ノ如キハ積出地點ノ關係上水底電線ノ南方ニ於テ其ノ陸揚線見通シ立標ノ南東方約 1,000 米、水深 16 米、底質沙ノ處ニ投錨スルコトアリ、錨搔キ良好ナリト謂フ。

木古内村ノ南側ニ於テ灣ニ流入スル**木古内川**ハ河口狹隘ナレドモ高潮平波ノトキハ河口内ニ小舟ヲ繫泊シ得ベク河水ハ飲料水トシテ使用シ得。

更木岬 木古内灣ノ北東端ヲ成セル低キ岬角ニシテ其ノ頂ハ高サ 22 米アリ、岬端ニ約 3 鏈間擴延セル岩礁アルヲ以テ 1 哩以上ヲ隔テテ通航スルヲ安全トス。

當別港 更木岬ノ北東方 3.5 哩ニ在リテ岩間少シク凹入シ北風及西風

ニハ小形船舶ノ繫泊ニ可ナリ。

當別村落ノ北西方 2.5 軒ニ**丸山**ト稱スル圓形峰アリ、高サ 484 米ニシテ山頂東側ハ樹木密生シ南方ヨリ見ルトキハ葛登支岬燈臺ト共ニ好目標ナリ、丸山ノ中腹タル村落背後ノ丘上ニ「**トラピスト**」男子修道院アリ、代赭色建築物ニシテ遠望顯著ナリ。

函館灣(海圖 6) 葛登支岬ト其ノ東方約 4.5 哩ノ大鼻岬トノ間ニ於テ北方ヘ約 5 哩彎入シ水深ハ灣口中央ノ 50—60 米ヨリ灣首ニ向ヒ漸減シ距濱 0.5—1 哩ノ處 10 米内外ナリ、本灣ハ船舶函館港ニ入港セントシテ霧雪ニ會セルトキ或ハ帆船風風ギテ進ムコト能ハザルトキ投錨假泊スルニ好適ノ水深ヲ有ス(第 36 頁函館港航路法ノ項參照)。

灣首中央ノ上磯町ハ町役場ノ所在地ニシテ人口約 14,300 (昭和 15 年國勢調査)。函館灣内ニ於テハ春季中暴風俄然發吹スルコトアリ。

葛登支岬 當別港東隣ノ岬角ニシテ函館灣口ノ西端ヲ成シ其ノ上部黑色ヲ呈シ下部ニハ赤禿アリテ頗ル顯著ナリ。

葛登支岬燈臺 葛登支岬上ニ在リ、高サ 12 米ノ白塗八角形鐵木造ニシテ燈高 42 米。上記修道院ノ南東方海岸ニ近ク「**トクン**」葺屋根ノ家アリテ之ヲ本燈臺ト誤認スルコトアリ。

霧信號 葛登支岬燈臺ノ西方約 11 米ニ在リ、高サ 8.2 米ノ白塗四角形木造霧鐘臺ヨリ毎 1 分ニ 6 回霧鐘ヲ打鳴ス。航海者ノ言ニ依レバ此ノ霧鐘ハ聞ユルコト稀ナリト謂フ。

目標 灣首ニ在ル淺野「**セメント**」株式會社上磯工場ノ 4 基ノ大煙突ハ遠望頗ル顯著ニシテ又同社ノ電燈ハ夜間ノ好目標ナリ、展望良好ナルトキハ駒ヶ嶽(高サ 1,142 米)ハ遠距離ヨリ認メラレ入港ノ好目標ト爲ル。

上記大煙突ヨリ東北東方約 3 軒ノ處ニ在ル久根別無線標識局ノ無線電柱ハ好目標ナリ。

函館半島 高キ半島ニシテ函館港ノ南側ヲ擁シ低キ地頸ニ依リ内陸ニ連接ス、其ノ最高所ハ中央ヨリ少シク北方ニ位シ高サ335米ニシテ函館山ト稱ス。

函館港 (海圖6分圖) 函館灣ノ南東隅ニ在リテ港内水深規則正シク錨搔キ良ク北海道第1ノ良港ナリ、其ノ形巴字ニ似タルヲ以テ巴港ナル雅名ヲ有ス、北至北西風ノトキハ内港内波稍高キモ陸上トノ交通困難ナルコト稀ナリ。

港内ヲ6區ニ分チ其ノ境界、碇泊スベキ船舶ノ種別及航路ノ區域等ハ開港港則施行規則(水路誌附録第1卷所載)ヲ見ルベシ、本誌ニ於テハ便宜上第5區及第6區ヲ外港、第1區至第4區ヲ内港ト名ク。

函館市 函館市ハ北海道廳渡島支廳ノ所在地ニシテ人口約203,900(昭和15年國勢調査)。當市ニ於ケル海事關係官署トシテハ函館稅關、札幌遞信局函館海事部、函館地方海員審判所、函館臨時海港檢疫所、函館築港事務所、燈臺局函館出張所、函館水上警察署、北海道廳立水產試驗場函館支場等ナリ、其ノ他英國及蘇國領事館アリ。

氣象 卷末氣象表第1(函館氣象表)參照。

結氷 近年海面ノ結氷ハ眞ニ稀ナリト謂フ。

港灣設備 外港東側ニハ第3防沙堤、北防波堤(工事中)、西防波堤及船入澗(辨天澗ノ)アリ。

内港東濱ニハ運輸省連絡岸壁(工事中)、第2防沙堤、假防波堤、繫船岸壁(築港事務所北方)、船入澗(築港事務所北方、西方及南方ノ3箇所)アリ。

内港西濱ニハ繫船岸壁(水上警察署北方埋立地)、函館船渠株式會社船渠、船架、浮船渠、繫船柱(3箇)アリ。

目標 函館半島ハ遠距離ヨリ本港ノ所在ヲ標示スル好目標ナリ、本港近接後ノ入港目標トシテハ若布崎避病院、海陸連絡岸壁端ノ函館港驛(赤

色屋根)、稅關棧橋附近ノ森室百貨店(黃色著屋)、函館放送局無線電柱、函館船渠會社灰白色大煙突、運輸省無線通信所無線電柱等顯著ナリ。

夜間ノ目標ニハ航路標識ノ外函館驛構内ニ7基ノ照明燈アリ、其ノ内最北ノモノ(測候所暴風雨標ノ南東方約230米)ハ四角形鐵造檣ニシテ晝標トシテモ顯著ナリト謂フ、浮船渠ノ東西兩端ニ不動白光燈掲揚セラル。

函館燈竿 辨天ノ澗入口兩突堤端ニ在リ、何レモ圓形「コンクリート」造ニシテ燈高6.4米。

函館港防波堤燈臺 西防波堤北端ニ在リ、高サ10米ノ紅塗圓形「コンクリート」造上部格子製檣形鐵造ニシテ燈高13米。

函館港船澗防波堤假設燈臺 築港事務所西方船入澗防波堤ノ南端ニ在リ、高サ4.6米ノ白塗四角形檣形鐵造ニシテ燈高7米。

函館港海岸町船入澗導燈 築港事務所南方船入澗奥ノ上屋上ニ在リ、燈ノ支柱ハ何レモ紅白橫線塗丸太ニシテ次ノ2箇ヨリ成ル。

前燈 第1上屋上ニ在リテ礎上ノ高サ12米、燈高13米。

後燈 第2上屋上ニ在リテ礎上ノ高サ14米、燈高16米。

挂燈浮標 6箇アリ、何レモ紅塗(第1號挂燈浮標ハ黑塗)圓筒形上部檣形鐵造ニシテ燈高水面上3.6米(第1號及第4號挂燈浮標ハ3.3米)ナリ、其ノ位置次ノ如シ。

第1號挂燈浮標 西防波堤燈臺ノ北東方約1,070米。

第2號挂燈浮標 第2航路ノ西側ニ於テ海陸連絡岸壁端ノ北西方約260米。

第3號挂燈浮標 第2防沙堤北北西方約510米。

第4號挂燈浮標 西防波堤燈臺ノ北方約1,480米、北防波堤(工事中)北端附近。

第6號挂燈浮標 第2航路ノ西側中央。

第8號挂燈浮標 第1航路ノ南側東端。

障碍物 夏季ニハ内港東濱ニ近ク漁網ノ定置ヲ見ルコト多シ。
内港南方ニ繫船浮標十數箇アリ(水路誌附録第2卷參照)、其ノ中函館重油「タンク」會社所有ノ浮標附近ニハ陸上油槽ヨリ導ケル海底油送鐵管アリ。

錨地 辨天埼東方約5鏈、水深10米内外ノ處ニ雙錨泊スルヲ得バ此處ハ底質泥ニシテ錨搔キ良シ、大形船舶ハ尙外方水深13米内外ノ處ニ投錨スルヲ可トス。

夏季ハ一般ニ北洋漁業ノ繁盛期ナル故春秋兩季ニ比シ鮭蟹工船ノ在泊數少ク從ツテ錨泊ノ餘地充分ナルベキ豫想ヲ以テ入港スルトキ場合ニ依リテハ繫船意外ニ多ク加之東濱寄リニハ上記定置漁網ノ存在スルアリ、又青函連絡船ノ航路ヲ避クルノ要アル等案外適當ナル錨地ヲ得ルニ苦シムコトナシトセズ。

航泊禁止區域 北防波堤ノ左右100米ノ矩形區域内水域ヲ一般船舶ノ航行竝ニ碇泊禁止區域トシ其ノ南端ニ假設第1號挂燈浮標ヲ碇置ス。

針路法 入港船舶ハ駒ヶ嶽ヲ函館半島ノ左方ニ開視シテ北進シ然ル後西防波堤燈臺及假設第1號挂燈浮標間ヲ航シテ入港スベシ。經驗アル航海者ノ言ニ據レバ北風ノ際上磯町方面ニ於テ降雪アルトキハ船舶函館港内ニ入リシ頃風雪來襲シ行船困難ト爲ルコト多キヲ以テ上磯町「セメント」工場煙突(夜間ハ燈火)見エザル場合ニハ入港ヲ見合スヲ可トスト謂フ。

水先 函館半島端大鼻岬(水先法施行細則ニハ尾花岬トアリ)ヨリ葛登支岬ニ引キタル線ヲ以テ函館港水先區ノ境界トス、水先人2名アリテ函館船渠株式會社内ニ事務所ヲ有ス(昭和8年調)、但シ外國船以外ニハ雇傭スル船舶殆ドナシ。

檢疫 函館港ハ海港檢疫法施行規則第1條ニ依リ檢疫所常設海港ニハ非ザレドモ内務省告示ヲ以テ函館臨時海港檢疫所ヲ設ケ檢疫ノ施行ヲ指定

ス。

港則 昭和16年7月1日ヨリ開港港則實施セラル、水路誌附録第2卷ニ就テ北海道港内取締規則及函館市繫船岸壁使用條例等ヲ見ルベシ。

暴風標 北海道廳立函館測候所ニ暴風雨標、又函館水上警察署構内ニ地方暴風標アリ。

上陸所 函館稅關前ニ其ノ經營ニ係ル浮棧橋アリ一般用ニ供セラル、又其ノ南東方ニ北海道廳經營ニ係ル木造ノ東濱棧橋アリ、港内通船及汽艇ノ發著所トス。

給炭 石炭供給經營ハ住友炭礦株式會社、三井物產株式會社、三菱礦業株式會社等ヲ主ナルモノトシ常備貯藏量總計約13,000—20,000噸、1日ノ沖積能力1,000噸以下トス(昭和8年調)。

給水 清水ハ市營水道ニシテ東濱町上陸所附近ニ在ル函館市船舶給水所ニテ取扱フ、岸壁直接給水ハ西濱町岸壁ニ21箇所、海岸町岸壁ニ28箇所ノ給水口アリ。

尙水路誌附録第2卷ニ就テ函館市水道使用條例ヲ見ルベシ。

湯川 函館市ノ東方郊外湯川町ニ在リ、其ノ東方ニ接スル錢龜澤村ノ根崎ト共ニ溫泉ヲ以テ名アリ。

湯川町ノ東南東方約4.5軒ノ處(錢龜澤村)ニ在ル函館無線電信局ノ無線電柱ハ好目標ナリ。

汐首岬 函館半島ノ東方約11哩ニ在ル汐首岬ハ本洲ノ最北端タル大間埼ト相對シ高サ293米アリ、岬周ハ急深ニシテ岩礁ノ危險ナキモ黑潮北東流ノ衝ニ當ルヲ以テ之ニ接シテ屢強烈ナル湍潮ヲ起シ、此ノ湍潮ハ東方「ムイノ」島ノ南方迄擴延シテ幅2哩ヲ超ユルコトアリ。

汐首岬燈臺 汐首岬上ニ在リ、高サ10米ノ紅塗圓形鐵造ニシテ燈高46米。燈臺ノ下方ニ1箇ノ不動白光燈アリテ約10哩ノ距離ヨリ認メ得ベ

シト謂フ、此ノ燈光ハ漁期ニ當リ短期間一時的ニ點火スルモノニシテ殊ニ燈臺ノ燈光トハ高サト光力トニ大差アルヲ以テ之ニ注意セバ識別スルコトヲ得ベシ。

霧信號 汐首岬燈臺ニ霧笛アリ、毎65秒ニ1回吹鳴ス（吹鳴5秒、停鳴60秒）。

戸井 汐首岬ノ東方約1.5哩ニ戸井村アリ、其ノ海岸ノ2岩礁間ニハ小舟ヲ達著セシメ得ベキモ暗岩點々2鏈ニ互リ伸出スルヲ以テ大形船舶ヲ寄スルコト能ハズ。

戸井村ニハ地方暴風標アリ。

ムイノ島 戸井村落ノ東方1.3哩、距岸約200米ニ在ル高サ58米ノ圓錐形嶼ニシテ鳥糞ノ爲灰色ヲ呈シ東西ヨリ望ムトキハ顯著ナリ。

日浦岬 「ムイノ」島至近ノ海岸ハ一般ニ高ク且險峻ナリ、同島ノ東方約1.2哩ノ高角ヲ日浦岬ト稱シ高サ220米、岬端ニ高サ20米ノ三角形巨岩アリテ顯著ナリ。日浦岬東側ノ小灣ヲ日浦ト謂ヒ水深5—9米ニシテ東方ヨリ來ル帆船偏西強風ニ會スルトキハ此處ニ滯泊シテ順風ヲ待ツテ以テ時トシテ避泊船10餘隻ニ及ブコトアリ、依ツテ帆船ハ該岬ヲ一名掛待ヶ鼻ト呼ブ。

尻岸内 日浦岬ノ北東方約1.5哩ノ岬角ハ低ク岬端ヨリ險礁4鏈間擴延シ常ニ破浪ス、此ノ岬ノ東方ニ灣首ニ沙濱ヲ有スル淺キ灣入部アリ、其ノ東端ニ在ル村落ヲ尻岸内ト稱ス、村落ノ前面ニ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗アリ。

古武井 尻岸内灣入部東隣ノ開灣ノ灣首ニ古武井村落アリ、其ノ灣濱ハ一般ニ冬季ノ外波浪侵入シ著舟困難ナリ。

七ツ岩鼻 古武井村落ノ東方約2哩ニ在ル岬角ヲ七ツ岩鼻ト稱シ鼻端ニ巨岩7箇アリ、最南岩ハ距岸約200米ニ位シ高サ6米アリ。

惠山岬 七ツ岩鼻北東方ノ惠山岬ハ津輕海峽東口ノ北端ニシテ險峻ナル高角（高サ267米）ヲ成シ其ノ背後ニハ顯著ナル圓頂山多シ、岬ノ東端ノ周圍ハ之ニ接シテ1水上岩ト2干出岩トアレドモ急深ニシテ他ニ暗岩アルヲ認メズ、岬ノ南角附近ニ高サ14米ノ離岩アリテ最モ顯著ナリ、岬ノ北角ハ臺形地ニシテ之ヨリ北方ノ沿濱ニハ岩礁多シ。

惠山 惠山岬ノ直後ニ聳ユル火山ニシテ高サ621米、山頂時々淡雲ヲ帯ビ其ノ北西側ヨリ絶エズ蒸氣ヲ噴出ス、從ツテ濃霧四塞シテ岬角山峰共ニ隠ルルトキモ南方ヘ達スル硫黄ノ臭氣ニ依リテ船位ヲ判知シ得ルコトアリ、山頂ノ外側ハ赭黒ノ岩塊ニ蔽ハレ西側ニハ硫黄ノ斑點アリテ遠望恰モ白雪ノ如シ。

蝦山(開口山) 惠山ノ西北西方2.8軒ニ位スル圓頂山ニシテ高サ568米、山容惠山ニ似タレドモ全面綠色ヲ呈スルヲ以テ容易ニ識別シ得ベシ。

惠山岬燈臺 惠山岬ノ北角ニ在リ、高サ19米ノ黑白横線塗六角形鐵造ニシテ燈高45米。

霧信號 惠山岬燈臺ニ霧笛アリ、毎50秒間ニ低調1聲、高调1聲ヲ連吹ス（低調吹鳴3秒、停鳴4秒、高调吹鳴3秒、停鳴40秒）。

目標 惠山岬燈臺敷地内ニ在ル無線方位信號所ノ無線電柱ハ燈臺ト共ニ晝間船舶ノ目標ト爲ル。

潮流 汐首岬ヨリ惠山岬迄ノ間ノ潮流ハ沿岸ノミ感ゼラルルモ惠山岬附近ニ於テハ約3哩ノ沖合ニ達シ、漲潮流ハ西流シ落潮流ハ東流ス、流速ハ2節ニ達スルコト稀ナリ、惠山岬ノ東方ニ在リテハ流向流速共ニ不定ニシテ概ニ緩慢ナルガ如シ、然レドモ距岸1哩以外ニ於テハ南方ニ流ルル海流（冬季ハ北方ニ流ルルコトアリト謂フ）アリテ津輕海峽ヨリ來ル暖流ニ會シ東方ニ回流ス（夏季ノ驗測ニ依ル）。

惠山岬至襟裳岬

惠山岬至砂碕

本區域ハ内浦灣口外南側ノ長濱ヲ形成シ中ニ根法華灣及臼尻灣ノ兩避泊地アリ、此ノ區域中根法華灣口ノ北端銚子岬ヨリ西北西方一本木岬迄約6哩ノ海岸ハ樹木繁茂セル高地ニシテ急深ナレドモ處々ニ鮪網ヲ展張シアリ、又臼尻灣ヨリ北西方鹿部迄約8哩ノ間ハ概ネ礫濱ニシテ岩礁沿布シ危険ナルヲ以テ共ニ1哩以内ニ近寄ラザル様注意スルヲ要ス。

根法華 (トドホッケ) 惠山岬北隣ノ灣ニシテ偏西風ヲ遮ルヲ以テ偏西強風ノトキ西方ニ赴カントスル船舶ノ爲ニハ好避泊地ナリ、然レドモ灣背後ノ丸山ト根山トノ間ハ山低キガ故ニ時々猛烈ナル偏西強風吹下スルコトアリ。錨地ハ灣ノ南隅元根法華村落ノ前面ニシテ水深14—18米、底質細沙ノ處トス。

元根法華ニハ防波堤ヲ有スル小漁港アリ。

灣首ノ略中央根法華村ニハ地方暴風標アリ。

元根法華港船間防波堤燈臺 船入間防波堤外端ニ在リ、白塗四角櫓形鐵造ニシテ燈高11米。

丸山(古部丸山) 根法華灣ノ背後ニ聳立スル尖峰ニシテ高サ690米、山頂ニ陸地測量標アリテ遠望顯著ナリ。

銚子岬 根法華灣口北端ノ岩岬角ニシテ高サ155米、樹木繁茂ス。

古部 銚子岬ノ北西方1.7哩ニ小形船舶ノ假泊地タルニ過ギザル小灣アリ、灣首ノ村落古部ノ背後ニ赤壁及瀑布アルヲ以テ顯著ナリ。古部ノ北西方2.5哩ニ木直アリ、此處ニモ小形船舶ヲ假泊セシメ得。

一本木岬 木直ノ西北西方1.7哩ニ在ル平低ナル礫角ナリ、之ヨリ北方約100米ニ暗岩アリ、岩上水深1.2米、岩周水深3.6—11米ニシテ最モ

危険ナリ。岬ノ西側見日ニ小灣アリ、水深4—6米、底質沙ノ處ハ南東ヨリ偏西迄ノ諸風ヲ保障ス。

尾札部港 見日村落ノ西方ニ連続スル小漁港尾札部ニハ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入間アリ。

尾札部港船間防波堤燈臺 船入間防波堤外端ニ在リ、白塗四角櫓形鐵造ニシテ燈高9.9米。

辨天島(海圖23分圖) 尾札部漁港ノ北西方3.3哩ニ在リ、3箇ノ顯著ナル岩嶼ト數多ノ岩礁トヨリ成リ距岸約3鏈伸出シ最外岩ハ高サ1.4米アリ、3岩嶼ハ各東端ニ頂ヲ有シ低潮時ニハ礁脈ニ依リテ連結シ徒涉スルヲ得ベシ。

臼尻灣(海圖23分圖) 上記辨天島西方ノ灣入ニシテ同島ノ礁脈灣ノ東側ヲ擁シ能ク南東方ヨリ南及西ヲ經テ北西ニ至ル諸風ヲ防グ、蓋シ惠山岬以北砂碕ニ至ル沿岸ニ於ケル最好避泊地タルベシ。辨天島北端ノ高サ1.4米岩ヲ95度約400米ニ望ミ水深12米、底質細沙ノ處ハ岸航汽船ノ常時假泊スル處ナリ。地ノ島對岸沙角ノ礫濱上ニ地方暴風標アリ。

灣岸ニ沿ヒテ臼尻村アリ、船入間新築工事中ナリ、村落ノ背後ハ臺形地ニシテ夫ヨリ隆起シ300米以上ノ高嶺ト爲リ樹木繁茂ス。地ノ島ト其ノ對岸沙角トノ間ハ高潮時ニ小舟ノ達著ニ便ナリ。

鹿部港 臼尻灣ノ北西方約8哩ノ鹿部村落南端宇龜泊ニ在ル小漁港ニシテ防波堤ヲ以テ遮蔽セラルル船入間ヲ有ス。此ノ邊地勢開豁ニシテ濱岸ニ近ク高サ19米ノ小丘アリ遠望顯著ナリ、附近ノ海岸ハ沙礫ニシテ岩礁點在シ本港以外ハ小舟ノ接近困難ナリ。

鹿部港船間東防波堤燈臺 船入間東防波堤外端ニ在リ、白塗圓形「コンクリート」造ニシテ燈高10米。

鹿部港船間西防波堤燈臺 船入間西防波堤外端ニ在リ、紅塗圓形「コ

ンクマート」造ニシテ燈高10米。

出來間崎 鹿部港ノ北方約2.5哩ニ在ル低キ岩角ニシテ高サ16米、内方ハ低丘連互シ遠望スレバ平坦ナル臺形地ノ如シ、崎端ハ外方2鏈以内岩礁點在シ頗ル危険ナリ。崎ヨリ325度1.2哩ニ水深6.4米ノ暗礁アリ。

松屋崎 出來間崎ノ北北西方3.2哩ニ在ル險崖角ニシテ高サ32米、遠望出來間崎ニ似タレドモ内方ニ樹林アルヲ以テ容易ニ識別シ得ベシ。

砂崎 松屋崎ノ北西方2.5哩ニ在ル平低ノ沙嘴ニシテ内浦灣口ノ南端ヲ成ス、内方約2軒間ハ叢澤ニシテ樹木ナシ。

内浦灣〔膽振灣〕(噴火灣)

砂崎ヲ灣口南端トシ其ノ北東方約16哩ノ「チキウ」岬ヲ灣口北端トシ夫ヨリ北西方約23哩灣入シ一大圓形海灣ヲ成ス。沿岸ニ火山多キヲ以テ英人ハ嘗テVolcano Bayナル名ヲ附セリ。

砂崎ヨリ西方森港ニ至ル約6哩ノ間ハ砂原岳ノ裾濱ニシテ砂原灣及森港ノ2泊地アリ。森港ヨリ海岸ハ八雲町迄約16哩間北西方ニ向ヒ礫濱多ク、夫ヨリ靜狩迄約21哩間北方ニ向ヒ平坦ニシテ低キ一帯ノ弓形沙濱ヲ成ス、此ノ沿岸ハ一般ニ距濱3鏈内外ノ處ヨリ急ニ淺水ト爲リ常ニ破浪アリテ小舟ト雖モ著岸困難ナリ、但シ遊樂部川、國縫川及長萬部川ノ各河口ニハ時々小舟ヲ容レ得ベシ。靜狩ヨリ東方ニ急曲シテ「イコリシレト」崎ニ至ル約5哩ノ海岸ハ概ネ險崖ニシテ高サ300米以上ノ山峰起伏シ樹木繁茂シ遠望黑色ヲ呈ス、其ノ約中央ノ幌内附近ニ人家數軒アル外村落ナク且著舟シ得ベキ處ナシ。「イコリシレト」崎ヨリ東方辨邊崎ニ至ル約6哩間ハ溪谷又ハ險崖ニシテ其ノ東端ニ辨邊錨地アリ。辨邊崎ヨリ南東方「チキウ」岬ニ至ル約21哩ノ海岸ハ山丘或ハ海岸ニ迫リ或ハ之ヨリ遠ザカリ灣内西側ニ比シテ泊地多ク其ノ最タルモノハ即チ室蘭港ニシテ他ニ蛇田錨地、有珠灣、伊達錨地等アリ。

砂原灣(サワラ) 砂崎ト其ノ西方2.3哩ニ在ル度杭崎トノ間ニ於テ約1,000米南ニ彎入セル開灣ナレドモ水深約10米、底質泥ノ處ハ偏南風ヲ避ケ得ベキ好錨地ニシテ過泊地トシテハ森港ニ勝ルガ如シ。

砂原岳(内浦岳) 砂原村落ノ背後ニ巍然トシテ聳ユル火山(總稱砂原岳)ハ内浦灣口ヲ認識スルノ好目標ニシテ其ノ根底8哩ニ互リ其ノ頂ハ數峰ヨリ成リテ頂部ノ中央陷沒ス、數峰中著峰2アリ、一ハ最高峰駒ヶ嶽(高サ1,142米)ニシテ峻峻ナル岩頂ヲ有シ南方若ハ北方ヨリ望ムトキハ全ク尖峰ヲ成ス、他ハ其ノ北東方ニ位スル砂原岳(高サ1,112米)ニシテ東西ニ長ク極メテ峻岨ナルヲ以テ東方若ハ西方ヨリ望ムトキハ尖峰ノ如シ、陷沒部ハ往時ノ噴火口ニシテ今尙微煙ヲ吐ク。

森港(海圖19分圖) 砂原灣ノ西方約5哩ニ位シ僅ニ灣形ヲ成ス、距濱3.5米、水深11—13米、底質軟泥ノ處ハ偏東風ノ外錨泊スルヲ得ベシ。森驛附近及其ノ位置ヨリ西北西方約3哩ノ海岸ニ各地方暴風標アリ。

森川ノ左岸森町役場ノ南方ニ顯著ナル堂宇アリ、之ヨリ北西方約620米ニ在ル隔離病舎、鳥崎川ノ河口西方約1,100米ニ在ル鐵道官舎、桂川ノ河口南方約200米ニ在ル神社等ハ何レモ顯著ナル目標ナリ。

森町ハ町役場ノ所在地ニシテ人口約18,500(昭和15年國勢調査)。

落部(オトシベ) 森町ノ北西方約8哩ノ海岸ニ在ル村落ニシテ落部驛附近ノ斷崖ハ樹木ナク稍良好ノ目標ト爲ル。

八雲町 内浦灣ノ南西隅ニ位シ町役場ノ所在地ニシテ人口約16,000(昭和15年國勢調査)。町ノ北方ヲ流ルル遊樂部川ノ河口南方海岸ニ位スル遊樂部村落ハ主トシテ「アイヌ」人居住ス。

國縫(クヌイ) 八雲町ノ北方約11哩、國縫川ノ河口ニ於テ鐵道ノ分岐點ニ位スル國縫ハ長萬部村ノ1村落ナリ。

長萬部(オシヤマンベ) 國縫ノ北北東方5.5哩、長萬部川ノ河口ニ

在リテ村役場ノ所在地ナリ。

イコリシレト崎 長萬部川ノ河口東方約 9.5 哩ニ在ル高サ 343 米ノ險崖角ニシテ樹木崎頂ヲ蔽ヒ鬱黒タリ。

崎端崖下ニ 1 尖岩(高サ 28 米)アリ、**イコリ岩**ト稱シ其ノ形毛筆ヲ立テタルガ如ク東西兩方ヨリ望ムトキハ頗ル顯著ナリ。

オトロチクシ崎 「イコリシレト」崎ノ東方 1.2 哩ニ在リ、崎頂樹木繁茂シ崎端ニ高サ 47 米嶼アルヲ以テ稍顯著ナリ。

小鉾岸崎(オフケシ) 「オトロチクシ」崎ノ東方 2 哩ニ在ル險崖角(高サ 6 米)ニシテ其ノ西側ニ流ルル**小鉾岸川**ニ沿ヒテ小鉾岸村落ノ人家散在ス。「オトロチクシ」崎ヨリ東方 1.4 哩ノ**フレベシ崎**(海圖 19 分圖)ニ至ル間ハ險崖ニシテ高サ 180—270 米ノ山脈連互シ樹木繁茂ス。

豊浦錨地(海圖 19 分圖) 「フレベシ」崎ノ東方約 1.5 哩ニ位スル辨邊崎ノ西側ニ在リ、此ノ錨地ニ於テハ常ニ向海風流行シ其ノ強吹スルトキハ偏南強風ニ變ズト謂フ。下記小花井山ヲ 47 度ニ望ム水深 4—1 米、底質細沙ノ處ハ錨搔キ良シ。辨邊崎ノ南端ヨリ西方約 200 米ニ暗岩アリ、岩上水深 0.9 米、周圍水深 5—8 米ナリ。

辨邊崎ハ崎頂ヲ**チャシ山**ト稱シ高サ 92 米、樹林アリ、崎ノ東側崖ハ赭色ヲ帯ブルヲ以テ遠望顯著ナリ。崎ノ北東方ニ峙ツ**小花井山**(ボロペンペ山)ハ高サ 421 米、南方ヨリ望ムトキハ圓頂ヲ成シ南東側斜面ハ樹木繁茂ス。濱邊ニ沿ヒテ辨邊村落アリ、村落ノ兩側ニ河流アリ、東ナルヲ**辨邊川**ト謂ヒ其ノ水ハ飲料ニ適スベク、西ナルヲ**貫氣別川**ト稱シ河口ハ常ニ變移スレドモ高潮時ニハ小舟ヲ容レ得ベシ。辨邊川河口ニ**豊浦港**船入澗アリ。

豊浦港船間南防波堤燈臺 船入澗南防波堤先端ニ在リ、高サ 6.3 米ノ紅塗四角櫓形鐵造ニシテ燈高 9.1 米。

ボロナイ崎(海圖 19 分圖) 辨邊崎ノ南東方 1.5 哩ニ在ル、高サ 63

米ノ小崖岬ニシテ崎上樹木アリ、崎端ヲ距ルコト 100 米以内ハ暗岩散在シ頗ル危險ナリ。崎ノ内方ニ位スル梯形山**ボロナイノポリ**ハ高サ 146 米ニシテ山頂樹木密生シ寺院ノ堂宇其ノ南東方中腹ニ在リ。

虻田錨地(海圖 19 分圖) 「ボロナイ」崎南東側ノ錨地ニシテ夏季ノ流行風タル偏東風ニハ稍良好ナレドモ偶南風強吹時ニハ波浪頗ル高ク錨泊困難ナリ、一般ニ距濱 2.5 米、水深 12 米内外、底質沙殻若ハ沙泥ノ處ハ錨搔キ良ク「エイニノポリ」ト「ウエンシリ」崖トヲ重視スル處ハ最良ナリ、但シ之ヨリ東方ハ不良トス。

「ウエンシリ」崖下ヨリ南東方ニ向ヒ海岸ニ沿ヒテ虻田村落アリ。

氣象 春季ハ偏東風流行シ夏季ニ至リ漸ク南ニ轉ジテ偏南東ト爲リ秋季ヲ過グルニ及ビ西ヨリ北ニ轉ズ、偏東風ハ寒冷ナル空氣ヲ送ル爲 4 月至 6 月ハ氣溫低クシテ雨若ハ霧ヲ起シ夏季ニ近ヅクニ從ヒテ晴天持續シ 10 月ニハ稍快晴ヲ見ルコトアリ。

潮流 虻田錨地附近ノ潮流ハ海岸ニ沿ヒ漲潮流ハ北西ニ向ヒ落潮流ハ南東ニ向フ、其ノ流速頗ル緩徐ニシテ大潮期ニ於テモ尙 0.5 節ヲ超エズ、故ニ風向ノ爲往々左右セラル、然レドモ距岸 2—3 哩ノ處ニ於テハ流速 1—2 節ノ海流アリテ常ニ内浦灣口ニ向ヒテ流ル。

目標 **エイニノポリ**(高サ 318 米)ハ村落ノ背後ニ聳立シ山頂樹木アリ、急峻且遠望顯著ニシテ虻田地ヲ認識スルノ好目標ナリ、「ボロナイノポリ」中腹ノ寺院ハ顯著ナリ、同寺院ノ南東方約 200 米ニ數戸ノ大家屋アリ目標トシテ良好ナリ、村落西端部北隣ノ**ウエンシリ**ハ高サ 70 米、長サ約 300 米ノ著崖ニシテ崖上樹木密生ス、同崖東端ノ南方約 250 米ノ海岸ニ鐵製黑色煙突アリテ顯著ナリ、後記「ボロシレト」崎ノ内方ニ位スル**善光寺山**ハ高サ 53 米ニ過ギザルモ全山樹木鬱茂シ遠望極メテ著シ。

障碍物 「ウエンシリ」崖前面距濱 300 米ニ定置漁網アリ、後記ノ如ク

「ボロシレット」埼西方ニ岩礁散點スルヲ以テ蛇田錨地進入ニハ善光寺山ヲ80度ニ見ル迄「エイニノボリ」ヲ7度以下ニ望マザルヲ要ス。

ボロシレット埼 蛇田錨地ノ南東方ニ在ル大石多キ埼ニシテ高サ5米ニ過ギズ、埼端ヨリ西方ニ岩礁散點ス、最外方ノモノヲ**ポロツク礁**ト稱シ埼端ヲ距ルコト1,200米ニ位シ礁上水深9.6米アリ、四周20米間ハ大熔岩集積シテ水深頗ル不規則ナリ、最淺水岩ハ**ケタツクスク礁**ト稱シ埼ト最外礁トノ約中央ニ在リテ礁上水深5米、四周ハ大熔岩ノ集合ヨリ成ル。

洞爺湖(トウヤ) 蛇田錨地ノ北東方内陸5軒ニ位シ湖底ニ總テ赭色ノ熔岩ヨリ成ル一大湖ニシテ連山之ヲ圍繞シ東西約6哩、南北約5哩、周圍約17哩アリ。

ノヤシレット埼(海圖19分圖) 「ボロシレット」埼ノ南東方300米ニ在ル大石集團ノ低角ニシテ高サ11米、埼頂ハ耕地ナリ、埼端ニ**チャランケ石**ト稱スル1大岩アリ、之ヨリ230度210米ニ多數ノ石ヨリ成ル淺瀬アリ、瀬上水深5.9米。埼ト之ヨリ南東方ノ下記2小嶋トノ間ニハ小灣アレドモ沿岸ハ岩礁散布シテ泊地ニ適セズ。

モシリ島(海圖19分圖) 「ノヤシレット」埼ノ南南東方300米ニ在ル「モシリ」島ハ高サ9米ニシテ北部ハ過半耕地ナリ、同島ノ東隣ニ位スル**クサウシモシリ島**ハ高サ22米、雜樹繁茂セル小嶋ニシテ前者ト共ニ沙磧ノ門洲ニ依リテ其ノ北東方ナル**イタオノット埼**ト連結ス。

有珠灣(ウス)(海圖19分圖) 「クサウシモシリ」島ト其ノ南東方「ボロノット」埼トノ間ヲ灣口トシ北東方ニ彎入シ右折シテ南東方ニ深入スル灣ニシテ全長約6鏈アリ、然レドモ灣内約 $\frac{1}{3}$ ハ火山灰ニ依リ埋沒セラレ低潮時ニ干出シ唯灣口ニ近キ處ニ水深3.5米内外ノ狹泊地ヲ存スルニ過ギズ。

灣内泊地ハ底質軟泥ニシテ錨搔キ良ク吃水3.5米以下ノ小形船舶ニ對シテ

ハ附近ニ比類ナキ好避泊地ナレドモ灣口外ニ險所多ク安易ニ入港シ得ザルヲ缺點トス。

有珠村落ハ灣濱ニ沿ヒテ散在シ灣首ニ冷泉湧出ス。灣ノ北濱ニ顯著ナル目標善光寺山(第46頁蛇田錨地目標ノ項参照)アリ。

ボロノット埼 灣口ノ東端ニ在ル高サ36米ノ岩山ナリ、北面ハ雜樹ニ蔽ハレ大石多キ濱ニシテ附近ハ稍水深シ。此ノ埼ト下記「ボンウス」鼻トノ間ハ頗ル狹隘ノ灣ヲ形成シ彎入200米ナレドモ水淺ク小舟ノ外入ルヲ得ズ。

ポウンス鼻 「ボロノット」埼ノ南西方ニ在ル大石多キ鼻ニシテ高サ12米、此ノ鼻ヨリ南方「エソクソキ」埼ニ至ル8鏈ノ間ハ平低ナル沙濱ニシテ遠淺ナリ。

中瀬 「クサウシモシリ」島南端ノ南方150米ナル灣口ノ約中央ニ在ル洗岩ニシテ最モ危険ナリ。

灣口外北側諸險 「モシリ」島ヨリ西南西方ニ伸出セル礁脈中ノ最外礁ヲ**クチモンメコイケウシ礁**ト謂ヒ干出1.2米及干出0.3米ノ2岩ヨリ成リ岩周水深2—5米アリ、此ノ礁ノ東北東方約200米ニ**カシヨシヨマ**ト稱スル4箇ノ干出岩アリ、「クチモンメコイケウシ」礁ノ東方約300米ニ**エコングシラル岩**アリ、高サ1.5米ノ黑色尖岩ニシテ之ヨリ西南西方約160米間ハ干出岩及暗礁擴延シ外端水深4.1米アリ、「エコングシラル」岩ヨリ「モシリ」島ニ至ル間ニハ尙干出岩及淺水岩多數アリテ有珠灣口外方ノ北側諸險ヲ成ス。

灣口外南側諸險 「ボンウス」鼻ヨリ南西方8鏈ニ互リ最大幅6鏈ノ礁脈擴延シ其ノ間干出岩及暗岩散在シ容易ニ近寄ルヲ得ザルモ僅ニ同鼻以南ノ海岸ニ近ク1條ノ淺水道ヲ存ス、此ノ礁脈ノ最外側ニ於テ一線ニ位スル

ハソイマシケオンポロ (最高岩ハ干出1.2米)、シラルホツド (最高岩ノ高サ1.2米) 及其ノ南方ノ無名礁 (最淺部水深0.9米) ナリ、「シラルホツド」ノ東南東方約750米ニ在ル **チーオツァシヨマ** ハ古來之ニ攔觸シタル船舶多ク爲ニ梶掛礁 (「チーボツケシヨマ」トハ梶掛礁ノ「アイヌ」語ナリ) ノ名アル所以ニシテ0.6米干出シ南端水深0.4米ナリ、「チーボツケシヨマ」ノ北東約450米ノ**ウブシラル**ハ附近諸險中ノ最高岩 (高サ3.5米) ナルヲ以テ顯著ナリ、「ウブシラル」ノ北西方約250米ニ在ルト**シラル**ハ南北兩端ニ近ク各1岩頂ヲ露出ス、北頂ハ高サ1.2米、南頂ハ高サ2.4米、相距ル約70米ニシテ兩頂間ハ干出岩ニ依リテ殆ド相連ル、此ノ岩礁ノ東西兩端ハ水深3—5.4米、幅約150米ノ航路ヲ成ス。

エソクソキ埼 「ボンウス」鼻ノ南方約8鏈ニ在ル高サ27米ノ平低ナル埼ニシテ遠望スレバ離島ノ如ク最モ顯著ナリ、埼ノ周圍ハ險礁沿布スルヲ以テ接近スベカラズ。

レブンモシリ 「エソクソキ」埼ノ西方200米ニ在ル大石ノ集團ヨリ成ル嶼ニシテ南北ニ長ク高サ2.1米ナリ、嶼周ハ險礁ニ圍繞セラル。

レブンシラル 「レブンモシリ」ノ西方約550米ニ在リテ大石ヨリ成ル險礁ナリ、礁域ノ長徑250米ニ及ビ高潮時ニハ礁頂1—2 (最高岩ハ高サ1.2米) ヲ露出スルニ過ギズ、本礁ノ北側ハ比較的急深ナリ、本礁ト「レブンモシリ」トノ間ハ有珠灣ヘノ航路口ニ當ル。

有珠岳 著名ナル活火山ニシテ有珠灣ト洞爺湖トノ間ニ位シ其ノ頂ニ3小池アリ、外輪山ニ圍繞セラレ中ニ殆ド同形ノ東西2圓頂山 (東圓頂山ハ高サ732米、西圓頂山ハ高サ608米) アリ、極メテ奇觀ヲ呈シ遠望顯著ナリ、東圓頂山ノ東丘脈ヨリ今尙白煙ヲ吐キ降雨前後ハ其ノ量最モ多シト謂フ。

エンルム埼 「エンクソキ」埼ノ東南東方1.3湊ニ在リ、大石ヨリ成ル埼ニシテ高サ33米、頂上ハ耕地ナリ。

險礁 「エンムル」埼ノ南方600米ニ暗礁アリ、礁上水深5米、四周水深9—14米ナリ、此ノ礁ト同埼トノ約中間ニ水深0.6米ノ孤立岩アリ。

長流川(オサル) 「エンルム」埼ノ南東方約2.1湊ニ於テ海ニ注グ、其ノ河口ニハ干出0.6米ノ沙洲アルヲ以テ高潮時ニ小舟ヲ入レ得ルニ過ギズ。

伊達錨地(紋錨地) (海圖19分圖) 長流川河口ノ東方海岸ニ位スル伊達町ノ前面ニ在リ、海岸ハ少シク灣形ヲ成セル沙濱ニシテ距岸520米、水深9.1米ノ處ニ錨地ヲ得ベシ、錨地ハ底質沙ニシテ錨搔キ惡カラザレドモ偏南風ニ際シテハ波浪高ク錨泊頗ル困難ト爲ルヲ以テ室蘭港ニ避泊スルヲ要ス。

伊達紋錨驛西端ノ跨線橋ハ附近家屋ヨリ高ク驛ヨリ北方ニ通ズル街路ノ東側、同驛ヨリ約150米ノ處ニ在ル火ノ見櫓ト共ニ好目標ナリ、同驛ノ北方ニ在ル臺形地**館山**ハ高サ42米ニシテ遠ク北方ノ高山麓ニ連リ錨地ノ目標ト爲ルベシ。

伊達町ハ町役場ノ所在地ニシテ人口約17,600 (昭和15年國勢調査)、頗ル農産物ニ富ム。

室蘭港 (海圖14) 内浦灣口ノ北側ニ位シ夏季偏東風及冬季北西風ニ對シテ安全ナル港ナリ。

本誌ニ於テハ便宜上港界内ヲ2分シ南北兩防波堤ノ外方ヲ外港、同内方ヲ内港ト區別ス。

室蘭市 室蘭市ハ北海道廳廳振支廳ノ所在地ニシテ人口約107,700 (昭

和15年國勢調査)。當市=於ケル海事關係官署トシテハ函館稅關室蘭支署
室蘭築港事務所、室蘭水上警察署等アリ。

氣象 室蘭港=於テハ毎年9月中旬ヨリ翌年3月下旬迄ハ北西風強吹
シ波浪起ルヲ常トス、夏季東風吹き起レバ忽チ冷氣ヲ増シ霧襲來シ風力ノ
増加ト共ニ濃密ヲ加フト謂フ。降雨多キハ7月至9月間ニシテ雨量月150
釐ナリ、氣候不順ナルハ10月ヨリ翌年1月ニ至ル冬季間ナリ、降雪ハ11
月初旬ヨリ翌年4月旬迄トス。

卷末氣象表第2(室蘭氣象表)參照。

結氷 從來内港港濱ノ淺處ハ冬季薄氷ヲ見ルコトアルモ船舶ノ交通ニ
ハ障碍ナシト稱セラレシガ昭和2年1月23日北濱本輪西町地先ヨリ仲町
塵別地先ニ至ル干潟ニ接續シタル部分及南濱株式會社日本製鋼所室蘭工場
埠頭ノ西方ノ地先ヨリ結氷シ始メ同埠頭ヲ閉シ、同27日ニハ結氷面積最
モ廣汎ヲ極メ舊高架棧橋端ヨリ祝津町埋立地附近ニ互リテ一面ノ氷ト爲リ
其ノ後略同程度ノ結氷ヲ持續シ、2月3日ニハ北風稍強ク内港内波高ク水
温ハ同一ナリシモ氣温ハ前日ヨリ低ク舊高架棧橋以西ノ部分ハ忽チ融解シ
翌4日ハ風力衰ヘ海水ノ動搖鎮マルト共ニ厚サニ於テ多少ノ差アリシモ再
ビ前同様一面ノ結氷ヲ見タリ、南濱ノ淺處就中舊高架棧橋ト稅關埠頭トノ
間ノ海面ニ於テ氷厚殊ニ大ニシテ約30糎ニ達シ汽艇ノ航行不可能ナリシ
ト謂フ。

昭和6年2月6日ニハ更ニ廣區域ニ互リ凍結ヲ見タリ、之ガ原因ハ防波堤
ノ完成後港内ノ環流ヲ著シク阻止セラレタルガ爲ナラントノ說アリ。

港灣設備 外港東側ニハ北防波堤及南防波堤アリ。

内港北濱ニハ本輪西防波堤、室蘭埠頭倉庫株式會社繫船岸壁(本輪西埠頭
ト稱ス、船舶信號所アリ)、同會社浚渫水路(前記岸壁ニ至ル水道ヲ浚渫

シ西側ニ2箇ノ圓筒形頭標附黑塗浮標、東側ニ1箇ノ圓錐形頭標附紅塗浮
標ヲ碇置シ又後記ノ導燈ヲ設ク)、繫船岸壁(同會社ノ東方埋立地ノ南岸)
アリ。

内港東濱ニハ北海道炭礦汽船株式會社突堤及船入濶アリ。

内港南濱ニハ日本製鋼所室蘭工場埠頭、運輸省載炭岸壁及貯炭場、北海道
炭礦汽船株式會社載炭岸壁、北日本汽船株式會社専用繫船棧橋、船入濶
(築地町埋立地)、船入濶2箇所(祝津町埋立地)アリ。

目標 御崎町發電所(エトスケレツ東側、赤色)、100吨起重機、載
炭用「トランスポーター」、室蘭郵便局南東方約180米ノ火ノ見櫓、測候所
築港事務所南東方白色煙突等ハ良好ナル投錨目標ナリ。

室蘭驛構内ニ在ル照明燈(鐵フレーム造、燈高20米)ハ晝夜共好目標ト爲
ル。

大根挂燈浮標 港界外方大根礁ノ南東側ニ碇置ス、黑塗圓筒形上部櫓
形鐵造ニシテ燈高水面上4.5米。

惠比壽島挂燈浮標 惠比壽島ノ西北西方約3.2米ニ碇置ス、紅塗圓筒
形上部櫓形鐵造ニシテ燈高水面上4.5米。

室蘭燈臺 大黒島上ニ在リ、高サ11米ノ白塗四角形「コンクリート」
造ニシテ燈高46米。

霧信號 室蘭燈臺ニ霧笛アリ、毎45秒ニ1回吹鳴ス(吹鳴5秒、停
鳴40秒)。

室蘭港北防波堤燈臺 北防波堤南端ニ在リ、高サ9.2米ノ白塗圓形「コ
ンクリート」造ニシテ燈高11米。

室蘭港南防波堤燈臺 南防波堤外端ニ在リ、高サ9.2米ノ紅塗圓形「コ
ンクリート」造ニシテ燈高11米。

霧信號 南防波堤燈臺=霧笛アリ、毎60秒=1回吹鳴ス(吹鳴30秒、停鳴30秒)、昭和4年以來霧笛休止中。

室蘭港本輪西埠頭導燈 室蘭埠頭倉庫株式會社倉庫屋上=在リ、燈ノ支柱ハ何レモ外廓白色内廓紅色ノ三角形頭標附木柱ナリ。

前燈 燈高16米。

後燈 燈高17米。

2燈一線49度ハ埠頭=至ル浚渫水路ノ中央ヲ導ク。

室蘭港第2號挂燈浮標 測候所ノ東北東方約600米=碇置ス、紅塗圓筒形上部櫓形鐵造=シテ燈高水面上3.3米。

室蘭港假設第1號挂燈浮標 測候所ノ東方約800米=碇置ス、紅塗四角櫓形木造=シテ燈高水面上2.6米。

室蘭驛岸壁導燈 室蘭郵便局南東方火ノ見櫓ノ東方附近(後燈)ト其ノ北方岸壁附近(前燈)ト=設ケ鐵道省載炭岸壁達著用=供ス、構造何レモ紅塗梯子形鐵造=シテ頂上=白色ノ杵形三角標ヲ戴ク。

前燈 燈高8.9米。

後燈 燈高15米。

2燈一線175½度ハ載炭岸壁前面浚渫區域ノ約中央ヲ導ク。

室蘭港導燈 海岸町水上警察署附近=設ケ北日本汽船株式會社繫船棧橋達著用=供ス、燈ノ支柱ハ何レモ外廓白色、内廓紅色ノ三角形頭標附木柱=シテ次ノ2箇ヨリ成ル。

前燈 燈高9.3米。

後燈 燈高15米。

2燈一線195度ハ棧橋前面浚渫水路ノ中央ヲ導ク。

室蘭港假設燈標 測候所北方小橋内町(ボンオハシナイ)海岸地先淺

水區域ノ標示用トシテ假設ス、紅塗三角櫓形木造=シテ燈高3.9米。此ノ標識燈ヨリ267度280米ノ陸上=豫備燈(塗裝セザル木柱=シテ燈高7.7米)ヲ設置シ本燈故障ノ際點燈スト謂フ。

上記假設燈標ヨリ淺水區域ノ北方約60米ヲ隔テテ送電線電柱數基設置シアリ。

障礙物 港口外側ノ岩礁大根(礁上水深6.4米)ハ之ガ除去工事ヲ行ヒ船舶ノ航行=便ナラシムル豫定ナルモ未ダ實現ノ域=至ラズ、港口南端「エンムル」崎ヨリ礁脈3.5鏈西方=擴延シテ南港口ノ可航幅ヲ狭ム、礁上數箇ノ洗岩アリ。

内港南方ト本輪西埠頭前面トヲ合セ繫船浮標10餘箇アリ(水路誌附録第2卷參照)。

錨地 内港南部=於テ繫船棧橋又ハ岸壁ヘノ達著=要スル水路ヲ避ケタル水深10米内外ノ處ヲ可トス。

針路法 本港ハ大黒島(高サ36米)ノ南北何レヨリモ入港シ得ベキモ北口ハ南口ヨリ幅稍廣キヲ以テ之ヲ通航スルヲ可トス、尙之ガ採擇ハ出港船トノ針路ノ交叉ヲ成ルベク避クル趣旨=モ合致ス、南方ヨリ來リテ航路中唯一ノ險礁タル大根ヲ避ケンガ爲=ハ大黒島ヲ右舷側=約500米隔テテ繞航シタル後内港口兩防波堤間=向フベシ、漁船等小艇ハ南防波堤南部ノ切開部ヲ通航シ得ベシ。

水先 室蘭港界ヲ以テ室蘭港水先區ノ境界トス、但シ強制水先制度=非ズ、水先人2名アリ(昭和10年調)、雇傭ヲ豫報シ置カバ大黒島ノ西方約1湮ノ處=出動シテ入港ヲ待ツヲ例トス。

港則 開港港則ハ未ダ當港=實施セラレズ、水路誌附録第2卷=就テ北海道港内取締規則、室蘭市上屋使用條例及室蘭石炭棧橋信號所規則ヲ見

ルベシ。

暴風雨標 北海道廳立室蘭測候所＝暴風雨標アリ。

上陸所 水上警察署前海岸＝一般用上陸棧橋、又日本製鋼所室蘭工場埠頭ノ東側＝同社専用上陸棧橋アリ。

給炭 本港＝於ケル接岸載炭設備ハ主トシテ貨物炭積載ヲ目的トス、從ツテ常備貯藏量頗ル豊富ナルノミナラズ載炭用舢舨モ亦約 50 隻、積載量 4,500 噸ヲ算スル狀況（昭和8年調）ナルヲ以テ船舶燃料ノ如キハ如何ナル多量ノ供給＝モ應ズルコトヲ得、北海道炭礦汽船株式會社室蘭賣炭所ハ主トシテ同社ノ採掘スル夕張炭ヲ又三菱礦業株式會社室蘭出張所ハ主トシテ美唄炭ヲ供給ス。

給水 清水ハ上水道＝シテ其ノ運搬供給ハ室蘭給水株式會社之ヲ營ミ唧筒附給水船3隻ヲ有ス、又室蘭埠頭倉庫株式會社ハ本輪西埠頭＝於テ給水ヲ經營シ給水栓5箇ヲ有ス、其ノ他株式會社日本製鋼所室蘭工場埠頭、鐵道省埠頭等＝於テハ夫々専用給水口ヲ有ス（昭和9年調）。

室蘭半島 山丘ヨリ成ル長半島＝シテ室蘭港ノ南側ヲ擁シ低キ地頸＝依リ内陸＝接續スルコト函館半島＝似タリ、其ノ最高所ハ測量山（高サ200米）＝シテ母戀富士（高サ168米）之＝亞グ。内浦灣＝面スル半島ノ外側即チ「エンムル」埼至「チキウ」岬間ハ岩礁距岸約2鏈以內＝沿布シ室蘭市ノ景勝地トシテ知ラル。

船舶見張所 市街背面ノ電信濱（セタワキ）＝於ケル水底電線陸揚地ノ南方約800米ノ「オйнаウシ」鼻内方山丘上＝船舶見張所アリ、室蘭船舶關係業者ノ共營＝シテ此ノ見張所通過報告ノ前後ヲ以テ船舶ノ室蘭到着順序トシ（投錨順序＝據ラズ）載炭ノ爲ノ接岸順モ之＝依リテ定マルト謂フ。

チキウ岬 室蘭半島最南端ノ險崖角＝シテ内浦灣口ノ北端ヲ成ス。

チキウ岬燈臺 「チキウ」岬上＝在リ、高サ15米ノ白塗八角形「コンクリート」造＝シテ燈高98米。

霧信號 「チキウ」岬燈臺＝霧笛アリ、毎64秒＝1回吹鳴ス（吹鳴4秒、停鳴60秒）。

チキウ岬至襟裳岬

此ノ區域中「チキウ」岬ヨリ浦河港迄94裡間ハ海岸弓形ヲ成シ著シキ凹凸ナシ、此ノ中「チキウ」岬ヨリ門別鼻迄ノ間＝於テハ鷺別埼、蘭法華鼻及「アヨロ」鼻ノミ岩崖角ヲ成シ其ノ餘ハ一帯ノ沙濱＝シテ常＝破浪アリ、其ノ間漁舍處々＝散在シ一モ目標トスベキモノナク泊地亦ナシ、内陸ハ室蘭岳（高サ911米）ヨリ北東方＝向ヒテ高峰連互ス、苫小牧町以東ハ廣漠タル原野ト爲リ處々湖沼アリテ樹木繁茂シ牧場多シ。門別鼻ヨリ浦河港迄ノ間ハ沙濱ナレドモ處々干出岩アリテ稍風浪ヲ防グヲ以テ夏季平穩ノトキハ著舟シ得ベシ、此ノ間ハ小臺形丘起伏シ稍岬角ヲ成セルモノ＝門別鼻、厚別鼻、「シリイト」鼻、荻伏鼻等アリ、内陸ハ海岸＝近キ小丘ヨリ東方＝向ヒテ漸次隆起シ日高及十勝ノ國境＝至リテ高サ1,500米内外ノ高嶺ト爲ル。

浦河港ヨリ襟裳岬＝至ル26裡間ハ前記ノ海岸ト異リ沙濱ノミナラズ礫濱ヲモ交ヘ且前面＝礁脈ノ斗出多ク又浦河、様似、幌泉等ノ漁港接近シテ列ブ。

鷺別埼 「チキウ」岬ノ北東方3.8裡＝在リ、高サ106米ノ黑色險崖角＝シテ室蘭市域ノ東端ヲ成ス、附近平低地ナルヲ以テ遠望稍顯著ナリ、埼ノ北東側＝接シテ鷺別川アリ、高潮時＝ハ僅＝小舟ヲ入レ得ベシ。

蘭法華鼻 鷺別域ノ北東方約7.3裡＝在リ、高サ66米、鼻ノ西側ノ

蘭法華港ハ小漁港ニシテ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗アリ。鼻ノ東側ニ河口ヲ有スル登別川ノ上流ニ登別温泉アリ、晴天ニハ「チキウ」岬附近ヨリ其ノ蒸騰スル水蒸氣ヲ望ミ得ベシ。

來馬岳(ライバ) 蘭法華鼻ノ北西方約11.5 軒ニ來馬岳アリ、南方ヨリ望ムトキハ尖峰ヲ成シテ顯著ナリ。

アヨロ鼻 蘭法華鼻ノ東北東方約2 哩ニ在リ、高サ36 米ノ舌形裸角ニシテ低キモ南ニ斗出セルヲ以テ室蘭港ヨリ來レル船舶「チキウ」岬ヲ繞レバ最初ニ認ムルコトヲ得、蘭法華鼻トノ中間ニ赭色ノ險崖アリテ遠望顯著ナリ。

俱多樂山(クッタラス) 「アヨロ」鼻ノ背後ニ高サ519 米ノ俱多樂山アリ、樹木鬱蒼トシテ遠望顯著ナリ、山頂ニ俱多樂湖アリ。

苦小牧町 「アヨロ」鼻ノ東北東方20 哩ニ在リ、此ノ町ニ在ル王子製紙株式會社苦小牧工場ノ白色「ニクリート」煙突2 基ハ好目標ナリ。

樽前山 苦小牧町ノ北西方約17.3 軒ニ在リテ雙頂ヲ有シ富士山形ヲ成ス活火山ニシテ獨リ聳立ス、高頂ハ高サ1,026 米、褐色ヲ呈シ遠望甚ダ顯著ナリ、常ニ白煙ヲ噴出スルモ少量ナルヲ以テ認メ難シ。

門別鼻 苦小牧町ノ東南東方約24 哩ニ位スル平低ナル鼻ニシテ高サ42 米鼻上樹木アリ。鼻ノ南西方2.5 鏈ニ干出0.3 米ノ1 岩アリ。

平取山 門別鼻ノ北東方約12 軒ニ在リ、高サ311 米ニシテ尖峰ヲ成シ樹木ニ蔽ハル、附近ニハ高山ナク獨リ卓立セルヲ以テ顯著ナリ。

厚別鼻 門別鼻ノ南東方約7 哩ニ在リ、平低ナル臺形ノ鼻ニシテ高サ13 米、厚別鼻ノ145 度2.1 哩ニ1 水上岩アリ、高サ1.5 米ニシテ岩脈ハ南南西方ニ向ヒ3.5 鏈間擴延ス。昭和7 年4 月汽船大隆丸ハ鼻ノ西方約1.6 哩、距岸約1.4 哩ニ於テ水深5.4 米ヲ測得セリト謂フ。

染退川(シブチャリ) 厚別鼻ノ南東方約8.4 哩ノ染退川ハ高潮時ニハ小舟ヲ行リ得ベシ。

笹山 染退川ノ河口北東方約20.2 軒ニ在ル笹山ハ高サ806 米ニシテ小笹密生ス、附近山峰ハ悉ク鬱蒼タル樹山ナルヲ以テ容易ニ之ヲ識別シ得ベシ。

捫別港 染退川ノ河口南東方約4 哩ノ小漁港ニシテ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗アリ。

捫別港船澗南防波堤燈臺 船入澗南防波堤北端ニ在リ、紅塗四角櫓形鐵造ニシテ燈高9.7 米。

三石港 捫別港ノ南東方6 哩ニ在ル三石川ノ河口西方ニ昆布ノ產出ヲ以テ名アル三石(姨布)漁港アリ、防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗ヲ有ス、本港ニ地方暴風標アリ。

三石港船澗西防波堤燈竿 船入澗西防波堤外端ニ在リ、塗裝セザル木柱ニシテ燈高7.8 米。

シリイト鼻 三石川ノ河口南東方約2.4 哩ニ在リ、高サ39 米ノ赭色崖ニシテ遠望顯著ナリ。鼻ノ西方距岸約4.5 鏈ニ於テ南東、北西ノ方向ニ約1 哩擴延スル1 列岩カヤベ礁アリ、其ノ最南頂ハ鼻ノ196 度0.5 哩ニ位シ0.3 米干出ス。昭和4 年6 月汽船高雄山丸(當時最大吃水4.8 米)ハ「シリイト」鼻東方ノ梟舞川(ケリマフ)ノ河口南西方約1 哩ニ於テ暗礁ニ底觸セリト謂フ。

荻伏鼻 「シリイト」鼻ノ南東方約3.1 哩ニ在ル草生ノ鼻ニシテ高サ83 米、遠望顯著ナリ。荻伏鼻ノ297 度1.1 哩ニ干出0.3 米ノ1 岩礁アリ、外側ハ水深0.4 米、鼻ノ南方3.5 鏈ニ1 暗岩アリ岩上水深1.8 米ヲ有ス、鼻ノ東方後邊戸村落ノ南方約3 鏈ニ高サ1.8 米ノ1 水上岩アリ。昭和4 年3

月汽船和神丸(當時最大吃水6.1米)ハ荻伏鼻ノ南方約1湮ニ於テ障碍物ニ底觸セリト謂フ。

神威岳 荻伏鼻ノ北東方32.4軒ニ在リ、高サ1,593米ニシテ日高及十勝ノ國境ニ聳立ス、山勢之ヨリ襟裳岬ニ向ヒテ降下スルモ何レモ1,500米内外ノ高山ニシテ山頂雲多ク好天氣ニ非ザレバ視認シ難シ。

浦河港(海圖30分圖) 荻伏鼻ノ南東方約5湮ニ位スル北海道有數ノ漁港ニシテ北防波堤ト礁脈ヲ利用シテ築造セル南防波堤トニ依リテ風波ヲ遮蔽ス。北防波堤ニ接シテ船入澗アリ、防波堤内ニハ底質岩ノ處アルヲ以テ錨泊ニハ相當ノ注意ヲ要ス。

浦河町ハ北海道廳浦河支廳及町役場ノ所在地ニシテ人口約10,400(昭和15年國勢調査)。

氣象 卷末氣象表第3(浦河氣象表)參照。

浦河燈臺 市街背後ノ山上ニ在リ、黑白横線塗四角形木造ニシテ燈高40米。

浦河港南防波堤燈臺 南防波堤西端ニ在リ、紅塗三角櫓形鐵造ニシテ燈高13米。

地方暴風標 浦河燈臺附近ノ北海道廳立浦河測候所ニ地方暴風標アリ

樣似港(サマニ)(海圖30分圖) 浦河港ノ東南東方約7湮ノ小半島樣似鼻〔エンルム岬〕ノ西側ニ位スル漁港ナリ、鼻ノ北西方ニ位スル巨岩ソビラ岩(高サ35米)ノ岩盤ヲ利用シテ船入澗ヲ設ク。樣似鼻ト「ソビラ」岩トノ間ノ彎入部ハ中央ニ中瀨(高サ1.2米)ト稱スル平低ノ大干出岩アル爲狹隘ナルノミナラス底質岩ノ處アルヲ以テ錨泊ニ適セス。樣似鼻ノ東側灣ハ全ク障碍ナク錨地ハ水深5米内外、底質沙ニシテ殊ニ西風ノ強吹ヲ避クルニ適ス、但シ南東風ノトキハ「ウネリ」アルヲ免レズ。

樣似鼻〔エンルム岬〕ハ高サ73米、長サ約600米ニ及ブ半島ニシテ其ノ周圍ノ大部分ハ石陂ヲ繞ラシ内外ハ高サ30米未滿ノ低キ地頸ニ依リ内陸ニ連リ遠望恰モ島ノ如シ。樣似鼻高地ノ東側ニ地方暴風標アリ。

樣似港船入澗南突堤燈臺 樣似港船入澗南突堤東端ニ在リ、白塗四角櫓鐵造ニシテ燈高8.3米。

エンルム岬燈竿 樣似港〔エンルム岬〕73米高地ノ北方ニ在リ、木柱ニシテ燈高72米。

イワオイ鼻 樣似港ノ南東方約4.6湮ニ在リテ樣似、幌泉兩港間ニ於テ最モ斗出ス、岸ニ接シテ1巨岩アリ高サ28米、黑色ニシテ南東方若ハ北西方ノ海岸附近ヨリ望ムトキハ顯著ナリ、此ノ鼻ヨリ隆起スル無樹ノ尖峰ハアボイ山ト稱シ高サ811米、顯著ナリ。

幌泉港(海圖30分圖) 「イワオイ」鼻ノ南東方約7湮ナル南部家崎ノ南側ニ在ル漁港ニシテ船入澗(船入澗使用料條例ニ就テハ水路誌附録第2卷ヲ見ルベシ)ヲ有ス、沿岸ハ沙濱ニシテ之ヨリ直ニ丘陵起伏シ背後ニハ高サ600—700米ノ山脈聳立ス。

幌泉燈臺附近ニ地方暴風標アリ。

距岸200米内外ハ干出岩縁布ス、港首約中央ノ住吉崎(高サ52米)附近ノ礁上ニ2—3ノ杭柱ヲ植エ礁位ヲ示シ兼テ船舟繫留用ニ供ス。

幌泉燈臺 住吉堤ニ在リ、白塗四角形「コンクリート」造ニシテ燈高27米。

幌泉港船入澗防波堤燈竿 船入澗防波堤北端ニ在リ、高サ7.5米ノ紅塗四角櫓形鐵造ニシテ燈高9.6米。

錨地 小形汽船ハ幌泉燈臺ヲ56度ニ望ム水深9米附近ノ處若ハ尙外方水深12.8米、底質沙ノ處ニ錨泊スルヲ得ベシ、此ノ錨地ハ東至北ノ風浪

＝ハ稍安全＝シテ西風＝ハ波浪海岸ト殆ト平行スルヲ以テ其ノ勢大ナラス
然レドモ偏南西風＝ハ「ウネリ」侵入シ船體ノ動搖甚シク風力强キトキハ錨
泊＝堪ヘズト謂フ。

針路法 南方ヨリ錨地＝到ラント欲スル船舶ハ次記歌別埼ヨリ斗出セ
ル底質岩ノ部ヲ避ケンガ爲燈臺ヲ56度＝望ミテ漸進シ前記錨地＝到ルベ
シ。

歌別埼 幌泉港ノ南東方約2湊＝在リ、水深ハ距岸1湊間12.8米以下
＝シテ夫ヨリ漸加シ2湊＝至リテ27米(底質沙)ト爲ル、然レドモ距岸1
湊以内ハ全面底質岩ナルヲ以テ近寄ルベカラズ。

襟裳岬 日高及十勝國境ノ山脈ヨリ伸出セル臺形地ノ南端＝シテ多岩
ノ斷崖角ナリ。岬ノ背後ハ漸次隆起シテ石山(高サ229米)＝至リ岬端ヨ
リ北方17軒＝シテ遠望顯著ナル尖峰豐似山(高サ1,105米)＝達ス。

岬端ヨリ南東方7.5鏈間ハ礁脈擴延シ礁上水上岩數箇アリ、距岬2鏈＝在
ル顯著ナル尖雙頂岩ハ**マツカ岩**ト稍シ高サ23米、距岬4鏈＝在ル**カマ
岩**＝稱シ高サ13米、最外岩ハ礁脈端＝位**ツタリキシ岩**ト稍シ高サ1.7米
＝過ギズ、「ツタリキシ」岩附近ハ水深7—18米＝シテ礁脈ノ南西界＝沿ヒ
テ水深11—36米ト爲ル、岬＝近寄ラントスル船舶ハ「ツタリキシ」岩ヨ
リ少クモ5鏈ヲ隔ツルヲ要ス。

岬ノ兩側海岸ハ磯波アルヲ例トスルモ西側＝於テハ風波靜穩ノトキ＝限リ
油駒村落ノ海岸＝著舟上陸シ得ベシ。

襟裳岬燈臺 襟裳岬上＝在リ、高サ13米ノ白塗圓形鐵造＝シテ燈高
72米。

霧信號 襟裳岬燈臺＝霧笛アリ、毎34秒間＝2回吹鳴ス(吹鳴3秒、
停鳴4秒、吹鳴3秒、停鳴24秒)。

目標 襟裳岬燈臺敷地内＝在ル無線方位信號所ノ無線電柱ハ燈臺ト共
＝晝間船舶ノ目標ト爲ル。

海流 浦河港ヨリ襟裳岬＝至ル間ノ海流ハ距岸3湊内外＝於ケル驗測
＝依レバ夏季＝於テハ海岸＝沿ヒ常＝南東＝流レ流速1.3—2節(附近住民
ノ言＝依レバ稀＝北西＝向フコトアリト謂フ)、而シテ襟裳岬端＝近ヅク
＝隨ヒ漸ク南方＝向フ。

襟裳岬ヨリ釧路港＝至ル間ノ海流ハ海岸＝沿ヒテ南流スルヲ常トシ時トシ
テハ東或ハ南東方＝流ルルヲ見、流速0.5—1.8節ナルヲ驗セリ。

襟裳岬至瑠瑠瑠水道

海水 第1編第9頁海水ノ記事ヲ參照スベシ。

襟裳岬至釧路港

襟裳岬ヨリ北東方釧路港＝至ル約90湊ノ海岸ハ山丘海＝接シ其ノ大部分
ヲ占ムル廣尾港以北＝ハ一ノ港灣ナシ。

此ノ區域中襟裳岬ヨリ北北東方6湊間ハ沙濱＝シテ夫ヨリ北方廣尾港迄約
16湊間ハ岩石、沙礫相交ハリ距岸1鏈間ハ處々水上岩及暗端アルヲ以テ接
近スベカラズ。廣尾港ヨリ約70湊、釧路港迄ノ間ハ海岸殆ト一直線ノ沙
濱＝シテ數多ノ河川海＝注グ、其ノ最大ナルヲ約中央ノ大津川トス、其ノ
中廣尾港ト大津川河口トノ間ハ海岸＝人家ナク湧洞沼南岸附近＝唯一ノ驛
遞ト漁舍1—2戸アルノミ、大津川ノ河口ト釧路港トノ間ハ鐵道沿線ノ厚
内、音別(オンベツ)、白糠、庶路、大樂毛(オタノシケブ)等＝村落アルモ
白糠以南ノ村落ハ海方ヨリ視認シ得ルモノ少シ。

百人濱 襟裳岬ヨリ北北東方6湊間ハ沙濱＝シテ幅約1,000米餘ハ恰
モ沙漠ノ如キ狀況ヲ呈シ俗＝之ヲ百人濱ト稱ス、此ノ附近ハ風力殊＝強ク

東風ハ勿論西風時ト雖モ西岸ノ油駒附近ニ比シ猛烈ニシテ沙塵ヲ飛バシ暗
 暝咫尺ヲ辨ゼザルニ至ルコトアリ、然レドセ多クハ向海風ニシテ波浪ヲ起
 スコト少シ。

小越港 百人濱南端ニ近キ小漁港ニシテ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入濶
 アリ。

小越港船濶南防波堤燈臺 船入濶防波堤外端ニ在リ、白塗四角櫓形鐵
 造ニシテ燈高8.2米。

庶野及猿留 百人濱北方ノ庶野(シヨヤ)村落ノ前面ハ風向ニ依リ著
 舟シ得ベシ、又此處ニ地方暴風標アリ、庶野ノ北方約6哩、猿留川ノ河口
 北隣ノ猿留ニハ村落アリ、時トシテ其ノ前面距岸4鏈ニ小形汽船ノ假泊ス
 ルコトアリ。

ルベシベツ埼 猿留ノ北方約4.6哩ニ在リ、伊勢灣二見浦立石ノ如キ
 岩アリテ顯著ナリ。「ルベシベツ」埼ノ北側ハ岸線少シク北西方ニ折レ南及
 偏西ノ風ニハ波浪高カラザルヲ以テ「ルベシベツ」村落ノ北方距岸約5鏈、
 水深14.6—16米、底質沙ノ處ニ假泊スル船舶アリ、襟裳岬ヨリ釧路港ニ至
 ル海岸中偏西風時ニ於ケル自然地形ノ假泊地トシテハ此ノ地ニ勝ル處ナク
 冬季ニ至レバ往々船舶ノ假泊セルヲ見ルト謂フ。

音調津港(オシラベツ) 「ルベシベツ」港ノ北北西方約1.5哩ニ位スル
 小漁港ニシテ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入濶アリ。

廣尾港(ビロヲ)(海圖30分圖) 音調津港ノ北方約3.4哩ニ位ス
 ル廣尾鼻ノ北側ニ廣尾築港アリ、本漁港ハ風向ニ應ジ東岸ノ浦河港ト相俟
 テ襟裳岬沖合漁船ニ對スル主要ナル避難港タリ、其ノ南防波堤ハ廣尾鼻ヨ
 リ擴延スル礁脈ヨリ北方ニ突出ス、同鼻ニ接シテ船入濶アリ、又北防波堤
 ハ村役場ノ北方約560米ノ海岸ヨリ東方ニ突出ス。

目標 廣尾鼻以北10數哩ノ海岸ハ沖合ヨリ見ルトキハ河口ヲ除ク外
 總テ稍白色ヲ帯ビタル臺形地ヲ成ス、廣尾村落ノ人家ハ主トシテ臺地ニ在
 リ、海岸ニハ漁家竝立シ何レモ沖合ヨリ認メ得ベシ。

廣尾鼻附近ニ地方暴風標アリ。

廣尾燈臺 廣尾鼻附近ニ在リ、高サ13米ノ淡青塗家屋上ニ建テタル
 塗裝セザル竿柱ニシテ燈高21米。

廣尾港船濶東堤燈竿 船入濶東堤北端ニ在リ、鼠色塗三角櫓形鐵造ニ
 シテ燈高6.1米。

大津川 大津川ハ廣尾港ト釧路港トノ中間ニ於テ海ニ注グ十勝川ノ分
 流ナリ、河口南側ニ大津村落アリ地方暴風標ヲ有ス、河口ニ突堤ヲ設ケ寄
 港船舶ノ荷役ニ便ズ。

昆布刈石岬(コンブカルシ) 大津川ノ河口ヨリ北東方約6.5哩ニ在リ、
 之ヨリ距岸約1.8哩間礁脈擴延シ最外端昆布刈石(干出1.2米)トノ間ニ干
 出岩數箇及高サ1.1米ノ岩頭アリ、沿岸航行船ニ對シテハ附近最大ノ危險
 物トス、岬ヨリ尙北東方4哩間ハ距岸2—4鏈迄岩礁點在ス。

白糠港 昆布刈石岬ノ北東方約18哩ノ白糠ニ防波堤ヲ以テ遮蔽セル
 船入濶アリ、此處ニ地方暴風標アリ。

釧路港(海圖31) 大津川ノ河口北東方約36哩ノ知人鼻(シレ
 ト)北側ニ位ス、本港ハ從來知人鼻ノ南面ニ在ル自然ノ障壁知人礁及知人
 瀬ノ2礁脈ガ沖合ヨリノ波浪ヲ碎クノミニシテ西側ハ全ク開放ノ状態ナリ
 シガ港ノ修築完成セシニ依リ沖合ヨリノ風浪ハ防波堤ニテ大ニ緩和セラレ
 船舶ノ碇泊ヲ安全ナラシムルニ至レリ。

内港内ニ注グ釧路川ハ從來毎年釧路平野ニ氾濫シ且港内ニ土沙ヲ流入堆積
 セシメシヲ以テ之ヲ防止スル爲新水路ヲ設ケ阿寒川ヲモ合セテ東防波堤外

側=於テ外港内=分流(新釧路川ト稱ス)セシム。

本誌=於テハ便宜上港界内ヲ2分シ南北兩防波堤及東防波堤ノ外方ヲ外港同内方ヲ内港ト區別ス。

釧路市 釧路市ハ北海道廳釧路國支廳ノ所在地ニシテ人口約63,200(昭和15年國勢調査)。當市ニ於ケル海事關係官署トシテハ函館稅關釧路支署、釧路築港事務所、釧路警察署等アリ。

氣象 卷末氣象表第4(釧路氣象表)參照。

霧 釧路地方ノ霧ニ關シ釧路測候所技師ノ研究調査セル所概ネ次ノ如シ(大正14年10月北海道氣象月報第360號附録ヨリ拔萃)。

1. 當地方ニ襲來スル霧ノ日數ハ平均1箇年96日ニシテ7月8月最モ頻繁ニ來襲シ1箇月平均15日ナリ。
2. 當地方ノ霧ハ偏南風ニテ來襲スルモノト偏北北東風ニテ發生スルモノトノ2種アリ、前者ハ總計ニ對スル5割ヲ占メ後者ハ2割トス、消散時ノ風向ハ發生時ト酷似シ又風力ニ於テハ發生消散共ニ靜穩微弱ナルトキニ多シ。
3. 霧發生ノ時刻ハ風向及風力ニ依リ多少ノ差異アレドモ氣溫ノ冷却甚シキ時刻即チ午前1時頃ヨリ同6時頃迄最多ニシテ消散時ハ太陽次第ニ高ク日射ノ旺盛ナルニ從ヒテ消失ス。
4. 濃度別ニテ示セバ最モ多ク襲來スル霧ハ視認距離200—400米ニシテ100米以内ノ霧ハ甚ダ稀ナリ、而シテ3箇年中ノ最小距離ハ50米ニシテ1回、次ハ60米ノ2回アリ。
5. 霧發生時ノ氣壓示度ハ756耗(氷點更正)ヨリ758耗ノ間ニ最多ナレドモ8月ニ於テハ752耗ヨリ758耗ノ間ニ多ク、2月及4月ニハ氣壓高ク760耗ヨリ764耗ノ間ニ多ク發生セリ。

6. 當地方ノ霧ハ一般ニ氣壓ノ變化小ナルトキニ多ク發生セリ、而シテ高氣壓ノ影響ニ因ルモノハ高氣壓ガ本洲東岸ニ擴張セル場合若ハ北海道東方、南東方沖ニ滯留スルトキニ最モ多ク發生シ、低氣壓ニ起因スルモノハ低氣壓ガ北海道ノ西半部ニ存在スルトキハ氣壓微降ノトキ、東半部ニ在ルトキハ氣壓上昇ノトキニ多ク發生セリ。
7. 冬季ノ霧ハ大抵4時間以内ニテ消散スレドモ夏季ノ霧ハ稍長ク8時間以内ニテ消散シ甚シキトキハ65時間ニ互リシコトアリ。
8. 霧消散時ニ於ケル風向ノ變轉ヲ見ルニ、發生當時ノ風向ガ不動ナルコト最モ多ク次ハ順逆轉共45度以内ニテ消散セリ。
9. 霧ノ消散後ハ概ネ晴天ニ恢復スレドモ夏季ニ於テハ曇天又ハ雨天ニ變化スルコト屢ナリ。
10. 霧ガ日照ニ及ボス影響ハ頗ル大ニシテ7月ノ如キハ不照時數約100時間ニ及ビ1日平均3時間以上日射ヲ遮斷セラルル割合ナリ、又日出後2—3時間ハ不照時數最モ多クシテ午前9時過ヨリ漸次減少ス。
11. 氣溫及濕度ノ變化ハ甚ダ大ニシテ晝間ニテ2度以上低冷ト爲リ濕度ハ10%以上20%内外濕潤ト爲ル。
12. 霧量ハ降水量ニ比スレバ微々タルモノナレドモ甚シキトキハ4時間ニテ0.6耗ヲ觀測セリ。
13. 當地方ノ霧ハ海霧ノ外、別ニ陸霧ノ發生アリ、冬季ニ於テ偏北風ノ霧ハ概ネ陸霧(河霧)ニ屬ス。
14. 海霧ノ分析試験ニ依レバ「クロール」ハ相當多量ニ含有シ「アンモニア」、有機質、硫酸、炭酸、「オゾン」等ハ極メテ微量ナリ。
15. 當地方ニ襲來スル海霧ハ其ノ區域甚ダ廣ク北海道東部、北太平洋沿岸一帯ノ地方ハ襲來ヲ免レズ。

海霧ノ現象ハ前述ノ如ク廣區域ニ互リ發生スレドモ時ニ又部分的ニ發生スル場合少カラズ、從ツテ洋上ニ霧アリテモ陸地ニ接近シテ存在セザルコト屢アリ。霧ノ高サハ詳ナラザレドモ濃霧濛々タルトキニ於テ船舶ノ檣樓ヨリ他船ノ檣頭ヲ明瞭ニ望ミ得ルコトアリ、然レドモ沿岸地帯ニテハ相當上空ニ瀰漫シテ200米以上ニ及ブコトアルモノノ如シ。

潮流 釧路南方沖合2—5 哩ニ於テハ漲潮流ハ北北西方ニ、落潮流ハ南東方ニ流レ高低潮後1—2 時ニ轉流スルモ流速0.5節ヲ超エズ。

海水 嚴寒ノ候ニハ内港内ニ薄キ結氷ヲ見ルモ船舶ノ航行ニ支障ヲ來スガ如キ程度ニ非ズ、但シ港濱ニ於ケル短艇ノ達著ニハ困難ヲ感ズルコトアリ、其ノ結氷解氷ノ平均期日(大正11年至同14年ノ平均)ヲ舉グレバ結氷始期12月7日、解氷始期3月15日頃、全部解氷期3月30日ナリ。

3月上旬ヨリ4月下旬ニ至ル期間ニ於テ風向ニ依リ往々内港外ニ流氷ノ襲來ヲ見ルコトアルモ汽船ノ航行不能ナルコト殆ド稀ナリ。

港灣設備 外港東側ニハ東防沙堤、北防波堤(屈折部ヨリ北西部ヲ西防波堤ト稱ス)及南防波堤アリ。

内港東濱ニハ小船溜、内務省所管石炭塊搬出棧橋(築港事務所前海岸)アリ、又釧路川河口外水路南側ニ河口水路右舷側標示立標(夜間ハ紅燈ヲ掲揚ス)アリ。

内港南濱ニハ釧路臨港鐵道株式會社繫船岸壁(釧路繫船岸壁)アリ。

内港西濱ニハ太平洋炭礦株式會社載炭高架棧橋(知人石炭直積棧橋)アリ。

目標 新釧路川ノ河口北方ニ在ル王子製紙株式會社釧路工場ノ煙突2基ハ其ノ煤煙ニ依リ海上約30 哩ノ處ヨリ認識シ得ベク又此ノ煙突至近ニ略同高ノ2塔アリ。浪花町ニ在ル札幌鐵道局釧路工場、釧路川南方高臺ニ在ル市役所、警察署、裁判所ニ隣接セル博濟病院ノ塔、釧路埼燈臺等ハ頗

ル顯著ナリ。

釧路埼燈臺 知人鼻ニ在リ、高サ9.8 米ノ黑白横線塗八角形木造ニシテ燈高45 米。

霧信號 釧路埼燈臺ニ霧笛アリ、毎50 秒ニ1 回吹鳴ス(吹鳴5 秒、停鳴45 秒)。

釧路港北防波堤燈臺 北防波堤南端ニ在リ、高サ12 米ノ白塗圓形「コンクリート」造ニシテ燈高14 米。

路釧港南防波堤燈臺 南防波堤北端ニ在リ、高サ13 米ノ紅塗圓形「コンクリート」造ニシテ燈高14 米。

霧信號 釧路港南防波堤燈臺ニ霧鐘アリ、毎1 分20 秒ニ1 回打鳴ス。

釧路港船溜北防波燈臺 船溜北防波堤外端ニ在リ、白塗四角檣形鐵造ニシテ燈高8.1 米。

障碍物 基本水準ハ西北西方約230 米ニ釧路臨港鐵道株式會社ノ繫船用錨ヲ碇置シ之ニ目標トシテ小形木製浮標ヲ結着シアリ、又基本水準標ノ夫々北北西方約680 米及北西方約520 米ニ繫船浮標アリ。

錨地 修築工事ニ依リ内港内ノ浚渫區域ヲ擴張中ナルモ現在未ダ適當ナル錨地ハ狹隘ナルヲ免レズ。外港ニ於テハ南防波堤ノ延長線上水深10 米ノ處附近ヲ可トス、但シ南方及西方ヨリノ風波アルトキハ短艇ノ達著ニ困難ヲ感ズベシ。

針路港 釧路港附近ハ廣漠タル原野ニシテ其ノ東西ハ平坦ナル山脈相連ルヲ以テ遠ク其ノ平地ヲ望ミテ漸進シツツ先ヅ王子製紙株式會社釧路工場煙突ノ煤煙ヲ求メテ其ノ基部ニ向ヒ近接シ知人礁及知人瀬ヲ避航シタル後兩防波堤燈臺間ヲ經テ内港内ニ入ルベシ。

水先 本港ニハ水先人ナシ。

港則 開港港則ハ未ダ當港ニ實施セラレズ、水路誌附録第2卷ニ就テ北海道港内取締規則、釧路市營岸壁竝ニ岸壁及護岸敷地管理規則（釧路臨港鐵道株式會社制定ノモノ）ヲ見ルベシ。

暴風雨標 北海道廳立釧路測候所ニ暴風雨標アリ。

上陸所 一般ニハ小船溜北方外側ノ市有棧橋ヨリ上陸スルコトヲ得又石炭塊搬出棧橋ニハ機動艇ノ達著容易ナリ。

給炭 本港ハ炭坑ニ近ク直接之ヨリ輸送用鐵道ヲ敷設シアルヲ以テ常備貯藏量頗ル豊富ナリ、又載炭設備ハ主トシテ貨物炭積載ヲ目的トシ船隻モ約90隻（積載量約5,000噸）ヲ算スル狀況（昭和8年調）ナルヲ以テ船舶燃料ノ如キハ如何ナル多量ノ供給ニモ應ズルコトヲ得。太平洋炭礦株式會社ハ主トシテ同社ノ採掘スル春採炭ヲ又雄別炭礦株式會社ハ同様雄別炭ヲ供給ス。

給水 清水ハ上水道ニシテ其ノ運搬給水ハ釧路船艇給水會社及個人經營ノモノアリ、給水船6隻ヲ有ス、又直接岸壁給水ハ臨港鐵道會社經營（給水栓4本）ノモノ及市直營（給水栓2本）ノモノアリ。

釧路港至納沙布埼

此ノ區域中釧路港ヨリ東方厚岸灣口西端ニ至ル約19哩間ハ海岸概ネ沙濱若ハ礫濱ヨリ成リ之ニ沿ヒテ平坦ナル山脈連互ス、而シテ距岸2-3哩間ハ岩石多キモ1哩ノ處ハ水深30米ニシテ夫ヨリ距岸3哩ニ至レバ水深50米ニ漸加ス、上記海岸中又飯時附近最モ南方ニ突出シ釧路出シ（水深5.9米）ヲ最外端トスル暗礁モ亦距岸8哩間擴延ス。

厚岸灣口ノ東端末廣埼ヨリ東方ニ進ムコト約7哩ニシテ散布埼アリ、次デ北東方ニ至ルコト約8哩ニシテ霧多布半島ニ達ス、此ノ一帯ノ海岸ハ一般ニ峻峭ニシテ背後ハ總テ臺形地ヲ成シ各處一樣ノ觀ヲ呈ス。

霧多布半島ヨリ東方落石半島迄16哩ノ海岸ハ漸次高サヲ減ジ殆ド平坦ニシテ顯著ナルモノナシ。落石半島ヨリ北東方約11哩ノ友知埼迄ノ間ニハ暮霧磯、花咲、友知等ノ灣入數箇所アルモ花咲港ヲ除ク外ハ總テ良好ナル錨地ト謂フヲ得ズ。友知埼ヨリ東北東方納沙布埼ニ至ル約8哩ノ海岸ハ屈曲出入シテ數箇ノ小灣入ヲ成セドモ總テ船舶ノ避泊ニ適セズ、且距岸約7哩間ハ島嶼及岩礁散布ス。

厚岸灣（アッケシ）（海圖30分圖） 尻羽埼ト末廣埼トノ間ニ灣入スル厚岸灣ハ偏南風時ニハ波濤大ナレドモ其ノ他ノ風ニ對シテハ良好ノ避泊地ニシテ水深亦適度ナリ。

灣口ノ稍東寄ニ大黒島アリ、之ト末廣埼トノ間及尻羽埼ヨリ東方約1.9哩ノ間ニハ各礁脈連互スルヲ以テ灣口可航水道ハ大黒島ノ東方ニ於テ幅約1.5哩ニ過ギズ、而シテ此ノ水道ノ水深ハ30米内外ナリ。

灣首厚岸半島端ノ東方ニ厚岸湖、西方ニ厚岸港アリ。厚岸町ハ町役場ノ所在地ニシテ人口約14,400（昭和15年國勢調査）、其ノ町域ハ厚岸灣及厚岸湖ノ沿岸全周ニ互ル。

氣象 厚岸町役場ノ統計ニ依ル氣象概況次ノ如シ。

天氣日數	年	快晴	晴	曇	雨	雪	曇日數ノ内濃霧78日暴風2日ヲ含ム 晴日數ノ内強風3日ヲ含ム
	365	43	98	130	82	12	
氣	季節	春	夏	秋	冬	雪 { 初雪 12月23日 終雪 5月6日 根雪 { 自12月28日 至 4月13日	
	最高	11.3	20.6	24.4	6.6		
溫	最低	-18.6	2.0	13.7	-17.3		
	平均	3.4	10.5	15.2	1.6		

1年ヲ通ジテ北風最モ多ク南西風及西風最モ少シ、之ヲ季節別ニ見レバ春

季及夏季ハ南東風、秋季ハ北風、冬季ハ東風最モ多シ。

霧 根室附近ト異ルコトナク濃霧數日ニ互ルコトアリ、明治25年ノ如キハ4月下旬ニ始リ漸次其ノ日數ヲ増シ7月8月最モ甚シク殆ド1日トシテ霧アラザルハナカリキ、是主トシテ此ノ季節ノ東風又ハ南東風ノ連吹ニ因ルモノニシテ一旦北西風吹起ルヤ忽ナ消散シテ痕跡ヲ留メザルニ至ルヲ例トス、然レドモ厚岸灣ハ實驗上霧ノ狀況比較的良好ニシテ根室近海濃霧ニ閉サルルトキモ此ノ灣ノミハ霧ノ霽レ間ニ往々出入自由ナルコトアリ。

灣内ニ於ケル霧ハ普通午前4時頃ヨリ同9時頃迄及午後4時頃ヨリ同8時頃迄トシ日中及夜中ニ於テ皆無ナルヲ常トス、然レドモ時ニハ終日濃霧ニ閉サレ航行ニ支障ヲ來スコトアリ、此ノ狀況ハ6月下旬ヨリ7月下旬ニ至ル間ニ於テ見ル所ナリ。

潮流 厚岸灣口ニ於テハ漲潮流ハ灣首ニ向ヒ落潮流ハ之ニ反シ流速大ナラザルモ夏季ノ觀測ニ依レバ附近ニハ西方ニ流ルル海流アリ、其ノ影響ヲ受ケテ海水ハ常ニ西方ニ流レ流速1.6節ニ達セシコトアリ、灣内「アイカッパ」埼及「バラサン」埼ノ西方約1哩ニ於テハ漲潮流ハ北北東方ニ、落潮流ハ南南西方ニ流レ高低潮後約1時ニ轉流ノ最強流速1節ニ達ス。

厚岸湖口ニ於テハ漲潮流ハ東方ニ、落潮流ハ西方ニ流レ高低潮時後1—2時ニ轉流シ最強流速2節ヲ超ユ。

海水 結氷期間ハ2月上旬至同下旬ニシテ3月上旬ヨリ解氷ス、氷厚3—6糎、但シ灣ノ中央ハ結氷スルコトナシ、昭和8年2月上旬厚岸湖入口結氷シ徒歩連絡ヲ爲シ得タルモ其ノ前年ニハ徒涉シ得ザリシト謂フ、流氷ハ風向ニ依リ2月中旬至4月上旬進入スルコトアルモ灣内ニ充滿スルニ至ラズ、厚サ約1.5米ナルヲ普通トシ從來航行ニ支障ヲ來シタルコト極メ

テ稀ナリ。

厚岸湖 湖口ニ於テ厚岸港ト連絡シ橢圓形ニシテ東西4哩、南北3哩湖口ハ水稍深キモ湖内ハ淺クシテ低潮ニハ小舟ノ通航モ困難ナリ。

港灣設備 港内北濱ニハ眞龍町突堤アリ、之ニ至ル水路ハ幅90米、水深6.6米ニ浚渫シアリ、水路ノ右舷ヲ示ス3箇ノ三角形頭標附紅塗圓錐錐形造浮標ヲ碇置シアリ、又之ニ導ク爲眞龍町海岸ニ3對ノ導燈ヲ設ケアリ。港内東濱ニハ松葉町突堤及「バラサン」突堤(「バラサン」埼北側ニ在リ)アリ。

目標 晴天ノトキ灣ニ近寄ラバ北西方ニ顯著ナル2座ノ高山ヲ望ミ得ベシ(海圖34)、東山ハ雄阿寒岳(高サ1,381米)ニシテ截頭圓錐形ヲ成シ西山ハ雌阿寒岳(高サ1,479米)ニシテ多峰ナリ、其ノ1峰ハ西端ニ孤立ス、某驅逐艦ハ此ノ兩山ヲ約285度ニ見ル方位ニ於テ81—88哩ノ距離ヨリ認メ得タルコトアリ。快晴ノトキ根室海峽西濱知床岬南西方ノ高山脈モ亦北方ニ視ルヲ得ベシ。灣口ノ大黒島ハ高サ103米、四周峻壁多岩ニシテ南端ハ尖峰ヲ成シ何レノ方向ヨリ望ムモ甚ダ顯著ナリ、之ト相對スル灣口西端尻羽埼ハ峻嶮ナル懸崖ヲ成シ高サ101米アリ、其ノ南側ニ接シテ1岩アリ帆掛岩ト稱シ東西ヨリ望ムトキハ著シ。

灣内東濱ノアイカッパ埼ハ高サ79米ノ圓錐形岬角ニシテ埼ノ北方海岸ニ在ル北海道帝國大學臨海實驗所(黃色建物)ト共ニ頗ル顯著ナリ、其ノ他眞龍町埋立地東端ニ在ル櫓(厚岸湖入口ヲ横斷スル架空電線用柱)、其ノ西方ノ日本石油株式會社油槽等ハ何レモ好目標ナリ。

厚岸燈臺 大黒島南端ニ在リ、白塗圓形「コンクリート」造ニシテ燈高112米。

障碍物 灣口尻羽埼ヨリ東方2哩間狹礁脈延伸シ外側ハ急深ナリ、礁

上ハ常ニ破浪アルヲ以テ識別シ得、又濃霧或ハ暗夜ニ在リテハ相距ル1湊内外ニ於テ波浪ノ音ニ依リ推知スルコトヲ得ベシ。大黒島ト本陸ノ末廣崎トノ間ハ無數ノ隱險相連リ中間ニ磐石ヨリ成ル高サ32米ノ小嶼小島アリ之ト大黒島トノ間ハ破浪アリテ小舟ノ通航モ困難ナリ。

灣内西半部ニ岩礁數箇アリ、其ノ最モ淺ク且大ナルモノヲ中瀬トス、「アイカップ」崎ノ西方2.1海ニ在ル半潮岩ニシテ其ノ隱没セルトキモ概ネ破浪アルヲ以テ容易ニ認メ得、此ノ礁脈ノ1派ハ南方深水部ニ向ヒ約1.8湊擴延ス、中瀬ノ南西方1.5湊ニ仙鳳趾礁アリ、東西ニ約2湊間擴延シ礁上最水深1.3米、仙鳳趾礁ノ北西方5鏈ニハ洗岩ビンナイ礁アリ。

灣内東半部ニ在リテハ陸岸ニ近ク岩礁アリ、アイニンカップ崎端南西方距岸約0.5湊間ノモノハ低潮ニ干出ス、又「アイニンカップ」崎端距岸1.5鏈間崎バラサン崎附近距岸2.5鏈間ハ共ニ險惡地ナリ。

灣内ニハ濱岸ニ近ク多數ノ定置漁網アルコトアルヲ以テ特ニ夜間及霧中機動艇ノ航行ニ當リテハ注意ヲ要ス。

錨地 灣内北東部ニ於テ「バラサン」崎ヲ65度ニ見ル線ト「アイカップ」崎ヲ100度ニ見ル線トノ間ニ於テ距岸約1湊附近ノ一帯ハ浚渫水路ノ延長上ヲ避ケ水深7.5—9.5米、底質泥ニシテ錨搔キ良好ナリ、但シ潮流ト強風又ハ「ウネリ」ノ方向ト相反スルトキハ船體ノ動搖ヲ免レズ、大形船舶ハ尙南方ニ於テ水深約10米ノ處ヲ錨地トスベシ。

小形船舶南風又ハ南西風ノ強風ニ會シ前記錨地不安ナルトキハ灣内南西部ニ於テ尻羽崎ヲ157度、厚岸燈臺ヲ112度ニ望ム距岸1.3湊、水深8米附近ノ底質沙泥ノ處ヲ選ブベシ、但シ仙鳳趾礁ニ注意スルヲ要ス。

針路法 灣口外約2湊ノ處ニ來ラバ「アイカップ」崎ヲ348度ニ望ミテ之ニ向進シ大黒島ノ西方5鏈ノ處ヲ過ギテ灣内ニ入り次デ厚岸燈臺ヲ適宜

ノ方位ニ船尾ニ保チツツ要スル錨地ニ向フベシ。

地方暴風標 厚岸湖入口南濱及灣内東濱床潭ニ地方暴風標アリ。

上陸所 厚岸湖口ノ渡船棧橋ヨリ上陸シ得ルモ低潮ノ際短艇ノ達著困難ナルトキハ附近ノ漁船達著用棧橋ヲ用フルノ要アルベシ、又「バラサン」突堤モ上陸所トシテ便ナリ。

散布崎 大黒島ノ東北東方約7湊ニ在リ、高サ55米、此ノ崎ノ南西方沖ニ在ル尖頂岩壁岩(高サ38米)ハ少シク黄色ヲ帯ビ東西孰レヨリ望ムモ甚ダ顯著ニシテ東方ヨリ厚岸灣ニ近寄ルトキノ好目標ナリ。

昆布瀬 散布崎ノ東北東方3.8湊ニ在ル險礁ニシテ東南東、西北西ノ方向ニ長ク礁上最水深2.4米アリ。

嶮暮歸島(ケンボキ) 散布崎ノ北東方4.5湊ニ在ル臺形島ニシテ東西ノ長サ1湊、高サ59米、島ノ南西端ニ接シテ高サ各16米及21米ナル2巨岩アリテ顯著ナリ、島ト西方琵琶瀬鼻トノ間ニハ幅4鏈ノ1小水道アリ小舟ヲ行リ得ベシ。南岸ヲ距ル4鏈沖合ニ險礁アリ、最小水深2.7米。

霧多布半島(キリタツ) 嶮暮歸島ト相對シテ間ニ小淺水灣ヲ形成スル高サ48—50米ノ臺形半島ニシテ又濱中灣ノ南方ヲモ保障ス、半島ノ南側ハ海面淺水多岩ニシテ東端湯津岬(トウブツ)附近ニ許多ノ巨岩アリ。

潮流 霧多布半島東端南東方約3湊ニ於テハ秋季小潮期ニ於テ漲潮流ハ北東方ニ、落潮流ハ南東方ニ流ルルヲ驗セリ、然レドモ流速微弱ニシテ0.5節ヲ超エザリキ。

濱中灣 霧多布半島北側ノ灣ニシテ灣口廣キモ諸礁脈ニ依リ幾分東方ヨリノ風浪ヲ遮蔽ス、半島頸部ヨリ北方約3湊間ノ灣濱ハ平低ナル沙濱及原野ニシテ夫ヨリ北東方ハ平坦ナル山脈相連リ一ノ目標ナシ。濱中村字霧多布ノ前面ヲ霧多布港ト稱ス、此處ニ地方暴風標アリ。

氣象 8月9月ヲ以テ不順ノ候トス、海霧ハ常ニ絶エズ、降雪ハ12月中旬ニ始リ4月上旬ニ終ル、灣内結氷スルコトナク風向ニ依リ流水ノ稀ニ來ルコトアルモ凝結スルニ至ラス。

夏季ハ南西風多ク冬季ハ北西風多シ 9月中ハ屢強風アリ。

目標 灣ノ前面ニ2大岩アリ、湯沸岬ノ北東方約1哩ニ在ルモノヲ**黒岩**ト稱シ高サ5米、其ノ東方7鏈ニ在ルヲ**帆掛岩**(白岩)ト謂ヒ高サ13米アリ。

霧多布港燈竿 霧多布半島北岸ニ在リ、高サ22米ノ塗裝セザル木柱ニシテ燈高71米。

障碍物 黒岩ト帆掛岩(白岩)トノ間ハ岩石出沒シ常ニ破浪アリ、帆掛岩ノ東方4鏈間モ淺水ニシテ常時破浪ス、又後者ノ南南東方6鏈ニ4.7米礁アリ、灣口北端ヨリ南方ニ向ヒテ**昆布瀬**ト稱スル礁脈約1哩餘擴延ス

錨地 黒岩ヲ104度ニ、霧多布灣燈竿ヲ205度ニ望ミ水深9—10米ノ處ヲ錨地トス。

針路法 霧多布半島ト黒岩トノ間若ハ黒岩ト昆布瀬トノ間ヨリ入ルコトヲ得、後者ハ水道ノ幅廣キモ確實ナル目標ニ乏シキヲ以テ前者ニ依ルヲ可トス、即チ灣外ヨリ黒岩ニ向首シツツ北進シ湯沸岬ノ東方ニ於テ北西方ニ變針シ次ニ黒岩ヲ船尾ニ保チテ錨地ニ向フベシ、此ノ水道ハ幅約7鏈ニシテ中央水深20米以上アリ。

洗岩 湯沸岬ノ北東方約10哩ニ於テ距岸約7鏈ノ處ニ洗岩存在ス、(昭和4年)。

昆布瀬 上記洗岩ト落石半島トノ中間ノ南方沖距岩約3哩ニ於テ東西ニ約3哩ノ長サヲ有スル險礁ニシテ中央ニ干出0.3米ノ岩頭アリ、之ヨリ東部ノ岩頭ハ常ニ破浪スルヲ以テ晝間晴天ノトキハ危險ナキモ、西部ノモ

ノハ水深2米内外ニシテ風波アルトキニ非ザレバ破浪セザルヲ以テ甚ダ危険ナリ。

沿岸航行ニ際シテハ晝間ハ緩島北西端ヲ落石半島ヨリ開視シ夜間ハ落石崎燈臺ノ紅光分弧内ニ入ラザルコトニ意ヲ用フレバ昆布瀬ヲ避クルコトヲ得又落石灣入進ニハ落石崎繞航ノ航路ヲ選ブヲ安全トス。

潮流 釧路港附近ヨリ落石崎附近迄ノ海面ニハ1節餘ノ流速ヲ以テ西流スル海流アル爲昆布瀬ノ方ニ壓流セラレ往々之ニ攔觸スル船舶アリ、依ツテ殊ニ濃霧ノ際ニハ此ノ海流ニ對シ警戒ヲ怠ラザルヲ要ス、落石崎南東方約2.5哩間附近ニ於ケル6月8月及9月ノ驗測ニ依レバ何レモ南西イ西ニ0.5—1節ノ速サヲ以テ流ルル海流アリテ潮流ハ殆ド感ゼザルコトヲ示セリ。

落石半島(オッチシ) 昆布瀬ノ東北東方ニ在ル銀杏葉形ノ半島ニシテ其ノ頂ハ稍平坦ニシテ其ノ中央部ハ榎及蝦夷松ノ類繁茂ス、半島ノ東側ハ險礁多ク常ニ破浪ス、南側及西側ハ**落石崎端**ノ外距岸2鏈ニシテ既ニ16米ヨリ深キ水深ヲ有シ危險物ナシ。

落石崎端ニ近ク落石無線電信局、送信所ノ無線電柱ハ海上ヨリノ好目標ニシテ東南東方沖合22哩ノ距離ヨリ之ヲ認メタル船アリト謂フ。

霧 落石崎附近ニ於テハ南西至南南西風ノトキ霧ノ發生最モ多ク南至南東風ノトキハ稀ナリ、而シテ霧ノ高サハ餘リ高キコトナク落石無線電信局送信所ノ電柱(柱ノ高サ91米、地面ノ高サ水面上128米)ノ上部ハ霧帶中ニ隠ルルコト尠シト謂フ。

落石崎燈臺 落石崎端ノ東方約9鏈ニ在リ、高サ19米ノ黑白横線塗圓形鐵造ニシテ燈高52米。

落石灣 落石半島西測ノ開闊ナル鈎形灣ニシテ灣濱ハ少シク遠淺ナレ

トモ北方及東方ヨリノ風浪ヲ保障スルヲ以テ假泊シ得ベク底質ハ白色ノ細沙ナリ。灣ノ西方ニ水深10米以下ノ一帯アリ、其ノ略南端ニ在ル水深5米ノ尖岩ハ船舶航行上留意ヲ要ス。

暮霧磯灣(ボッキリソ)(海圖24分圖) 落石半島ノ東側ニ位シ灣口ハ幅約7鏈ナレドモ兩側ニ礁脈斗出セルヲ以テ可航水道ノ幅ハ僅ニ2鏈ニ過ギズ、而シテ平波ノトキハ該水道ヲ確知スルコト容易ナラズ、然レドモ灣内ハ底質沙泥ニシテ錨搔キ良ク東風ノ外諸風ヲ防ギ且灣口ノ險礁ハ偏東風時沖合ヨリノ濤勢ヲ多少減殺シ平穩ナルヲ以テ小形船舶ノ錨泊ニハ適當ナリ。

緩島(ユルリ) 落石半島南東端**暮霧磯**ヨリ北北東方約3.3湮ノ**昆布盛埼**前面ニ在ル平頂島ニシテ四周至近ハ概ネ險惡ナリ、高サ43米ニシテ島ノ南角ヨリ南方へ約3鏈間礁脈伸出シ礁上ニ高サ30米ノ叢岩蠟燭岩アリ、又西角ヨリモ水深5米ヨリ淺キ礁脈約5鏈南西方ニ延伸シ礁上ニ**ツ島**ト稱スル2小嶼竝列ス、其ノ1岩ハ高サ14米アリ。

モユルリ島 緩島ノ北北東方5鏈ニ位シ高サ35米、同ジク平頂ニシテ四周至近ハ概ネ險惡ナリ。

「モユルリ」島ノ北東方約7鏈ニ2小岩アリ**蟹岩**(トド島)ト稱シ1岩ハ高サ9米ナリ、此ノ岩ヨリ北方及東方各約3鏈間ハ淺水地ニシテ水深2米ヨリ淺ク「ウネリ」アルトキハ破浪ス。

緩海峡 上記諸島ト本陸トノ間ノ水道ヲ緩海峡ト謂ヒ昭和9年以降海峡内ニ於テ水深6.6—6.8米ノ淺瀬3箇ヲ發見セリ。

潮流 緩海峡ニ於ケル漲潮流ハ北東方ニ、落潮流ハ南西方ニ流レ略高低潮時ニ轉流シ最低流速1.3節ニ達ス。

巽ノ瀬 緩島ヨリ東北東方約5湮ニ在ル1礁脈ニシテ深水部ヲ中央ト

シ兩側ニ淺瀬アリ、北東側ノ淺瀬ハ水深3米内外ニシテ最淺部ハ水深2米ヨリ淺シ又南西側ノモノハ南北ノ2群ヨリ成リ淺瀬上數箇ノ洗岩アリ。巽ノ瀬ハ礁上常ニ破浪スルヲ以テ3—4湮以上ノ距離ヨリ認メ得ベシ、然レドモ視界不良ノトキハ大ニ警戒ヲ要ス、夜間同礁ノ南東側ヲ航過スルトキニハ納沙布埼燈臺ノ紅光分弧内ニ占位セザル間ハ落石埼燈臺ノ紅光分弧内ニ入ラザルコトニ意ヲ用フベシ。

花咲港(花咲錨地)(海圖24分圖) 昆布盛埼ノ北方約3.5米ニ在リ、根室半島南岸中最良ノ避泊港ニシテ冬季根室港結水中ハ其ノ副港トシテ利用ノ價值大ナリ。港ハ西ヨリ北ヲ經テ北東ニ至ル間ノ諸風ヲ避ケ且長節埼ニ近ク地ノ瀬(水深4米)、沖ノ瀬(水深4.6米)アル外障碍物ナク水深適度ニシテ錨搔キ良シ、但シ南港ヨリノ「ウネリ」ヲ感ズルコトアルベシ。

霧 花咲港ハ根室港ヨリ濃霧遙ニ多ク根室港ニ於テ快晴ナルトキモ本港ハ往々霧ニ鎖サレ居ルコトアリ。

海水 港内ハ結氷スルコトナシ。流水ハ2月下旬ヨリ4月中旬迄來襲シ風向ニ依リ港内全部ヲ充塞スルコトアルモ一兩日ニシテ去ルヲ常トス、4月ニ於ケル流水ハ往々厚サ5—6米ニ及ブモノアルヲ見受クト謂フ。

目標 入港時沖合ヨリノ好目標ハ花咲燈臺ニシテ漸次接近スルニ從ヒ港内北東隅ノ突堤及其ノ先端ニ在ル驗潮室ハ共ニ認メ易キヲ以テ進入容易ナリ、又驗潮室西方西約500米、港内北濱ニ在ル高サ11米ノ小丘モ好目標ナリ。

花咲燈臺 花咲鼻ニ在リ、高サ5.8米ノ白塗四角形木造ニシテ燈臺27米。

錨地 錨地ハ花咲燈臺ノ西方約700米、水深11米、底質沙ノ處ヲ最

良トス、之ヨリ更ニ西スルコト300米以上ニ到レバ南東ノ風浪ニ對シテ不良ナリト謂フ、又一般ニ燈臺ヲ通ズル東西線以南ハ錨地トシテ適當ナラズ。

針路法 入港ニハ緩海峽、蟹岩巽ノ瀬間、巽ノ瀬友知島間ノ何レヲ探ルモ花咲燈臺ヲ視認シテ之ニ向首スレバ安全ニ近接シ得ベシ、但シ緩海峽ハ第78頁同項記事ニ在ル如キ淺瀬他ニナキヲ保セズ。

上陸所 港内北東隅ニ位スル驗潮室所在ノ突堤ハ最良ノ上陸所ナリ、但シ附近淺水ナルヲ以テ短艇ノ達著ニ注意ヲ拂フノ要アリ。

友知灣(トモシリ) 花咲港ノ北東方ニ隣シテ弓形ヲ成シ南方ニ露開ス灣口兩端附近ハ岩石多クシテ高キモ灣首ハ長サ3哩ノ低キ沙濱ヲ成シテ漸次内方ニ隆起ス。

灣口ノ東端**友知埼**ノ南方ニ2嶼アリ、北方ノモノヲ**地友知島**ト謂ヒ高サ19米、之ト友知埼トノ間ハ小舟ノ外通航スルコトヲ得ズ、南方嶼ハ**友知島**ト稱シ高サ同ジク19米ニシテ南西方へ3鏈間險礁斗出ス。

錨地トシテハ友知島ノ310度3鏈、水深11—13米、底質沙ノ處ヲ可トス、此處ハ西ヨリ北ヲ經テ東ニ至ル間ノ諸風ヲ避ケ得ベク且友知島ニ依リテ沖ヨリノ大浪ヲ防グコトヲ得、但シ友知島ト之ヨリ北方陸岸トノ間ハ淺水ニシテ且險礁アルヲ以テ之ニ近寄ラザル様注意スベシ。

ヒキウス埼 友知埼ノ東北東方約2.5哩ニ在リ、此ノ埼ヨリ南東方9鏈ニ1暗礁アリ、尖頭ヲ成シ礁脈水深3.6米、四方水深約10米ナリ。

フマリモイ島 「ヒキウス」島ノ東方約9鏈ニ在ル高サ9.7米ノ小嶼ナリ、其ノ東方約4鏈ニ橢圓形ノ1小嶼アリ高サ7.7米ニシテ**齒舞島**(ハボマイ)ト稱ス、此等兩嶼ハ孰レモ礁脈ニ依リ陸岸ニ連絡ス。

イソモシリ埼 「フマリモイ」島ノ東方約1哩ニ在ル高サ12米ノ平頂

島ナリ、島ト陸岸トノ間ハ淺水ニシテ險礁多シ。

瑤瑤瑁埼(ゴヨウマイ) 根室半島東端ノ南角ニシテ高サ約15米アリ、埼上平坦ニシテ岩石多ク樹木ナシ。埼ノ南南西方約5鏈ニ截頭圓錐形ノ小嶼アリ瑤瑤瑁島ト稱ス、高サ9.3米ニシテ波浪高キトキハ常ニ白浪ノ跳ルヲ見ル。

猫頭礁(ネコガシラ) 瑤瑤瑁埼ノ南南東方約1哩ニ在ル洗岩ニシテ波浪高キトキハ認メ得ベキモ平波ノトキハ容易ニ認メ難ク且其ノ位置航路ニ近キヲ以テ危險ナリ。

納沙布埼(ノシャップ) 北海道本島ノ最東端タル納沙布埼ハ土地低ク之ヨリ西方約2軒ノ處ハ此ノ附近ノ最高地ナルモ高サ28米ニ過ギズ。端埼ノ北方約7米ニ東西ニ長キ水深4.7鏈ノ孤立礁アリ。

納沙布埼燈臺 納沙布埼ノ東端ニ在リ、高サ14米ノ白塗上部圓形下部四角形「コンクリート」造ニシテ燈高23米。

霧信號 納沙布埼燈臺ニ霧笛アリ、毎35秒ニ1回吹鳴ス(吹鳴5秒、停鳴30秒)。此ノ霧信號裝置ハ南方ニ開口スルヲ以テ燈臺ノ南北兩地ニ於ケル音達距離ニ大差アリト謂フ。

瑤瑤瑁水道

北海道本島ト千島列島ノ一部タル水晶諸島トヲ分隔スル瑤瑤瑁水道ハ上記納沙布埼、瑤瑤瑁埼間ヲ以テ西側トシ下記ノ貝殻淺瀬ヲ東側トスル狹水道ニシテ根室近海ノ要路ヲ成ス、本水道ハ密霧ノ流行スルト、陸地低ク又海岸近傍ニ險礁散布スルトニ因リ通航ニハ大ニ警戒ヲ要ス。

貝殻淺瀬 此ノ淺瀬ハ南東、北西ノ方向ニ約2.5哩間擴延シ常ニ破浪アリ殊ニ夏季南東風時ヲ然リトス、淺瀬上小嶼數箇アリ。

貝殻島燈臺 貝殻淺瀬上ノ諸嶼中北西方ニ位スル貝殻島上ニ在リ、黒

塗圓形「コンクリート」造ニシテ燈高17米。

霧信號 貝殻島燈臺ニ霧鐘アリ、毎20秒ニ1回打鳴ス。

霧 瑤瑤瑠水道ニ於テ偏南風ニ會セバ濃霧忽チ起リ屢數米先ヲ見ル能ハザルコトアリ、主トシテ5月至7月ニ於テ然リトス。

潮流及海流 日潮不等甚ダ大ナルヲ以テ潮流ニモ午前ト午後トニ依リテ大ナル不等アリ、且水道狹部ヲ除ク外ハ一般ニ流速微弱ニシテ流向及流速ハ日ニ依リテ著シク變化スルモノノ如シ、水道ノ潮流ハ未ダ精測ヲ經ザレドモ大正10年6月至9月ノ大潮期ニ測定セル結果ヲ略記スレバ次ノ如シ、但シ常ニ斯克アルベシト速斷スベカラズ。

瑤瑤瑠水道狹部（納沙布埼ノ東北東方約0.5哩）ニ於テハ潮流ハ南東方及北方ニ流ル、南東流ハ低潮後約3時ヨリ高潮後約3時迄流レ高潮ノ頃ニ最強ト爲リ、北流ハ高潮後約3時ヨリ低潮後3時迄流レ低潮ノ頃ニ最強ニシテ兩流共最強流速3節ニ達ス。

納沙布埼ノ南東方約2.5哩ニ於テハ低潮後約3時ヨリ高潮後約3時迄南方ニ流レ高潮ノ頃ニ流速最強ニシテ1.5節ニ達スレドモ高潮後約3時ヨリ低潮後約3時迄ハ北至東ニ流レ流速0.5節ヲ超エズ、南流ノ強キハ水道狹部ヲ南ニ向ツテ強流シ來ル潮流ノ影響ナルベシ。

納沙布埼ノ東北東方約0.5哩ニ於テハ南東方及北方ニ流レ南東流ハ低潮後約3時ヨリ高潮後約3時迄流レ高潮ノ頃ニ最強、北流ハ高潮後約3時ヨリ低潮後約3時迄流レ低潮ノ頃ニ最強ニシテ最強流ハ南北兩流共ニ約3節ニ達ス。

納沙布埼北方約2哩附近ニ於テハ低潮後約1時ヨリ高潮後約1時迄ハ東至南ニ流レ、高潮後約1時ヨリ低潮後約1時迄ハ北西方ニ流レ、北西流ハ最強1.5節ニ達スレドモ南流ハ0.5節ヲ超エズ。

一般ニ水道ノ兩側ハ反流ヲ起シ加フルニ激シキ渦流ヲ生ズ、此ノ現象ハ貝殻島附近ニ於テ殊ニ甚シ、然レドモ最深水部ヲ通航スルニ於テハ危險ナキヲ例トス、但シ本水道ハ海流強キ場合アリ、殊ニ根室半島ノ北岸ニ沿ヒテ流ルル海流ガ水道ニ入りテ南下スルニ當リテハ船舶淺瀬ニ壓流セラルル傾向アルヲ以テ注意ヲ怠ラザルヲ要ス。

流水 第1編第11頁流水去來ノ始終期ノ項ヲ見ルベシ。

目標 水道口ハ落石埼燈臺、納沙布埼燈臺及水道東側ノ諸島ニ依リ容易ニ求メ得ベシ、又視界良好ナルトキニハ納沙布埼附近ノ陸地ヲ認ムルニ先チ國後島南西端ニ近キ泊山（海圖34）ヲ北方ニ望ムベシ。水道東側ノ諸島中萌茂尻島、「オドケ」島ハ目標トシテ可ナルモ水晶島ハ扁平ナルヲ以テ島端ノ外目標ニ適セズ、又萌茂尻島及秋勇留島ハ何レモ8—10哩ヨリ認メ得ベク萌茂尻島ノ海岸ニ打上グル白浪ハ5哩ノ距離ヨリ認メ得ベシト謂フ。

針路法 西方ヨリ來リテ本水道ヲ北上セントスルトキハ落石埼ト納沙布埼トノ中間ナル諸危險ヲ避クル爲晝間ハ納沙布埼燈臺ヲ337度以下ニ見ル迄落石埼燈臺ヲ242度以上ニ保視シ、夜間ハ納沙布埼燈臺ノ白光ヲ見ル迄落石埼燈臺ノ白光區域内ヲ保チ進ムベシ、既ニ納沙布埼燈臺ヲ337度ニ見タル後ハ同燈臺ノ東方0.5哩ノ處ヲ通過スル様適宜變針スベシ、此ノ針路上同燈臺ヲ337度ト295度トノ間ニ望ム間ハ船舶ハ水道南口兩側ノ危險ヲ避ケタル安全區域内ニ在リ、納沙布埼ノ東方0.5哩ヲ通過後ト雖モ燈臺ヨリ北方少クモ1哩ノ處ニ到ラザレバ針路ヲ西方ニ轉ズベカラズ。

第 3 編

根室海峽及北海道北岸

本編ニハ根室海峽ノ一般記事ト北海道東岸（根室海峽西濱）即チ根室國納沙布埼ヨリ根室北見兩國國境端ナル知床岬ニ至ル間竝ニ北海道北岸即チ知床岬ヨリ北見國宗谷岬ニ至ル間ノ各沿岸記事トヲ収録ス。

根 室 海 峽

根室海峽ハ瑤瑤瑁水道ト共ニ北海道本島ト千島列島トヲ分隔シ根室國納沙布埼ト國後島「ケラムイ」埼トヲ連結スル線ヲ南口トシ、根室北見兩國國境端ノ知床岬ト國後島「ルルイ」岬トヲ連結スル線ヲ北口トス、南口ニ近キ海峽内ノ最狹部タル野付水道ハ第 82 頁同項ニ於テ詳記スル如ク海峽内ノ最淺部ニシテ而モ險處多キヲ以テ結局船舶根室海峽通峽ノ能否ハ流水ノ狀況如何ヲ除ク外、一ニ野付水道通航ノ能否ニ依リテ定マルモノト知ルベシ。

氣象 根室海峽ニ於テハ9月ヨリ翌年4月迄ハ西風及北西風流行シ11月ヨリ翌年3月迄ハ屢雨雪ヲ伴ヘル烈シキ強風アリ、殊ニ知床半島ノ羅臼附近ハ風力強ク往々家屋ヲ倒壊スルコトアリ、5月及6月ハ偏南東風連吹シ其ノ間國後島北西岸ニ於テハ山間ヨリ吹出シ風力稍強キモ海峽ノ中央ニ至レバ漸次其ノ力ヲ減ジ知床半島東岸ニ至リテ消滅ス、7月8月ハ平穩期ニシテ偏南風輕吹シ海上靜穩ナリ。

霧 根室海峽ニ於ケル霧ハ5月下旬若ハ6月ヨリ起リ7月中旬ヨリ8月迄最モ多ク夏ノ土用前後ニ於テハ1週日ニ亙ルコトアリ、而シテ9月

＝入リテ漸減シ10月ハ殆ド全ク消滅ス。

潮汐

根室海峽西濱〔北海道東岸〕＝於ケル潮汐ノ性質ハ北海道南岸ト殆ド同様ナリ。

潮流及海流

根室海峽＝於テハ潮流ハ南西及北東＝流ル、南西流ハ略低潮時ヨリ略次ノ高潮時迄流レ、北東流ハ略高潮時ヨリ略次ノ低潮時迄流レ何レモ流速大ナラズ、然レドモ北部＝於テハ海流ノ影響ヲ受ケテ海水ノ流動ハ不規則ト爲ル、即チ羅臼ノ沖合＝於ケル秋季大潮期略低潮時ヨリ高潮時＝至ル間ノ2回ノ觀測＝於テ其ノ流向全ク相反セシコトアリ。

夏季＝於テハ國後島北西岸ノ「イカバノツ」埼以北及知床半島ノ「ボンムイ」〔觀音岩附近〕以北＝於テハ一定ノ海流アリテ潮流ヲ感ゼズト謂フ、尙第1編第9頁對馬海流ノ項ヲ參照スベシ。

海水

第1編第9頁結氷及第10頁流水ノ項ヲ參照スベシ。

目標

根室海峽＝於ケル目標ハ國後島＝在リテハ泊山(高サ543米)、登島山(高サ895米)、「エビカリウシ」山(高サ855米)及其ノ西方449米山ノ高崖、「チヤシコツ」埼ノ赭色崖、茶々岳(高サ1,845米)、「ルルイ」山(高サ1,506米)等、知床半島＝在リテハ羅臼岳(高サ1,666米)等ヲ顯著ナルモノトス。

野付水道

(海圖18) 根室海峽ノ南口＝近キ海峽内ノ最狹部＝シテ野付埼ト國後島南西端トノ間＝於テ其ノ幅9哩アレドモ兩側ノ淺瀬ノ爲可航水道ハ幅僅＝1—2哩＝狭メラル、此等ノ淺瀬ハ變移常ナク又水深ハ淺ク頗ル不同＝シテ且絶エズ變化スルヲ以テ常＝圖載ノ水深アリト期待スルハ固ヨリ安全ナラズ、加之水道＝ハ航路標識ノ設備ナク陸岸ハ低クシテ目標ト爲ルベキ諸山亦遠距離ナルノミナラズ霧＝覆ハレテ見エザルコト多キ

ヲ以テ深所ノミヲ縫航スルコトハ容易ナラズト知ルベシ、但シ6月至8月ノ交納沙布埼ヨリ國後島南東岸方面一帶濃霧ノ日ト雖モ本水道方面ハ晴天ヲ見ルコト多キ利點ヲ有スト謂フ、要スル＝淺吃水船舶ノ外ハ本水道ノ通航ハ危險ナリ。

本水道＝於ケル淺瀬ノ主ナルモノ次ノ4アリ。

ケラムイ淺瀬

水道北東側＝於テ國後島南端「ケラムイ」埼ヨリ南東方＝約12哩間廣延シ距岸約9哩間ハ處々水深6米ヨリ淺ク洲上時トシテ強浪ヲ起スコトアリ。

ノツテツト淺瀬

水道北東側＝於テ國後島南西端「ノツテツト」埼ヨリ南方へ約6.5哩廣延シ其ノ北方約 $\frac{3}{4}$ ハ洲上處々水深5米ヨリ淺ク外方 $\frac{1}{4}$ ハ水深5.9—12米ナリ。

野付淺瀬

水道南西側＝於テ野付埼ノ東方5.5哩以内＝在リ、南北2洲アリテ洲上水深6.9—10米ナリ。

野付北淺瀬

水道南西側＝於テ野付埼ノ北北東方約3.5哩ヨリ西方＝連レル長サ約9哩、幅1哩内外ノ狹長ナル淺瀬＝シテ水深1.7—5米ノ點洲散在ス。

根室海峽西濱〔北海道東岸〕

根室海峽西濱全岸ハ即チ北海道東岸＝シテ其ノ形狀東方＝向ヒ大彎曲ヲ成シ、南部ハ長サ約17哩ノ根室半島北岸、中部ハ約40哩＝互ル大部分低地ノ海岸、北部ハ長サ約35哩ノ知床半島東岸ナリ、此ノ間ノ沿岸＝ハ根室港ノ外、錨泊＝適スル處ナシ、唯西風及北西風ノ際羅臼泊地及留斜川ノ河口前面＝假泊シ得ベシ。

根室半島北岸ハ納沙布埼ヨリ「ノツカマツブ」埼迄約7哩間西方＝向ヒ次デ根室港迄約5哩間南西方＝向フ、其ノ間ノ海岸ハ暗黒色ノ岩角若ハ低崖石

濱ニシテ竹藪及矮樹茂リ顯著ナル物標ヲ見ズ。根室港ヨリ約5哩間ハ海岸南西方ニ向ヒ其ノ間一層樹林多ク根室港ノ背後ハ地勢隆起シテ約60米ニ達ス。

根室港ノ南西方約5哩ヨリ海岸ハ北西方ニ向ヒテ西別川ノ河口ニ至リ次デ北方ニ向フコト約15哩、奇異ナル鈎形ヲ成セル野付沙嘴ニ達シ夫ヨリ西北西方ニ折レテ標津ニ至ル、此ノ間ハ礫濱ニシテ内陸ハ總テ低シ。標津ヨリ北北東方ニ向フコト約9哩ニシテ薰別ニ至ル、其ノ中標津ニ近キ3哩間ハ沿岸平低ニシテ耕作セラルレドモ夫ヨリ北方ハ階段狀ノ丘陵ニシテ喬木繁茂セル原野海岸ニ迫リ高サ約20米ノ直立崖ヲ成シ其ノ谿谷ヨリ諸川海ニ注グ、河口ニハ何レモ村落又ハ漁舎アリ。

知床半島ハ一大山脈ヲ成シ其ノ東岸ハ薰別ヨリ北東方ニ向ヒ殆ド直條ニシテ概ネ礫濱ヲ成シ處々險崖アリ、但シ薰別ヨリ植別ニ至ル間ノ沿岸ハ其ノ狀況概ネ薰別以南7哩間ト似タリ、半島東岸ハ急深且深水ニシテ200米等深線ハ概ネ距岸0.7—2哩ニ在リ。

ノッカマップ埼 納沙布埼ノ西方約7哩ニ位スル多岩ノ岬角ニシテ高サ12米ニ過ギズ。

潮流 「ノッカマップ」埼ノ北方約2.5哩ニ於ケル潮流ハ極メテ不規則ナルガ如ク7月ノ大潮ニハ低潮時ニ最強流速約1節ノ東流ヲ測得セルモ同月ノ小潮ニハ低潮時ニ西流約0.2節ヲ驗測セリ。

根室港 (海圖24分圖) 根室港ハ「ノッカマップ」埼ノ南西方約5哩ニ位シ北海道東岸ニ於ケル要津ナリ、然レドモ冬季結氷中ハ港ノ使用困難ナルヲ以テ根室半島南側ノ花咲港ヲ以テ之ニ代用ス。

根室町ハ北海道廳根室支廳及町役場ノ所在地ニシテ人口約20,000(昭和15年國勢調査)。當港ニ於ケル海事關係官署トシテハ函館稅關根室支署、根

室築港事務所、根室警察署、北海道廳立水産試驗場根室支場等アリ。

本誌ニ於テハ便宜上港界内ヲ2分シ北防波堤、西防波堤、辨天島及築港防波堤ノ外方ヲ外港、同内方ヲ内港ト稱ス。

氣象 卷末氣象表第5(根室氣象表)參照。

南方ニ生ジタル低氣壓ノ北東ニ進路ヲ取りテ進ムヤ或ハ宗谷海峽附近ヲ通過シ、或ハ太平洋方面ヲ經ルヲ以テ根室近海ハ概ネ其ノ形響ヲ蒙ルモノトス、低氣壓根室港ノ北方ヲ過グルトキハ氣壓ノ漸降ト共ニ南風ト爲リ南西ニ至リテ氣壓最低ヲ示シ風勢亦猛烈ヲ極ム、既ニシテ西風ニ轉ゼバ氣壓ノ上昇ト共ニ天氣平靜ト爲ル、若シ低氣壓根室港ノ南方ヲ經ルトキハ氣壓ノ漸降ト共ニ東風ヲ生ジ漸次逆轉シ北風ト爲リテ氣壓最低ヲ示シ、次デ氣壓ノ上昇ニ伴ヒテ北北西風ト變ジ風力最モ強烈ヲ極メタル後漸ク氣壓ノ上昇ニ從ツテ北西又ハ北東ニ變ジ而シテ後平穩ニ復ス。

霧 根室測候所ニ於ケル研究ノ結果ニ依レバ霧ノ起ルハ極ネ次ノ如キ狀況ノ下ニ於テト謂フ。

氣壓 760 耗内外ノトキ。

氣溫 10 度内外ノトキ。

水溫 寒流ノ溫度ガ氣溫ト大差アルトキ。

風向 道常ハ南南西ヨリ南南東ノ間ニ起リ最モ甚シキハ正南及南東ナルトキ(南南西ヨリ南西ニ順轉スルトキハ消散ス)。

根室附近ニ於ケル霧ハ4月中旬至9月上旬ニ多ク夏季7月8月ニ最モ多シ、而シテ日出前ニ稍多ク正午頃ニ稍少キ傾向アリ、霧ノ繼續時間ハ2時間未滿ノモノ最モ多ク總回数ノ約半數ヲ占メ、平均繼續時間ハ約3.5時間ナリト謂フ、一般ニ霧ハ沖合ヨリモ沿岸ニ多キガ如シ。

繼驗アル此ノ方面航海者ノ言ニ依レバ霧來襲ノ前兆トシテハ氣壓漸次下降

スルヲ例トシ又根室近海ニ於テハ濃霧ノ場合ニモ午前10時頃ト午後2時頃ニハ必ズ霧ルルカ若ハ稀薄ト爲ルヲ常トスルヲ以テ船舶ハ豫メ揚錨シテ其ノ時機ヲ待ツモノ多シト謂フ。

一般ニ霧ニ對シテハ次記ノ現象ニ注意シ適宜航泊スルヲ可トス。

1. 霧中漂泊ハ危險多シ、不規則ナル海流等ノ爲不識ノ間ニ船位ヲ變ズレバナリ。
2. 濃霧ハ終日連續スルコト甚ダ稀ニシテ日中ニ至レバ時ニ風ニ伴ヒテ消散シ若ハ稀薄ト爲ル。
3. 霧ハ南或ハ東ノ風ニ依リ襲來シ北西風ニ依リ散ズルコト多シ。

潮流及海流 内港外ニ於テハ漲潮流ハ陸岸ニ向ヒ落潮流ハ之ニ反スルモ附近ニハ東方ニ流ルル海流アリ、海水ハ潮流ヲ壓シテ常ニ南東方及北東方ニ流ル、然レドモ流速0.5節ヲ超ユルコト稀ナリ。

海氷 結氷ハ「オホツク」海ヨリ來ル流水ノ互ニ連接シテ港内ヲ梗塞スルニ起因スルモノニシテ1月初旬ヨリ3月下旬迄内港内總テ堅氷ニ鎖サレ辨天島ニ至ル迄一面ノ氷原ト爲リ船舶ノ出入杜絶ス、而シテ春暖催シ結氷融解スルトキハ巨大ノ流氷海上ニ漂フガ故ニ4月ニ至ルモ尙航海ノ障碍タルコト少ガラス、然レドモ近來ハ全ク結氷ヲ見ザル年アリト謂フ。

港灣設備 外港南東側ニハ北防波堤、西防波堤、築港防波堤及彌生町波際堤（其ノ南側ニ船入濶ヲ設ク）アリ。

内港東濱ニハ小船溜及船入濶アリ。

内港南濱ニハ根室海運株式會社棧橋、物揚場埠頭（郵便局ノ北方ニ在リテ外端ニ燈竿ヲ有ス）及同埠頭西隣ノ柳田埋立地物揚場アリ。

内港西濱ニハ辨天島築港物揚場アリ。

目標 辨天島ハ2防波堤ノ基端ヲ成シ其ノ形恰モ海鼠ノ如ク高サ11

米、島上平坦、雜草叢生シ中央部ニ1祠宇アリ、辨天島南端ノ西方ニ高サ1.3米ノカフエ島アリ。

市街ノ東方根室牧場ノ南方△54附近ニ在ル落石無線電信局受信所ノ無線電柱3基ハ好目標ナリ。

根室辨天島燈臺 辨天島ノ北端ニ在リ、白塗圓柱鐵造ニシテ燈高18米。

根室港防波堤燈臺 築港防波堤南端ニ在リ、白塗圓形「コンクリート」造ニシテ燈高11米。

根室港北防波堤燈臺 北防波堤外端ニ在リ、白塗圓形「コンクリート」造ニシテ燈高15米。

霧信號 根室港北防波堤燈臺ニ霧笛アリ、毎1分ニ1回吹鳴ス（吹鳴30秒、停鳴30秒）。

根室港北防波堤燈竿 北防波堤内端ヨリ西方125米ノ堤上ニ在リ、白塗鐵造圓柱ニシテ燈高7.6米。

障碍物 辨天島燈臺ノ北東方8鏈、距岸3鏈餘ニ1險礁アリ、礁上水深1.3米ニシテ其ノ外側ハ水深2—5米アリ、而シテ100米ヲ隔ツレバ直ニ10米等深線ニ達ス、此ノ險礁ハ東ヨリ北ヲ經テ西ニ至ル間ノ諸風強吹スルトキハ破浪スルモ其ノ他ノトキハ容易ニ視認シ難シ。築港防波堤南端ノ西北西方約5.5鏈ニ水深9.2米ノ暗礁アリ。築港防波堤南端ノ南西方約1湮ニ1礁團寄り磯アリ、淺水石陂ニ依リテ其ノ南東方陸岸ト連續ス。

錨地 修築工事ニ依リ内港内ノ浚渫區域ヲ擴張中ナルモ現在ハ未ダ適當ナル錨地ノ狹隘ナルヲ免レズ、又從來北風ニハ錨泊安全ナラザルコト多キヲ以テ小形船舶ハ成ルベク辨天島ニ近寄り現在ノ風向ノ如何ヲ問ハズ北風ニ對シテ效果アラシムル如ク考慮シテ双錨泊ヲ行フヲ可トス（北海道港内

取締規則第21條參照)。外港=於テハ辨天島ノ北西方約800米、水深15米附近ヲ可トスベキモ常=北風=對スル警戒ヲ要ス。

經驗ノ訓フル處=依レバ本港=於テハ特=下記ノ現象=注意シ適宜處置スルヲ怠ルベカラズ。

1. 風力强キトキ双錨泊ヲ爲ス=方レテ潮流ノ強勢ナルコト=留意シ錨鎖ノ緊張ヲ加減セザレバ1錨=ノミ過重ノ負擔ヲ來シ遂=切斷スルノ虞アリ。
2. 寒流ノ爲=錨鎖ノ切斷セラルルコトアリ。
3. 晴雨計下降シ風向逆轉スルトキハ必ズ猛烈ナル北風ヲ豫期シ得ベク、斯カル際=ハ速=花咲港等=避難スルヲ安全トス。

針路法 根室港ハ北海道東岸=於ケル唯一ノ錨泊地ナルモ之=到ル=冬季ハ流氷ノ爲船舶ノ航行阻止セラレ夏季ハ濃霧多ク危險少カラザルヲ以テ航海上極メテ困難多キ處トス。

瑤瑤瑠水道ヲ經テ入港スル船舶ハ納沙布埼根室港間ノ海岸ヨリ少クモ1哩ヲ隔テテ航行スベシ、内港口=近寄ル際ハ根室公園北方約5鏈ノ險礁ヲ避クル爲根室支廳ヲ紅煙埼ヨリ開キ之ヲ175度=視タル後=於テスベク、内港口=向首スル=ハ根室海運株式會社東方綠色屋根ノ2棟ノ倉庫(「根室海運」ト白書シアリ)東端ト根室病院ノ屋頂トヲ結ブ一線157度上ヲ進ムヲ可トス、夜間ハ兩所共電燈ヲ點ズ。

水先 本港=ハ水先人ナシ。

港則 開港港則ハ未ダ當港=於テ實施セラレズ、水路誌附録第2卷=就テ北海道港内取締規則ヲ見ルベシ。

暴風雨標 北海道廳立根室測候所=暴風雨標アリ(破損、昭和15年報告)。

船舶速力試驗標 「ノッカマップ」埼ノ南西方3,000米附近ノ海岸及5,000米附近ノ海岸=孰レモ2基ヨリ成ル船舶速力試驗標アリ、航走針路北防波堤燈竿ト辨天島=設ケタル標柱トヲ一線=見ル208度=シテ試驗距離1,837.2米ナリ。

上陸所 上陸所ハ物揚場埠頭(根室支廳經營)ナルモ機動艇ノ達著=ハ不便ナリ。

給水 清水ハ上水道=シテ其ノ運搬供給ハ個人供給=屬シ手働唧筒附給水船3隻アリ(昭和8年調)。

バラサン淺瀬 根室港ノ西北西方約13哩ナル西別川河口ノ北方約3哩ノ海岸ヨリ約2哩間沖方へ擴延スル淺瀬=シテ洲上ノ水深3.6-5米ナリ。

野付沙嘴 西別川河口ノ北方約15哩ノ處ヨリ東南東方へ約7哩間斗出セル平低ノ沙嘴=シテ奇異ノ鈎形ヲ成シ嘴上=根、樺、柃ノ類多ク繁茂ス、沙嘴ノ東端ヲ野付埼(水神鼻又ハ龍神鼻)ト稱ス。

野付沙嘴ノ南側水深4米内外ノ處ハ偏北風ヲ保障スル錨地ヲ成ス。

水神堆 北北西、南南東ノ方向=長サ約3哩餘ヲ有スル狹長ナル沙堆=シテ其ノ北端ハ野付埼ノ東方=位シ此ノ端=近ク水深1.1米ナル最淺部アリ。

野付水道、野付淺瀬及野付北淺瀬 第82頁野付水道ノ項ヲ見ルベシ。

標津錨地(シベツ) 野付埼ノ北西方約11哩=位スル標津川河口ノ前面一帶ヲ標津錨地トス、野付水道南航船舶ノ待機錨地トシテ適當ナリ、根室海峽北口ヨリ來リテ此ノ錨地=到ラント欲セバ北西方ヨリ連レル斷崖ノ盡クル所ヲ目標トシテ進行シ村落ノ家屋又ハ煙突ヲ見テ錨地=就クベシ。

武佐嶽(ムサ) 標津川ノ河口西方約20軒=武佐嶽(高サ1,006米)聳

エ其ノ北隣ノ尖峰(高サ984米)ト共ニ知床半島脊梁山脈ニ續ク山脈中ノ著峰ナリ。

忠類(チュウルイ) 標津川河口ノ北北西方4.5哩ナル**忠類川**ノ河口ニ在ル村落ニシテ秋田木材會社ノ製材所アリ。忠類ノ北北西方約4.5哩ナル**薰別川**河口ニ薰別村落アリ。

知床半島 薰別ヨリ北東方ニ斗出シ長サ約35哩ニ互ル大半島ニシテ其ノ西側ハ網走灣ヲ擁シ東側ハ根室海峡ニ臨ム、半島ノ脊骨タル高山脈ノ中部ニ**羅臼岳**(高サ1,666米)アリ最モ高ク、南部ノ**海別山**(ウチベツ)(高サ1,419米)之ニ次ギ、北部ノ**知床山**(高サ1,263米)以北ハ漸次ニ低下ス。

植別(ウエンベツ) 薰別川河口ノ北北東方約4.5哩**植別川**ノ河口ニ在ル村落ナリ。

ケトンチピラ 植別川ノ河口北方約3.5哩ニ在ル尖銳ナラザル岬角ニシテ丘腹崩壊シテ三角形ノ黄褐色崖ヲ成ス。「ケトンチピラ」ノ北方約1哩ナル春刈古丹(シュムカリコタン)ヨリ北方羅臼迄ハ海岸礫濱ニシテ民家散在ス。

羅臼泊地(ラウス)(海圖42分圖) 春刈古丹ノ北東方約5.5哩、羅臼村落ノ前面ニシテ海岸ハ屈曲少キ礫濱ヨリ成レドモ能ク北西風ヲ避ケ又北東風ノ外概ネ假泊シ得ベシ、尙羅臼川ノ河口ト其ノ北東方約350米ニ在ル旗竿トノ約中間ノ海岸ニハ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入瀨アリ。定期船ハ「ハシコイ」埼附近蠟燭岩ヲ39度ニ、該旗竿ヲ310度ニ望ム水深10.9—12.8米、底質沙ノ處ニ投錨スルヲ例トス。

羅臼ハ知床半島ノ主村落ナリ、上記旗竿ノ前面ニ干出石陂ニ依リテ風浪ヲ障屏スル著舟場アリ久右衛門瀨ト稱ス、但シ南東風ニハ此處ヨリノ上陸ハ稍困難ナリ、羅臼川ハ羅臼岳南側ノ谿間ヲ流下シテ此ノ地ニ注グ。

ハシコイ埼 羅臼川河口ノ北東方約1.8哩ニ在リ、埼ノ南側ハ顯著ナル白色崖ヲ成シ好目標ト爲ル。埼ノ前面ニ**蠟燭岩**アリ、高サ22米ニシテ南北ヨリ望ムトキハ顯著ナリ。

サシルイ埼 蠟燭岩ノ北東方約2.2哩ニ在ル高サ53米ノ埼ニシテ熊笹茂生ス。

留斜川(ルシヤ) 「サシルイ」埼ノ北方約4哩ニ在ル小河ニシテ知床半島ノ脊梁高山脈ハ此ノ防近ニ於テ半島ノ兩側ヨリ低下シ此ノ川ノ上流ニ於テ最モ低シ。

留斜川ノ河口前面ハ稍彎形ヲ成シ西風ヲ保障ス、風浪ノ爲知床岬ヲ繞航シ能ハザル船舶ハ此處ニ假泊スルコトアリ。

觀音岩 留斜川河口ノ北東方約6.3哩ニ位シ數箇ノ直立岩ヨリ成ル、最高岩ハ高サ16米ニシテ其ノ西側ハ險崖ヲ成シ稍顯著ナリ。

ホロムイ 觀音岩ノ北方約1哩ニ「ホロムイ」ト稱スル漁場アリ、其ノ南方濱ハ數多ノ干出岩散點ス。

モイリウス浦 觀音岩ノ北北東方2哩ニ在ル小灣ニシテ灣口兩側ハ峻崖ヲ成シ灣内水深1米、底質沙ノ處能ク風波ヲ避ケ小舟ノ避泊ニ適ス。灣口ノ南端岬角ニ接シテ**タケノコ岩**(高サ20米)ト稱スル直立岩アリ。

ペキンノ埼 「モイリウス」浦ノ北方1哩ニ在リテ知床半島ノ最東端ヲ成ス、埼頂ニ高サ12米ノ小丘アリ、尖頂ニシテ顯著ナリ。

ニツ瀧 「ペキンノ」埼ノ北北西方約2哩ニ2條ノ瀑布アリ、相距ル約1.5鏈トス、其ノ北方ニ在ルモノハ高サ96米、顯著ニシテ2條ノ飛流相合シテ直下ス、因リテ此ノ名アリ。

烏帽子岩 ニツ瀧ノ北北東方約8.5鏈、距岸約150米ニ在リ、高サ25米ノ直立尖頂岩ニシテ頗ル顯著ナリ。此ノ岩ノ東方1.3鏈ニ岩礁アリ、最

低低潮ノ際洗フ。

赤岩 烏帽子岩ノ北方約6鏈、距岸約150米=在ル2箇ノ稍顯著ナル赭色直立岩=シテ其ノ南岩ハ高サ16米。

ソウヤワタラ埼 烏帽子岩ノ北方1.4湮=在ル埼=シテ熊笹叢生ス、此ノ埼ノ南東方距岸2.8鏈=干出0.3米ノ1岩アリ、此ノ埼ノ北側及北東側ヨリハ淺礁擴延シ距岸4鏈餘=達スル所アリ。

知床岬 知床半島最北端ノ險崖岬=シテ高サ20米アリ、岬ト「ソウヤワタラ」埼トノ約7鏈間ハ高サ30米内外ノ丘陵=シテ雜草及熊笹叢生シ距岸3鏈間一帯=岩礁沿布ス。岬ノ北東方約200米=直立岩アリ、高サ7米圓形=シテ**知床岩**ト稱シ遠望顯著ナリ。

知床岬ノ周圍ハ深水=シテ岬端ヨリ約2湮=於テ200米等深線=達ス、然レドモ岬ノ北北東方2.8湮ノ處ヨリ北東方約7.5湮ノ處迄水深45—200米ノ岩礁擴延シ其ノ幅中央=於テ約3.5湮、其ノ南端ハ狹窄シテ嘴形ヲ成ス、此ノ礁脈ノ周圍ハ水深200—700米ナルガ故=霧中此ノ岬沖ヲ航行スル船舶ハ測深=依リ水深ノ不齊ヲ探リ船位ヲ知ルノ便アルベシ。

海流 知床岬北東方ノ岩礁上ハ海流北東方=強流シ最大流速4.8節=達ス。

知床岬至宗谷岬(北海道北岸)

北海道北岸ハ「オホツク」海=面シ根室北見兩國國境端ナル知床岬ヨリ北見國宗谷岬迄約200湮アリ、兩岬間ノ東端約 $\frac{1}{4}$ ハ網走灣=シテ大形船舶ノ泊地網走港ヲ有スルモ他ノ $\frac{3}{4}$ ハ海岸略南東、北西ノ方向=概ネ直條ヲ成シ大形船舶=適スル港灣ナシ、其ノ顯著ナル地形ハ知床半島附近ノ多山地方、瀉及沼地多キ斜里西方ノ低濱、枝幸港近傍ノ高圓崖(背後=較高キ山脈アリ)、枝幸港ヨリ宗谷岬=至ル樹木多キ低地等ナリ。

潮汐 北海道北岸=於テハ日潮不等ハ極メテ著シク1日1回潮ト爲ルコト多シ、而シテ低潮ハ高キ高潮=次デ起ル、夏季大潮=於テハ午前=ノミ高低潮ヲ有スル1日1回潮ト爲リ、冬季大潮=於テハ午後=ノミ高低潮ヲ有スル1日1回潮ト爲ル、又春季小潮=ハ午前=高潮、午後=低潮ノ1日1回潮ト爲リ、秋季小潮=ハ之=反シ午前=低潮、午後=高潮ノ1日1回潮ト爲ル。

平均高潮間隙ハ1日2回潮ノ頃=於テ約3—3.5時、又1日1回潮ノ頃=於テ約14—15時、大潮升ハ0.3—1米、1日1回潮ノ頃ノ平均高潮ノ高サハ1—1.2米ナリ。

潮流及海流 北海道北岸=於ケル潮流ハ西部ヲ除キ大般=流速微弱=シテ海岸=沿ヒテ南東方=流レ海流ノ影響ヲ受クルコト大ナリ、即チ夏季=ハ海水ハ常=陸岸=沿ヒテ南東方又ハ東方=流レ北岸東部距岸7—8湮迄=於テハ低潮後1—2時=流速最強ト爲リ3節=達スルコトアルモ中央部距岸數湮迄=於テハ流速1節ヲ超ユルコト稀ナルヲ驗セシコトアリ、北岸西部距岸數湮=於テハ漲潮流ハ南東方=、落潮流ハ北西方=流レ最強流速1.7節=達ス。

海水 第1編第12頁結氷及流水ノ項ヲ參照スベシ。

網走灣(アバシリ)

知床岬ヨリ西南西方約30湮=在ル能取岬迄ノ間海岸ハ網走灣ヲ形成シ北東至北西ノ諸風=暴露ス、灣濱=ハ留斜、斜里等ノ泊地アレドモ何レモ小形船舶ノ假泊地タル=過ギズ、獨リ網走灣ノミハ大形船舶ノ錨泊=適ス。

カシュウニ島 知床岬ノ南西方7湮ノ海岸=接シ「カシュウニ」島アリ高サ24米、茶褐色ヲ呈シ顯著ナル岩嶼ナリ、此ノ島以南ノ沿岸=ハ漁舍

散在ス、但シ冬季ハ全ク人影ヲ認メズ。

留斜灣(ルシヤ) 「カシユウ」島ノ南西方3.5哩ニ在ル淺入灣ナリ、灣岸沙濱ニシテ其ノ前面ハ水深12—14米、底質沙ノ處ニ假泊シ得ベシ、但シ背後ノ陸地ハ知床山ト**硫黃山**(高サ1,532米)トノ中間ニ當リ比較的の低キヲ以テ根室海峽ニ霧アルトキハ知床半島ヲ越エテ來リ、南風モ亦保障セズ。

コイセボイ浦 留斜灣ノ南西方約14哩ニ在リ、浦内水深5.4—10.9米、能ク諸風ヲ遮屏スレドモ狹隘ニシテ唯小形船舶ノ假泊地タルニ過ギズ。

斜里泊地(海圖29分圖) 「コイセボイ」浦ノ南西方約14哩ニ在ル斜里川河口前面ノ泊地ニシテ北東至北西ノ諸風ニ暴露シ南風及西風ノ際モ強吹スルトキハ波濤來襲スルガ故ニ固ヨリ安全ナル錨地ニハ非ズ。斜里川ハ河口門洲ノ變遷甚シク且淺水ナルヲ以テ高潮時ノ外ハ漁舟ヲモ出入スルヲ得ザリシガ最近河口ノ西方ニ導水堤ヲ設ケ放水口ヲ變更セリ、此ノ川ノ右岸沙濱ニ沿ヒテ斜里村落アリ、其ノ人口約17,600(昭和15年國勢調査)、左岸側ハ雜樹密生シ遠望黑色ナルヲ以テ泊地ヲ認識スル目標ト爲ル。

斜里岳 斜里川河口ノ南方約17軒ニ在ル高サ1,551米ノ黑色尖峰ニシテ知床半島ノ山脈トハ全ク分離シ遠望顯著ナル好目標ナリ。

藻琴山 斜里岳ノ西方約32軒、根室北見兩國國境ニ位スル高サ1,006米ノ山峰ニシテ網走灣ノ内陸ニ於テ斜里岳ト東西相對ス、藻琴山ヲ北方ヨリ望ムトキハ恰モ富士山ノ如ク遠望頗ル顯著ナリ。

網走港(海圖29分圖) 網走港ハ網走灣西濱ノ略中央ニ注グ網走川ノ河口ニ位シ北海道北岸唯一ノ修築商港ナリ、其ノ内港ニハ嘗テ3,000噸級汽船3隻同時ニ碇泊シタルコトアリ、網走川ハ市街ノ中央ヲ經テ内港内ニ注ギ河口モ亦港ノ一部ヲ成ス。

網走町ハ北海道廳網走支廳ノ所在地ニシテ人口約32,700(昭和15年國勢調査)。當港ニ於ケル海事關係官署トシテハ網走警察署等アリ。

本誌ニ於テハ便宜上港界内ヲ2分シ防波堤燈臺「シレット」岬間一線、東防波堤及西防波堤ノ外方ヲ外港、同内方ヲ内港ト稱ス。

氣象 卷末氣象表第6(網走氣象表)参照。

流氷 平均來襲始期1月15日、同流去終期4月21日トス。

港灣設備 内港北側ニハ東防波堤、渡良岩乾渠及西防波堤アリ。

網走橋下流右岸ノ大部ハ物揚場トシテ使用セラル。

内港南西濱ニハ河口突堤及船入澗アリ。

目標 内港南端ノ**シレット岬**ハ高サ36米ノ險崖岬ナリ、其ノ南側灣ノ灣首ニ淡紅色ヲ帯ビタル險崖アリ、海鳥ノ白糞ニ依リ遠望顯著ナリ、内港北隅ノ**渡良岩**(ワタラ)「**シャッポ岩**」ハ顯著ナル方形岩ニシテ裾礁ヲ有シ西端ニ於テ最モ高ク高サ27米ナリ。

網走港防波堤燈臺 東防波堤南東端ニ在リ、紅塗圓形「コンクリート」造ニシテ燈高16米。

網走港河口突堤燈臺 河口突堤北東端ニ在リ、白塗圓形「コンクリート」造ニシテ燈高9.1米。

障碍物 外港ノ南部ニ於テ内港口ニ近ク之ト略平行ニ長サ約500米ニ互ル1列ノ淺礁アリ、水深5—8米、此ノ淺礁脈南端ノ西方約200米ノ處ヨリ「シレット」岬ニ至ル間ノ左右ニハ淺礁及**ボンモイ岩**等ノ干出岩散在ス。

錨地 外港ノ南半部ニ於テ某船ハ渡良岩ヲ285度、著險崖ヲ219度ニ望ム水深12.8米ノ處ニ投錨セシコトアルモ此處ハ底質岩ナリ、又某船ハ夏季防波堤燈臺ノ50度600米、水深16米、底質細沙ノ處ニ碇泊セシガ當時「ウネリ」北方ヨリ來リテ防波堤ニ衝突シ錨地附近ニ不快ナル三角波ヲ生ジ

船體ノ動搖亦相當大ナリシト謂フ。風向ニ依リテハ外港北半部ニ於テ渡良岩27米頂ヲ129度470米ニ見ル水深8米内外、底質沙ノ處又ハ同目標ヲ154度700米ニ望ム水深9米内外、底質沙ノ處附近ヲ可トス。

地方暴風標 北海道廳立網走測候所ニ地方暴風標アリ。

上陸所 船入瀨及網走川河口右岸約700米ノ間ハ機動艇ノ達著可能ナリ。

バイラキ埼 (海圖29分圖) 渡良岩ノ北北西方約1.7哩ニ位シ高サ44米、埼端ニ近ク岩嶼立神(高サ46米)アリ、黄色圓柱形ヲ成シ雜樹繁茂シ北東方ヨリ望ムトキハ顯著ナリ。

「バイラキ」埼ヨリ北方能取岬ニ至ル間ハ海岸ニ岩礁散布スルヲ以テ1哩以内ニ接近セザルヲ可トス。

能取岬(ノトロ) 網走灣口ノ西端ニシテ赭色ノ斷崖ヲ成シ高サ44米、此ノ岬ノ内方ニ能取山(高サ285米)アリ、樹木密生スルヲ以テ遠望黑色ヲ呈シ東方及西方ヨリ望ムトキハ顯著ナリ。

能取岬燈臺 能取岬上ニ在リ、黑白横線塗八角形「コンクリート」造ニシテ燈高57米。

霧信號 能取岬燈臺ニ霧笛アリ、毎43秒ニ1回吹鳴ス(吹鳴3秒、停鳴40秒)。

能取岬至宗谷岬

能取岬ヨリ紋別岬〔辨天岬〕ニ至ル約42哩ノ海岸ハ西北西方ニ向ヒ概ネ底質細沙ノ遠淺ニシテ距岸1哩ノ處漸ク20米等深線ニ達ス、兩岬間ハ西端ニ近キ紋別港ノミハ築港成リ小形船舶ノ錨泊ニ適スルモ其ノ餘ハ海岸殆ド直條ニシテ避泊スベキ處ナシ、但シ水深規則正シク暗礁及淺瀬ノ障碍ナシ。

紋別岬ヨリ北西方音稻府岬ニ至ル約24哩ノ海岸ハ概ネ暗礁及淺瀬ナク遠淺ナルモ沙留、澤木、雄武附近ハ礁脈ヲ繞ラセル岩岬海岸ヨリ200米内外斗出シ數小灣ヲ成ス。

音稻府岬ヨリ北西方神威岬ニ至ル約32哩ノ海岸ハ岩多ク海藻繁茂シ礁脈沿布セル岩岬斗出シテ數小灣ヲ成ス、海岸ノ低崖ハ岩石粘土ヲ露出シ處々赭色ヲ呈シ顯著ナル處アリ。

神威岬ヨリ北西方惠山部鼻迄約21哩ノ海岸ハ殆ド直條ノ沙濱ニシテ山丘遠ク退キ低濕ノ地多ク椴松ノ密林約11秆以内ニ達シ殆ド人跡ナシ。

惠山部鼻ヨリ北西方宗谷岬迄約15哩ノ海岸ハ概ネ沙濱ニシテ其ノ約中間ニ樹木多キ時前埼斗出ス、此ノ一帯ノ海岸ハ低丘連互シ顯著ナル山峰ナシ、此ノ沿岸中稍顯著ナルハ杖苦内埼南方山腹ノ黄色崖ト、時前埼北西方ノ赭色崩崖ノ宗谷岬南方約4秆ノ丸山(高サ168米)ノ1圓峰トニ過ギズ。

能取岬ヨリ宗谷岬ニ至ル海岸ニハ數多ノ河流アルモ殆ド舟楫ヲ通ズルヲ得ズ。

能取湖 能取岬ノ西方約2哩ニ於テ海ヘノ開口ヲ有シ南北ノ長サ約5哩ニ及ブ瀉ナリ、湖周ハ丘陵ヲ繞ラシ海トノ間ハ1條ノ沙丘ニ依リ相隔ツ。

常呂岬(トコロ)〔**ポントマリ岬**〕 能取岬ノ西方6.5哩ニ在ル圓崖岬ニシテ干出石段之ヲ圍繞ス、岬頂ハ高サ24米ニシテ漁舍2—5アリ、樹木繁茂シ稍顯著ナリ。明治42年汽船須磨ノ浦丸ハ此ノ岬ノ沖合距岸約0.5哩ニ於テ水深3.6米ノ暗岩ニ攔觸セルコトアリ。

常呂錨地 常呂岬ノ西側ナル常呂川河口前面ノ露開セル錨地ナリ、近海郵船會社汽船ハ常呂山ヲ常呂川河口近傍ノ標柱(三角形頭標ヲ有ス)ト一線即チ206度ニ、常呂岬ヲ109度ニ望ム水深10.9—12.8米、底質沙ノ處

＝屢錨泊セリ。

附仔山(ブシ) 常呂岬ノ南南西方約17軒＝在リ、此ノ地方ノ最高山＝シテ高サ501米、頂部ハ伐木ノ結果方形ノ陥凹ヲ生ジ顯著＝シテ北方至北東方ヨリ望ミ得ベシ。附仔山ノ北西隣＝常呂山アリ、高サ約415米ノ尖峰＝シテ常呂錨地ヨリ望ムトキハ顯著ナリ。

猿澗湖(サロマ) 常呂岬ノ西方約4哩＝於テ其ノ東方開口ヲ有スル猿澗湖ハ北海道北岸中ノ最大瀉ナリ、海ヘノ開口ハ鑑沸附近ノ東口ト三里番屋東方ノ西口トノ2アリテ湖内出入ノ船舶ハ從來ハ東口＝依リシモ現今ハ主トシテ西口ヲ利用ス、東口＝近ク廣キ蠣田アリ、西口ハ新＝約450米掘鑿シタル掘割＝シテ潮流強烈ナリト謂フ。

湖内大部ハ水深9.1—18米＝シテ約0.3米ノ潮升アリ、小艇ノ避泊＝適ス、但シ12月ヨリ翌年4月迄ハ湖面全ク結氷シ人馬氷上ヲ行クヲ例トス、湖内東口近傍ハ水深1.3—5米、又西口掘割内ハ水深3—4米アリ。

幌岩山 猿澗湖岸南側ノ最高山＝シテ偏平ナル山頂ヲ有シ根松繁茂ス、最高部ハ其ノ南側＝位シ高サ317米、之ヨリ北側ハ急下シテ湖岸＝達シ南側ハ漸降シテ高サ357米ノ山峰＝連ル、此ノ海岸中ノ最モ顯著ナル陸標＝シテ四方ヨリ認識シ得ベシ。

下湧別錨地(シモユベツ) 常呂岬ノ西北西方約21哩＝位スル湧別川河口前面ノ露開セル錨地ナリ、近海郵船會社汽船ハ河口＝近キ著屋(倉庫)ヲ約205度5鏈＝望ム水深10.9—12.8米、底質沙ノ處＝屢投錨シタルコトアリ、特務艦大和ハ大正12年7月黒塗火見櫓ノ47度2,200米、水深14.6米、底質沙ノ處＝碇泊セリ。目標トシテハ晝間ハ村落ノ約中央＝在ル前記火見櫓ヲ、夜間ハ村落ノ中央ヲ示ス2箇ノ指導燈ヲ可トス、後者ハ5—6哩ノ海上ヨリ認ムルコトヲ得ベシ。

湧別川ノ河口附近ハ總テ沼池＝シテ川ハ軟キ沙濱ヲ貫流シテ海＝注グ、河口＝ハ門洲アルヲ以テ僅＝漁舟ヲ出入セシメ得ル＝過ギズ、而モ風浪大ナルトキハ閉塞セラルト謂フ。

湧別川河口ノ南西方約13軒＝文山アリ、山脊ハ馬鬣形＝シテ黒色ノ岩崖ヨリ成ル、最高頂ハ高サ445米＝シテ北側＝在リ、北西方及東方ヨリ望ムトキハ平頂ナルモ北方ヨリ望ムトキハ尖頂ノ1峰ト爲リ頗ル顯著＝シテ下湧別錨地＝赴ク船舶ノ目標ト爲ル。

紋別港(海圖29分圖) 紋別岬南側ノ修築漁港＝シテ發動機漁船ノ多數ヲ避難セシメ得。紋別岬(辨天岬)ハ高サ7.1米ノ低角＝シテ一般海岸線ヨリ東方へ約400米内外斗出ス。

紋別町ハ町役場ノ所在地＝シテ人口約19,900(昭和15年國勢調査)。

本誌＝於テハ便宜上港界内ヲ2分シ北防波堤、同堤南端南防波堤東端間一線及南防沼堤ノ外方ヲ外港、同内方ヲ内港ト稱ス。

港灣設備 内港北東側＝ハ北防波堤アリ。

内港西側＝ハ船入澗及南防波堤アリ。

目標 紋別岳ハ紋別町ノ背後＝聳立シ平頂＝シテ最高部ハ西部＝在リ樹頂ノ高サ358米、全山樹木繁茂シ黒色ヲ呈ス、最高部ハ伐木ノ爲凹處アリ遠望頗ル顯著＝シテ本港ヲ識別スルノ好目標ナリ、紋別町ノ背後＝在ル**オツシ山**(高サ81米)、同山腹ノ神社、水産組合ノ著屋(白塗木造洋風)、紋別岬端ノ地方暴風標竿及華表、**オンネナイ川**河口ノ著崖(赭色＝シテ高サ15米)等ハ目標＝適ス。

紋別港北防波堤燈臺 北防波堤南端＝在リ、紅塗圓形「コンクリート」造＝シテ燈高11米。

障碍物 主トシテ外港外＝於テ紋別岬ヨリ東方6鏈以内ハ淺礁廣延シ

其ノ最外礁ヲ**オンネ瀬**〔辨天出シ〕ト稱ス、此ノ淺礁ハ視界不良ノ際北方ヨリ紋別港ニ向フ船舶ニ對シ頗ル危険ナリ。内港内ニ於テ「オンネナイ」川ノ河口ヨリ東方3鏈以内ハ水深1.8米ヨリ淺キ點礁散在シ之ヲ**イザニ瀬**ト稱ス。

錨地 近海郵船會社汽船ハ港界外至近ニ於テ紋別岬地方暴風標竿ヲ308度ニ、「オンネナイ」川河口ノ著崖ヲ263度ニ望ム水深10.5米、底質沙ノ處ニ屢投錨シタルコトアリ、此處ハ錨搔キ良キモ附近ニ建網ヲ敷クコトアルヲ以テ注意ヲ要ス。

沙留岬(サルル) 紋別岬ノ北西方約7湮ノ海岸ヨリ斗出スル高サ8米ノ低角ニシテ岬頂ニ漁舍及神社アリ、北西方及南東方ヨリ望ムバ顯著ナリ。岬ノ南側ニ沙留村落アリ、其ノ海岸ニハ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗ヲ有スル小漁港アリ、淺吃水ノ船舶ハ村落ノ前面3鏈迄接近シ得ベシ。

沙留港船澗防波堤燈臺 船入澗防波堤外端ニ在リ、紅塗四角櫓形鐵造ニシテ燈高9.6米。

鬱岳(ウツ) 沙留岬ノ南西方約20軒ニ在リ、北西、南東ニ連互スル山脈中ノ最高點ニシテ尖頂ヲ有シ高サ826米アリ、何レヨリ望ムモ容易ニ識別シ得ベシ。

澤木岬 沙留岬ノ北西方約10湮ニ在ル高サ15米ノ岩角ニシテ岬上ニ1漁舍アリ、岬周距岸200米以内ハ岩礁沿布シ又2水上岩アリ、其ノ外側ハ急深ナリ。岬ノ内側ニ澤木村落アリ。

勝岳(カチ) 澤木岬ノ南西方約14軒ニ位シ高サ744米アリ、其ノ北側ハ黑色險崖ヲ成ス、此ノ山ハ北東方ヨリ望ムトキハ平頂、北方ヨリ望ムトキハ圓錐形ヲ呈シ遠望頗ル顯著ニシテ雄武港ニ赴ク船舶ノ好目標ナリ。

雄武港(オウム)(海圖29分圖) 澤木岬ノ北西方約5湮ニ於テ防波堤

ヲ以テ遮蔽セル船入澗ヲ有スル小漁港ナリ。附近ノ海岸ハ直條ニシテ船入澗以外ハ風浪ノ保障ナク距岸500米以内石陂散在シ低潮時ニ干出ス、海底概ネ岩石ニシテ細沙及礫ヲ混ズ、向海風ノトキハ雄武村落ノ東方5鏈ニ假泊シ得ベキモ向岸風ノトキハ小艇ノ避泊地タルニ過ギズ。船入澗ノ南東方約1.7湮ニ位スル**雄武川**河口ヨリ北北東方約4.5鏈ニ水深4.5米ノ孤立岩アリ。

小學校ノ北側ニ地方暴風標アリ。

「エンコマナイ」ノ著樹(單松)、丘上ノ小學校、村落背後ノ2寺中南方ノモノ、上陸所附近ノ黒塗火見櫓、村落北方ノ白色著屋等ハ何レモ顯著ナル目標ナリ。

雄武港北防波堤燈竿 雄武港船入澗北防波堤南東端ニ在リ、紅塗四角櫓形鐵造ニシテ燈高8.4米。

音稻府岬(オトイネツブ)(雄武岬) 雄武港ノ北西方約3湮ニ在ル低キ臺形ノ亂岩角ニシテ海岸ヨリ約200米間斗出スルノミナレドモ比較的顯著ナリ。

幌内川(ボロナイ) 音稻府岬ノ北西方約3湮ニ於テ海ニ注グ、鮭、鱒ノ漁場ニシテ小舟ハ高潮時ニ出入シ得ベシト雖モ波浪アルトキハ危険ナリ。

此ノ附近海岸ハ沙濱ナレドモ干出礁脈散在スルヲ以テ距岸3鏈以内ニ近寄ルベカナズ。幌内川ノ河口沖距岸約0.5湮ニ水深5米ノ岩礁アリ。

落舟山(オチフネ) 幌内川河口ノ西方約12軒ニ在リテ東西兩頂ヲ有シ3軒ヲ隔テテ相對ス、東頂ハ高サ545米、西頂ハ高サ629米、各樹木繁茂シ殊ニ西頂ニハ1樹叢アリテ顯著ナリ。落舟山ノ南西方約8軒ニ**志厚尻岳**(シアツシリ)アリ、高サ904米ノ顯著ナル尖峯ナリ。

小島(ボンモシリ) 幌内川河口ノ北西方約3哩、距岸約4鏈=在リ、高サ11米ノ雜草繁茂セル小岩嶼ナリ、此ノ岩嶼ヨリ南南西方約2鏈間ハ礁脈擴延スレドモ陸岸トノ間=ハ小舟ヲ行リ得ベシ。

音標岬(オトシベ)(落部岬) 小島ノ北西方約6鏈=在ル高サ8.9米ノ岩角=シテ臺形地ヲ成シ樹木ナク人家3—4戸アリ、岬端ハ北方約1鏈間石岐斗出シ外端=高サ1米ノ岩アリ。

100噸未満ノ船舶ハ此ノ岬ノ西側=於テ偏東ノ風浪ヲ避ケ得ベシ。

函岳 音標岬ノ西方約32軒ノ内陸=在リテ高サ1.139米、附近ノ最高峯=シテ東側=白色崖アルヲ以テ顯著ナリ。

乙忠部(オツチンベ) 音標岬ノ北西方約2.5哩=位スル村落ナリ。此ノ村落ノ東方約4.5鏈=高サ0.9米ノ岩アリ、又此ノ岩ノ南東方4鏈=洗岩アリ。

乙忠部村落ノ北方2.8哩、距岸7鏈=水深5.4米ノ1岩礁アリ、其ノ外側ハ水深12.8米、内側ハ水深8.2米ナリ。

山牛ノ鼻 乙忠部ノ北西方約3.7哩=在ル平低ノ沙嘴ナリ。此ノ鼻ノ北方4鏈=廣キ干出岩アリ、干出0.9米=シテ平波ノトキハ恰モ漁網ヲ張ル=似タリ、此ノ干出岩ト陸岸トノ間ハ淺水礁=依リ梗塞シ外側モ亦4鏈間礁脈擴延スルヲ以テ沿岸航行船ハ最モ警戒ヲ要ス、神威岳ヲ野近山(ノチカシ)(高サ313米)ノ東方=開視スレバ此等諸險ヲ避ケ得ベシ。

徳志別川 山牛ノ鼻ヨリ北西方約9鏈=徳志別川ノ河口アリ、小舟ヲ出入シ得ベク鱒、鮭ノ漁場ナリ、此ノ河口左岸=徳志別村落アリ、夏季=ハ汽船ノ來泊スルモノアリ。

徳志別川河口ノ東北東方7.5鏈=水深2.2米ノ暗岩アリ、北東、南西ノ方向=約2鏈擴延シ海藻ヲ以テ蔽ハル、之ト約3鏈ヲ隔テテ1列ノ水上岩及干

出岩陸岸=向ヒ擴延シ常=破浪ス、徳志別=入港スル積取船ハ前記暗岩ヲ避クル爲此ノ破浪岩=近ク航行ス。前記暗岩ノ西方約5鏈=水深1.3米ノ淺水地アリ、陸岸迄擴延シ少シク波高キトキハ破浪ス。

三毛牛岬(サンケウシ)(海圖29分圖) 徳志別川河口ノ北西方約3哩=在ル顯著ナル岬角=シテ高サ8.5米ノ臺形地ヲ成シ岬端=白塗三角測點標アリ10哩外ヨリ望見シ得ベシ、徳志別川ノ河口ヨリ此ノ岬=至ル間ノ海岸ハ礁脈沿布シ海藻之ヲ蔽フヲ以テ接近スベカラズ、此ノ中間=當リ距岸約8鏈=水深5.4米ノ暗岩存在ス。岬ノ北北東方約7鏈=水深3.2米礁アリ**高根**ト稱ス、其ノ北端ハ水深3.6米岩=シテ岬端トノ間ハ水深5.4米ヨリ淺ク海底險惡ナリ。

岬ノ西側=幌別川アリ小舟ヲ通ズ、夏季ハ上流ヨリ搬出スル木材積取ノ爲大形汽船屢河口沖合=來泊ス。

枝幸港(エサシ)(海圖29分圖) 三毛牛岬ノ北北西方約3.5哩=位シ僅=東方=斗出セル沙嘴**枝幸岬**=依リテ灣形ヲ成ス、海岸=防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗ヲ有ス。

枝幸村落ハ枝幸岬ノ臺形地上=在リ、村役場ノ所在地=シテ人口約5,000(昭和15年國勢調査)。

氣象 村役場ノ觀測記録=依レバ1年中ノ最高氣温ハ27度、最低氣温ハ-17度ナリ、而シテ降雨期ハ6月7月=シテ降雪ハ11月上旬=始リ5月上旬=終ルヲ常トシ積雪ハ450糎=達シクルコトアリト謂フ。春秋2季ノ南西風ハ極メテ猛烈=シテ沙塵ヲ揚ゲ錨地ト海岸トノ間=舢舨ヲ通ゼザルコトアリ。

流水 本港=於ケル流水ハ北至東ノ諸風=テ來リ南至西ノ諸風=テ去ル(第1編第10頁流水ノ項參照)。

目標 最モ顯著ナルハ市街南西側ノ寺院ニシテ市街中央ノ黒塗火見櫓之ニ亞ギ市街北東側ノ黒色煙突亦著シ、市街地以南ニ在リテハ前記三毛牛岬端ノ白塗三角測點標、**長牛山**(オサウシ)(高サ 232 米)、**伊阿根登**(イアネヌプリ)(俗稱三角山、高サ 194 米)等顯著ナリ、市街ノ北方 1.3 湮ニ位スル**臼太郎岬**(ウシュタイベ)ハ平低ナル岩岬角ニシテ 2 鏈ヲ隔ツレバ危険ナシ、此ノ岬ノ内方 500 米ニ小丘アリ丘上ニ忠魂碑ヲ建ツ、又其ノ傍ニ松樹 2—3 株アリ、南北ヨリ望ムトキハ極メテ顯著ニシテ枝幸港ヲ認ムルノ好目標ナリ、岬ノ南東方ニハ**辨天島**アリ高サ 3.9 米ノ岩嶼ニシテ之ト陸岸トハ石堆ニ依リ連絡シ嶼上ニ鳥居アリ。

枝幸港船間防波堤燈臺 船間防波堤外端ニ在リ、紅塗四角櫓形鐵造ニシテ燈高 9.6 米。

障碍物 枝幸岬ハ石破之ヲ圍繞ス、岬ノ南東方約 5.5 鏈ヨリ西方へ約 2 鏈間礁脈擴延シ礁上水深 4.1—5 米ナリ、又此ノ礁脈最淺部ヨリ西方約 3.8 鏈ニ孤立礁アリ、水深 0.9 米ニシテ其ノ間ハ小舟ヲ通ズ、諸孤立礁ノ北側ニ白塗三角形頭標附立標アリ、上記礁脈最淺部ヨリ北西方約 2.7 鏈ニ水深 1.3 米礁アリ、礁周水深 5.4—7.3 米ナレドモ之ト枝幸岬トノ間ハ險惡地ナリ。

錨地 市街ノ約中央ニ在ル火見櫓ヲ 313 度 1,300 米ニ望ム水深 11.8 米底質泥ノ處ニ在リ、小形船ハ尙火見櫓ニ向ヒテ進ミ距岸約 200 米、水深 3.6 米ノ處ニ投錨スレバ北方ヨリノ風浪ヲ避ケ得ベシ。

地方暴風標 枝幸市街地ノ背後ナル村役場ノ構内ニ地方暴風標アリ。

天氣豫報信號 市街地ノ約中央火見櫓ノ東方ニ在ル水産組合ノ旗竿ニ毎日制規ノ天氣豫報信號ヲ掲揚ス、地方暴風標ト混同セザルヲ要ス。

山牛ノ鼻 臼太郎岬ノ北北西方約 4.5 湮ニ在ル低キ岩角ニシテ鼻ノ南方 1.2 湮ニ小灣アリ、大泊ト稱シ小舟ヲ着ケ得ベク其ノ背後ニ顯著ナル 3

圓頂山アリ。

幌登岳(ボロヌプリ) 山牛ノ鼻ノ南西方約 11 軒ニ聳ユル幌登岳ハ双頂ヲ成シ附近ノ最高峯ニシテ遠望顯著ナリ。

目梨泊 山牛ノ鼻ヨリ北西方 1 湮ニ在ル**目梨崎**ノ西側ニ位スル小灣ニシテ幅 5 鏈、中央水深 5.4—7.3 米、底質沙ノ處ハ小形船舶ヲ泊シ得ベシ、音標岬ヨリ北西方宗谷岬迄ノ間ニ於テ 100 噸内外ノ汽船ガ偏東ノ風浪ヲ避ケ得ル地ハ唯此ノ小灣アルノミ。

神威岬(カムキ) 目梨崎ノ北北西方 1.4 湮ニ在ル顯著ナル岩角ニシテ岬端ニ沿ヒテ小岩アル外危険ナク深水ナリ、岬頂ハ水際ヨリ直ニ突起シテ 2 尖岩頂ヲ成シ東頂ハ高サ 137 米、西頂ハ高サ 157 米ナリ。

神威岬ノ西方約 2.8 軒ニ**神威岳**(高サ 484 米)峙立シ之ト岬トノ約中間ニ双頭峯アリ殆ト同高ニシテ西頂ハ高サ 447 米アリ、此ノ山脈ハ一帯ニ樹木鬱蒼遠望顯著ナリ。

北珠文岳及南珠文岳 此ノ兩山ハ神威岳ノ西南西方約 6.5 軒ニ竝立シ各尖頂ノ如ク見エ極メテ顯著ナリ、北頂ハ高サ 747 米、南頂ハ高サ 762 米南珠文岳ノ西方 2.8 軒ニ奇形ノ尖峯アリ、高サ 491 米ニシテ顯著ナリ。

頓別川 神威岬ノ北西方 6.5 湮ニ頓別川ノ河口アリ、河口東側ニ頓別村落アリ、夏季ニハ木材積取ノ爲頓別沖ニ大形汽船ノ來泊スルヲ見ル。

頓別川ノ河口ヨリ屈曲セル長サ 2.5 湮ノ溝渠ニ依リ**屈茶呂沼**(クツチャロ)ニ達シ得、此ノ沼ハ 2 湖ノ相通ゼルモノニシテ長サ各 2.5 湮、幅各 1 湮アリ。湖内約 0.6 米ノ潮升アリテ外海ヨリ遅ルルコト 3 時間内外ナリ。

山峯 屈茶呂沼内方ノ**伊會散山**(インサンヌプリ)(高サ 572 米)、**トキタイウッシリ山**(高サ 292 米)、**札卷尻山**(サツマキシリ)(高サ 261 米)、**幌尻山**(ボロシリ)(高サ 436 米)等ハ總テ顯著ナル山峯ナリ。

猿拂川 (サルフツ) 頓別川河口ノ北西方約12哩ニ猿拂川口アリ、平穩ノ日高潮時ニ小舟ヲ出入シ得ベシ、此ノ河ハ舟楫ヲ通ズルコト10數哩、上流ハ兩岸森林ニ富ムヲ以テ伐採セル木材河口ヲ充塞ス。夏季ニハ木材積取ノ爲此ノ沖合ニ大形汽船ノ來舶スルモノ多シ。

惠山部鼻 猿拂村落ノ北西方約4哩ニ在ル沙嘴ニシテ石陂ヲ繞ラス、鼻端ニ高サ1.7米ノ水上岩アリ、鼻ノ内方ハ高サ17米ノ臺形地ヲ成ス。鼻ノ北東方1鏈ニ南北ノ長サ約3鏈ニ達スル狹長ナル礁脈アリ、礁上水深0.6—1米ニシテ其ノ外側ハ直ニ深水ナリ。

濱鬼志別 惠山部鼻ノ北西方約1哩ニ在ル漁村ニシテ丘上ノ小學校ハ遠望ニ適ス、之ニ隣リテ地方暴風標アリ、漁期中ニ限リ暴風警報信號ヲ掲グ。

濱鬼志別ノ西方約4軒ニ位スル鬼志別驛構内ニ在ル無線標識局ノ無線電柱2基ハ好目標ナリ。

海馬島 (トド) 濱鬼志別村落ノ北方約1哩ノ沖合ニ在リ、南北2箇ノ低岩ヨリ成ル、南岩ハ北岩ヨリ較大ニシテ高サ2.7米アリ。島ノ北方8鏈東方2.5鏈、南方4鏈ノ間ニハ數多ノ淺礁散在スルヲ以テ潮流急ニシテ激湍ヲ生ズルコトアリ、此等南北ニ連續スル岩礁ト陸岸トノ間ハ水深7米以上ニシテ無礙ナリ。

知來別港 (チライベツ) 濱鬼志別村落ノ北西方約3.5哩ノ知來別川河口ニ在ル小漁港ナリ、導水堤ヲ以テ河口ノ兩側ヲ防護ス。河口ノ前方ヨリ水深2米ヲ以テ4鏈間次デ5米餘ノ水深ヲ以テ2鏈間北方ニ延伸スル礁脈アリ、其ノ盡端ハ水深5米ニシテ此ノ盡端ヨリ北北東方4.5鏈ニ更ニ水深5.2米ノ1暗礁アリ。

杖苦内埼 (ツエトマナイ) 知來別川河口ノ北西方約4哩ニ在ル小角ニ

シテ此ノ埼ノ南側ニ人家アリ。

時前埼 杖苦内埼ノ北北西方約1.5哩ニ在ル高角ニシテ埼頂高サ100米、樹木鬱黒タルヲ以テ認メ易シ、埼ノ内方ニ位スル**崩間山** (高サ122米) ハ圓錐狀ヲ成シ喬木密生ス。

湍潮 時前埼ノ東北東方約10哩ノ沖合ニ位スル長サ約1哩餘ニ互ル水深21米礁脈附近ニハ渦流及湍潮アリ。

宗谷岬 北海道本島ノ最北端ニシテ樺太ノ西能登呂岬ト相對峙シ岬頂ハ高サ53米ノ臺形地ニシテ雜草繁茂ス。岬背後ノ**丸山** (高サ168米) ハ顯著ナル圓峰ニシテ霧ノ爲燈臺ノ見エザルトキト雖モ往々同山ヲ認メ得タルコトアリ。

岬附近濱岸ニハ石陂延出シ海底凹凸多ク數多ノ淺礁アリ、但シ岬ノ北方ハ1哩ヲ距レバ水深15米ヨリ深シ、岬ノ東側ニ於テ距岸1.3哩以上ニ位スル淺礁ノ主ナルモノハ岬ノ南東方3.4哩ノ水深4.4米孤立礁、其ノ北方4.5鏈ノ水深8.1米淺礁、猶其ノ北北西方8鏈ノ水深7.6米淺礁等ナリ。

岬ノ東側ニ在ル村落ヲ尻臼ト謂ヒ其ノ前面ハ淺水ニシテ岩盤ナリ。

宗谷岬燈臺 宗谷岬ノ北端ニ在リ、黑白橫線塗八角形鐵造ニシテ燈高41米。

霧信號 宗谷岬燈臺ニ霧笛アリ、毎64秒ニ1回吹鳴ス (吹鳴4秒、停鳴60秒)。

目標 宗谷岬燈臺敷地内ニ在ル無線方位信號所ノ無線電柱ハ燈臺ト共ニ晝間船舶ノ目標ト爲ル。

第 4 編

宗谷海峽及北海道西岸

本編ニハ宗谷海峽ノ一般記事ト北海道西岸即チ北見國宗谷岬ヨリ渡島國白神岬ニ至ル間ノ沿岸記事トヲ収録ス。

北海道西岸ハ日本海ニ面シ略中央ニ石狩灣ノ大灣アル外海岸概ネ彎入ニ乏シ、而シテ北海道本島中他ノ海岸ニ比シテ異レルハ全岸ニ互リ 30 哩以内ノ沖合ニ比較的大ナル島嶼ヲ含ム離島ヲ有スルコトナリトス。

霧 北海道西岸ハ本島沿岸中霧最モ少ク霧期ニハ相當ノ霧ヲ見ルモ消散比較的迅速ナルヲ常トス、此ノ沿岸中比較的霧多キハ利尻水道附近、奥尻海峽等トス。

天鹽國沿岸ニ於ケル霧期ハ6月中旬ヨリ7月迄ニシテ霧ハ其ノ北方ニ多ク南方ニ少シ、而シテ偏南風ハ霧ヲ起シ偏北風ハ晴朗ノ天氣ヲ來ス、8月初旬ヨリハ霧全ク霽レ同月中ハ好晴溫和ノ日多シ。

宗谷海峽ノ霧ニ就テハ尙第111頁所載ノ同項ヲ見ルベシ。

潮汐 北海道西岸ニ於ケル潮汐ハ極メテ微小ニシテ1日ノ升降ハ最大ノトキト雖モ0.3米ヲ超エズ、各地共日潮不著シク1日1回潮ト爲ルコトアリ、一般ニ潮時ノ不等ハ低潮ニ於ケルヨリモ高潮ニ於テ著シク潮高ノ不等ハ之ニ反シ高キ高潮ノ次ニ低キ低潮ト爲ル、夏季大潮期ニハ午前ノ高潮時ハ遅レ午後ノ高潮ハ早く起リテ午前ノ高潮ヨリモ高ク之ニ次グ夜ノ低潮ハ最低ト爲ル、冬季大潮期ニハ之ニ反ス、又此ノ低キ低潮ハ一般ニ春

夏ハ夜間ニ、秋冬ハ晝間ニ起ルヲ常トス。

高潮間隙ハ分點潮ノ頃（太陰ガ赤道附近ニ在ル頃）ニハ3.5—4.5時ニシテ北部ハ稍遅ルルモ回歸潮ノ頃（太陰ガ最北又ハ最南ニ在ル頃）ニハ北部ニ於テ約2時、南部ニ於テ5—6時ト爲ル、大潮升ハ0.2—0.3米、回歸潮ノ頃ノ平均高潮ノ高サハ0.2—0.5米ナリ。平均水面ハ3月最低、8月最高ニシテ其ノ差0.2米ヲ超ユ、即チ日々ノ升降ハ1年中ニ於ケル平均水面ノ變化ヨリモ小ナルコトアルヲ以テ春季ノ高潮面ハ夏季ノ低潮面ヨリモ低キコトアリ。

潮流

宗谷海峽ノ潮流ニ就テハ第111頁所載ノ海流及潮流ノ項ヲ見ルベシ。

宗谷海峽ニ臨メル區域以外ノ北海道西岸ニ於ケル潮流ハ一般ニ甚ダ微弱ニシテ一定セズ、又潮流ハ海岸ヲ北流スル海流ノ影響ヲ受クルコト大ナリ。

宗谷海峽

北海道本島ト樺太トヲ分隔シ日本海ト「オホツク」海トノ間ノ通路ヲ成セル宗谷海峽ハ樺太西能登呂岬ヲ北濱トシ宗谷灣灣濱ヲ其ノ南濱トスル短キ海峽ニシテ其ノ幅宗谷岬ニ於テ約23哩アリ、然レドモ樺太側ニ近ク航路ノ中間ニ二丈岩孤立シテ存在スルヲ以テ通峽幅ハ同岩以北ニ於テ約8哩、以南ニ於テ約18哩ニ狹メラル、水深ハ一般ニ30—70米ニシテ宗谷灣及二丈岩附近ニ於テハ更ニ淺シ。

吹雪

降雪ヲ見ルハ10月中旬至5月中旬ニシテ、颶風ノ中心宗谷海峽附近ヲ通過スルコト多ク其ノ通過後特ニ猛烈ナル風雪アリテ航海ヲ困難ナラシム、然レドモ咫尺ヲ辨ゼザル程度ノモノハ4—5時間以上永續スルコトナク時々其ノ密度ヲ減少ス。

霧

宗谷海峽ニ於テハ霧ハ6—8月ニ多ク發生シ一般ニ海峽北側ニ濃密ニシテ南側ニ稀薄ナルガ如ク西能登呂岬附近最モ頻繁濃密ナルモ海峽ヨリ東方ニ至ルニ從ヒ減少シ大泊港ニ於テハ僅ニ其ノ $\frac{1}{3}$ 強ニ過ギズ、一般ニ此ノ海峽ノ霧ハ根室近海ノ如ク執拗ナラザルガ如ク濃霧區域局限セラレ廣區域ニ互リテ連日ニ及ブガ如キコト稀ナリ。

霧ト風向トノ關係ニ就テ從來艦船ノ經驗ニ依レバ一般ニ偏北風ノ際ハ霧少ク、假令アリテモ北側ニハ少キガ如シ、之ニ反シ偏南風ノ場合ニハ南側ニ少ク北側ニ多キガ如シ、而シテ偏南東風ニハ海峽狹部、偏南西風ニハ海峽ノ東方ニ於テ特ニ薄霧ナルガ如ク思ハルト謂フ。

海流及潮流

宗谷海峽ニ於ケル海水ノ流ハ宗谷海流（第1編第11頁對馬海流ノ項及第3編第92頁潮流及海流ノ項參照）ト潮流トノ合併セルモノナリ、而シテ資料少キ爲數量的ニ斷言スルコト困難ナルモ潮汐、風向、風力及氣壓配置ノ影響ニ由リ流速ノ消長大ニシテ時ニ4節内外ノ東流ヲ感ズルコトアリ、又時トシテハ微弱ナル西流ヲ驗スルコトアル等狀況甚ダ複雑ナリ、殊ニ岬角附近ノ濱岸ニ於テハ最モ甚シク感ゼラル、從ツテ諸岬角端ニハ烈シキ激湍及競潮アリ。

潮流ノミニ就テ述ブレバ甚ダ不規則ナルモ一般ニ北海道及樺太ノ各西岸ニ於テハ漲潮流ハ之ニ沿ヒテ北流シ、海峽南濱及北濱ニ於テハ大泊港ノ高潮ノ頃ニ日本海ニ向フ潮流最強ニシテ低潮ノ頃ニ「オホツク」海ニ向フ潮流最強ナルガ如シ、然レドモ夏季ニ於テハ東流スル宗谷海流ハ潮流ヲ壓シテ終日東流シ潮時ニ依リテ流速ヲ増減スルノミナルコトアルヲ驗セリ。

海峽北側ノ偏西流

從來北海道西岸又ハ樺太西岸ヨリ大泊港ニ向フ船舶中濃霧ノ際豫想セザル海流及潮流ニ會ヒ船位ノ推定ニ誤算ヲ來セル結果自主海岸、西能登呂岬、二丈岩等ニ坐礁セルモノ多シ、之ヲ遭難船舶ノ實

跡上ヨリ調査スルニ西能登呂岬ヨリ宗仁岬ニ至ル間ニ於テハ夏季往々2—3節ノ偏西流又ハ偏北西流アルモノノ如ク西能登呂岬南方ニ在リテモ相當強キ偏西流アルヲ窺知シ得。

海水

北海道北岸ノ一帯ハ冬季距岸6—8 湍間結氷スト雖モ宗谷海峽ハ日本海ヨリ來ル暖流ノ爲結氷スルニ至ラズ。流水ハ樺太北部ノ東岸ニ起レルモノガ海流ト風トニ依リ漸次南下シテ本海峽ニ達スルモノナリ。

20 箇年間ノ調査ニ依レバ本海峽ニ於ケル流水ノ始期ハ平均1月20日ニシテ北東方ヨリ來リ春暖ニ從ヒ西至南風ノ吹キ始ムルヤ忽チ退去スルヲ常トス、其ノ退去期ハ通例3月16日ナルモ風向ニ依リテハ4月ニ入リテモ尙流水ノ漂來スルコト稀ナラズ、5月中旬ヲ過グレバ流水ノ危険ヲ見ルコト稀ナリ。

此ノ海峽ハ時々氷塊ノ爲閉塞セラレ風向ノ變轉ニ伴ヒ沖合ノモノハ分裂シ遠近ノ海面ニ漂流スルヲ以テ盛期ニハ船舶ノ航行頗ル危険ナリ。

海峽西口附近ニ於テハ海峽中央ヲ貫ク東西線ノ南ト北トハ流水ノ状態差異アルガ如ク大正9年3月某船ノ報告ニ依レバ東西線以南ノ流水ハ比較的厚クシテ1.5米ニ及ブモノアリ、氷片ノ大サモ亦大ナリ、然ルニ東西線以北ニ於テハ氷塊比較的小ニシテ且薄ク集積ノ程度モ密ナラズ、北スルニ從ヒ斷續的ト爲リ次第ニ無氷帶ヲ生ジ或ハ帶狀ト爲リ氷片處々ニ浮游スルニ至ルガ如シ、大正11年ニ於テモ亦同様ノ状態ヲ目撃セリト謂フ。

針路法

本海峽ハ其ノ長サ極メテ短ク二丈岩ノ外航路附近ニ危険物ナク且同岩及兩濱ニ燈臺ノ設備アルヲ以テ視界良好ナルニ於テハ晝夜共通峽容易ナレドモ一旦夏季ニ於テ濃霧（尙夏季ニハ行會船舶多シ）ニ、冬季ニ於テ風雪ニ會スルトキハ（無線羅針局及無線標識局ノ實現ヲ見タル今日ニ在リテハ昔日ノ比ニ非ザレドモ而モ猶）海流及潮流ノ複雑ナル合成流

ヲ窺知スルニ由ナキ爲船舶ノ航行ニ危険ヲ伴フコト大ナリ、從來濃霧中強ヒテ通峽セントシテ豫想外ノ處ニ偏位セシメラレ攔岸坐礁ノ不幸ヲ見タル船舶少カラズ、然レドモ此ノ海峽ノ霧ハ一般ニ繼續時間長カラザル特性アリテ連續半日以上濃霧ニ鎖ザサルルガ如キ場合少キヲ以テ濃霧中ノ通峽ハ確信ナキ限り適宜待機ノ手段ヲ講ジ霧レ間ヲ待ツヲ可トス。

尙各航路ニ就キ參考ト爲ルベキモノヲ擧グレバ次ノ如シ。

1. 西口南部ヨリ大泊港ニ至ル航路 近海航路誌第202参照。
定期汽船ハ野寒岬ノ北方約5湍ノ處ヨリ約49度ニテ直進シ西能登呂岬燈臺ヲ左舷正横3—4湍ニ見テ大泊港ニ向針スルヲ普通トス、宗谷岬附近ハ海流及潮流ノ影響大ナルヲ以テ5湍以内ニ入ラザルヲ可トス。
2. 大泊港ヨリ西口南部ニ至ル航路 概ネ1ニ準ジ逆航ス、但シ濃霧ノ場合ニハ菱取、鉢子内又ハ七江附近ニ假泊シ霧ノ霽ルヲ待ツヲ可トス。
3. 西口北部ヨリ大泊港ニ至ル航路 宗仁岬以南ハ距岸4—5湍ニテ南下シ西能登呂岬ハ3湍以上ノ距離ヲ保チテ繞航シ同岬ト二丈岩トノ中央ヨリ適宜大泊港ニ向フベシ、濃霧中自主附近ニ坐礁セル船舶ハ概ネ南航ノ場合豫想ニ反セル北西強流（逆流）ニ會シ速力ノ推定ヲ誤リ過早ニ東方ヘ變針シタルモノナリ、故ニ霧中此ノ沿岸ヲ航行スルトキハ潮時及風向ニ注意スルト共ニ充分ナル安全率ヲ以テ航行スルヲ要ス、西能登呂岬ノ西側ハ45米等深線以内ニ入ラザレバ安全ナリ、海馬島ハ樺太西岸ヲ航行スル船舶ノ避泊地ニ適ス。
4. 西口南部、樺太東岸間ノ航路 近海航路誌第7參考事項(1)参照。
濃霧中最モ安全ナル航法ヲ執ラント欲セバ海峽ニ臨ム起點ヲ確實ニシ且海峽ト中知床岬間ニ於テ夜ヲ迎ヘザル如ク通航時刻ヲ計畫スベシ、

之ガ1例ヲ擧グレバ前夜利尻島鴛泊灣=假泊シ置キ天明=至ラバ濃霧
霧レズトモ之ヲ起點トシテ直=海峽=進入スルガ如シ。

5. 西口南部ヨリ千島列島(Kamchatka)=至ル航路 前記4=準ズ
尙近海航路誌第206参照。

6. 稚内港、大泊港間ノ航路 元鐵道省稚泊連絡船ハ視界良好ナル場
合=ハ二丈岩、西能登呂岬間ノ最短航程線ヲ適宜航行スルヲ以テ常用
航路トシ、視界不良ナル場合=於テハ北航=ハ稚内港口、宗谷岬燈臺
ノ300度6浬、二丈岩ノ105度10浬及大泊港口ヲ連結スル線上ヲ迂
回航行シ又南航=ハ二丈岩、西能登呂岬間ヲ通過スルヲ例トセリ。

宗谷海峽南濱(宗谷灣)

北海道西岸中其ノ北端部タル宗谷岬至野寒岬間ハ即チ宗谷灣=シテ又宗谷
海峽ノ南濱ヲ成ス、灣ノ東濱=ハ宗谷岬東側ノ尻臼附近ヨリ距岸約5浬ノ
間引續キ擴延セル礁脈アルモ其ノ外側ハ急深ナリ、他ノ灣濱ハ概ネ沙濱ト
ス、灣内水深30米ヨリ灣首=向ヒテ漸減シ底質岩盤若ハ沙=シテ錨搔キ
惡シ、灣内西側=稚内港アリ。

辨天島(宗谷島) 宗谷岬燈臺ノ西側7浬=位シ高サ11米、白色=シ
テ顯著ナリ、岬ノ西側ヲ珊瑚ト稱シ陸岸ヨリ斗出スル石段ト辨天島ト=テ
擁セラレルヲ以テ北風以外ハ平穩ナル小船泊地ト爲ル。

宗谷 灣内東濱=在ル村落=シテ家屋數十戸アリ、地方人ハ會處前ト
通稱ス、此處=地方暴風標アリ、村落ノ背後丘上=在ル白塗2標柱ヲ一線
=見テ進メバ小艇ハ礁間ヲ濱岸迄達スルコトヲ得ベシ。

聲問埼(海圖29分圖) 灣首中央ヨリ稍西寄=在ル埼=シテ約5浬北
方=斗出シ埼端ヨリ北方1.3浬ノ間礁脈及淺水地擴延ス、埼上ノ人家ト其
ノ背後=在ル平低無樹ノ小丘トハ入灣ノ際直=認メ得ベシ、埼ノ東側=聲

問川ノ河口アリ、此ノ河口ハ兩岸ヨリ沖=向ヒ各突堤ヲ設ケ其ノ間ヲ浚渫
シテ船入澗ト爲シアリ、聲問村落ハ其ノ西側=位ス。

漁網 漁期=ハ灣内=漁網ノ定置セラルルモノ多ク特=聲問埼ヨリ野
寒岬=至ル一帯=於テ甚ダ多シ。

稚内港(海圖29分圖)

稚内港ハ宗谷灣ノ西濱=位シ北海道樺太
間連絡ノ基地ヲ成ス、修築以前ノ本港ハ開闢=過ギテ西及南以外ノ風浪ハ
避ケ得ザリシノミナラズ海底沙岩質ノ軟キ岩盤ノ處多ク底質沙ノ處ト雖モ
沙ノ堆積量薄キ爲強風=際シ屢走錨ノ憂アリタリ、又開港以來毎年1回以
上船舶ノ錨鎖切斷ノ記録ヲ有シ且北東至北西ノ風起ルトキハ波忽チ高マリ
(冬季ハ北西風卓越シテ海上交通杜絶シ夏季ハ南西ノ局地風強吹シテ屢舢
荷役不能ト爲レルコトアリ)野寒半島基脚ノ西側ナル坂ノ下灣=避泊セザ
ルベカラザルコトアリタリ、然ル=現在ハ防波堤ノ築設ヲ見タルヲ以テ内
港内ハ其ノ影響昔日ノ比=非ズ、但シ防波堤低ク東方ノ開口大ナルヲ以テ
船舶ノ保安=ハ猶意ヲ用フルヲ要ス。

稚内町ハ北海道廳宗谷支廳及町役場ノ所在地=シテ人口約22,600(昭和15
年國勢調査)。當港=於ケル海事關係官署トシテハ函館稅關稚内監視署、
稚内築港事務所、稚内警察署、北海道廳立水産試驗場稚内支場等アリ。
本誌=於テハ便宜上港界内ヲ2分シ防波堤、防波堤外端防沙堤外端間一線
及防沙堤ノ外方ヲ外港、同内方ヲ内港ト稱ス。

氣象 統計=依レバ年平均氣温ハ12.2度、最高ハ30.8度、最低ハ零
點下16.6度ナリ。風ハ春夏ノ候ハ南至南東多風ク、秋冬ノ候ハ北至北東風
多ク、疾風以上1箇月平均13回=及ブ、又夏季南西風ノ強吹スルコトア
リ、此ノ風ハ地方的ノモノ=シテ宗谷附近迄吹返スコト稀ナリ。雨ハ9月
10月=多ク、雪ハ11月初旬=始リ4月中旬=終リ積雪120糎位=及ブ。

霧 海霧ハ6月中旬ヨリ8月上旬迄ニ多シ、霧ハ南西風ニテ來ルコト稀ナルモ若シ南西風ニテ來ルトキハ長時間繼續スト謂フ。

海氷 稚内燈臺ニテ觀測セル下ノ記事ハ當港附近ニ於ケル海氷ノ狀況ヲ察知スルニ足ルベシ。

明治42年	1月10日	港内結氷。
	14日	流氷港外ニ襲來。
	16日	流氷港内外ニ集合。
	22日	流氷退去。
	2月18日	流氷港内外ニ襲來。
	20日	流氷退去。
	22日	流氷沖合ヲ通過ス。
明治43年		流氷及結氷ヲ見ズ。
明治44年		流氷沖合通過2回。
明治45年		流氷沖合通過2回。
大正6年		流氷沖合通過1回。
大正7年		流氷及結氷ナシ。
大正8年		流氷及結氷ナシ。
大正9年		沿岸流氷及結氷2回。
大正10年		沖合流氷アリ4回。
大正11年		流氷襲來1回。
大正12年		流氷ナシ。

此ノ沿岸ニ襲來スル流氷ノ多クハ東風ニ依リテ「オホツク」海ヨリ吹寄セラ
ルモノニシテ稀ニ北方ヨリ樺太西岸ヲ南下シ來ルモノアリ、流氷ノ來
ヤ比較的徐々ニシテ北至東風2日位連吹スルトキ初メテ來リ南至西風ニテ

退去スト謂フ。

港灣設備 内港北側ニハ防波堤(基部ニ近キ南側ニ元鐵道省稚泊連絡船用繫船岸壁アリ)アリ。

内港西濱ニ於テハ防波堤基部附近ニ内務省所管船入澗、稚内港驛附近ニハ運輸省所屬船入澗アリ、又宗谷支廳ノ東方ニ町營船入澗(一般用)アリ。

内港東側ニハ防沙堤アリ。

目標 町役場ノ北方約350米ノ北門神社及更ニ北方約700米ノ小學校竝ニ其ノ北隣ノ中學校ハ顯著ナル目標ニシテ其ノ他稍顯著ナルモノハ町役場北隣ノ寺院及稚内驛西方ノ黄色崖等ナリ。

夜間目標トシテハ稚泊連絡船繫船岸壁ノ多數ノ電燈及稚内港驛構内ノ照明燈(櫓形標柱)アリ。

稚内驛ノ北方約700米ノ處ニ稚内無線電信局及運輸省無線電話送話所アリ此處ノ無線電柱2基ハ顯著ニシテ好目標ナレドモ方位ニ依リテハ背景ノ爲視認困難ナルコトアリ。

稚内港防波堤燈臺 防波堤外端ニ在リ、紅塗四角櫓形鐵造ニシテ燈高15米。

稚内港船入澗防波堤燈竿 町營船入澗北防波堤南端ニ在リ、高サ6米ノ紅塗鐵柱ニシテ燈高6.2米。

障碍物 内港外港共ニ沿岸ハ遠淺ノ部分廣ク殊ニ防波堤北側ノ外港區域ハ海底2米内外ノ凹凸アリ、防沙堤外端ヨリ北東方約400米附近ハ水深減少シアリト謂フ。

錨地 港域ノ外方ニ於テ宗谷支廳ノ屋頂ヲ260度ニ、稚内燈臺ヲ299度ニ望ミ防波堤外端ヲ距ル約1,100米、水深13米内外、底質細沙ノ處ハ大形船舶ノ錨地トシテ適當ナルモノ北東至北西ノ風起ルトキハ波浪高クシテ錨

泊＝堪へズ。

地方暴風標 宗谷支廳構内＝地方暴風標アリ。

給水 清水ハ上水道ナルモ一般船舶供給設備トシテハ記スベキモノナシ（水道給水規則＝就テハ水路誌附録第2巻ヲ見ルベシ）、運輸省ハ繫船岸壁＝水栓2箇ヲ設ケ尙啣筒附給水船2隻ヲ有ス（昭和8年調）。

野寒半島（ノシヤツブ） 稚内港ヲ東岸＝有スル野寒半島ハ其ノ脊梁＝山脈アリ、山脈ノ北端ハ顯著ナル臺形地ヲ成シ夫ヨリ急下シテ長サ約800米ノ平坦ナル陸舌ヲ成ス、又半島ノ内方ハ陸地低キガ故＝遠ク隔テテ此ノ半島ヲ望メバ恰モ島ノ如キ觀アリ。

野寒岬 野寒半島ノ盡端＝シテ上記ノ陸舌ハ高サ僅＝1.5米内外、其ノ上＝人家散在ス。岬端附近ハ淺礁擴延シテ北方約7鏈＝達シ外端ハ水深5米＝シテ其ノ外方ハ水深8米以上アリ、依ツテ船舶ハ1哩以内＝近寄ラザルヲ可トス、夜間ハ宗谷岬燈臺ノ明弧内ヲ保航セバ此ノ淺礁ヲ避ケ得ベシ。

稚内燈臺 野寒岬陸舌ノ背後丘上＝在リ、高サ13米ノ紅塗圓形鐵造＝シテ燈高42米。

本燈臺＝於テ船舶通報＝關スル事務ヲ取扱フ、但シ夜間ハ之ヲ取扱ハズ。

霧信號 稚内燈臺＝霧笛アリ、毎2分＝低調1聲、高調1聲ヲ連吹ス（低調吹鳴2秒、停鳴4秒、高調吹鳴2秒、停鳴1分52秒）。

野寒岬至積丹岬

禮文島

宗谷海峡西口沖合ノ南側＝位スル禮文島ハ南東方禮文水道ヲ隔テテ利尻島相對シ兩島共＝著名ナル漁場ナリ、禮文島ハ長サ12哩、最大幅約3.5哩、

狹長＝シテ北端ハ恰モ蟹爪ノ如ク兩半島斗出シ船泊灣ヲ形成ス。島ノ中央ヨリ少シク西方＝偏シ禮文山（高サ491米）アリ、島内ノ最高峰＝シテ山頂松樹密生シ南方若ハ北方ヨリ望ムトキハ尖圓錐形ヲ成ス。之ヨリ北方ハ地勢漸ク低下ス、又島ノ南端＝ハ高サ223米ノ著峰尺忍山（シヤクニン）アリ。

島ノ東岸ハ沙礫多キモ西岸ハ削レルガ如キ斷崖峻壁ナリ、而シテ島周距岸0.5哩以上ハ離險ナク島ノ北端＝於テノミ險惡地アリ。

本島ハ1郡（禮文郡）ヲ成シ之ヲ分チテ香深村及船泊村ノ2村ト爲ス。泊地トシテハ船泊灣ノ外東岸＝香深井錨地アリ。

香深港（カフカイ） 島ノ東岸南端附近＝在ル水底電線陸揚地ノ北方約1.5哩ノ香深（通稱會處前）＝防波堤ヲ以テ避蔽セル船入澗アリ（船入澗及荷揚場使用料徴收條例＝就テハ水路誌附録第2巻ヲ見ルベシ）。香深村落ノ北方＝尖山（トガリ）アリ、高サ270米ノ尖峰＝シテ樹木多ク香深村落ヲ認ムルノ好目標ヲ成ス。

會處前船澗南防波堤燈臺 船入澗南防波堤北端＝在リ、白塗四角櫓形鐵造＝シテ燈高6.1米。

香深井錨地（海圖21分圖） 香深漁港ノ北方約2哩＝在リ、北側＝香深埼ト稱スル大赤色崖斗出シ稍灣形ヲ成スモ灣入淺クシテ離岩及暗礁沿布ス、其ノ中稍著シキモノハ津輕濱前面黑瀬ヨリ東方2鏈＝在ル山口礁（水深5.4米）＝シテ其ノ外側ハ急深ナリ。最良ナル錨地ハ香深埼ノ南方2.5鏈水深14.6米、底質沙ノ處附近ナルモ處々岩盤ヲ交フルガ故＝最モ注意シテ投錨スルノ要アリ、昭和7年11月遞信省所屬汽船沖繩丸（2,187噸）ハ下記香深山ヲ323度1哩＝見ル處＝碇泊セシガ此ノ錨位ヲ中心トシテ周圍400米内ハ水深31—33米、底質沙＝シテ錨搔キ顯著ナリシト謂フ。

香深埼北北西方ノ**香深山**ハ高サ217米、頂上ニ少數ノ樹木ヲ有スル秃山ナリ、入港ノ際ハ香深山及小山(高サ44米)ヲ好目標トシ投錨目標トシテハ香深山、香深川河口及「エコキナイ」北方河口ノ各橋梁ヲ選ブ可トス。錨地ノ内奥宮島地先ニ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入濶ヲ有スル小漁港アリ、**香深井港**ト稱ス(船入濶及荷揚場使用料徴收條例ニ就テハ香深港ニ同ジ)。

オシヨンナイ半島(海圖40分圖) 島ノ東岸北端ヲ成ス半島ニシテ其ノ北端ヲ**金田埼**ト稱シ接近スレバ顯著ナリ、半島基部附近ノ**オシヨンナイ山**(高サ172米)ハ樹木ナク圓頂ニシテ東方ヨリ見レバ3峰ヲ顯ハシ西及北ヨリ遠望スルトキモ顯著ナリ。

金田埼ノ北方約4鏈間ニハ**金田出シ**ト稱スル礁脈擴延シ破浪アリ、「スコトン」岬北方ノ「ミナシトマリ」岩ヲ小島ヨリ北方ニ開視スレバ金田出シヲ北方ニ避クルコトヲ得。金田埼ノ北方約1.6湮ニ在ル孤立岩ヲ**トド**礁ト稱シ岩上水深0.4米、岩周急深ナリ、2鏈ヲ距レバ水深18米ヨリ深シ、此ノ岩ハ常ニ破浪スルヲ以テ晝間ハ容易ニ之ヲ避ケ得ベシ。「トド」礁ノ東方約1.4湮ニ**柳ノ礁**アリ、北東方3鏈間擴延セル暗岩ニシテ最淺部ハ其ノ南西端ニ在リテ水深5.9米、本礁ハ波浪大ナルトキノ外破浪セザルヲ以テ殊ニ警戒ヲ要ス。

船泊灣(海圖40分圖) 島ノ北端ニ在リテ「オシヨンナイ」半島ヲ東側トシ濱中半島ヲ西側トス。

灣内ニ於テ金田埼ノ南方約3鏈、「ベンサイトマリ」地先ニ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入濶ヲ有スル**船舶港**アリ(船入濶及荷揚場使用料條例ニ就テハ水路誌附録第2卷ヲ見ルベシ)、船泊漁港ノ南方8鏈ニ在ル「オシヨンナイ」村落ハ此ノ灣ノ首邑ニシテ此處ニ地方暴風標アリ。

錨地 灣内東濱ニ近ク金田埼端ヲ32度ニ、「オシヨンナイ」山ヲ119

度ニ望ム水深約13米ノ處附近ハ偏南風時ノ避泊地トシテ可ナリ。

針路法 稚内港若ハ利尻島方面ヨリ來ル船舶ハ「オシヨンナイ」山ニ向ヒテ航進シ「オシヨンナイ」半島ノ東岸ニ到ラバ約1湮ヲ隔テテ航過シ金田埼ト「トド」礁トノ間ノ水道中央ニ向フベシ、既ニ金田埼ノ北東方ニ達シ金田埼ト灣首西部内方ノ**濱中山**(高サ99米)トヲ一線ニ望ム處ニ到ラバ後記ノ平島ヲ船首ニ見テ金田埼ト「オシヨンナイ」山トヲ重ネ視ル迄航進シ夫ヨリ左轉南進シテ錨地ニ赴クベシ。

上記錨地ヨリ禮文島西岸ニ出デント欲セバ340度ノ針路ニテ進ミ種島ノ北方1湮餘ノ處ヲ繞航スベシ。

上陸所 「オシヨンナイ」村落海岸ニ長サ約4米ノ棧橋2アリ、其ノ外端ニ定期船用舢ヲ著ク、短艇ハ之ニ達著シ得ルモ附近淺水ニシテ暗岩多ク特ニ機動艇ハ警戒ヲ要ス。

濱中半島(海圖40分圖) 島ノ西岸北端ノ半島ニシテ且船泊灣ノ西側ヲ成シ其ノ北端ヲ**スコトン岬**(神埼)ト稱ス、半島西端ニ近キ**狐山**(高サ178米)ハ其ノ形狐ノ頭ノ如ク遠望顯著ナリ。

「スコトン」岬端ニハ金田埼ヨリモ更ニ遠ク北方3湮ニ互リ離險伸出ス、岬端ノ北方7鏈ノ**海驢島**(トド)ハ扁平ナル島ニシテ島頂ハ其ノ西部ニ在リ、高サ43米ナルモ餘リ顯著ナラズ、島上家屋數戸ヲ見ル、此ノ島ト「スコトン」岬トノ間ハ岩礁ニ依リ閉塞ス。

西上泊港 島ノ西岸ニ於テ「スコトン」岬ノ南方約3.5湮ノ西上泊ニ在ル小漁港ナリ、防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入濶ヲ有ス。

元地港(モトチ) 西上泊港ノ南方約6湮餘、即チ香深(會處前)ノ反對岸ニ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入濶ヲ有スル漁港ナリ。

利尻島

禮文水道ヲ隔テテ禮文島ノ南東方ニ位スル利尻島ハ直徑約 10 哩ノ圓形高島ニシテ之ト北海道西岸トノ間ヲ**利尻水道**ト稱シ幅約 10 哩、既知ノ隱險ナク安全ニ通航シ得ベシ、島ノ中央ニ**利尻山**（高サ 1,718 米）ト稱スル高山屹立ス、圓錐形ニシテ遠ク望ムトキハ恰モ富士山ノ如ク依ツテ北見富士ノ別稱アリ、山頂ハ常ニ雲霧ニ蔽ハレ全形ヲ顯ハスコト稀ナレドモ夏季北東風若ハ強雨後等ニハ 80 哩餘ヲ隔テテ全容ヲ望ミ得ベシ、從ツテ雲霧ナキトキ此ノ山ハ南方ヨリ來ル船舶ガ宗谷海峽西口ヲ認ムルノ好目標ト爲ル。

本島ハ 1 郡（利尻郡）ヲ成シ之ヲ分チテ鬼脇村、鴛泊村、杓形村及仙法志村ノ 4 村ト爲ス。避泊地トシテハ風向ニ應ジ鬼脇港、鴛泊灣及杓形港ノ中何レカヲ選定シ得ベシ。

メノ尻ボン山 島ノ南端仙法志崎ノ北北東方約 3.7 軒ニ在ル高サ 321 米ノ山峯ニシテ山頂樹木ナキガ故ニ識別シ得。此ノ山ノ北東方約同距離ニ在ル**鬼脇ボン山**（高サ 412 米）ハ山頂樹木多ク南方ヨリ望ムトキハ雙頭ヲ顯ハシ此ノ地方ヲ航行スル船舶ノ好目標ト爲レ。

鬼脇港（海圖 21 分圖） 島ノ南東岸ニ鬼脇「ボン」山ヲ背景トスル露開泊地ナリ、西至北ノ風ヲ避ケ得ベキモ距岸遠キニ過グレバ西風ヲ受クルガ故ニ能ク水深ニ注意シテ距岸適宜ノ處ニ投錨スベシ、錨地トシテハ村落ノ前面距岸 2.5 鏈、水深 12.8—14.6 米、底質沙ノ處ヲ最良トス。

「アシリコタン」ノ頂點ニ在ル稍大ナル堂宇ノ如キ建物ハ入港目標トシテ好適ナルモ其ノ埼端ニ在ル高サ 2.9 米岩ハ錨地ヨリ望ミテ餘リ顯著ナラズト謂フ、側方目標トシテハ本島ノ東端**石埼**ヲ可トス。

鬼脇村落ハ村役場ノ所在地ニシテ人口約 3,400（昭和 15 年國勢調査）。村ノ

前面ニ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗ヲ有ス、（船入澗使用料條例及荷揚場使用料條例ニ就テハ水路誌附録第 2 卷ヲ見ルベシ）、小形船舶ハ之ニ入ラバ諸方向ノ風ヲ避ケ得ベシ、此ノ村落ノ燈火ハ夜間南方ヨリ利尻水道ニ入ル船舶ニ對シ好目標ヲ爲ス、此處ニ私設地方暴風標アリ。

石埼燈臺 石埼上ニ在リ、黑白横線塗圓形「コンクリート」造ニシテ燈高 36 米。

鬼脇港船入澗北防波堤燈竿 船入澗北防波堤南東端ニ在リ、紅塗四角櫓形鐵造ニシテ燈高 7.5 米。

野東岬（海圖 21 分圖） 石埼ノ北北西方約 6 哩ニ在ル低キ岬ニシテ鴛泊灣口ノ東端ヲ成ス、至近ニ低岩延出シ且隱險アルヲ以テ 3 鏈以內ニ近寄ラザルヲ可トス。

鴛泊灣（海圖 21 分圖） 島ノ北東側ニ位シ野東岬ト「ベシ」岬トノ間ニ淺ク彎入ス、此ノ灣ハ北西ヨリ南ヲ經テ南東迄ノ諸風ヲ保障スルヲ以テ日本海ノ此ノ方面ニ流行スル偏西強風時ノ避泊地トシテ適當ナリ、又南東ヨリ東をノ風浪モ北海道本島ヲ爲ニ多少遮斷セラルベシ、但シ俗ニ「ヤマセ」ト稱シ東風ノ猛吹スルモノハ船舶ニ危險ナルヲ以テ警戒ヲ要ス、尙利尻山ヨリノ風相當強キコトアリ。

灣内西濱ニ於テ「ベシ」岬南側ニ**鴛泊港**アリ、防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗ヲ有ス、鴛泊村落ハ村役場ノ所在地ニシテ人口約 4,300（昭和 15 年國勢調査）、此處ニ私設地方暴風標アリ。

目標 灣内南濱東方ノ**エンルムコマナイ**ノ鼻ノ山崩ハ遠望赭色ヲ呈シ南濱臺形地中ニテ最モ顯著ナリ。私設地方暴風標ハ頗ル顯著ニシテ「ヌブリマナイ」ノ寺院モ亦目標トスルニ足ル。

鴛泊燈臺 灣口西端「ベシ」岬ニ在リ、高サ 6.2 米ノ白塗圓形石造ニシ

テ燈高72米。

鴛泊港船間防波堤燈竿 船入澗東側防波堤ノ南端ニ在リ、紅塗三角櫓形鐵造ニシテ燈高6.8米。

錨地 灣内西部ニ於テ鴛泊燈臺ヲ330度約3鏈ニ望ム水深12.8米ノ處ヲ最良錨地トス、同燈臺ヲ298度約3.5鏈ニ望ム水深18米、底質細沙ノ處モ亦良好ナル錨地ニシテ灣内概ネ錨搔キ良シ。

上陸所 船入澗内北濱埠頭ヲ最良トス、此ノ埠頭ノ陸上ニハ軌道ヲ通ジアリ。

ベシ岬 (海圖21分圖) 鴛泊灣口西端ヲ成シ高サ93米、尖頭ニシテ附近臺形地ナルヲ以テ甚ダ顯著ナリ。岬ノ北西側ニモ錨泊シ得ベキ水深ノ處アルモ底質岩ナルヲ以テ警戒ヲ要ス、此ノ錨地ヨリ上記私設地方暴風標ヲ明ニ認メ得ベシ。

本泊港 利尻島ノ北端本泊埼ノ西側ニ幅約100米ノ灣口ヲ有スル直徑約200米ノ圓形小灣本泊漁港アリ、灣口兩側ニ各防波堤ヲ設ケ港口幅ヲ約50米ト爲シアリ。

本泊港防波堤燈臺 東防波堤西端ニ在リ、高サ3.5米ノ白塗圓形「コンクリート」造ニシテ燈高6.2米。

本泊港西防波堤燈臺 西防波堤東端ニ在リ、高サ3.5米ノ紅塗圓形「コンクリート」造ニシテ燈高6.2米。

美也古呂港「ビヤコロ」 本泊港ノ南西方約4哩ノ美也古呂ニ小漁港アリ、防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗ヲ有ス。

美也古呂港船間防波堤燈臺 船入澗防波堤外端ニ在リ、白塗圓形「コンクリート」造ニシテ燈高5.8米。

杳形港 美也古呂港ノ南方杳形埼ノ北側ニ在リ、西方ヲ露開セル

港ニシテ近年漁業ノ發展ニ伴ヒ其ノ内奥杳形埼基部ニ漁港ノ修築ヲ完了セル處ナリ。

港首ニ在ル杳形村落ニ地方暴風標アリ。

港灣設備 杳形埼端ノ東方約450米ノ半島北側ヨリ北東方ヘ長サ約240米ノ防波堤延出シ其ノ内方ニ1,500噸級船舶2隻ヲ收容シ得ベシ、防波堤基部ヨリ南東方150米ニ互ル海岸埋立地ヲ隔テテ長サ約200米、幅約60米ノ船入澗アリ、東西兩突堤ヲ以テ港内ト區劃ス。

杳形港防波堤燈臺 防波堤外端ニ在リ、白塗八角形「コンクリート」造ニシテ燈高13米。

錨地 昭和8年4月北日本汽船株式會社汽船福州丸(1,454噸)ハ防波堤延長線ト略直角ニ磁針路南東ヲ以テ進入シ防波堤ノ延長線上其ノ外端ヲ約100米ニ見テ第1錨ヲ投ジ(水深9.1米)、其ノ儘進ミテ錨鎖3.5節走出ノ上第2錨ヲ投下シ(水深8.2米、底質沙)碇泊セリト謂フ。

仙法志港 島ノ南端仙法志埼ノ西側ナル仙法志村落ノ前面ニ在ル小漁港ナリ、防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗ヲ有ス。

武藏堆 禮文水道ノ南西方約35—55哩ニ武藏堆アリ、魚族ノ棲息甚ダ多シ、此ノ淺堆ハ大正14年特務艦武藏ノ發見測量セルモノニシテ隱岐列島、見島附近ヨリ宗谷海峽ニ直航スル船舶ガ視界不良ナルトキ測深ニ依リ概定船位ヲ知り得ルニ有效ナリ。

水深 武藏堆ハ水深31米ト34米トノ2頂ヲ有シ水深200米以下ノ範圍ハ之ヨリ北西方ニ約20哩、南東方ニ約30哩擴延シ幅約20哩ニシテ最淺部ノ周圍5哩間ハ水深47—157米ナリ。大正15年8月機帆船晴芳丸ハ上記水深31米ノ點ヨリ東方約3哩附近ニ水深10米、底質岩ノ淺礁ヲ發見セリ、此ノ淺礁ハ長サ約180米、幅約18米、頂部平坦ニシテ海藻繁茂スト謂フ。

野寒岬至苫前埼

野寒岬ヨリ南方ハ野寒半島西側、坂ノ下灣及拔海岬ヲ經テ13哩ニシテ「ユーチ」岬ニ至ル。

「ユーチ」岬ヨリ南方苫前埼ニ至ル約57哩ノ海岸ハ殆ド直條ヲ成シ羽幌礁ヲ除ケバ距岸1哩以上ニ於テハ危險ナキガ如シ。沿岸ニハ河川數條アルモ舟艇ノ出入シ得ルハ天鹽川及遠別川ノミニシテ村落ハ10戸以上ノモノ4—5箇所アルニ過ギズ。錨地トシテハ沿岸概ネ水深適度、底質沙或ハ泥ナルガ故ニ偏西風時ノ外ハ到ル處適宜ノ地ニ投錨シ得ベシ、但シ風連別ト初山別トノ間ハ濱礁沿布シ且海底凹凸ナルヲ以テ大形船舶ハ距岸5鏈ニ近寄ルベカラズ。

上記ノ區域中「ユーチ」岬近傍ヨリ「オタクシュベツ」ニ至ル37哩間ハ平低ナル沙濱ニシテ内方ハ鬱黒タル森林起伏漸高シ一望殆ド同形ニシテ目標トスベキ顯著ナルモノナシ、唯天鹽川以北ノ沿岸ハ全ク平坦ナルモ以南ハ高サ約60—150米ノ低山脈南方ニ向ヒテ漸起シ海岸ニ達スルノ差アリ。「オタクシュベツ」ヨリ風連別ニ至ル約4哩間ハ濱岸ニ接シ高サ約30—50米ノ淡褐色鋸齒狀ノ斷崖ヲ見ルベシ、而シテ此ノ斷崖ノ内方ハ樹山漸次隆起シ一モ標著ナル目標ナシ。風連別ヨリ苫前埼ニ至ル約16哩ノ海岸ハ僅ニ沙濱ヲ纏ヘル顯著ノ白褐色斷崖(高サ約20—35米)急起シテ臺形地ヲ成ス、而シテ其ノ内部ハ概ネ鬱黒タル低樹山起伏シ遠望顯著ナル目標ナシ、該斷崖ハ往々低地ヲ交ヘ遠望恰モ數雙ノ屏風ヲ併立スルガ如シ、此ノ區域ノ沿岸ニハ羽幌礁及苫前埼附近ノ險惡地ヲ除ク外隱險ナキモ海岸概ネ直條ナルヲ以テ波浪平穩ノトキニ非ザレバ短艇ヲ寄スルコト至難ナリ。

氣象

天鹽國沿岸ニ於テハ5月至8月ハ天候概ネ溫和ナリ、唯大潮期ノ前後ニ當リ時ニ強風ヲ見ルコトアルヲミ、9月ニ入り強風漸ク始ルモ

其ノ回数少シ、11月ニ至レバ降雪ヲ見、12月ヨリ翌年3月迄ハ強風降雪頻繁ニシテ好天氣稀ナリ、而シテ4月ヨリ漸次穩和ニ復スト謂フ。

霧ニ就テハ第109頁北海道西岸ノ霧ノ項ヲ見ルベシ。

漁網 野寒岬ヨリ拔海岬ニ至ル海岸一帯ニハ漁期ニ於テ特ニ定置ノ漁網ヲ見ルコト多シ。

坂ノ下灣 野寒岬ノ南方5哩、野寒半島基脚ノ西側ニ在ル開灣ナリ、灣ハ底質沙若ハ岩ニシテ稚内港ト同ジキモ北方ヨリ東方ヲ經テ南方ニ至ル間ノ風濤ヲ避ケ得ルヲ以テ小形船舶ノ泊地ト爲スコトヲ得ベク、從來北東方至東方ノ強風ニ際シ稚内港ヨリ避泊スル汽船多シ、加之冬季氷塊ノ流入スルコトナキヲ以テ稚内港ニ對シ缺クベカラザル補助港灣タリ。

灣ハ東方ニ山ヲ負フノミニシテ四季風ノ襲フニ任スガ故ニ風力强キトキハ遠淺ノ海岸ニ著舟不便ナリ。

灣濱ノ小村落坂ノ下(稚内町ニ屬ス)ヨリ稚内市街ニ通ズル山道ノ濱ヨリ登ル坂路ト其ノ南方約2軒ニ在ル鐵道線路傍ノ崩崖トハ共ニ秃兀赭色ヲ呈スルヲ以テ海方ヨリ認メ易シ。

拔海岬(バツカイ) 野寒岬燈臺ノ南方約8哩ニ在リ、岬端ハ高サ1米餘ノ小陸舌ヲ成シ附近ニ小岩散在ス、陸舌上ニ拔海ト稱スル小村落アリ。

ユーチ岬 拔海岬ノ南南西方約4.5哩ニシテ天鹽北見兩國國境ノ北方2哩ニ位スル平低ナル鈍岬角ナリ、岬上ハ高サ90—120米ノ丘陵ヨリ成リ樹木茂生ス。

暗岩 「ユーチ」岬南方「オネトマナイ」水底電線陸揚地ノ南方約6哩ノ稚咲内(ワツカサクナイ)南方沖合距岸約1哩ノ處ニ水深5.4米ノ暗岩アリト謂フ。

天鹽川

天鹽川ハ其ノ源ヲ天鹽岳ニ發シ約160ヲ流レ稚咲内ノ南

方約14哩＝於テ海＝注グ、其ノ海＝近キ部分ハ平低ナル天然ノ2大長沙堆＝依リ海面ト相隔ツ、河口ヨリ上流約4哩間ハ岸線ト平行シ夫ヨリ數哩間ハ東方＝折レ次テ南東方＝屈曲シ尙上流數十哩迄小舟ヲ行リ得ベシ。

河口（海圖40分圖） 天鹽川ノ河口ハ上記兩沙堆間＝開キ幅約110米＝シテ門洲之ヲ横斷ス、門洲上＝ハ水深2.1—6米ノ可航水道アリ、河口ノ内方ハ其ノ南方＝於テハ長サ約0.5哩＝止マリ且水淺キモ北方＝在リテハ河幅約2鏈、水深2.2—4.5米、底質泥＝シテ小形船舶ノ錨地トシテ適當ナリ。河口及門洲ハ季節＝依リ位置及水深＝多少ノ異動アリ、即チ門洲ハ冬季＝ハ僅＝干出シ融雪期4月上旬以後出水ノ頃ヨリ7月8月頃迄ハ稍水深キモ其ノ後ハ風浪起ル毎＝漸次水深ヲ減ズト謂フ。河口＝於ケル流速ハ出水緩ナルトキハ約1—2節ナルモ出水急ナルトキハ3節餘＝上ルコトアリ、又波浪高キトキハ小舟ト雖モ出入スルヲ得ズ。

天鹽川河口＝天鹽町ノ市街地アリ、町役場ノ所在地＝シテ人口約6,000（昭和15年國勢調査）、此處＝地方暴風標アリ、市街ノ家屋ハ遠望顯著＝シテ河口ヲ認ムルノ好目標ナリ、該家屋ノ前面ハ稍淺水ノ處アルモ3月ヨリ10月迄ハ通例小廻船數隻碇泊スルヲ見ル。

河口附近ノ河水ハ清澄ナラズ、且8月以後ハ汚濁ト爲リ雜用＝モ適セズ。

天鹽川口燈竿 天鹽川ノ河口東岸＝在リ、高サ7.2米ノ塗裝セザル木柱＝シテ燈高14米。

遠別川（ランベツ） 遠別川ハ天鹽川河口ノ南方約10哩＝於テ海＝注ギ河口上流約5鏈ノ數戸ノ人家アル近傍迄ハ滯筋ノ水深0.9—1.8米＝シテ又海口上流1哩餘迄ハ小舟ヲ通ズベシ、河口ハ融雪出水ノ後5月至7月ノ約3箇月間ハ小舟ノ出入容易ナルモ出水緩ナル7月下旬後ハ沙堆ノ變移＝因リ河口屈折シテ出入シ難キ＝至ル、然レドモ降雨出水ノ後ハ又出入シ易

キコトアリ。河水ハ降雨後濁スル外概ネ清澄ナルヲ以テ短艇ヲ入レ得ルトキハ雜用水多量ヲ得ラルベシ。

河口ノ東方＝遠別村落アリ、其ノ南方約9哩、嶮崖ノ缺處＝風連別（フウレベツ）村落アリ。

初山別（シヨサンベツ） 風連別村落ノ南方約2.5哩＝在ル村落＝シテ海方ヨリ望ムトキハ顯著ナリ、此處＝地方暴風標アリ。

羽幌泊地（ハボロ）（海圖40分圖） 初山別村落ノ南方約11哩＝位スル羽幌町ノ沖合一帶ヲ羽幌泊地ト謂ヒ北方ヲ除ク外安全＝碇泊シ得ベク且上陸＝便ナリ。泊地＝面スル羽幌川ノ河口ハ水深一定セザルモ約0.6—1.8米＝シテ河口内＝入レバ滯筋ハ水深3米ヨリ深シ、即チ常＝小艇ノ出入＝差支ナキ水深アルモ海波平穩ノトキ＝非ザレバ容易＝出入シ難シ。羽幌町ハ町役場ノ所在地＝シテ人口約9,300（昭和15年國勢調査）。

氣象 卷末氣象表7（羽幌氣象表）參照。

目標 羽幌町ノ東部及北部＝寺院アリ、北部ノモノハ東部ノモノ＝比シ著シク大ナリ、又羽幌川河口附近ノ黑色煙突ハ好目標ナリ、下記地方暴風標及水難救濟會救難所ノ旗竿モ亦目標ト爲ル。

羽幌港船間南防波堤燈臺 南防波堤先方＝在リ、紅塗三角櫓形鐵造＝シテ燈高7.2米。

羽幌港船間北防波堤燈臺 北防波堤先方＝在リ、白塗三角櫓形鐵造＝シテ燈高7.2米。

障碍物 羽幌川河口北東方約4軒ノ△57ヨリ西方8鏈ノ沖合＝礁上水深2.7米ノ小突起岩アリ、附近＝ハ之ヨリ水深深キ多數ノ暗岩散在ス、羽幌川河口ノ西方約3哩＝羽幌礁アリ、礁上最淺水水深5.4米＝シテ之ヨリ北方約3鏈間6.4米ノ淺水地擴延ス、而シテ礁周ハ急＝深シ。

地方暴風標 羽幌町海岸ニ在ル北海道廳立羽幌測候所竝ニ其ノ北北東方1.7湮ノ「カリウシュナイ」ニ各地方暴風標アリ。

苦前港 羽幌川河口ヨリ南西方約4湮ニ位スル苦前埼ノ前面ヲ苦前港トス、埼端ニハ船入澗アリ。苦前埼ハ高サ64米、樹木ナキ小丘ニシテ内方ヨリ漸降シ海方ニ急下ス、此ノ埼ハ南方ヨリ望ムトキハ稍顯著ニシテ沙濱之ヲ圍繞ス、其ノ外方ハ西方ヨリ北方迄ノ間險惡地ニシテ殊ニ北方ハ埼上ノ辨天祠ヨリ北北西方約9鏈ニ在ル水深5.4米ノ暗礁迄ノ間礁脈斗出シ附近ハ岩底凹凸ヲ成ス。

苦前埼内方ノ苦前村落ニハ地方暴風標アリ。

給水 船入澗東突堤内側ニ水栓1箇アリ。

苦前港北防波堤燈竿 苦前港船入澗北防波堤東方ニ在リ、高サ5.3米ノ紅塗三角櫓形鐵造ニシテ燈高7.5米。

苦前救難所恩賜燈 苦前港船入澗南東方附近ニ在リ、木柱ニシテ燈高46米。

燒尻島 (ヤングシリ) (海圖20分圖) 苦前埼ノ北西方約12湮ニ在ル高サ93米ノ低島ナリ、島周ハ距岸2—3鏈迄概ネ險惡地圍繞スルモ東岸及北岸ハ各處ニ岩隙(俗ニ間ト稱シ岸ニ著クル處)アリテ短艇ヲ寄せ得ベシ、然レドモ南岸ハ小艇ヲモ寄せ難ク從ツテ人家少シ、但シ距岸2—3鏈ノ處ハ底質岩ナルモ水深適宜ナル爲北風強吹ノ際屢和船ノ避泊スルヲ見ル、本島ハ1村(燒尻村)ヲ成シ人口約1,500(昭和15年國勢調査)、人家ハ東岸及北岸ニ散在ス、東岸會處前ハ其ノ首邑ナリ。

燒尻島燈臺 燒尻島ノ南東端巽崎上ニ在リ、高サ13米ノ白塗八角形「コンクリート」造ニシテ燈高50米。

鴨居岩 巽崎ノ東方約5鏈ニ在リ、高サ4.8米ノ黑色圓錐形岩ニシテ

顯著ナリ、此ノ岩ノ東側1鏈間ハ岩礁斗出シ少シク浪アレバ破浪スルヲ以テ之ヲ認メ易シ、岩ノ東側ヲ除キ他ハ總テ急深ナリ。

東側錨地 島ノ東側ニ於テ其ノ北東端ヲ311度ニ、鴨居岩ヲ181度約6鏈ニ望ム水深20米附近ノ處ニ在リ。錨地ニ面スル海岸ニ小漁港アリ、防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗ヲ有ス、其ノ附近ニ地方暴風標ヲ設ク。船入澗ノ北方小岩角ノ直下ヨリ俗ニ「匠(カクセン)」ノ水ト稱スル小泉流出シ其ノ量多カラザルモ水質良好且距濱約6米、海面上高サ0.8米内外ナルヲ以テ小手働唧筒ヲ以テ汲取ルニ稍便ナリト謂フ。

燒尻島船澗北防波堤燈竿 上記船入澗北防波堤外ニ在リ、高サ6.7米ノ紅塗四角櫓形鐵造ニシテ燈高7.2米。

東ノ瀬 島ノ西端ホロシウ崎ヨリ北西方へ3鏈間斗出スル廣濶ナル暗礁ニシテ其ノ外端ハ水深7.7—8.6米ニシテ之ヲ距レバ直ニ12.8米ヨリ深シ。

武藏水道 (海圖40分圖) 燒尻島ノ西側ニ於テ天賣島トノ間ニ在ル幅約2湮ノ水道ニシテ明治30年軍艦武藏ノ通過ニ因ミ命名セルモノナリ、水道ノ中央ニ近ク西側ニ後記中ノ瀬アリ、東側ヨリハ前記東ノ瀬約3.3鏈斗出シテ其ノ幅ヲ減縮ス、然レドモ尙可航水路ノ幅1湮ヲ超ニ且水深14.6米ヨリ深キヲ以テ大形船舶ト雖モ安全ニ航過シ得ベシ。

海流 武藏水道ニハ北向ノ海流アルモ甚ダ微弱ニシテ流速約0.3節ニ過ギズ、而シテ北風強吹時ニハ其ノ南流スルヲ驗セリ、但シ此處ニ海流アルヲ實驗シタルコトナシト報ズルモノモアリ。

針路法 南方若ハ北方ヨリ來リテ武藏水道ヲ通航センニハ水道中央ヨリ稍燒尻島ニ近ク即チ4分6分ノ割合ニテ南(北)航スレバ諸危險ヲ避ケ得ベシ、但シ南方ヨリ來リ利尻島頂ヲ望ミ得ルトキハ燒尻島ニ近ク4分6

分ノ處ヨリ之ニ向ヒ航過スレバ最モ安全ナリ。

天賣島 (テウレ) (海圖40分圖) 武藏水道ヲ隔テテ燒尻島ノ西方約2湊ニ位シ最高點ハ189米ナリ、島頂連脈ヨリ北西側ハ直下シテ斷崖ヲ成シ南東方ヘハ傾斜シテ下降ス、北西岸ノ斷崖下距岸1.5鏈間ハ岩礁ニ圍繞セラレ其ノ外方ハ直ニ水深18米ヨリ深シ、本島ハ1村(天賣村)ヲ成シ人口約1,600(昭和15年國勢調査)、其ノ人家ハ天賣港濱ニ散在ス。

沖ノ瀬 天賣島ノ南西端赤岩崎ヨリ南西方約3鏈ニ在リ、廣サ約1.3鏈ノ暗礁ニシテ内端ハ水深3.6米、外端ハ5米、其ノ外側ハ急深ナリ、燒尻島頂南方ノ高斷崖南端ト次記ノ平岩トヲ一線74度(254度)ニ望ム方位線ハ沖ノ瀬ノ南方約1鏈ノ處ヲ通過ス。

平岩 沖ノ瀬ノ東方約1.1湊ニシテ島ノ南岸ノ東端ニ近ク位シ高サ3.6米、黑色ヲ呈ス。

天賣港 島ノ東端太郎兵衛崎ヲ中心トシテ1.4軒ノ半徑ヲ有スル圓圈ノ1弧内ヲ以テ港域トス、港内西濱北部ニ於テ島ノ北端鷗崎(ゴメ)ノ東側ニ小防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗アリ。

港内南半ニ於テ島ノ東端ヲ346度ニ、平岩ヲ245度約1.1湊ニ望ム距岸4.5鏈、水深25米、底質沙泥ノ處ニ錨地アリ、嘗テ軍艦武藏ハ11月中此處ニ錨泊セシコトアリ、此ノ錨地ハ北方ニ西ノ瀬斗出シ浪勢ヲ殺グヲ以テ西至北ノ間ヨリ來ル風浪ヲ避ケ得ベシ。

港界線至近ニ於テ武藏水道ノ中央ヨリ稍西側ニ位スル**中ノ瀬**ハ該水道中最モ危険ナル孤立礁ニシテ水深3.2米アリ、四周ハ急深ニシテ水深20米ヨリ深シ、燒尻島ノ「トオヤ」ノ岩角ト「カバルウシ」ノ小丘トヲ一線57度(237度)ニ望ム方位線ハ中ノ瀬ノ南東方約2鏈ヲ通過ス。港内約中央ニ於テ太郎兵衛崎ノ東方4.3鏈ニ在ル**西ノ瀬**ハ水深4.5米ノ岩礁ニシテ内方ハ

太郎兵衛崎迄淺水地ヲ以テ連絡シ外方ハ急深ナリ。

港濱會處前附近ニ地方暴風標アリ。

天賣港船澗北防波堤燈竿 船入澗北防波堤外端ニ在リ、紅塗八角形「コンクリート」造ニシテ燈高5.4米。

鷗岩 鷗崎ヨリ北方1.8鏈間斗出スル高サ1.7米ノ岩盤ニシテ凹凸ヲ成シ之ヨリ礁脈ハ北西方2鏈間伸出シ少シク浪アレバ破浪ス。

苫前崎至雄冬岬

苫前崎ヨリ南方鬼鹿村落ニ至ル約10湊間ハ高サ約60—75米ノ臺形斷崖ニシテ沙濱ヲ纏ヒ内方ハ低山脈起伏スルニ過ギズ。此ノ沿岸ニハ淺水地數箇所アリ、距岸2—6鏈間伸出シ殊ニ南部7湊間ハ濱ニ沿ヒ水面ニ出沒スル岩脈距岸ノ1—3鏈ノ處ニ一帶ヲ成シ少シク波浪アレバ一面ニ飛沫ヲ生ジ岩間ヨリ入進シ難キ觀アルモ其ノ内側ハ非常ナル大浪ニ非ザル限り波靜ニシテ短艇ヲ寄セ得ベシ。

鬼鹿ヨリ南方留萌崎ニ至ル約12.5湊間ハ直條ニシテ鬼鹿以北ノ海岸ト殆ド同形ナリ。海岸中央部約6湊間(人家稀少)ハ無礙ナルモ其ノ他ハ概ネ距岸約1.5鏈迄岩礁擴延ス、但シ處ニ依リ小艇ヲ寄セ得ベシ。

留萌崎ヨリ増毛崎ニ至ル約8湊間ハ僅ニ弓形ヲ成シテ南西方ニ向フ、其ノ海岸ハ概ネ礫濱ニシテ濱上ハ直ニ高サ約60米ノ險崖ヲ成ス、此ノ海岸ハ留萌崎以北トハ大ニ其ノ趣ヲ異ニシ山脈稍遠ク且海岸附近ハ雜草ニ蔽ハル。留萌崎ノ南方約2湊ヨリ南方約1湊間ハ距岸2—3鏈迄洗岩及淺水地擴延ス。

増毛崎ヨリ南西方雄冬岬ニ至ル約12湊ノ中増毛崎ヨリ「カパチリイ」崎迄2.8湊間ハ殆ド低沙濱ニシテ人家竝列スルモ「カパチリイ」崎南方ハ急ニ高山脈ニ接シ膨出シテ南西方ニ走ル、此ノ高山脈ハ百數十米ノ斷崖ヲ成シテ

降り大石或ハ亂石濱ヲ成シ「カムイエト」埼及雄冬岬附近ノ外ハ概ネ急深ナリ。

氣象

第126頁ノ同項ヲ見ルベシ。

暗礁

苦前埼ノ南方約2哩ニ位スル古潭別川ノ河口沖合距岸約1哩ニ水深4.5米ノ暗礁アリ殆ド圓形ノ白色岩ニシテ岩周水深21米ナリ、又該礁ノ南東方約1哩ニ水深5.4米ノ暗礁アリ、更ニ又之ヨリ古潭別川ノ河口ニ向ツテ約3鐘ノ處ニ水深6.4米ノ暗礁アリ。

丸山 古潭別川ノ河口南東方約6.3軒ノ内陸ニ在リ、高サ192米ノ鬱黒タル小圓山ニシテ獨立シ其ノ頂部ハ殊ニ黒ク他山ヨリ判然區別セラレ苦前埼ト相應ジテ目標トスルニ宜シ、但シ北方ヨリ望ムトキハ稍顯著ナラズ。

濱中礁 (海圖40分圖) 古潭別川ノ河口南方約5.5哩「センマツタク」川河口ノ西方沖合約6鐘ニ在リ、南北ノ長サ1.5哩、礁上水深1.8米ニシテ其ノ内方側ヲ除ケバ急深ナリ。

鬼鹿泊地 (海圖40分圖) 古潭別川ノ河口南方約7.3哩ニ於テ海岸ノ小彎曲ヲ成セル處ト之ニ面スル礁脈トノ間ニ在リ、礁脈間ヨリ小形汽船以下ヲ入レ得ベク此ノ礁脈ハ擴延シテ浪勢ヲ殺グヲ以テ北風ヲ除クノ外非常ノ荒天ニ非ザレバ入泊スルヲ得ベシ。鬼鹿村落ハ彎曲セル濱邊ニ竝列シ人口約3,100 (昭和15年國勢調査)、此處ニ地方暴風標アリ。

小平藁川 (オビラウシュベ) 鬼鹿村落ノ南方約7.6哩ニ於テ險崖ノ盡クル處ヨリ海ニ注グ川ニシテ河口ニハ人家數戸アルノミ、河口ノ位置及水深ハ共ニ不定ナルモ水深概ネ0.6—1.8米アリテ海波平穩ノトキハ小形船舶常ニ出入ス、河口ヲ入レバ水深稍深キ處3米餘アリテ上流10數哩間小形船舶ヲ通ズ。

留萌港 (ルモイ) (海圖80分圖) 鬼鹿村落ノ南方約12.5哩ニ在ル

留萌埼ノ北側ニ築港完了セル商港ニシテ修築ノ結果留萌川ハ最外港ニ開口ス、内港以内ノ港域全周ハ繫船岸壁又ハ物揚場連續シ繫船岸壁ハ石炭用、物揚場ハ主トシテ木材用トス。内港ハ吃水7.3米以下ノ船舶數隻ヲ繫留シ得ベク2,000—5,000噸ノ汽船9隻ヲ同時ニ收容セル記録アリ、但シ狹隘ナルヲ以テ風強キトキハ船舶ノ操縦ニ困難ヲ感ズルコトアリ、又副港ハ舢舨及發動機船ノ碇泊場トス。

留萌町ハ北海道廳留萌支廳及町役場ノ所在地ニシテ人口約20,000 (昭和15年國勢調査)。當港ニ於ケル海事關係官署トシテハ留萌警察署アリ。

本港ニ於テハ兩防波堤以内ノ港域ヲ3段ニ分チ最奥部ノ囊狀水域ヲ副港、副港口ヨリ兩突堤端間迄ヲ内港、内港口ヨリ兩防波堤端間迄ヲ外港ト公稱ス。本誌ニ於テハ便宜上更ニ兩防波堤ノ外方港域ヲ最外港ト稱ス。

氣象 冬季ヲ通ジテ西風卓越シ10月11月モ亦然リ、其ノ他ノ月ニ於テハ南東風吹クコトアリ、冬季西風ノ強吹スルトキハ風速28米/秒ヲ超ユルコト珍シカラズ、高サ6米以上ノ波浪防波堤ニ衝激シテ勢猛烈ヲ極ム。

本港ハ港内結氷スルコトナク又流水ヲ認メタルコトナシ。

潮流 一般ニ漲潮流ハ南方ニ流レ落潮流ハ北方ニ流ルルモ夏季ニハ常ニ北流アリト謂フ、流速ハ微弱ニシテ船舶操縦上殆ド顧慮スルノ要ナシ。

港灣設備 外港東側ニハ北防波堤、導水堤及防沙堤 (長サ106米) アリ。

外港西側ニハ外港物揚場 (南防波堤基部ト西突堤基部トノ間) 及南防波堤アリ。

内港北濱ニハ東突堤、北岸物揚場 (東突堤ト繫船岸壁トノ間) 及北岸繫船岸壁アリ。

内港東濱＝ハ東岸物揚場アリ。

内港南濱＝ハ南岸物揚場及南岸繫船岸壁アリ。

内港西濱＝ハ西岸物揚場及西突堤アリ。

副港東濱及西濱＝ハ夫々副港東物揚場及西物揚場アリ。

目標 留萌埼ハ高サ 20 米以上ノ臺形地ヲ成シテ北西方＝舌頭ノ如ク斗出ス、臺形地上ノ人家ハ留萌市街ノ一部＝シテ遠望顯著ナリ。

留萌港北防波堤燈臺 北防波堤西端＝在リ、高サ 15 米ノ白塗圓形「コンクリート」造＝シテ燈高 15 米。

留萌港南防波堤燈臺 南防波堤北端＝在リ、高サ 15 米ノ紅塗圓形「コンクリート」造＝シテ燈高 15 米。

留萌港東突堤燈竿 東突堤北西端＝在リ、高サ 8.3 米ノ綠塗圓柱形「コンクリート」造＝シテ燈高 8.7 米。

留萌港西突堤燈竿 西突堤北端＝在リ、高サ 8.3 米ノ紅塗圓柱形「コンクリート」造＝シテ燈高 8.7 米。

淺水地 最外港＝於テ留萌川放出口一帯ハ淺水地ナリ、又外港＝於テハ其ノ東側及留萌埼北端先ハ淺シ。

針路法 本港ノ出入＝慣レタル山下汽船株式會社所屬船舶ハ濃霧ノ際＝於テハ適當ナル速力ヲ以テ沖合ヨリ測深ヲ行ヒツツ略陸岸＝正交接近シ左方＝猶陸地ノ突出ヲ見ルトキ自船ハ本港ノ南方＝在ルベク、又左方＝陸地ノ突出ナケレバ本港ノ北方＝在リト判斷シテ入港ヲ企圖スルモノ多シト謂フ。内港ノ出入＝際シテハ外港内ハ北防波堤竝＝東突堤各外端間一線以東ト南防波堤竝＝西突堤各外端間一線以西ト＝入ラザル如クシ尙外港口ハ南防波堤ノ方＝寄リテ其ノ外端ヲ繞航シ内港口ハ東突堤端＝接航スルヲ可トス。

水先 自由水先制＝シテ現在水先人 2 名アリ、内 1 名ハ専ラ山下汽船株式會社船舶、他ノ 1 名ハ北日本汽船株式會社船舶ノ水先案内ヲ勤ム（昭和 9 年調）、一般船舶水先人ヲ要スルトキハ電報ヲ以テ通知シ置ケバ防波堤ノ沖合約 1 湮＝於テ乗船スルヲ例トス。

港則 開港港則ハ未ダ當港＝於テ實施セラレズ、水路誌附録第 2 卷＝就テ北海道港内取締規則及留萌港港則ヲ見ルベシ。

地方暴風標 漁業組合建物附近＝地方暴風標アリ。

給炭 本港＝於ケル留萌鐵道株式會社經營ノ接岸載炭設備ハ主トシテ移出炭積載ヲ目的トス、從ツテ雨龍炭常備貯藏量頗ル豊富ナルヲ以テ即時多量ノ供給＝應ズルコトヲ得。

給水 清水ハ上水道＝シテ船舶給水ハ岸壁＝於テ行フヲ主トシ留萌町ノ經營＝屬ス、其ノ内南北兩岸繫船岸壁＝ハ給水口各 4 箇宛、南岸物揚場＝ハ給水口計 3 箇アリ（昭和 8 年調）、尙水路誌附録第 2 卷＝就テ留萌町水道使用規則ヲ見ルベシ。

増毛港（海圖 40 分圖） 留萌港ノ南西方約 7.5 湮＝於テ増毛埼ヲ略中央トスル港＝シテ主ナル港灣設備トシテハ防波堤基ヲ有スル＝過ギズ、從ツテ内港ト雖モ唯灣入約 4 鏈、幅約 7 鏈ノ淺入灣＝シテ北方ノ開口大ナル爲充分安全ナル港灣ト稱スルヲ得ザルモ 5 月ヨリ 9 月迄ノ間ハ錨泊＝適ス。

増毛町ハ町役場ノ所在地＝シテ人口約 10,000（昭和 15 年國勢調査）。海事關係官署トシテハ増毛警察署アリ。

本誌＝於テハ便宜上港界内ヲ 2 分シ防波堤及同堤東端稻尾埼間一線ノ外方ヲ外港、同内方ヲ内港ト稱ス。

目標 増毛埼ハ鈍岬角＝シテ埼上稍平低ノ處＝増毛町ノ市街地アリ、

南方ヨリ來ルトキハ遠ク其ノ家屋ヲ認メ得ベク其ノ北東端ニ近ク位スル黒色煙突ハ晝間目標トシテ良シ。

増毛燈臺 内港西濱ノ丘上ニ在リ、高サ6.3米ノ白塗四角形木造ニシテ燈高41米。

増毛港防波堤燈竿 防波堤東端ニ在リ、高サ5.6米ノ紅塗鐵柱ニシテ燈高9米。

障碍物 内外港ヲ通ジ増毛崎ノ周圍距岸約1鏈餘間淺水地擴延ス、但シ防波堤基部ノ南方ハ浚渫シアルモ其ノ水深ハ5米ニ滿タズ、又内港東濱ニ距岸約1.5鏈ノ間淺水地ニシテ**稻尾崎**△19ノ南西方約1.5鏈ニハ高潮ニ洗フ岩アリ。

錨地 内港内ハ水深5—12.3米、底質石或ハ沙(沙底多シ)ナルヲ以テ水深適宜、底質沙ノ處ヲ選ブベシ。

針路法 西方又ハ南方ヨリ來ルモノハ増毛崎ノ西方約12哩ノ處附近ニ達セバ**稻毛港**ノ位置ヲ認ムルヲ得ベキヲ以テ夫ヨリ針路ヲ東方ニ變ジ増毛崎ヲ距ル3鏈以外ノ處ヲ過ギ全ク鬱入部ヲ開視スルニ及ビテ其ノ中央ニ向進シ内港内ニ入ラバ適宜ノ處ニ投錨スベシ、東方又ハ北方ヨリ來ルモノハ**稻毛崎**ヲ距ル3鏈以外ノ處ヲ經過スルガ如ク來リ次デ前記針路法ニ從フベシ。

地方暴風標 増毛燈臺ノ南西方至近ニ地方暴風標アリ。

給水 外港西端ニ近キ**暑寒川**ニ短艇ヲ行レバ手働唧筒ヲ以テ多量ノ水ヲ得ベク水質良好ニシテ飲料ニ適ス。

釜臥山 増毛崎ノ南西方約5.5軒ニ孤立スル釜臥山ハ高サ322米ノ圓錐形山ニシテ山頂ニ鬱蒼タル樹林アリ、海上ヨリ顯著ナル目標ト爲ル。

二ツ岩 増毛崎ノ西南西方約3.3哩ニ位スル**カムイエト**崎ノ東方約8

鏈、距岸約5鏈ニ在ル2小岩ニシテ高サ1.4米、礁脈之ヲ圍繞ス。

日方泊崎(ヒガタトマリ) 「カムイエト」崎ノ西南西方約3.6哩ニ在ル險崖ノ高角ニシテ西方及東方ヨリ望ムトキハ顯著ナリ、崎ノ西側ニハ高サ約30米ノ赭色險崖アリテ南方ヨリ望メバ最モ顯著ナリ。

天狗岳(岩尾岳) 日方泊崎ノ南南東方約4軒ノ内陸ニ聳立シ高サ983米アリ、其ノ日方泊崎ニ向ヒ漸隆セル山脊ハ樹木ナク其ノ兩側ハ峻壁ヲ成シ樹木繁茂ス、之ヲ望ムニ一見南東方ヨリ北西方ニ開ケル屏風ノ觀アリ、而シテ其ノ山脊ノ外端ニ鼠色ノ斷崖アリ、高サ494米、嶮岨ナル山角ヲ成シ南方或ハ北方ヨリ望メバ甚ダ顯著ナリ。

赤岩崎 日方泊崎ノ南南西方約3.2哩ニ在リ、高サ70米ニシテ赭色斷崖ヲ成シ西方ヨリ望ムトキハ稍顯著ナリ。

沖ノ瀬 赤岩崎ノ西方約1.6哩ニ在リ、徑1鏈、最淺部水深32米ニシテ外側ハ直ニ急深ナリ、沖ノ瀬ヨリ陸方約3鏈ニ最淺部水深1.3米ヲ有スル**地ノ瀬**アリ、此ノ兩礁間ハ水深9.1米ヨリ深シ、地ノ瀬ヨリ陸方ハ3鏈間淺水地擴延シ水深6.4米ヨリ淺ク其ノ盡端ハ水深4.1米ナリ。

鮭島(トド) 地ノ瀬ノ南方約6鏈、距岸約5鏈ニ在リ、高サ2米ノ小嶼ニシテ大岩石塊ヨリ成ル、鮭島ト陸岸トノ間ハ水淺クシテ小舟ニ非ザレバ通航シ難シ、然レドモ島ノ外側ハ小距離外ヨリ急深ナリ。

雄冬岬 赤岩崎ノ南南西方約2.4哩ニ位スル險崖ノ高角ニシテ高サ約92米アリ、其ノ内方ハ急起シテ**雄冬岳**(高サ1,213米)ニ達ス、本岬ハ其ノ附近ノ山岳總テ鬱黒タル森林ヲ以テ蔽ハレ北海道西岸宗谷岬ト神威岬トノ間ニ於テ最モ顯著ナル岬角ナリ、岬ノ北側ニ瀑布アリテ西方ヨリ望ムトキハ顯著ナリ。

本岬ニ接航スル船舶ハ沖ノ瀬、地ノ瀬及鮭島附近ノ淺水地ヲ避クル爲距岸

3 湊以内 = 入ラザルヲ安全トス。

海流 雄冬岬附近ノ海流ハ常ニ微弱ナレドモ3月下旬ヨリ5月上旬迄ノ間ハ北向ノ強流アリテ流速約2—6節ニ達スルコトアリ、然レドモ5月中旬以後ニ於テハ海流全ク微弱ト爲ルト謂フ、蓋シ内陸ノ積雪一時ニ融解シ石狩川ヨリ出水スル流勢ノ此處ニ達スルニ因ルモノナラン。

石狩灣

雄冬岬ト積丹岬トノ間ノ大灣ヲ石狩灣トス、灣濱一般ニ急深ノ處多ク距岸1湊ニ於テ水深18—36米、漸次外方ニ深ク其ノ西端約8湊間ハ距岸約5湊ニシテ水深200米ニ達ス。

此ノ沿岸中雄冬岬ヨリ其ノ南方約12.5湊ノ愛冠岬迄ハ大淺入灣ヲ成シ其ノ中雄冬岬ヨリ南方約3湊間ハ海岸嶮峻多岩ナルモ夫ヨリ南方ハ全部礫濱或ハ沙濱ニシテ各村落附近ニ河流アリ清水多量ニ流出ス。

愛冠岬ト其ノ南西方高島岬トノ間ハ石狩灣内ニ於テ相當大ナル灣ヲ形成ス此ノ灣岸中愛冠岬ヨリ直距離約15湊ニ在ル石狩川ノ河口迄ノ間ハ概ネ嶮峻又ハ礫濱ナルモ人工ニ依リテ之ヲ開キ悉ク漁場ト爲シアリ。石狩川ノ河口ヨリ南西方約12湊ノ錢函迄ハ沙濱ヲ成ス。錢函ヨリ西北西方約6湊ノ平磯岬迄ハ海岸殆ド直條ニシテ其ノ中間ニ顯著ナル高崖神威古潭(カムイコタン)(海圖5参照)アリ。平磯岬ヨリ北方2.6湊ノ茅柴岬迄ハ灣入シテ小樽港ヲ成シ茅柴岬ヨリ約8鏈ニシテ高島岬ニ達ス。

高島岬ヨリ積丹岬迄約27湊ノ海岸ハ西方ニ向ヒ概ネ嶮崖又ハ礫濱ニシテ忍路鼻、尻場崎、丸山崎、厚苦岬等ノ岬角斗出シテ小灣數箇アリ。此ノ沿岸中高島岬ヨリ丸山崎迄約17湊ノ間ハ岸上直ニ150米以上ノ山丘急起シ絶壁削立セル處多キモ丸山崎以東2.5湊間ハ沙濱若ハ礫濱ナリ。丸山崎ヨリ積丹岬迄約10湊間ハ積丹岳ノ山裾高サ60—90米ノ臺形地ヲ成シ其ノ外

端急下シテ帶黑色ノ嶮崖ト爲リ岸線概シテ直條ナリ。

濱益 雄冬岬ノ南方約8湊濱益川河口附近ニ在ル村落ニシテ此ノ地ニ地方暴風標アリ。

此ノ村落ノ東北東方約7.5軒ノ内陸ニ**黄金山**(コガネ)アリ、高サ742米、其ノ狀恰モ摺鉢ヲ伏セタルガ如ク頗ル顯著ニシテ其ノ北方5軒餘ノ1,235米山ト共ニ好目標ヲ成ス。

愛冠岬(アイカツプ) 雄冬岬ノ南方約12.5湊ニ在リ、頗ル高峻ニシテ其ノ外端ノ小岬角ハ南方或ハ北方ヨリ遠望スルトキハ恰モ離岩ノ如シ、岬上平圓ナル山頂ヲ有スル486米山ヨリ南方約13軒間ハ甚ダ嶮峻ナル山脈ニシテ樹木鬱黒タリ。

厚田 愛冠岬ノ南方約8湊ニ位スル村落ニシテ其ノ前面距岸2鏈ニ水深3.2米ノ**厚田礁**アリ。

厚田村落ヨリ石狩川ノ河口迄ノ間山丘ハ低クシテ樹木ナク獨リ**阿曾岩山**(高サ422米)ヲ以テ著峯トスルノミ。

石狩川 石狩川ハ其ノ源ヲ石狩岳ニ發シ厚田村落ノ南方約8湊ニ於テ石狩灣首ニ注グ、蜿蜒屈曲シテ長サ約195湊ニ互リ北海道第1ノ大河タルノミナラズ實ニ本邦屈指ノ長流タリ。

河口幅400米餘、遙ニ上流ニ溯ルモ尙180—360米ニシテ水深ク河口ヨリ數湊間ハ水深5.4—9.1米アリ、小形汽艇ハ常ニ月形迄約45湊ヲ溯航ス、河口ヨリ上流約8湊ノ花畔(ハナグロ)迄潮汐ヲ感ジ河水モ鹽分ヲ含有ス。毎年11月中旬ヨリ流水ヲ認メ12月中旬結氷シ2月中旬迄氷上交通可能ニシテ3月上旬解氷ス。

河口 石狩川ノ河口ハ門洲常時變遷シ潮水相關フヲ以テ少シク海風アルトキハ忽チ波浪ヲ起シ輕風ノ日ト雖モ小舟ノ如キハ出入最モ困難ナリ、

殊=解氷後ノ出水=際シテハ河口門洲位置ノ變化多ク濤筋變更スルヲ以テ導標ハ深く信賴スルヲ得ズ、河水ハ濁レルヲ以テ水色=依リ濤筋ヲ判斷シ難ク又水勢=依リ濤筋ヲ識ルコト困難ナリ。石狩川治水事務所ハ小形汽艇出入ノ爲常=濤筋ノ測深ヲ行ヒ居ルヲ以テ時日許サバ同所=照會スルヲ便ナリトス。河口外ハ船ヲ泊スベキ地=非ザルモ若シ已ムヲ得ザルトキハ宜シク風候ヲ察シ平波ノトキハ河口ヨリ約1湍沖合、水深10.9—12.8米、底質泥ノ處=假泊スベシ、小形船艇ハ上流約1湍右岸=近キ處=最良ナル錨地ヲ得ベク此處ハ水深約9.1米=シテ流勢緩ナリ、此ノ附近=渡船場アリ之ヲ上陸所トシテ利用スルヲ便トス。

河口西側=石狩町ノ市街地アリ、町役場ノ所在地=シテ人口約7,500(昭和15年國勢調査)、此處=地方暴風標アリ。

石狩燈臺 石狩川ノ河口西側沙嘴上=在リ、高サ14米ノ白塗圓形鐵造=シテ燈高15米。

石狩川口導燈 石狩川ノ河口東側=在リ、何レモ高サ12米ノ三角形頭標附紅白横線塗木柱=シテ燈高ハ前燈後燈共=12米。

此ノ2燈一線ハ約161½度ナルモ導燈ノ位置ハ河口濤筋ノ變化=伴フヲ以テ時=依リ多少ノ相違アルベシ。河内=入ラントスル船舶ハ沖合ヨリ前後兩燈ヲ一線=望ミテ河口中央=到リ右折シテ進航スベシ。

小樽港(海圖5) 石狩川ノ河口西方約16湍=在リ、地形上西風及南風=ハ頗ル安穩=シテ内港内ハ防波堤=依リ北風及東風ノ猛威ヲモ減殺ス、加之冬季結氷セズ、夏季海霧少キヲ以テ北海道西岸唯一ノ良港ナリトス。

本誌=於テハ便宜上港界内ヲ2分シ北防波堤及南部防波堤ノ外方ヲ外港、同内方ヲ内港ト區別ス。

小樽市 人口約165,000(昭和15年國勢調査)=シテ當市=於ケル海事關係官署ハ函館稅關小樽支署、札幌遞信局海事部小樽出張所、小樽臨時海港檢疫所出張所、小樽土木現業所、小樽市港灣事務所、小樽水上警察署、函館海務局小樽支局等トシ其ノ他英國領事館及蘇國領事館アリ。

氣象 本港陸上=於ケル氣象ハ本市ノ南東方30軒=位スル札幌市ト略同様ト看做シ得ベキヲ以テ卷末氣象表第8(札幌氣象表)=就テ其ノ概要ヲ知ルベシ。

12月至翌年3月ハ北西乃至北ノ風強ク吹雪等ノ爲荷役困難ナルコトアリ、之=反シ7月至9月ハ南西ノ風弱ク荷役=好適ノ季節ナリ。

港灣設備 外港西側=ハ高島防波堤(辨天島ノ西方120米=在リ長サ64米)、北防波堤及南防波堤アリ。

内港北濱=ハ運輸省所管石炭高架棧橋アリ。

内港西濱=ハ船入澗(水上警察署北方)、第1及第2埠頭、市營船溜(北濱町、南濱町及堺町=互ル、船溜南出入口ノ北側=小樽郵便局船舶見張所アリ)、市營繫船岸壁(第1埠頭基部ヨリ南東方、岸壁ノ南東端=ハ浚渫區域標識燈ヲ設ク)及運輸省經營埋立地(内港西濱ノ南半大部ヲ占メ其ノ沿濱ハ繫船岸壁、物揚場等ヲ成ス)アリ。

目標 港界端ノ茅柴岬ハ高サ73米、岬上雜樹繁茂ス、市街南東端勝納町鐵道機關庫=白色「コンクリート」造煙突(地上ノ高サ33米)2基及其ノ附近=機關車用水槽存在シ何レモ好目標ナリ。

夜間目標トシテ最モ顯著ナルモノハ港首中央水天宮山(高サ56米)上ノ廣告塔=シテ紅、白、綠ノ3色光ヲ交互=點ジ「美身クリーム」ヲ顯ハス、此ノ燈光ハ防波堤燈臺ノ燈光ヨリモ遠望顯著=シテ夜間北方ヨリ當港=近ヅクトキ本港ノ概位ハ之=依リ先ヅ判知シ得ベシト謂フ。其ノ他目標ト爲

ルベキ主ナルモノヲ擧グレバ次ノ如シ。

位置	種類	記事
市街北方ノ尖峯石山(高サ145米)ノ中腹	電飾廣告板	「のみそ」
同	同上	「可キヤラメル」
色内驛西北西方ノ映畫常設館	全館白光電飾	中央ニ塔アリ
上記映畫常設館ノ275度約650米	電飾廣告板	「北ノ峯」
競馬場北西方約700米ノ山上	同上	「クレームレート」
小樽港北防波堤燈臺	北防波堤南端ニ在リ、高サ14米ノ紅塗圓形「コンクリート」造ニシテ燈高15米。	
小樽港南防波堤燈臺	南防波堤北端ニ在リ、高サ14米ノ白塗圓形「コンクリート」造ニシテ燈高15米。	
小樽港假設挂燈浮標	北防波堤南端ノ東方副防波堤建設線ノ外端ニ假設シテ工事區域ヲ標示ス、紅塗圓筒形上部櫓形鐵造ニシテ燈高水面上3.5米。	
小樽築港驛挂上棧橋西側及東側導燈	小樽築港驛海上棧橋ノ東西兩側ニ2對設ク、同棧橋船舶繫留用ニ用ヒラレ何レモ黑紅白塗三角形頭標附紅塗三角櫓形鐵造ニシテ燈高前燈各12米、後燈各14米。	
浚渫區域標識	市營繫船岸壁側浚渫區域ノ境界ヲ標示スル爲其ノ南東端附近ニ設ケ異色光ノ分界面ニ依リ安全危險ノ區域ヲ明確ニシテ操船上ノ利便ニ供ス、四角形「コンクリート」造ニシテ上部ニ頭標附燈器ヲ掲ゲ燈高7.7米。	
障碍物	後記ノ港外茅柴岬高島岬間漁柵以南小樽港北防波堤ニ至ル間ニ於テ浮標附漁網ヲ張リアルコト多シ、浮標ノ中ニハ夜間燈火ヲ掲グルモノアルモ光力微弱ナルヲ例トス。	

上記假設挂燈浮標北防波堤燈臺連絡線ト副防波堤建設線トノ間ノ海面内ハ一般船舶ノ航行及碇泊ヲ禁止セラル。

内港内(主トシテ北半部)ニハ大形繫船浮標10數箇アリ(水路誌附録第2卷參照)。

投錨禁止區域 南北兩防波堤燈臺一線ノ中點ト水天宮山△トヲ結ブ直線ノ兩側各121米間及南北兩防波堤ノ内側各242米間、即チ丁字形ヲ成セル此ノ内港海面ニ於テハ投錨ヲ禁止セラル。

錨地 内港内ハ水深9—15米ニシテ底質沙泥ノ處ハ錨搔キ良シ、浮標所有船主ニ屬スル船舶以外ハ港内隨意ノ箇所ニ投錨シ差支ナシト雖モ南半部ハ底質岩ノ處相當多キヲ以テ成ルベク北半部ニ錨地ヲ求ムベシ、然ルトキハ底質ノミナラズ陸上トノ連絡近ク荷役ニ便ナル上ニ於テモ利點アリ。

針路法 西方ヨリ來リ入港スル船舶ハ高島岬ヲ繞航シタル後ハ茅柴岬附近ノ漁柵及其ノ以南ノ漁網ニ注意シツツ南防波堤南端ニ向ヒテ南進シ爾後適宜南防波堤ノ間隙次デ南防波堤燈臺ニ順次向首シテ假設挂燈浮標ヲ繞航シ出港船舶ニ留意シツツ漸次南防波堤燈臺及假設挂燈浮標間ナル新港門ニ向フベシ。

水先 小樽港界ヲ以テ小樽港水先區ノ境界トス、水先人1名アリテ小樽市富岡町1丁目48番地ニ事務所ヲ有ス(昭和9年調)、但シ外國船以外ニハ雇傭スル船舶殆ドナシ。

檢疫 小樽港ハ海港檢疫法施行規則第1條ニ依リ檢疫所常設海港ニハ非ザレドモ内務省告示ヲ以テ小樽臨時海港檢疫所出張所ヲ設ケ檢疫ノ施行ヲ指定ス。

港則 開港港則ハ未ダ當港ニ實施セラレズ、水路誌附録第2卷ニ就テ北海道港内取締規則、小樽市繫船岸壁使用條例其ノ他ヲ見ルベシ。

暴風雨標及地方暴風標 水上警察署附近=札幌測候所所管ノ暴風雨標
又其ノ前面ノ船入澗北側税關支署附近=地方暴風標アリ。

上陸所 税關支署ノ前面=其ノ經營=係ル旅客昇降用浮棧橋アリ、但
シ照明装置ナシ、又其ノ南方入船澗ヲ隔テテ水上警察署ノ前面=モ市營ノ
旅客昇降用埠頭(中央物揚場ト稱ス)アリ照明用電燈ヲ備フ、該船入澗内
之リ=モ著艇シ得ベシ。

給炭 石炭供給經營ハ北海道炭礦汽船株式會社、三菱礦業株式會社、
住友炭礦株式會社等ヲ主ナルモノトシ手宮驛構内=運輸省經營ノモノノ外
前二者ハ各5萬噸以上、後者ハ2萬噸以上ノ貯炭場竝=各「ベルトコンベ
ヤー」装置ヲ有シ1日ノ供給能力各約2,000噸ヲ下ラズ(昭和8年調)。

給水 市ノ經營=係リ上水道ヨリ引水シテ直接給水及運搬給水トス、
直接給水ハ厩町市營繫船岸壁=6箇所、堺町市營繫船岸壁=6箇所アリ、
又石炭棧橋=1箇所アリ、此ノ他堺町及厩町繫船岸壁ノ傍=各1箇所アリ
テ主トシテ小船給水用トシテ使用セラル、運搬給水=ハ水槽船6隻アリ
(昭和12年調)、尙水路誌附録第2卷=就テ小樽市水道使用條例及同施行
細則ヲ見ルベシ。

漁柵(海圖5) 茅柴岬ト高島岬トノ中間海岸ヨリ279度ノ方向約1.3
哩ノ間=漁柵存在シ漁柵上處々=櫓形浮標ヲ碇置シアリ、其ノ東端=ハ漁
舟碇繫スルヲ常トスト謂フ。

祝津港(シクツシ)(海圖5) 茅柴岬ノ北方約6鏈=在ル小漁港ナリ、
防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗ヲ有ス。

祝津船入澗西防波堤燈竿 祝津港船入澗西防波堤北東端=在リ、高サ
4.8米ノ白塗鐵造櫓=シテ燈高5.8米。

高島岬(海圖5) 茅柴岬ノ北方8鏈=位シ北東方=斗出ス。岬ノ北西

方約3鏈=トド岩アリ高サ22米、黑色不毛ノ岩嶼=シテ四周水深シ、漁
舟ハ常=此ノ岩ト高島岬トノ間ヲ通航ス。

日和山燈臺(海圖5) 高島岬端日和山上=在リ、高サ9.5米ノ白塗六
角形木造=シテ燈高49米。

霧信號 日和山燈臺=霧笛アリ、毎63秒=1回吹鳴ス(吹鳴3秒、
停鳴60秒)。

赤岩山(高島山)(海圖5) 高島岬ノ西方約2.8軒=在ル高地=シテ高
サ371米=達シ其ノ海方=面スル處=顯著ナル赤壁崖アリ、小樽港=入港
スル船舶ノ好目標ナリ。

鹽谷灣 高島岬ノ西方5.5哩=在リ、灣口ハ北西方=面シ水深7.3—16
米、底質沙=シテ偏西風=ハ波浪激シク起ルモ偏東風=ハ靜穩ナルヲ以テ
一時ノ假泊地ト爲シ得ベシ。灣口東端**ポモイ鼻**附近ノ**アイカップ岩**(高サ
19米)ヨリ西方約5鏈=シテ灣首ノ**桃岩**(高サ40米)ヲ南西方=望ム處=
クリ礁アリ、礁上水深3.6米、礁周急深ナルモ附近南方ハ水深14.6—16米
底質岩盤ナルヲ以テ錨泊=ハ宜シカラズ。

丸山 鹽谷灣首ノ南方約3.8軒ノ内陸=在ル高サ631米ノ峻峯=シテ
山頂尖銳雜草繁茂シ何レヨリ望ムモ山容不變=シテ頗ル認識シ易シ。

忍路鼻(オシヨロ)(兜岬) 高島岬ノ西方約7哩=在リ、高サ87米=
シテ樹木及雜草繁茂ス、此ノ鼻ハ余市灣ノ東側ヲ成セル小半島狀ノ外端ナ
リ。

忍路浦 忍路鼻西側ノ小浦=シテ南東方=彎入スルコト約5鏈、幅1
鏈餘、水深5—14.6米、底質沙泥ナリ、此ノ浦ハ能ク風波ヲ防グモ小舟=
非ザレバ入ルヲ得ズ。

余市灣 忍路鼻ト尻場崎トノ間=在リテ灣周ハ概ネ沙濱ナリ、灣

口ハ北ニ開キ東西約3.5哩、彎入約1.5哩、水深6.4—27米、底質沙ニシテ北西至東ノ風吹クトキハ「ウネリ」侵入シ錨泊ニ宜シカラズ、然レドモ小船ハ灣内西側ノ余市港防波堤内ニ入ラバ安全ナルベシ。

余市港 沖合漁業及遠洋漁業ノ根據地タル漁港トシテ重要ノ地位ニ在リ、本港ハ目下修築工事施行ノ途ニ在ルモノニシテ竣工ノ上ハ主ナル港灣設備構造物トシテ市街地北端附近ヨリ東方次デ南方ヘ彎曲スル全長約670米ノ防波堤、「ヌツチ」川ノ河口北側ヨリ約200米東方ヘ伸出スル防沙堤及市街北端海岸ノ船入澗ノ3者ヲ得ルニ至ル豫定ナリ。

港首ニ余市川アリ、河口ハ水淺キモ河内ハ稍深ク平波ノ際ニハ短艇ヲ行リ得ベシ。

余市町ハ町役場及北海道廳立水産試験場ノ所在地ニシテ人口約19,900(昭和15年國勢調査)、此處ニ地方暴風標アリ。

尻場崎 余市灣口ノ西端ニシテ高サ297米、其ノ海方面ハ險崖削立シ内方ハ漸次傾斜ス、崎頂ハ黑色尖形ニシテ樹木繁リ余市灣ヲ認ムルノ好目標ナリ。

中ノ澤山〔ピラバ〕 余市川ノ河口南方約10.1軒ニ位スル東西2頂ノ鬱黒タル山峯中ノ東方ノ尖頂ニシテ高サ729米アリ、西方ノモノハ稍高く高サ735米アリヲ**大黒山**ト稱ス、此等ノ山裾ハ余市灣首ニ向ヒ傾斜ス。

天狗山 余市川ノ河口西方約10.1軒ノ内陸ニ天狗山アリ、高サ876米ニシテ雜樹繁茂ス。

蠟燭岩 尻場崎ノ西北西方約2.8哩、距岸約3鏈ニ在リ、顯著ナル尖岩ニシテ高サ47米、海面ニ直立シ其ノ形恰モ蠟燭ノ如シ、之ヲ南東方ヨリ望メバ和船ノ檣ヲ立ツルニ似タリ。

古平灣(フルビラ) 尻場崎ノ西方約6哩ニ位シ北東方ニ開口ス、灣内

北隅ニ東側ヲ防波堤ニテ被護スル開口大ナル船入澗アリ古平漁港ト稱ス、此ノ灣ハ北西ヨリ西及南ヲ經テ南東迄ノ諸風ヲ遮蔽スルヲ以テ稍大形ノ船舶ハ漁港ノ南東方水深12.8—16米、底質細沙ノ處ニ錨地ヲ得ベシ。春夏ノ交ハ灣ノ南濱ニ注グ古平川ヨリ時々猛烈ナル陸風吹出シ沖合數哩ニ至リテ止ム、漁民之ヲ古平風(フルビラモノ)ト唱フ。

古平町ハ古平漁港ニ臨ミ、町役場ノ所在地ニシテ人口約7,600(昭和15年國勢調査)。

古平漁港船入澗防波堤燈臺 船入澗防波堤南端ニ在リ、高サ8.5米ノ紅塗四角檣形鐵造ニシテ燈高11米。

丸山崎 古平灣口ノ北西端ニシテ高サ195米アリ、崎頂尖銳ニシテ樹木繁茂シ其ノ北側ハ黑色ノ險崖ナリ。丸山崎附近ハ岩礁散布シ其ノ最外礁ハ水深2.7米ニシテ崎ノ北方約2鏈ニ在リ、其ノ外側ハ急深ニシテ直ニ水深25米ト爲ル。崎ノ内方ニ竹澤山アリ、高サ425米ニシテ山頂ハ著樹アル爲尖形ヲ成シ北東方ヨリ望メバ其ノ容恰モ寶珠ニ似タリ。

泥ノ木山 丸山崎ノ南西方約9.6軒ノ内陸ニ聳立スル尖峯ニシテ高サ851米、青黛色ヲ呈シ北東方ヨリ望ムトキハ顯著ナリ。

美國灣(ビクニ) 丸山崎ノ北西方約1.7哩ニ在ル淺入灣ニシテ北方ニ開口シ少シク波浪アルトキハ錨泊ニ堪ヘズ、然レドモ灣口ノ東端厚苦岬ノ外方2鏈ニ伸出セル**トド岩**(高サ3.2米)ニ依リテ偏東又ハ南東ノ波浪ヲ防ギ偏南風ニハ稍平穩ナル爲風向ニ依リテハ一時假泊シ得ベシ、錨地ハ灣ノ中央水深8.2—18米、底質沙ノ處ニ在リ。灣口東端ノ厚岬辨ハ高サ84米ニシテ黑色ヲ呈シ美國灣ヲ認ムルノ目標トスベシ。

灣内西濱即チ辨天岬〔黄金岬〕ノ東側ニ**美國漁港**アリ、防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗ヲ有ス、漁港ノ南方沿岸ニ在ル美國町ハ町役場ノ所在地ニシテ人

口約 3,600 (昭和 15 年國勢調査)、此處ニ地方暴風標アリ。

マツカ岬 辨天岬ヨリ北西方約 4.6 湮ニ在リ、此ノ間ノ海岸ハ幾ド直條ニシテ數多ノ水上岩濱岸ニ接シテ沿布シ其ノ外側ハ急深ナリ。「マツカ」岬ハ高サ 167 米ニシテ雜草叢生ス、岬端ハ險崖ヲ成シ其ノ外側ニ、2 箇ノ尖岩屹立ス。「マツカ」岬ノ西側ニ小灣アリ、灣入約 5 鏈ニシテ水深 7.7 米北東方ニ開口ス。

出岬(デ) 「マツカ」岬ノ北西方約 2.2 湮ニ在リ、岬端附近數多ノ水上岩沿布ス。

積丹岬(シャコタン) 出岬ノ西方約 9 鏈ニ在ル高サ 121 米ノ斷崖角ニシテ石狩灣口ノ西端ヲ成ス。岬ノ東北東方距岸 2 鏈ニ 1 暗岩アリ、其ノ外端ハ水深直ニ 14.6 米ニシテ 1—2 鏈ヲ距レバ 27 米ト爲ル。

積丹岬至白神岬

積丹岬至帆越岬

積丹岬ヨリ川白岬ニ至ル間ハ後志半島ノ外端部ヲ成ス。此ノ沿岸中積丹岬ヨリ西南西方神威岬迄約 5.5 湮間ハ海岸稍弓形ヲ成シテ礫濱多シ、而シテ兩岬附近ハ岸邊岩石多キモ距岸 1 湮ニ至レバ水深概ネ 27 米ヨリ深ク別ニ航海ノ障碍タル隱險ヲ認メズ。神威岬ヨリ南方川白岬迄約 7 湮間ハ概ネ沙濱ヨリ成ルモ山脚急下スルヲ以テ遠望急峻ナルガ如シ、又岩石及淺礁沿布スレドモ何レモ距岸 5 鏈以內ニ在リ。

川白岬ト辨慶岬トノ間ハ大灣ヲ形成シ灣内南隅ニ於テ更ニ壽都灣凹入ス、此ノ沿岸中川白岬ヨリ南東方約 2.2 湮ノ「マツカ」岬迄ハ海岸ノ狀況神威岬至川白岬間ト略同様ナリ、「マツカ」岬ヨリ南東方神惠内灣迄約 4.2 湮ノ海岸ハ北半部ハ險崖絶壁、南半部ハ礫濱多岩ナリ、神惠内灣ヨリ海岸ハ南東方 8 湮ニシテ上記大灣ノ最凹部タル沙濱低地ノ北端ニ至リ、次テ該沙濱低地約 3 湮ヲ經テ其ノ南端ニ位スル岩内港ヨリ更ニ南西方ニ向ヒ約 6.5 湮

ニシテ雷電岬ニ達ス、雷電岬ヨリ南西方美谷ノ埼ニ至ル約 7 湮間ハ尻別川ノ北東方約 1 湮間ノ沙濱ヲ除ク外總テ岩多シ、美谷ノ埼ヨリ辨慶岬ニ至ル間ハ即チ壽都灣ナリ。

辨慶岬ヨリ南西方白糸岬迄約 17 湮間ハ弓形ヲ成シ海岸概ネ沙濱ニシテ岩礁沿布シ濱岸ハ漁舍相連リ背後ハ直ニ高陸ト爲ル。

白糸岬ヨリ南南西方約 4 湮ニシテ茂津多岬ニ至ル、之ヨリ更ニ南方ニ折レ直條約 9 湮ニシテ瀬棚港ニ達ス、茂津多岬瀬棚港間ニハ距岸 3 鏈以內處々岩礁アルヲ以テ接近スベカラズ。

瀬棚港ヨリ南方ハ海岸稍西方ニ伸出シ約 13 湮ニシテ帆越岬ニ至ル、此ノ區域中瀬棚港ヨリ水垂岬迄約 7.5 湮ノ間ハ稍彎曲ス、瀬棚港ヨリ南方約 1.5 湮間ハ距岸 5 鏈以內ニ水深 2.2 米ヨリ淺キ點礁散在スルヲ以テ 8 鏈以內ニ近寄ルベカラズ。

後志半島 余市灣岩内港ノ線ヲ基部トシ北西方ニ突出スル高半島ニシテ其ノ北西端ヲ神威岬トス、半島外端ニ近キ余別岳(高サ 1,299 米)及積丹岳(1,260 米)ハ其ノ最高處ナリ。本半島ノ周圍ハ小樽港以北ノ海岸ニ比シ甚シク急深ニシテ 200 米等深線ハ厚苦岬以東及神威岬端ヲ除クノ外距岸 6 湮以內ニ逼ル。

入舸港(イリカ) 積丹岬ノ南側灣入奥部ニ在ル漁港ニシテ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗ヲ有ス。

余別港 入舸漁港ノ西南西方約 4.4 湮ニ在リテ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗ヲ有スル小漁港ナリ。本漁港ニ臨ム余別村ニハ地方暴風標アリ。

神威岬(カモキ) 積丹岬ノ西南西方約 5.5 湮ニ位スル細長ノ突出岬ニシテ巨岩屹立シ岬頂(高サ 83 米)ノ外樹木ナク灰白色ヲ呈ス。此ノ岬附近ニ數岩アリ、雄神威岬(高サ 41 米)ハ最モ高ク且尖銳ニシテ岬端ヨリ北西

方約 1.5 鏈 = 位ス、之ヨリ少シク外方 = 在ル平低岩ヲメノコ岩 (高サ 9.3 米) ト稱シ其ノ外方 2 鏈間暗岩散在ス。

神威岬燈臺 神威岬ノ北西端 = 在リ、高サ 9.3 米ノ紅塗圓形鐵造 = シテ燈高 75 米。

本燈臺 = 於テ船舶通報 = 關スル事務ヲ取扱フ、但シ夜間ハ之ヲ取扱ハズ。

岩堆 神威岬ノ北西方約 8 哩附近 = 最淺水深約 96 米、水深 120 米以下ノ廣袤 1 哩内外ナル 1 岩團アリ、該岩團ノ北東方ト南西方トハ急深ニシテ直 = 200 米以上 = 達スルモ北西方ハ 200 米等深線迄約 2 哩ノ餘裕アリ、南東方 = 至リテハ神威岬迄 192 米ヲ超ユルコトナシ、依ツテ濃霧ノ際等 = 在リテハ此等水深ノ不同ヲ利用シ船位ヲ知ルノ便アルベシ。

川白岬(カハヒラ) 神威岬ノ南方約 7 哩、後志半島西端 = 位ス、本岬東側 = 防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗ヲ有スル川白漁港アリ。

珊内港 川白岬ヨリ南東方約 1.8 哩 = 在ル小漁港ナリ、防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗ヲ有ス。

神惠内灣(カムエナイ) 川白岬ノ南東方約 6.4 哩 = 在ル小灣ニシテ灣内ハ水深 3.6 — 4.5 米、底質沙ナリ、灣岸ハ全部沙濱ナレドモ灣口北端ヨリハ南方 = 向ヒ約 1 鏈間礁脈擴延ス、此ノ礁脈ヲ利用シ之ヨリ東方 200 米 = 互リテ防波堤ヲ築造シ其ノ内方 = 船入澗ヲ設ケ神惠内灣 (船入澗艀揚場荷揚場使用料及徵收規則 = 就テハ水路誌附録第 2 卷ヲ見ルベシ) ト稱ス、又灣口南端タル龍神岬ヨリ岩礁約 0.5 鏈間擴延シ常 = 破浪ス、依ツテ船舶ハ南北兩岬ノ中間ヲ航進シテ灣内 = 入ルベシ。

灣周 = 神惠内村落アリ、此處 = 地方暴風標ヲ設ク、灣首ノ南東隅 = 注グ神惠内川ハ清水多量 = シテ直 = 短艇ヲ以テ汲取り得ベシ。

ベンサイ泊 神惠内灣ノ南東方 1 哩 = 在ル小灣 = シテ灣口北西方 = 面

シ廣サ僅 = 1 鏈内外、神惠内灣ヨリ水淺シ、和船ノ泊地ナリ。

興志内港 神惠内灣ノ南東方約 2.5 哩、泊村内 = 在ル小漁港 = シテ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗ヲ有ス、泊村船入澗使用料條例 = 就テハ水路誌附録第 2 卷ヲ見ルベシ。

泊港(海圖 22 分圖) 興志内港ノ南東方約 2.5 哩 = 在ル小漁港 = シテ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗ヲ有ス、本漁港 = 臨ム泊村落ハ村役場ノ所在地ニシテ人口約 6,800 (昭和 15 年國勢調査)、此處 = 地方暴風標アリ。船入澗使用料條例 = 就テハ水路附誌第 2 卷ヲ見ルベシ。

茅沼浦(海圖 22 分圖) 泊港ノ南南東方約 7 鏈 = 在ル茅沼浦ノ前面ハ距濱 2 鏈 = シテ水深 10 — 12 米、同 4 鏈 = シテ約 16 — 18 米アリ、底質沙ヨリ成リ風候 = 依リテハ大形船舶モ沖合 = 泊シ得ベシ。

茅沼ト其ノ南南東方 2 哩餘ノ堀株川ノ河口トノ間ハ岸邊岩石多キモ距岸 1 — 2 鏈以外 = ハ危險ヲ見ズ。

岩内港(海圖 22 分圖) 堀株川ノ河口南方約 2.7 哩 = 在リ、市街地ノ突出部稻穂崎ヲ西端トシ、漁港トシテノ築港既 = 完成シ又茅沼炭礦株式會社ハ本港ヲ以テ積出港ト爲セシ以來大形船舶ノ出入スルモノ漸次増加シ近時商港トシテノ發展ヲ見ル = 至レリ。

岩内町ハ町役場ノ所在地ニシテ人口 16,000 (昭和 15 年國勢調査)。當港 = 於ケル海事關係官署トシテハ岩内警察署アリ。

本誌 = 於テハ便宜上港界内ヲ 2 分シ西防波堤、東潛堤及第 1 防沙堤ノ外方ヲ外港、同内方ヲ内港ト稱ス。

内港 = 於テハ水深 5 米以下ノ部分其ノ半ヲ占ム、從ツテ收容シ得ベキ船舶ノ隻數ハ 3,000 噸級ナレバ約 3 隻ヲ以テ最大限トス。

氣象 昭和 4 年以降 5 箇年間ノ觀測 = 依レバ風向ハ春、夏、秋 3 季共

西風最モ多ク冬ノミ北西風多シ。雪ハ12月ヨリ翌年3月迄降り平均降雪日數50日餘、其ノ深サ約40糎。霧ハ5月6月中襲來スレドモ甚ダ濃密ナラズ。

結氷 本港ハ結氷スルコトナク又流水ノ襲來スルコトナシ。

潮流 防波堤築設以前ニ於テハ漲潮流ハ稻穂埼附近ヨリ灣岸ニ沿ヒテ北東方ニ流レタルモ防波堤築設以來其ノ方向反對ト爲リ北東方ヨリ灣岸ニ沿ヒテ南西方ニ流レ、落潮流ハ之ニ反スト謂フ。

港灣設備 外港南側ニハ西防波堤及第1防沙堤アリ。

内港南西濱ニハ船入澗(北及東兩防波堤ヲ以テ遮蔽セラル)及物揚場(東防波堤基部ノ兩側埋立地)アリ。

内港南東濱ニハ第4防沙堤、茅沼炭礦株式會社石炭積出淺橋(長サ91米ノ木造淺橋ニシテ第4防沙堤ヲ基礎トシテ其ノ西側ニ設ケ船横付用トス)、第3防沙堤及第2防沙堤アリ。

目標 本港ノ南東方約30軒ノ内陸ニ在ル後方羊蹄山(シベリシ)(蝦夷富士(海圖43參照)ハ北海道本島最高ノ活火山(高サ1,893米)ニシテ岩内港ニ近接スルトキノ好目標ナリ。市街地ノ南方約6.2軒ニ位スル岩内岳警察署北東方ノ善修寺等モ亦目標トシテ良シ。

岩内港西防波堤燈臺 西防波堤北東端ニ在リ、高サ12米ノ白塗圓形「コンクリート」造ニシテ燈高14米。

岩内港船入澗燈竿 船入澗北防波堤東端ニ在リ、高サ5.2米ノ紅塗四角櫓形鐵造ニシテ燈高7.2米。

錨地 昭和9年8月汽船廣祐丸(5,325噸)ハ空船時内港内(當時内港中央部ニ他船1隻碇泊セリ)ニ入り10米等深線上ノ中央點附近ニ双錨泊ヲ行ヒシガ錨搔キ良好ナリシト謂フ、外港ニ於テハ内港出入船舶ノ妨碍ト

爲ラザル處即チ西防波堤燈臺ノ北北東方約800米、水深12米附近ノ處ヲ選ブテ可トス。

地方暴風標 船入澗東防波堤基部附近ニ在リ。

給炭 給炭ハ茅沼炭礦株式會社ノ直營ニ屬シ第4防波堤基部ノ南西方埋立地ニ貯炭場及炭礦事務所アリ、船5隻ヲ有シ1日ノ船舶搭載能力1,000噸ナリ(昭和8年調)。

給水 給水モ茅沼炭礦株式會社ノ經營ニシテ豊富ナル掘抜ヲ水源トシ炭礦事務所附近埋立地ニ容量約100噸ノ貯水槽ヲ設ケ唧筒附給水船1隻(40噸)ヲ以テ船舶ニ給水ヲ行フ、又物揚場ニ水栓2箇アリ。

雷電岬(刀掛) 稻穂埼ノ南西方6.5哩ニ在ル黑色ノ險崖岬角ニシテ北東方若ハ南西方ヨリ望ムトキハ顯著ナリ、而シテ之ニ接近スレバ岩層傾斜スルガ故ニ頗ル認識シ易シ。

尻別川 雷電岬ノ南西方約3哩ニ尻別川ノ河口アリ、附近ニ於ケル大河ナルモ河口ノ南側角尻別岬ヨリ岩礁斗出北側角ヨリ沙堆延出スルガ故ニ河口ノ可航水道ハ幅僅ニ9米内外ニシテ水深1.8米ヨリ淺シ。此ノ河ノ左岸ニ500—600石積和船ノ泊スルコトアリ、吃水0.9米ノ船ハ上流5哩迄遡航スルムトヲ得。

河口ノ北西方約鏈ノ沖合ニ尖頭礁川先ノソリ磯アリ、礁上水深1.5米、礁周ハ直ニ12.8—16米ナリ。

壽都灣(スツ)(海圖22分圖) 尻別川ノ河口南西方約4哩ニ位スル美谷ノ埼(ビヤノ)ト其ノ西方辨慶岬トノ間ニ於テ南方ニ彎入セル開灣ニシテ北東至北西間ノ諸風ニ暴露ス、灣周ハ灣首沙濱ノ外之ニ沿ヒテ漁村相連ル。

辨慶岬、壽都測候所、其南西方約3軒ノ510米山等ハ入港ノ際ノ好目標ナ

リ。季節ニ依リ灣内ニ漁網定置シアルヲ以テ避泊ノ爲夜間入泊等ノ場合ニハ注意ヲ要ス。灣内ハ錨搔キ悪ク好泊地ニ非ズト雖モ灣首南西隅朱太川(シュブト)ノ河口北方約1哩、20米等深線ノ稍内方ヲ比較的可ナル錨地トス。

氣象 卷末氣象表第9(壽都氣象表)参照。

此ノ地ハ氣象表ニ於テ見ルガ如ク一年ヲ通ジ偏南風多ク強吹スルモ向海風ナルガ故ニ波浪割合高カラズ、然レドモ小舟ノ覆没スルモノ甚ダ多ク屢陸上トノ交通杜絶ス。海霧ハ近年發生少シ。

壽都港 灣内西側ニ於テ岩埼ヲ中心トシテ1.8軒ノ半徑ヲ有スル圓圈ノ1弧内ヲ以テ港域トス。岩埼ノ西隣海岸ニ防波堤ヲ以テ圍マルル水深1.8米ノ船入澗アリ、船入澗使用料徴收條例ニ就テハ水路誌附録第2卷ヲ見ルベシ。

壽都町ハ町役場ノ所在地ニシテ人口約4,300(昭和15年國勢調査)、壽都測候所構内ニハ地方暴風標アリ。

辨慶岬 壽都灣口ノ西端ニシテ黑色ノ低岩岬ヨリ成リ上都ハ綠樹繁茂ス、岬端西側ヨリ北方約2鏈間ハ礁脈斗出ス。

岬端ト該礁脈トノ間ニ**政泊港**アリ、防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗ヲ有スル小漁港ナリ、政泊村船入澗竝ニ荷揚場使用料徴收條例ニ就テハ水路誌附録第2卷ヲ見ルベシ。

辨慶岬燈臺 辨慶岬上ニ在リ、高サ6.5米ノ白塗四角形木造ニシテ燈高25米。

東島牧港 歌島岬ノ南西方約2.6哩、本目岬附近東島牧村厚瀬ニ在ル小漁港ニシテ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗ヲ有ス、此處ニ地方暴風標アリ。

西島牧港 歌島岬ノ南西方約8.2哩、西島牧村千走ニ在ル小漁港ニシ

テ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗ヲ有ス。

白糸岬 辨慶岬ノ南西方約17哩ニ位スル黑色岩崖ニシテ高サ約46米崖上綠樹繁茂ス、瀑布1條崖頂ヨリ落下ス、之ヲ白糸ノ瀧ト稱シ頗ル奇觀ヲ呈シ月夜西方ヨリ望ムトキハ顯著ナリ。

茂津多岬 白糸岬ノ南南西方約4哩ニ在ル茂津多岬ハ臺形險崖ヲ成ス岬端附近ハ深水ニシテ大形船舶ト雖モ接航シ得ベシ、岬上ノ山ハ樹木鬱蒼トシテ東方内陸約10軒ノ**狩場山**(高サ1,515米)ニ連ル。

茂津多岬燈臺 茂津多岬上ニ在リ、黑白横線塗圓形「コンクリート」造ニシテ燈高283米。

瀨棚港(セタナイ)(海圖22分圖) 茂津多岬ノ南方約9哩ノ瀨棚港ハ偏東風ノ外各方ノ風浪ニ暴露ス、但シ漁船ハ市街中央突出部端ノ船入澗ニ避泊スルコトヲ得、軍艦武藏ハ明治33年8月天候靜穩ナルトキ蠟燭岩ノ347度約4鏈、水深10米内外ノ處ニ假泊セリ。

本港ノ海岸ニハ巨岩散在ス、其ノ主ナルモノヲ船入澗西方ノ大岩盤上ニ在ル**蠟燭岩**(高サ28米)、同岩ノ北東方ニ在リテ奇觀ヲ呈スル3巨岩**三本杉岩**(高サ31—39米)等トス。

瀨棚町ハ町役場ノ所在地ニシテ人口約5,000(昭和15年國勢調査)、此處ニ地方暴風標アリ、市街地ノ中央ヲ流ルル馬場川ハ水質良好ニシテ飲料ニ適シ長サ約8米ノ蛇管ヲ用フレバ直ニ短艇ニ汲取ルコトヲ得。

瀨棚港南防波堤燈臺 船入澗南防波堤西端ニ在リ、高サ6.5米ノ紅塗四角櫓形鐵造ニシテ燈高9.2米。

地方暴風標 瀨棚港南方約4.7哩ノ太櫓村落ニ地方暴風標アリ。

尾花岬 瀨棚港ヨリ水垂岬(ミタレ)ヲ經テ南方約10.5哩ニシテ尾花岬ニ達ス、尾花岬ハ斷崖ヨリ成リ岬背ニ何レモ樹木鬱蒼タル**松倉山**(高サ

804米)及**毛無山**(高サ826米)アリ。

帆越岬(太田岬) 尾花岬ノ南方約2.5湮ニ帆越岬アリ、此ノ岬ハ絶壁峻嶮ノ高角ニシテ灰白色ヲ帯ビ至近水深シ。

奥尻海峽 帆越岬ト其ノ南東方「ボンモシリ」岬トノ間ヲ東側トシ奥尻島東岸ヲ西側トスル海峽ニシテ函館小樽間ノ常用航路ナリ。

海流 奥尻海峽ノ狭部ハ海流ノ方向甚ダ不規則ナレドモ流速ハ偏北流0.5—1.5節、偏南流0.3—0.5節ナルヲ驗セリ、但シ夏季ノミノ實驗ニ依ル。

奥尻島(海圖32分圖)

帆越岬ノ西南西方ニ位シ其ノ廣サ南北13湮、東西5湮、地勢島岸ヨリ漸次内方ニ向ツテ隆起シ最高處ハ**神威山**(カムキ)(高サ584米)ナリ、神威山ヨリ北方ハ何レモ樹木繁茂セル**勝間山**(高サ437米)及**球島山**(キユウジマ)(高サ372米)ヲ經テ島ノ北端稻穂岬ニ向ヒ低下ス。

本島ハ全島1村(奥尻村)ヲ成シ又奥尻1村ヲ以テ1郡(奥尻郡)ヲ成ス、住民ハ漁魚採藻ヲ主業トス。

泊地トシテハ北至西ノ風ニハ青苗灣、偏南風ニハ稻穂岬西側、北西至南西ノ風ニハ釣懸地先ノ3箇所アリ。

室津島 奥尻島ノ南端青苗岬ヲ距ル南方約2.3湮ニ在ル簇岩ニシテ黒色ノ大岩塊數箇ヨリ成ル、簇岩中最モ高キハ**森磯島**(高サ81米)ニシテ之ヨリ東方へ8.5鏈、西方へ4鏈、南方へ3鏈間ハ何レモ險惡地ナリ、此ノ簇岩ト次記青苗岬南方水深3.6米ノ孤立岩トノ間ハ約8鏈アリ、水深12.8—18米ナルモ大形船舶ハ通航ヲ避クルヲ可トス。

青苗岬 奥尻島ノ南端ニ於テハ南方へ約1湮斗出セル低角ニシテ礁脈之ヲ圍繞ス、岬上ニ建テラレタル有栖川宮威仁親王殿下陸記念碑(高サ礎上17米、平均水面上19米)ハ海上ヨリノ好目標ナリ。岬端ヨリ南方約

4鏈間ハ岩礁斗出シ殆ド低潮ニ洗フ、夫ヨリ更ニ6鏈間ハ水浅ク最外端ニ水深3.6米ノ孤立岩アリ。

青苗灣 青苗岬ト其ノ北東方約1.7湮ノ初松前トノ間ニ於テ北西方ニ彎入セル沙濱ノ淺入灣ニシテ北至西ノ諸風ニハ奥尻島中最良ノ錨地ナリ、此ノ灣ハ南西ヨリ西ヲ經テ北迄ノ諸風ヲ遮蔽スルモ偏東風時ニハ弼濤灣内ヲ襲フ。特務艦武藏ハ當テ青苗岬ノ北東方水深14.6米ノ處ニ屢投錨セシガ此處ハ底質沙ナルモ錨搔キ惡シカラザルヲ驗セリ。

青苗村落地先ニ**青苗港**ト稱スル小漁港アリ、防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入濶ヲ有ス、此ノ村落ニ地方暴風標アリ。

釣懸 東岸**彌右衛門岬**ヨリ北方5.5湮ニ位スル釣懸村落ハ奥尻郡(奥尻村)ノ首邑ニシテ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入濶ヲ有ス、尙此處ニハ地方暴風標アリ。本村落前面ノ錨地ハ水深キニ過ギ濱岸ニ接近スルニ非ザレバ投錨シ得ザルヲ以テ大形船舶ニハ便ナラズ。

稻穂岬 島ノ北端ヲ成シ低角ナレドモ岬端ノ内方約800米ニ高サ71米ノ小圓丘アルヲ以テ北西方又ハ南東方ヨリ望ムトキハ頗ル顯著ナリ。岬端ニ近ク岬上ニ高サ22米ノ巨岩屹立ス、墓石ノ稱アリ。稻穂岬ヨリ北北東方ニ約3鏈間斗出スル礁脈中ニ數箇ノ水上岩アリ、礁脈ノ外周ハ急深ナリ。偏南風時ニハ稻穂岬ノ西側ニ於テ燈臺ヲ68度約9鏈ニ望ミ水深16—18米ノ處ニ錨地ヲ得ベシ、嘗テ特務艦武藏ハ屢此處ニ投錨セリ。

稻穂岬燈臺 稻穂岬上ニアリ、黑白横線塗六角形鐵造ニシテ燈高45米。

霧信號 稻穂岬燈臺ニ霧笛アリ、毎33秒ニ1回吹鳴ス(吹鳴3秒、停鳴30秒)。

磯谷崎 島ノ北西端ヲ成ス崎ニシテ崎端ヨリ北北西方へ礁脈約4鏈間斗出シ水上岩數箇アリ、其ノ最外岩ハ高サ4.2米ナリ。

ムイ島 島ノ西岸**ホヤ石岬**ノ前面距岸 2.5 鏈 = 「ムイ」島アリ、高サ 65 米ノ圓錐形嶼 = シテ南北ヨリ望ムトキハ顯著ナリ。

「ムイ」島ノ南方約 1.4 湮、千疊沖合距岸 3 鏈及 3.5 鏈 = 各 1 箇ノ點礁アリ、南北 = 相對シ何レモ高サ 1.4 米アリ。

群來岬(クキ) 青苗岬ノ北西方約 1.9 湮 = 在ル岬角 = シテ岬附近ハ距岸 4 鏈間岩礁頗ル多シ。同岬ノ西方約 6.5 鏈 = **トド島**(高サ 8.1 米)ト稱スル孤立岩アリ、其ノ周圍ハ水深シ。

帆越岬至白神岬

帆越岬ヨリ南東方約 10 湮ノ「**ボンモシリ**」岬 = 至ル間ハ即チ奥尻海峡ノ東濱ナリ、此ノ沿岸中久遠灣口ノ南端「**ヨリキ**」岬ヨリ「**ボンモシリ**」岬迄約 4 湮間ハ海岸殆ド直條 = シテ處々 = 高サ約 30 米、暗黒色ノ險崖隆起シ且沿岸岩石多キモ「**ボンモシリ**」岬附近ヲ除ケバ他 = 危險ナシ。

「**ボンモシリ**」岬ト其ノ南南東方約 21 湮ノ洲根子岬トノ間ハ大開灣ヲ成シ其ノ南部 = 江差港及上ノ國錨地アリ、此ノ開灣中「**ボンモシリ**」岬ヨリ東南東方約 4.3 湮 = 在ル**見市川**迄ノ海岸ハ距岸 1—2 鏈間水上岩及暗礁沿布シ船舶ヲ寄セ難シ。夫ヨリ南東方約 5.7 湮 = 在ル**鮪**ノ岬迄ノ海岸ハ概ネ沙礫濱 = シテ其ノ約中間 = 在ル**冷水川**迄ノ間ハ危險ヲ見ザレドモ冷水川以南ハ岩石多キヲ以テ距岸 3 鏈以内 = 近寄ルベカラズ。鮪ノ岬ヨリ海岸ハ南南東方 = 向ヒ突符岬ヲ經テ約 5 湮ノ處乙部鼻 = 至ル。乙部鼻ヨリ南方江差港 = 至ル約 5.5 湮ノ海岸ハ殆ド直條ナリ。江差港ヨリ南方上ノ國村落迄約 4 湮ノ海岸ハ沙濱ヨリ成リ近傍ハ殆ド平野 = シテ高山ヲ見ズ。

洲根子岬ヨリ南走スル海岸ハ稍直條ヲ成シ中間少シク西方 = 膨出シ約 24 湮 = シテ折戸岬 = 達ス、此ノ間沙濱及斷崖相混ズ、岸際ハ概ネ急深 = シテ距濱 5 鏈以外ハ水深 18 米ヨリ深ク險處ナシ。

折戸岬ノ東方 = 辨天島アリ、此ノ島ト其ノ東南東方約 5 湮ノ白神岬トノ間ハ即チ松前灣 = シテ又津輕海峡西口外海ノ北濱タリ。

久遠灣(クドウ) 帆越岬ノ南東方約 3 湮 = 在ル**小歌岬**ヲ灣口ノ北端トシ之ヨリ南東方約 3.5 湮 = 在ル**ヨリキ岬**ヲ同南端トスル開灣 = シテ灣口南西方 = 面シ奥尻海峡ヲ通航スル船舶 = シテ強北風 = 遭遇スルトキハ此處 = 避泊スルモノアリ、灣内ハ**稻穂岬**及**横間岬**等ノ小岬角アリテ數區 = 分ル。横間岬ト「**ヨリキ**」岬トノ間ハ少シク北東方 = 灣入シ其ノ灣口水深 12.8—18 米、底質沙ノ處ハ風向 = 依リ大形船舶ノ寄泊 = 適スベシ。

久遠村落ノ前面即チ小歌岬ト稻穂岬トノ間水深 3.6—5.4 米ノ處ハ從來小形汽船寄泊地 = シテ特務艦武藏モ嘗テ水深 16 米ノ處 = 投錨セシコトアリ、現在稻穂岬ノ北西側 = **久遠港**アリ、防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入灣ヲ有ス、此ノ陸上 = 地方暴風標存在ス。

ボンモシリ岬 帆越岬ノ南東方約 10 湮 = 在ル低角 = シテ黒色ノ岩石ヨリ成リ其ノ附近約 2 鏈間岩礁擴延スルガ故 = 少クモ 3 鏈餘ヲ隔テテ航過セザルベカラズ、常 = 30—40 石積ノ和船ハ岩礁ヲ縫ヒテ入進シ此ノ岬ト其ノ東方**關内川(セツキナイ)**ノ河口トノ間ノ岩盤 = 繫泊スルヲ見ル。

山峯 「**ボンモシリ**」岬ノ北東方 10—13 軒ノ内陸 = ハ**白別岳**(高サ 1,236 米)、**遊樂部岳**(高サ 1,286 米)、**白水岳**(高サ 1,138 米)、**冷水岳**(高サ 1,177 米)等ノ高山相連リ頗ル顯著ナリ。

熊石港 「**ボンモシリ**」岬ノ東方約 2.5 湮 = 在リ、防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入灣ヲ有スル小漁港 = シテ之 = 臨ム熊石村落 = ハ地方暴風標アリ。

熊石港防波堤燈臺 船入灣防波堤外端 = 在リ、白塗四角檣形鐵造 = シテ燈高 8.3 米。

地方暴風標 熊石港ノ南東方約 5 湮餘ノ相沼内村落 = 地方暴風標アリ。

鮪ノ岬(シビ) 「ボンモシリ」岬ノ南東方 9.4 湮 = 位スル低角ニシテ著シク斗出シ岬端ハ平滑ナル赭色ノ傾斜岩ナリ。

本岬附近ノ蚊柱村落ハ定期船ノ寄港地ニシテ此處ニ地方暴風標アリ。

突符岬(森陰岬) 鮪ノ岬ノ南南東方約 2 湮 = 位シ附近ハ距岸約 1 鏈間一帯ノ岩盤ニシテ其ノ北側ニ高サ 21 米ノ暗黒色柱形岩窓岩アリ。岬ノ北西方距岸約 3 鏈 = 水深 0.9 米ノ 1 暗礁アリ。

館ノ岬(タテ) 突符岬ノ南南東方約 1.7 湮 = 在リ、高サ 60—100 米ノ白色斷崖ニシテ海方ヨリ望ムトキハ最モ顯著ナリ、俗ニ乙部ノ館ト稱ス。

乙部鼻 館ノ岬ノ南方 1 湮餘 = 在リテ斷崖ヲ成シ其ノ前面 3 鏈間礁脈擴延ス。館ノ岬ト乙部鼻トノ間ハ海岸稍東方ニ彎曲シ其ノ南東側ニ乙部村落アリ、地方暴風標ヲ有ス。村落附近ニ溫泉湧出ス。村落ノ海岸ニハ乙部港アリ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入澗ヲ有ス、乙部村船入澗竝ニ船揚場荷揚場使用條例ニ就テハ水路誌附録第 2 卷ヲ見ルベシ。

乙部港船入澗西防波堤燈竿 船入澗防波堤外端ニ在リ、紅塗四角櫓形鐵造ニシテ燈高 7.7 米。

泊 乙部鼻ノ南方約 4 湮 = 在リ、村落ノ中央部ハ海岸稍彎曲シ短艇ハ著岸スルコトヲ得、此處ニ地方暴風柳アリ。此ノ村落ノ北西方約 1 湮間ハ距岸 3.5 鏈迄岩礁擴延セルヲ以テ近寄ルベカラズ。

江差港(海圖 22 分圖) 乙部鼻ノ南方 5.5 湮 = 於テ津花崎ト之ト相對スル鷗島トヲ利用シテ修築セル漁港ニシテ小形船舶ノ好避泊地ナリ。江差町ハ北海道廳檜山支廳所在地ニシテ人口約 7,600 (昭和 15 年國勢調査) 當港ニ於ケル海事關係官署トシテハ江差警察署アリ。本誌ニ於テハ便宜上港界内ヲ 2 分シ西防波堤、同堤東端ト東防波堤屈折部トノ一線、該屈折部以南ノ東防波堤、南防波堤及鷗島半島北半部ヲ以テ圍

マルル區域ノ外方ヲ外港、同内方ヲ内港ト稱ス。

氣象 7 月 8 月及 10 月ハ晴天多ク、6 月及 9 月ハ降雨多シ、而シテ降雨ニハ東若ハ南ノ風ヲ伴ヒ北西風吹クトキハ霽ルルヲ例トス。

港灣設備 内港北側ニハ西防波堤、同東側ニハ東防波堤(防沙堤ト船入澗圍壁トヲ兼ヌ)及船入澗(防波堤ヲ以テ遮蔽セラル)アリ、又同南側ニハ南防波堤(防沙堤ヲ兼ヌ、中央ヨリ稍西寄ニ幅約 18 米ノ航門ヲ有ス)アリ。

目標 鷗島(高サ 23 米)ハ全岸岩石ヨリ成リ其ノ約中央ハ低地頸ナルヲ以テ殆ト 2 島ノ觀ヲ呈ス、津花崎ハ小丘ノ西端ニシテ江差市街地ノ中央ヨリ斗出シ、其ノ上下ニ人家排列ス、市街ノ東方約 8 軒内外ノ内陸ニ元山(高サ 522 米)、笹山(高サ 615 米)及八幡岳(高サ 679 米)等ノ高山アリ、就中笹山ニ東西 2 峯ヲ有シ俗ニ二王山ト稱シ西方ヲ除キ各方ヨリ視認シ得ベク江差港ヲ知ルノ好目標ナリ、投錨目標トシテノ鷗島燈臺、防波堤燈臺、招魂碑及津花崎東方ノ地方暴風標竝ニ著屋(公會堂)等アリ。

江差町附近ノ海岸ハ約 100 米毎ニ強力ナル電燈ヲ點ジアリ、夜間海上ヨリ見ルトキハ頗ル美觀ヲ呈ス、其ノ中央附近電燈ノ高クナリタル部分ハ町ノ中央ナルヲ以テ燈臺ノ燈光ヲ認メズトモ江差港ヲ認知スルニ困難ヲ感ズルコトナシ。

鷗島燈臺 鷗島上ニ在リ、白塗四角形木造ニシテ燈高 32 米。

江差港防波堤燈臺 西防波堤東端ニ在リ、紅塗圓形「コンクリート」造ニシテ燈高 13 米。

障碍物 南防波堤ノ南北ニ互リ一帯ニ淺水ナルヲ以テ内港内ハ利用シ得ベキ水面積少ク又南部防波堤ノ南方ハ北風時ノ避泊錨地狹シ。

錨地 外港北部ニ在リテハ鷗島北端ヨリ北東方約 2.3 鏈、水深 14.6—

16米、底質沙ニシテ錨搔キ良キ處ニ錨地ヲ得ベシ、然レドモ此處ハ北ヨリ西ヲ經テ南南西迄ノ諸風ニハ激浪起ルヲ以テ錨泊因難ナリ。外港南部ニ在リテハ鷗島南端ヲ北方ニ望ミ水深12.8—16米ノ處風向ニ應ジ錨地トシテ可ナリ。

地方暴風標 鷗島ノ中央部東側ト津花埼ノ東方トニ地方暴風標アリ。

上陸所 船入瀨内ヨリスルヲ可トスベク津花埼ノ南側沙濱ハ著舟ニ便ナリ。

上ノ國錨地(カミノクニ)(海圖11分圖) 江差港ノ南方3哩餘、底質細沙、水深適度ノ小灣ニシテ灣口北方ニ面シ西至北ノ諸風ノ外比較的安全ナレドモ風向西ヨリ南ニ偏スルトキハ強キ山嵐ニ會スルコトアリ。小形船舶ハ灣南隅ノ天ノ川ノ河口ト大瀨鼻トノ中間、距岸1鏈ニ錨地ヲ得ベク大形船舶ハ大瀨ノ鼻ノ北東方約5鏈、水深12.3—14.6米、底質沙ノ處ニ錨地ヲ得ベシ。

灣首ニ上ノ國村落ノ人家列ビ此處ニ地方暴風標アリ。村落ノ西方ニ夷王山(高サ161米)アリ、北方ヨリ望メバ尖形ヲ呈ス。

洲根子岬(スネコ) 上ノ國錨地西方ノ海岸端ニ在ル高サ33米岬角ニシテ岬上ハ難草生ジ下部ハ黑色ノ岩石ヨリ成ルガ故ニ頗ル顯著ナリ。

石崎港 洲根子岬ノ南南西方約6哩ノ石崎川ノ河口北側ニ石崎村落アリ、其ノ地先ニ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入瀨ヲ有スル小漁港アリ、本村落附近ハ沙濱ナリ。石崎川ハ高潮平波ノ際ニハ河口内宇早川尻迄小舟ヲ行リ得ベク河口南側ニ岩石2—3アリ。

日方泊岬(ヒガタトマリ) 石崎川河口ノ南南西方3.5哩ニ在リ、高サ35米ノ險崖ニシテ岬端附近ニ2—3孤立岩アリ。岬ノ北側ニ著舟所アリ、小砂子ノ瀨〔日方〕ト稱シ西南西方ヨリ南ヲ經テ北東ニ至ルノ諸風ニハ小

舟ヲ繫泊シ得ベシ。

江良町港 日方泊岬ノ南方約6.5哩ニ位シ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入瀨ヲ有スル小漁港ナリ、之ニ面スル江良町村落ハ沙濱上ニ在リテ地方暴風標ヲ有シ大島村ノ首邑ナリ。

江良町港西防波堤燈臺 西防波堤北端ニ在リ、紅塗四角櫓形鐵造ニシテ燈高9.5米。

雨垂石港 江良町港ノ南南東方約3.7哩ニ位スル小漁港ニシテ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入瀨ヲ有ス。

根部田港 雨垂石港ノ南南東方約2.4哩ニ位シ防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入瀨ヲ有スル小漁港ニシテ之ニ面スル根部田村落ハ小島村ノ首邑ナリ。

折戸岬 根部田港ノ南東方約2哩餘ニ在リ、岬上平坦ニシテ樹木ナシ、此處ニ高サ44米ノ奇岩アリ立岩ト稱ス。岬ヨリ北西方約1哩、距岸約5鏈ニ低岩アリ、三ツ石ト稱シ高サ0.8米ニ過ギズ。

辨天島(海圖32分圖) 折戸岬ノ東南東方約7鏈、船入瀨南隣ニ在ル高サ21米ノ圓形嶼ナリ、島周ハ岩礁沿布シ最外ノモノハ南方へ2.5鏈間伸出ス、從來沿岸航行汽船ニシテ往々此處ニ擱坐セルモノアリ、依ツテ本島ハ充分ノ間隔ヲ保チテ之ヲ繞航スルノ要アリ。

松前(福山)燈臺 辨天島上ニ在リ、白塗四角形「コンクリート」造ニシテ燈高25米。此ノ燈臺ノ燈光ハ比較的低キヲ以テ遠距離ニテハ漁火ニ紛レ判別因難ナルコトアリト謂フ。

霧信號 松前燈臺ニ霧笛アリ、毎38秒ニ1回吹鳴ス(吹鳴3秒停鳴35秒)。

目標 辨天島ノ對岸總社堂町ニ在ル無線方位信號所ノ無線電柱ハ晝間船舶ノ目標ト爲ル。

松前灣 (福山灣) 辨天島ト白神岬トノ間ニ在ル開灣ニシテ海底凹凸不齊ナルモ東ヨリ北及北西迄ノ諸風ニハ錨泊シ得、然レドモ偏南風ノ流行期ニハ「ウネリ」侵入シ錨泊因難ナリ、又入港ニ當リテハ灣内潮流稍急ナルヲ以テ行船ニ注意ヲ要ス。

松前港 (福山港) (海圖 32 分圖) 灣内西部松前町ノ前面ヲ松前港トシ本港ニ於ケル投錨目標トシテ良好ナルヲ舊城趾及各寺院等トス。大形船舶ノ錨地トシテハ招魂社後ノ赤禿崖ト法華寺トヲ一線 14 度ニ見ル線上松前燈臺ヲ 267 度ニ望ム處ヲ可トス、此處ハ錨搔キ比較的良キモ附近ハ概ネ廣面積ノ岩盤ヲ覆ヘル底質沙殻ナルヲ以テ浪高キトキハ走錨ヲ顧慮スルノ要アリ。小舟ハ濱岸ニ近キ岩礁間 (俗ニ瀾ト稱ス) ニ錨泊シ得ベク其ノ主ナルモノハ大松前瀾及其ノ東方ノ大瀾ニシテ前者ハ市街中央ノ前面ニ當リ且廣キ爲沿岸航行汽船ハ此處ニ一時双錨泊シテ貨客ノ揚卸ヲ爲ス、其ノ西隣ノ小松前瀾奥部ニハ東西兩側ニ突堤アリ、又辨天島ノ北方總社堂町地先人工ニ依ル船入瀾アリ、松前町船入瀾及荷揚場使用料徴收條例ニ就テハ水路誌附録第 2 卷ヲ見ルベシ。

舊松前ノ城下タリシ松前町ハ現在町役場ノ所在地ニシテ人口約 8,400 (昭和 15 年國勢調査)、市街ノ約中央法華寺西隣ニ地方暴風標アリ。

大澤港 (海圖 32 分圖) 松前町ノ東隣大澤村ノ首邑タル大澤村落地先ニ小漁港アリ、防波堤ヲ以テ遮蔽セル船入瀾ヲ有ス。

小島 辨天島ノ西南西方約 13 哩ニ在リテ行政上對岸小島村ニ屬ス、東西約 1 哩、南北約 7 鏈ノ 1 小島ニシテ島上ニ殆ト同高ノ 3 峯鼎立ス、其ノ西峯ハ高サ 306 米ニシテ他ノ 2 峯ヨリ稍高ク之ト東峯トノ間ハ陷凹シテ噴火口ノ觀アリ島岸ハ峻嶮ニシテ峭壁直立シ唯東側ニ斗出セル小岬ノ北側ノミ礫濱ニシテ東ヨリ南ヲ西迄ノ風波ヲ遮リ夏季ノ上陸所トシテ可ナリ。

本島ノ西方約 5 鏈ニ高サ 152 米ノ圓筒形高岩アリ、之ト小島トノ間ニハ更ニ 2 岩アリテ内 1 岩ハ高サ 46 米、他ハ 34 米ナリ。

松前小島燈臺 小島北東端ニ在リ、白塗八角形「コンクリート」造ニシテ燈高 43 米。

霧信號 松前小島燈臺ニ霧笛アリ、毎 44 秒ニ 1 回吹鳴ス (吹鳴 4 秒、停鳴 40 秒)。

大島 小島ノ西北西方約 21 哩ニ在リテ行政上對岸大島村ニ屬ス、略橢圓形ノ熄火山ニシテ東西約 2 哩、島岸屈曲ナク四周急深ニシテ離險ナシ。島上ハ西部ヲ除クノ外概ネ雜草ニ蔽ハレ島頂ハ高サ 755 米ニシテ少シ、ク東方ニハ偏倚シ圓錐形ヲ成ス、島頂ヨリ北西方ニ位スル 1 峯ニ噴火口アリ、其ノ周圍ニ褐色ノ燒石堆積シ附近岩骨ヲ露出ス、夏季ニハ噴火口ノ岩隙ヨリ今尙白煙ノ少シク漏出スルヲ見ル。

西岸ノ「ヤマセドマリ」、島ノ南端難波岬、同岬東側ノ「アイドマリ」及東岸ノ日方泊ハ夏季平穩ノトキハ小艇ヲ著ケ得ベシ。

津輕海峡西口海北側ノ海流 既ニ述ベタル如ク日本海ノ南東側本洲沿岸沖合ヲ北上シタリ對馬海流ハ津輕海峡西口沖合ニ於テ 2 派ニ分レ 1 派ハ該海峡ニ流入シ他ハ北海道西岸ニ沿ヒ尙北流ス、而シテ後者ハ江良町港附近ニ於テ屢回流ヲ起シ海岸ニ近ク小島トノ間ヲ南流シ松前灣西側ノ辨天島ヲ經テ白神岬ニ至リ前者ト合シ該海峡ヲ東流ス (第 1 編第 9 頁對馬海流ノ項參照)。

津輕海峡北側ノ潮流 漲落兩流ハ概シテ距岸 2 哩以内ニ在リ、其ノ流速ハ微弱ニシテ海流ト合シテ 1—2.5 節ナリ、而シテ其ノ流向漲潮流ハ松前灣以東ニ於テハ東流シ以西ニ於テハ北流シ、落潮流ハ各之ニ反ス。

氣象表

凡例

1. 氣温ハ攝氏ノ度ヲ以テ示ス。
2. 濕度ハ飽和ヲ 100 トシ百分比ヲ以テ示ス。
3. 降水量ハ耗ヲ以テ示ス。
4. 風向ハ記法ノ如何ニ拘ラズ眞方位ヲ示ス。
5. 風速ハ 米/秒 ヲ以テ示ス。
6. 暴風日數ハ風速 10 米/秒 以上ノ風ニ達シタル日ヲ示ス。
7. 快晴日數ハ平均雲量 2 未滿ノ日ヲ示ス。
8. 曇天日數ハ平均雲量 8 以上ノ日ヲ示ス。
9. 降水日數ハ降水量 0.1 耗以上ニ達シタル日ヲ示ス。
10. 降雪日數ハ現象ノアリタル日ヲ示ス。

附表第1

函館氣象表

1886—1940年, 55年間. 但シ天氣日數及平均風速
 (ハ1889—1930年, 42年間. 平均雲量ハ1899—1826
 年, 30年間. 最多風向ハ1926—1935年, 10年間.)

月	氣 溫		溫 度		降 水 總 量	風			平 均 雲 量	天 氣 日 數					
	平 均	最 高 最 低	平 均	最 小		最 多 風 向	平 均 風 速	最 大 風 速		快 晴	曇	降 水	暴 風	霧	雪
1	-3.0	0.4	-7.2	29	66	W	5.0	26.5	7.3	06	15.0	21.5	13.7	0.2	26.0
2	-2.3	1.2	-6.8	26	62	WNW	4.7	27.9	7.1	0.9	12.3	18.3	10.0	0.4	22.5
3	0.8	4.5	-3.3	19	68	W	4.8	25.4	6.7	1.5	12.1	18.4	11.9	0.7	20.0
4	6.3	10.7	1.7	21	71	W	4.3	25.8	6.1	3.7	10.3	11.9	10.5	1.0	3.5
5	10.5	14.9	6.0	23	84	SE	3.9	22.2	6.5	2.8	13.0	13.0	8.6	2.4	0.2
6	14.4	18.4	10.7	26	91	ESE	3.3	19.3	7.1	2.0	15.7	12.4	4.9	4.1	—
7	19.1	22.7	15.8	37	137	ESE	3.0	23.0	7.8	0.9	18.8	14.0	3.5	4.0	—
8	21.6	25.4	17.9	30	133	ESE	3.3	23.0	7.0	2.3	14.4	12.7	4.5	1.3	—
9	17.9	22.3	13.3	35	173	ESE	3.6	25.5	6.5	2.9	12.7	16.1	5.3	0.2	—
10	11.9	16.8	6.4	28	117	NNN	3.8	21.6	5.5	4.8	7.6	15.4	8.6	0.1	0.6
11	5.7	9.7	1.1	25	106	W	4.8	24.1	6.7	1.9	11.5	19.0	12.2	0.3	9.9
12	-0.2	3.2	4.1	25	80	WNW	5.3	27.4	7.4	0.6	15.5	21.6	14.0	0.3	22.8
全 年	8.6	12.5	4.3	19	1187	W	4.2	27.9	6.8	24.9	158.9	194.3	107.7	15.0	105.5

附表第2

室蘭氣象表

1923—1940年, 18年間, 但シ天氣日數及平均風速ハ1923—1933年, 11年間, 最多風向及平均雲量ハ1926—1935年, 10年間

月	氣 溫			溫 度		降 水 總 量	風			天 氣 日 數						
	平 均	平 均 最 高	平 均 最 低	平 均	最 小		最 多 風 向	平 均 風 速	最 大 風 速	平 均 雲 量	快 晴	曇	降 水	暴 風	霧	雪
1	-3.0	-0.4	-5.5	68	27	64	NNW	3.6	16.2	7.9	0.6	18.7	22.3	3.8	—	27.6
2	-2.6	0.1	-5.1	69	34	52	NNW	3.2	17.5	7.5	0.7	13.6	19.1	2.9	—	23.8
3	0.2	3.4	-2.5	71	31	59	NNW	3.1	18.7	6.7	2.2	11.5	18.5	3.5	0.5	21.9
4	5.1	9.1	1.7	73	28	63	NNW	3.1	14.0	6.1	4.2	10.5	12.8	3.3	1.9	6.1
5	9.6	13.8	6.2	79	28	94	ESE	3.1	14.4	6.8	3.1	14.1	13.7	3.5	4.0	0.4
6	13.6	17.4	10.6	84	31	99	ESE	3.0	15.8	7.6	2.4	18.0	14.7	1.3	7.5	—
7	18.3	22.3	15.9	86	41	159	ESE	2.5	15.8	8.0	1.5	18.5	14.7	0.4	4.7	—
8	21.2	24.6	18.5	85	39	147	ESE	2.9	14.6	7.6	1.6	17.3	16.6	0.6	4.0	—
9	18.2	21.8	15.3	79	33	158	SE	2.9	20.3	6.7	2.8	13.5	16.7	2.6	0.3	—
10	12.6	16.5	9.1	72	38	89	NNW	2.9	15.5	5.4	5.8	8.4	15.7	3.4	—	0.5
11	6.1	9.4	2.9	68	35	86	NNW	3.4	19.4	7.1	1.5	13.4	19.3	5.3	—	7.8
12	0.0	2.6	-2.7	65	32	65	NNW	3.5	21.0	7.8	0.7	18.8	22.7	4.6	—	23.1
全 年	8.3	11.7	5.4	75	27	1135	NNW	3.1	21.0	7.1	27.1	176.3	206.8	35.2	22.9	111.2

附表第3

浦河氣象表

1927—1940年, 14年間, 但シ霧日數ハ1927—1933年, 7年間

月	氣 溫			溫 度		降 水 總 量	風			天 氣 日 數						
	平 均	平 均 最 高	平 均 最 低	平 均	最 小		最 多 風 向	平 均 風 速	最 大 風 速	平 均 雲 量	快 晴	曇	降 水	暴 風	霧	雪
1	-3.6	-0.2	-7.1	67	27	45	NW	6.0	30.6	6.3	2.6	11.1	17.6	15.7	0.2	21.8
2	-3.5	-0.1	-6.9	72	32	35	WNW	5.2	32.8	6.0	3.8	9.8	13.6	13.9	0.5	17.5
3	-0.2	3.1	-3.4	74	25	46	WNW	5.6	31.6	5.9	4.3	10.4	13.6	15.4	1.0	15.2
4	4.3	7.9	0.8	79	22	78	WNW	4.5	23.7	6.3	4.2	12.7	12.5	10.7	5.2	3.3
5	8.4	12.1	5.1	86	23	118	WNW	3.6	24.8	7.1	2.6	15.8	14.6	6.3	6.5	0.6
6	12.5	15.9	9.5	90	28	89	ESE	2.9	16.7	7.6	2.1	18.2	13.1	2.1	12.5	—
7	17.3	20.3	14.7	93	57	175	ESE	2.6	16.7	8.4	0.4	22.3	16.3	1.2	14.1	—
8	20.1	23.2	17.5	91	53	138	ESE	3.0	18.6	7.8	1.4	19.1	15.1	1.9	7.6	—
9	17.2	21.1	13.8	84	40	134	NE	3.7	19.1	7.0	2.7	14.4	14.1	7.1	0.7	—
10	12.0	16.3	7.9	77	32	107	WNW	5.0	37.6	5.5	5.4	9.4	13.6	12.3	—	0.3
11	5.8	9.7	1.9	71	35	104	NW	6.1	30.2	6.3	3.6	11.5	18.6	15.1	—	6.7
12	-0.5	3.0	-3.9	66	27	53	NW	6.2	28.5	6.5	2.6	11.8	17.4	16.8	0.1	17.7
全 年	7.5	11.0	4.2	79	22	1122	WNW	4.5	37.6	6.7	35.7	166.5	180.1	118.5	48.4	83.1

附表第4

釧路氣象表

1910—1940年, 31年間. 但シ天氣日數及平均風
(速ハ1910—1930年, 21年間. 最多風向及平均雲
量ハ1926—1935年, 10年間.)

月	氣 溫			降 水 總 量	風			天 氣				平 均 雲 量	日 數		
	平 均	最 高	最 低		最 多 風 向	平 均 風 速	最 大 風 速	快 晴	曇	降 水	暴 風		霧	雪	
															平 均
1	-6.9	-1.5	-13.1	46	NNE	4.3	24.3	11.4	5.1	8.4	9.9	2.4	9.9		
2	-6.5	-1.2	-12.5	34	NNE	3.8	22.8	5.6	6.7	8.9	6.4	3.5	12.1		
3	-2.3	1.8	-6.8	75	NNE	4.1	24.9	4.7	9.8	11.5	7.8	4.4	13.5		
4	2.8	6.9	-0.8	87	S	4.1	22.5	2.7	13.0	11.8	7.1	7.9	5.8		
5	6.7	10.8	3.2	96	S	3.9	22.8	1.7	17.4	13.2	6.0	11.0	1.0		
6	10.7	14.4	7.7	108	S	3.3	19.9	1.1	20.4	13.1	2.5	13.9	—		
7	15.3	18.8	12.5	120	S	2.9	17.3	0.5	23.1	15.6	0.8	16.8	—		
8	17.9	21.4	15.1	129	S	2.9	19.7	0.3	22.4	15.3	1.7	16.1	—		
9	15.1	19.1	11.4	163	NNE	3.1	17.1	1.7	16.9	15.7	3.2	12.0	—		
10	9.8	14.6	4.6	111	N	3.7	18.6	4.4	10.8	12.6	6.2	6.8	0.3		
11	3.6	8.3	-1.5	77	N	4.3	24.3	7.8	6.3	11.1	9.8	2.8	3.6		
12	-3.2	1.7	-8.7	44	W	4.2	20.0	10.8	4.9	9.4	9.8	2.2	9.5		
全 年	5.3	9.6	0.9	1,090	NNE	3.7	24.9	6.3	156.8	146.6	71.2	99.8	55.7		

附表第5

根室室氣象表

(1889—1940年, 52年間
(但シ霧日數ハ1889—1930年, 42年間))

月	氣 溫			降 水 總 量	風			天 氣				平 均 雲 量	日 數		
	平 均	最 高	最 低		最 多 風 向	平 均 風 速	最 大 風 速	快 晴	曇	降 水	暴 風		霧	雪	
															平 均
1	-5.0	-1.9	-8.7	38	NW	5.2	27.4	4.8	7.8	12.3	11.9	1.0	19.0		
2	-5.5	-2.2	-9.6	28	NW	4.6	30.7	3.8	7.6	10.0	6.9	2.4	17.6		
3	-2.4	0.9	-6.1	61	NW	4.6	26.2	3.7	9.4	12.6	8.4	4.4	16.7		
4	2.8	6.7	-0.6	78	SSW	4.9	23.7	2.9	12.4	12.4	10.1	9.1	7.0		
5	6.5	10.6	2.9	94	S	4.8	25.6	1.5	15.7	13.4	6.8	13.0	1.4		
6	9.9	13.8	6.6	93	S	4.0	19.5	1.0	19.4	14.1	3.3	18.3	0.0		
7	14.3	18.2	11.0	102	S	3.6	16.9	0.5	21.3	15.2	2.2	20.5	—		
8	17.3	21.0	14.3	105	S	3.6	21.1	0.7	20.2	15.1	2.8	19.2	—		
9	15.3	18.7	12.2	145	S	4.0	23.7	2.3	15.6	15.0	4.7	8.2	—		
10	10.7	14.2	6.9	103	SSW	4.7	25.4	4.3	9.4	13.4	9.3	3.0	0.4		
11	4.6	7.9	0.8	86	NW	5.3	26.0	4.0	8.0	13.6	11.9	1.9	5.8		
12	1.4	1.6	-5.0	57	W	5.4	29.6	5.7	6.6	12.5	12.8	1.5	14.7		
全 年	5.6	9.1	2.1	989	SSW	4.6	30.7	6.6	153.4	159.6	91.1	102.5	82.6		

附表第6

網走氣象表

1890—1940年, 51年間, 但シ天氣日數及平均風速ハ1890—1930年, 41年間, 最多風向及平均雲量ハ1926—1935年, 10年間

月	氣 溫			溫 度		降水總量	風			天 氣				平均雲量	日 數							
	平均	最高	最低	平均	最小		最多風向	平均風速	最大風速	快	曇	降水	暴風		霧	雪	快	曇	降水	暴風	霧	雪
1	-6.9	-3.1	-10.8	79	18	63	W	3.4	24.8	6.7	1.4	13.4	18.2	3.9	0.1	22.1						
2	-7.2	-3.0	-11.5	82	31	38	N	2.8	19.8	6.9	1.4	12.4	15.3	2.7	0.2	20.9						
3	-3.3	0.8	-7.4	78	14	57	N	2.7	22.7	6.5	2.2	11.2	15.7	3.3	0.7	29.6						
4	3.4	8.1	-0.5	75	19	51	NNW	3.0	20.9	6.7	2.8	12.5	11.9	3.8	2.2	8.9						
5	8.3	13.2	4.0	77	18	60	S	2.7	20.9	7.1	2.0	16.0	13.0	3.4	3.2	2.5						
6	12.3	16.6	8.6	83	23	61	S	2.2	15.4	6.8	2.0	15.3	13.2	0.9	6.0	0.1						
7	16.9	20.8	13.5	86	40	87	N	1.9	15.3	7.3	1.7	16.8	13.5	0.2	7.1	—						
8	19.3	23.3	15.8	85	38	97	S	2.0	17.1	6.9	2.6	14.0	12.8	0.4	4.1	—						
9	15.7	19.8	12.1	83	33	115	SSW	2.5	16.6	6.7	2.5	13.0	14.8	1.1	1.2	—						
10	9.8	14.6	5.7	76	26	74	W	3.1	22.6	5.6	4.1	8.5	14.2	2.0	0.3	0.9						
11	3.0	7.1	-0.7	74	20	66	SW	3.4	26.3	6.5	1.8	10.7	15.3	3.4	0.2	11.3						
12	-3.2	0.5	-6.6	74	24	56	W	3.5	26.4	6.6	1.9	12.3	17.4	4.6	0.2	20.1						
全年	5.7	9.9	1.9	79	14	825	N	2.8	26.4	6.7	26.4	156.1	175.3	29.7	25.5	106.4						

附表第7

羽幌氣象表

(1921—1940年, 20年間
但シ霧日數ハ1911—1933年, 23年間)

月	氣 溫			溫 度		降水總量	風			天 氣				平均雲量	日 數							
	平均	最高	最低	平均	最小		最多風向	平均風速	最大風速	快	曇	降水	暴風		霧	雪	快	曇	降水	暴風	霧	雪
1	-5.9	-2.4	-10.1	83	34	97	SE	7.7	35.0	8.7	0.7	24.0	26.0	21.4	—	29.7						
2	-5.4	-1.6	-9.9	80	31	61	SE	6.4	28.7	8.5	0.4	20.9	20.8	17.7	—	23.2						
3	-1.6	1.8	-5.8	78	17	61	SE	6.4	33.0	8.1	0.6	20.2	21.2	18.5	0.4	22.7						
4	4.3	8.2	0.2	77	22	65	SE	5.8	28.6	7.3	1.9	14.8	14.2	14.1	1.4	7.9						
5	9.2	13.2	5.2	82	19	82	SE	4.5	38.6	7.5	1.8	18.1	15.1	9.3	3.0	0.6						
6	14.0	17.7	10.3	85	31	70	SE	3.5	18.1	7.3	2.2	16.1	13.3	4.3	2.6	—						
7	18.8	21.9	15.5	89	41	121	SE	3.3	18.5	7.7	1.7	18.5	16.1	3.4	4.9	—						
8	20.5	24.2	16.6	86	39	140	SE	3.8	24.0	7.1	2.0	15.5	14.3	5.3	0.4	—						
9	16.6	20.8	12.3	82	36	162	SE	4.7	29.4	7.0	2.2	14.7	17.4	8.4	0.5	—						
10	10.8	14.8	6.6	77	32	164	SE	6.5	30.9	7.1	2.5	16.1	19.2	17.3	0.3	1.3						
11	4.0	7.3	0.6	79	41	158	W	8.2	33.0	8.6	0.5	22.9	23.6	21.0	0.1	14.7						
12	-2.0	1.0	-5.2	80	38	132	WNW	8.8	37.1	9.3	0.4	27.6	26.7	25.1	0.1	26.8						
全年	6.9	10.6	3.0	81	17	1314	SE	5.8	38.6	7.8	16.9	229.2	227.9	165.8	13.7	125.1						

附表第8

札幌氣候象表

(1889—1940年, 52年間
但シ霧日數ハ1889—1930年, 42年間)

月	氣 溫			溫 度		降水總量	風			平均雲量	天 氣 日 數					
	平均	最高	最低	平均	最小		最多風向	平均風速	最大風速		快晴	曇	降水	暴風	霧	雪
1	-6.3	-1.8	-11.6	79.4	26	86.3	W	2.9	23.2	7.2	0.9	14.0	20.5	3.9	1.1	26.1
2	-5.3	-0.7	-10.9	79.2	28	69.8	NW	2.9	26.9	7.3	0.7	13.3	18.3	2.9	0.7	23.1
3	-1.6	2.7	-6.5	75.7	24	61.5	N	3.5	28.8	7.0	1.5	13.2	18.6	5.4	0.5	21.9
4	5.3	10.6	0.1	71.4	8	56.9	SE	4.1	19.6	6.4	3.2	11.7	12.7	7.9	1.0	6.6
5	10.5	16.3	4.8	74.1	14	61.9	SE	4.1	18.9	6.6	2.6	13.7	13.5	6.3	2.3	0.2
6	14.9	20.5	10.0	80.6	25	64.8	SE	3.4	16.0	7.2	1.8	15.1	12.8	1.6	4.0	—
7	19.3	24.5	15.0	83.8	31	91.9	SE	3.0	14.6	7.4	1.4	16.6	13.0	0.7	5.0	—
8	21.0	26.2	16.4	83.4	33	108.7	SE	2.8	15.9	6.6	2.4	13.4	13.1	0.6	3.6	—
9	16.3	21.8	11.1	82.9	33	134.4	SE	2.6	17.4	6.6	2.5	12.1	16.5	0.9	1.4	—
10	9.8	15.8	4.0	79.6	32	111.7	SE	2.6	18.1	5.9	3.7	9.0	16.9	1.3	0.9	1.2
11	3.2	7.9	-1.3	77.0	26	107.9	NW	2.9	19.3	7.1	1.3	13.3	19.3	3.6	0.5	13.5
12	-3.1	1.0	-7.8	77.9	28	93.7	NW	2.9	25.3	7.2	0.9	13.7	20.7	3.0	0.8	24.3
全 年	7.0	12.1	1.9	78.8	8	1052.5	SE	3.1	28.8	6.9	22.9	159.1	195.9	38.1	21.8	116.9

附表第9

壽都氣候象表

(1891—1940年, 50年間
但シ霧日數ハ1889—1930年, 42年間)

月	氣 溫			溫 度		降水總量	風			平均雲量	天 氣 日 數					
	平均	最高	最低	平均	最小		最多風向	平均風速	最大風速		快晴	曇	降水	暴風	霧	雪
1	-3.4	-0.9	-6.0	77	26	118	NW	7.0	40.5	9.2	0.1	27.1	27.1	18.7	0.4	28.0
2	-2.6	-0.1	-5.2	76	20	100	NW	6.7	37.1	8.8	0.3	22.8	22.8	16.3	0.4	24.1
3	0.1	2.8	-2.6	73	25	77	S	6.9	37.9	8.2	0.8	21.9	20.9	18.9	0.0	21.0
4	5.6	9.1	2.2	73	21	61	S	6.5	38.2	6.7	3.0	13.3	12.5	17.1	0.3	4.4
5	10.1	13.9	6.5	77	21	63	S	6.7	39.5	7.1	2.0	15.6	13.0	18.3	1.1	0.1
6	14.1	17.5	11.1	84	26	63	SSE	6.7	39.7	7.5	1.7	16.7	12.5	17.3	1.9	—
7	18.6	21.9	15.9	86	39	94	SSE	6.1	32.5	7.7	1.1	18.1	12.6	14.5	1.7	—
8	71.1	24.4	18.3	84	35	112	SSE	5.9	31.2	7.0	2.0	14.9	12.7	14.9	0.4	—
9	17.7	21.0	14.5	79	30	157	SSE	7.5	37.0	6.9	2.2	13.8	16.5	12.4	0.0	—
10	11.8	15.3	8.1	74	32	134	S	5.6	32.4	6.5	3.2	12.9	16.9	13.1	0.1	0.9
11	5.1	8.2	1.9	73	23	139	S	6.4	40.3	8.2	0.8	10.6	22.1	17.0	0.0	11.8
12	-0.9	1.8	-3.6	74	15	135	NW	6.9	37.7	9.1	0.2	26.4	26.2	18.2	0.3	24.4
全 年	8.1	11.2	5.1	78	15	1253	S	6.4	40.5	7.7	17.4	224.1	215.6	196.7	6.6	114.7

販 賣 所

- | | |
|--|------------|
| 東京都千代田區丸ノ内3丁目12番地(三菱仲3號館)
ノ1、3階 | 日本郵船株式會社 |
| 東京都中央區日本橋箱崎町4丁目20番地 | 日本郵船東京支店 |
| 橫濱市中區櫻木町2丁目2番地(市電ビル内) | 日本郵船橫濱支店 |
| 名古屋市昭和區小櫻町2丁目13番地 | 日本郵船名古屋支店 |
| 大阪市西區川口町26番地 | 日本郵船大阪支店 |
| 神戸市生田區海岸通1丁目10番地 | 日本郵船神戸支店 |
| 門司市大字門司1171番地(錦町小學校内) | 日本郵船門司支店 |
| 若松市本町1丁目14番地 | 日本郵船若松支店 |
| 長崎市常磐町4番地(船舶運營會長崎出張所内) | 日本郵船長崎販賣所 |
| 函館市船場町19番地 | 日本郵船函館支店 |
| 小樽市南濱町4丁目11番地ノ2 | 日本郵船小樽支店 |
| 鹽竈市築港大通(日本郵船株式會社海圖販賣代)
理店 三陸船用品株式會社 | 日本郵船鹽竈販賣所 |
| 清水市入船町3丁目12番地(日本郵船株式會社代理)
店 鈴與産業株式會社 | 日本郵船清水販賣所 |
| 新潟市綠町3331番地(日本郵船株式會社海圖販賣代)
理店 新潟船用品株式會社 | 日本郵船新潟販賣所 |
| 東京都中央區日本橋通2丁目5番地(高島屋6階) | 日本海運協會海圖部 |
| 神戸市生田區海岸通5番地(商船ビル4階) | 日本海運協會神戸支部 |
| 門司市港町2番地ノ1 | 日本海運協會關門支部 |

5126

昭和22年3月25日印刷

昭和22年3月31日發行

發行者 水路部

東京都中央區築地5丁目

印刷者 大成印刷株式會社

東京都中央區日本橋茅場町2ノ10番地

(定價金20圓)

附錄其詳其詳其詳其詳

其詳其詳其詳其詳其詳

附錄其詳其詳其詳其詳

其詳其詳其詳其詳其詳

附錄其詳其詳其詳其詳

其詳其詳其詳其詳其詳

(附錄其詳其詳)

水-107



1200701601126

